

1973年1月号(NO.1)

月刊誌が発行されるに当って

理事長 酒井一雄

大阪保険医雑誌発刊に際して

副理事長 広井国男

10.28診療報酬引上げ近畿保険医決起集会

英国のホームドクターを囲んで

こんなこと(11月・12月)

書評『老年学と老年病学』

野田英造

書評『水俣病』

小松良夫

新刊紹介『ハリソンの内科書』

三嶋 孝

「オーディオと私」

上原洋一郎

私の工夫

S・Y

診療所の間どり

会員意見調査

テキスト「続・肺結核の化学療法」

小松良夫

1973年2月号(NO.2)

これからの開業医の進むべき道 医療の社会化をど

うみるか(第11回総会記念パネル討論より)

こんなこと(1月の主なできごと)

近年の健保改悪法案の行方

広井国男

昭和48年の健保法改正案についての見解

成原忠彦

健保の財政調整について「財政調整の沿革」

松井幸民

乳幼児医療無料化について

竹内治一

書評「市民と医療」(講座『現代の医療1』より)

小松良夫

建築設計相談コーナー

テキスト「ST-Tのよみ方」

阪大医学部内科 榊原 博

1973年3月号(NO.3)

巻頭言「何故大企業負担を求めるか」

桑原康則

48年度国家予算にみる特徴と問題点

小谷義次

診療報酬引上げ第1次国会請願運動のまとめ

乳幼児医療無料化についてのアンケート結果より

山本 漸

私の工夫

平井初美

野外写生に行きませんか

中谷 勝

書評『イタイイタイ病裁判』

竹内治一

書評『文明と病気』

金沢 彰

書評『ハリソンの内科書』

三嶋 孝

コスタリカの医師と懇談

竹内治一

耳鼻科アンケート(第2回)

こんなこと(2月の主な出来ごと)

旅行記「ヨーロッパ飛び歩き」

野田英造

医院建築設計相談

テキスト「尿路結石」

井上彦八郎

万葉集の現代的理解 大伴家持

田中 宏

短歌「ヨーロッパの旅」

吉田 甫

編集後記(山本漸)

1973年4月号(NO.4)

巻頭言「森永ミルク中毒訴訟について」

武井 久

3・17診療報酬引上げ近畿保険医決起大会及び国会

陳情報告

こんなこと(3月の主な出来ごと)

森永ミルク中毒事件、その問題点について

細川一真

書評『森永砒素ミルク中毒事件の経済的一面』

野々上泰信

蘭、私の趣味

榎本先生、編集部

私の工夫

成原忠彦

乳幼児医療無料化アンケートに見られた自由意見

建築設計相談コーナー

資料「大阪府国民健康保険疾病分類実態調査表」

テキスト「顔の皮膚疾患」

安岡隆一

俳句「春五題」

澤トシ子

編集後記(竹内治一)

1973年5月号(NO.5)

巻頭言「自民党と医師と保険医」

稲次直己

乳幼児医療無料化対策委員会懇談会

摂津市における乳幼児医療無料化

清瀬市における乳幼児医療無料化

酒井先生のなにわ対談

丸山 博先生

私の工夫「カルテの色わけ」

書評『飛鳥 その古代史と風土』

内本栄光

書評『季刊 医療と人間と』

竹内治一

自由化にともなう世界の高級品を安くお手元に
土岐 卓
医院建築設計相談「法律あって行政なし」
医院建築設計相談「住宅付診療所の一例」
最近の疑義解釈
テキスト「老人にみられる排尿障害」
日本泌尿器科学会評議員 中西淳朗
短歌「ハワイの旅」
堀野一男
編集後記（小松良夫）

1973年6月号（NO.6）

巻頭言「医療をとりもどそう」
中川米造
48年度予算の特徴と性格
市大経済学部教授 小谷義次
討論「医療破壊の現状」
大正区住民との懇談会
医療従事者の懇談会
あなたもどうぞ「自動車と私の思い出」
生野区 塘 敏男
あなたもどうぞ「私はゴルキチ」
茨木市 岩村泰助
産婦人科アンケート 依然として多い減点
こんなこと（4月の主な出来ごと）
本棚『薬品副作用学 事故を起さぬクスリの使い方』
三嶋 孝
本棚『講座 現代の医療制度』
松井幸民
建築設計相談コーナー
資料「小選挙区制について」
3・17大会のまとめ
テキスト「関節痛を主訴とする疾患の診断と治療」
川崎市立病院内科部長・慶大内科講師 藤森一平
テキスト「最近感染症と新しい抗生物質」
文芸に表れた歯
池田市 永岡 博
編集後記（竹内治一）

1973年7月号（NO.7）

巻頭言「シビルミニマムと医療」
朝倉新太郎
森永ミルク中毒児の父兄と主治医との懇談会
先生どないしまひよ（地域住民との懇談会より）
酒井先生なにわ対談「苦境から勝利へ」
中野信夫先生
乳幼児医療に対する大阪府保険医協会の態度
本棚『人間が人間をとりもどす社会へ』
武井 久
本棚『いのちを守る医者たたかい』
小松良夫
随筆「いびき」
井上次男
文芸・邂逅1
稲垣恵雄、早坂 修

建築設計相談コーナー「病院経営問題に対する一考察」
入江幸男
テキスト「胆道X線検査手技上のコツ」
水野通也
テキスト「胆道疾患診断と内科的治療法のポイント」
玉沢佳巳
編集後記（青井、森田）

1973年8月号（NO.8）

巻頭言「過去から現代への医師像」
北村藤一
座談会「松尾『論評』を読んで」（大阪府保険医協会拡大理事会）
松尾「論評」に反論する（保団連政策部）
資料「保団連の活動方針論評」（医療社会化推進会議 松尾均）
沢内村と清瀬、住民と医師のたたかひの記録
沢内村 深沢ミキ氏に聞く
清瀬市 松本 強氏に聞く
酒井先生・なにわ対談
松崎香住・審査委員長
旅「アンコール・ワットにて」
布施 内本栄光
公害シリーズ「これ以上 大気汚染を悪化させるな」
西区 尾崎一郎
本棚『ある聖医伝、庵政三の生涯』
八尾市 西野和彦
文芸「邂逅」2（稲垣恵雄、早坂 修）
テキスト「不整脈の知識 開業医に必須な部分」
国保審査委員 村田 進
シリーズ・万葉集の現代的理解2
「高松塚古墳の被葬者は誰か」
田中 宏
俳句「バラの季節」
大形順子
編集後記（平井正也）

1973年9月号（NO.9）

巻頭言「人と人との結びつき」
鶴木 淳
西日本保険医討論集会
私の戦争体験「一軍医の思い出」1
練武五郎
こんなこと（7月の主なできごと）
「医療の社会化」について（医学史研究会）
問題志向型カルテ
中川米造
日医「新しい診療体制の設定」について（政策部）
政府にむけた運動強化を（7.25付全国保険医新聞）
利の工夫「血沈操作を容易にするために」
野田英造
公害シリーズ「青空を西淀川に」
西淀川区医師会長 那須力氏談
あなたもどうぞ「我が飲み歩きの半生」
川浪映二
つれないつり「チヌ釣」
由井英三郎

- 建築設計相談「U診療所」
これは便利「大腸の注腸検査」
本棚『太平洋戦争』(上・下)
小松良夫
- 本棚『医療と人間と』季刊2号
竹内治一
- テキスト「糖尿病の近影」
大阪府支払基金審査委員 直 太作
文芸・俳句
大原 勉
- 編集後記(小松良夫)
- 1973年10月号(NO.10)
巻頭言「問われている医師の姿勢」
東田敏夫
- ニュースの窓「日医の『新しい診療体制』」
これは便利「テレホンリスト使用のお奨め」
稲松 滋
- こんなこと(8月の主なできごと)
あなたもどうぞ「美濃、飛騨ドライブ旅行」
三田雄司
- 私の戦争体験「一軍医の思い出」2(練武五郎)
私の工夫「寝台の下の空間利用」
村田 進
- 建築設計相談「職住分離の診療所」
文芸「邂逅」3(早川 修・稲垣恵雄)
俳句「三尺の庭」
小田孔春
- テキスト「健保診療のてびき」
まえがき
第1例 急性肺炎の治療について
第2例 肝炎の診断と検査
第3例 溶血性黄疸
第4例 心筋硬塞
第5例 狭心症(中間型)
第6例 不整脈(頻脈)
第7例 交感神経 受容体過敏症
第8例 急性扁桃炎
第9例 肺炎(中葉症候群)
第10例 慢性気管支炎の治療(とくに急性感染症のとき)
第11例 肺サルコイドーシス
第12例 肺ジストマ(その診断と治療)
第13例 糖尿病及び痛風とサイアザイド剤
第14例 返戻されたレセプト(糖尿病とインシュリン注射)
第15例 糖尿病と冠不全(薬物療法について)
第16例 慢性関節リウマチ
第17例 副腎皮質ホルモン剤の関節腔内注入療法
第18例 非凡なる平凡例(頭痛を中心として)
第19例 今年流行の兆がある手足口病の症例
第20例 小児の反復性痙攣の治療
第21例 夏に多い皮膚病二例
第22例 皮膚炎二例
第23例 湿疹二例
第24例 バルンカテーテルの請求
第25例 創傷処理点数算定について
- 第26例 ギブス料の算定(特にギブス薬剤料)
第27例 手術時及びギブス施行時の薬剤料算定について
第28例 老人医療の一例(耳鼻科)
第29例 鼻出血の一例
第30例 めまい症
詩「美しき日本」
藤澤文雄
- 編集後記(竹内治一)
- 1973年11月号(NO.11)
巻頭言「『社会化』と『近代化』について」
中野信夫
- ニュースの窓「健保法成立、産業医科大学設置」
討論会「武見理論の本質と役割を明らかにする研究集会」
あなたもどうぞ「菊の歴史」
小田 茂
- あなたもどうぞ「トンボとのつきあい」
尾花 茂
- こんなこと(9月の主なできごと)
私の工夫「カルテの改良」
小松良夫
- これからの医院小病院建築を考えるに当たって
大阪市立大学工学部建築学科教授 栗原嘉一郎
本棚『草の根に生きる愛媛の農村からの報告』
山本 漸
- 本棚『健康保険と保険診療』
平井正也
- 本棚『レイテ戦記』
竹内治一
- 私の戦争体験「一軍医の思い出」3(練武五郎)
文芸「邂逅」4(早川 修・稲垣恵雄)
公害シリーズ「安威川汚染の問題について」
竹内治一
- 建築設計相談「農地の中に建つ診療所」
テキスト「高脂血症について」
大阪大学医学部第2内科 山本 章
- 短歌
吉田 甫
- 編集後記(西野和彦)
- 1973年12月号(NO.12)
巻頭言「医療国営と開業医制度」
桑原康則
- 49年度活動方針
パネル討論「診療報酬はなぜ上らないか
どうすれば上るか」
ニュースの窓「診療報酬はいつ上る」
これは便利「自動現像機とフィルム押出機オスデル」
川合日出雄
- 私の戦争体験「一軍医の思い出」4(練武五郎)
こんなこと(10月度の主なできごと)
なにわ対談「朝鮮医学史研究に半生を」
三木栄先生
- 読者の声「京都府立医大の手術縫合針置き忘れ事件に思う」
池田苗夫

建築設計相談コーナー「診療所の計画について」

本棚『わが国の結核』

松井幸民

本棚『ヨーロッパ音楽の旅』

桂 力

本棚『老年病理学総論概説』

小松良夫

テキスト「脳卒中」

大阪大学第2内科 植田啓嗣、中田俊士

索引(通巻第1号～第12号)

短編「美保子その昼」

木村牙城

編集後記(永田士郎)

1974年1月号(No.13)

巻頭言「府民の医療と健康を守るために健闘したい」

黒田了一

短歌「新年の歌」

吉田 甫

保険医協会に今年は何を望むか

協会の先生方と一層の連携を

大阪母親大会連絡会委員長 菅原藤子

身障児もよく診てほしい

障害者(児)を守る会大阪連絡協議会会長 越川和枝

子供はもう18歳、一日も早く具体的救済を

森永ミルク中毒の子どもを守る会大阪府本部部長 北村藤一

府会通ったのになぜできない

大阪老後の幸福を進める連絡会会長 田中勝一

座談会「49年度大阪の医療問題の課題と展望」

高齢者医療の問題点とわれわれの要求

こんなこと(11月の主なできごと)

税 開業医の弱点はこれ!

あなたもどうぞ「陶造る」

島田耕太

あなたもどうぞ「飛行機にとりつかれて」

岡崎六郎

詰書「神化勢」(玄々暮経から)

サロン・ド・ゴ

本棚『旅の詩集』

八尾市 桂 力

私の工夫「駆血帯」

佐多誠之

地区ニュースより「私の反省」

東浦三郎

テキスト「薬の正しい使い方」

神戸大学薬理学教授 松本 博

テキスト「薬の正しい使い方」

関西医大教授 大久保滉

小説「ヴェロニカ」第1回

八尾市 桂 力

編集後記(小松良夫)

減ページのおことわり

武井 久

付録「抗生物質」

1974年2月号(No.14)

巻頭言「片耳の花入」

石賀 濟

近畿保険医討論集会

酒井先生なにわ対談

沓脱タケ子さん

公害シリーズ「銅板・銀板腐蝕法による大気汚染調査及び合成洗剤追放運動」

富山良子

眼科より他科へ「緑内障」

武井 久

これは便利「ホーロー製汚物罐」

佐多誠之

詰書「四老出山」(サロン・ド・ゴ)

こんなこと(12月の主な出来ごと)

あなたもどうぞ「ハム放談」JA3XZW

田路嘉秀

第1回戦争体験を語る会

文芸「邂逅」5(稲垣恵雄・早坂 修)

本棚『裁かれる医薬産業』

稲葉暉子

本棚『どう医療をよくするか』

平井正也

本棚『孤独』

桂 力

医院建築「安く建てるための借金」

心電図「日常みられるEKGの症例」1

京都府立医科大学第3内科 高梨忠寛

テキスト「呼吸器感染症の化学療法 抗生物質の選択」

大阪市立大学第1内科 三木文雄

小説「ヴェロニカ」2(桂 力)

編集後記(三田雄司)

表紙絵「紅梅」(酒井一雄)

1974年3月号(No.15)

巻頭言「医師会の民主化と政治的中立性について」

泉大津市医師会長 貫野 巖

こんなこと(1月の主なできごと)

特集「診療報酬改訂をめぐる」

今回の診療報酬改訂に関する声明(理事会)

座談会「今回の点数改訂の背景と問題点」(理事会)

点数改訂の背景と問題点

大阪大学医学部助教授 朝倉新太郎

新点数改訂部分(S49年2月1日実施)

診療報酬引上げ運動に関する年表(S47年2月～48年12月)

49年度予算案と日本経済の動向

京都大学経済学部教授 池上 惇

テキスト「内科各種疾患症例集 新点数の影響率の一断面調査」

詰書「存三抱一勢」(サロン・ド・ゴ)

編集後記(松井幸民)

表紙「桃とるり鳥」(酒井一雄)

1974年4月号(No.16)

表紙絵「藤花」(酒井一雄)

巻頭言「題材自由」

尾上道清

医療の荒廃を考える 医師・医療労働者・患者・自治体労働者の集会
講演「政治と医療破壊」

大阪医学部助教授 朝倉新太郎
酒井先生なにわ対談「心と心が通い合う医療を」
黒田知事夫人

こんなこと(2月の主な出来事)
日本経済の動向と医療産業・医薬品産業
大阪市立大学商学部教授 儀我壮一郎
詰碁「味中有味勢」(サロン・ド・ゴ)
実地医家の会に参加して

城田脩爾
あなたもどうぞ「タヒチの星」

江崎四十男
あなたもどうぞ「蝶の操」

田辺穰一
建築設計相談コーナー

「建物(主として医療建築)を建てるポイント」1
鎌田建築事務所一級建築士 鎌田清二
第13回医学史研究会総会をふりかえって
大阪大学医学部 水野 洋
本棚『中国古典名言事典』

永田士郎
本棚『化学療法』

生駒貞嗣
本棚『人間賛歌』

小松良夫
テキスト「肝疾患の診断と治療」

阪大第一内科 鎌田武信
随想「厳寒に想う」

八尾市 藤澤 文雄
編集後記(武井 久)

1974年5月号(No.17)

表紙絵「川蝉」(酒井一雄)
巻頭言「先見の明」

河内長野医師会々長 沢田孝明
こんなこと(3月の主なできごと)

特集「我々は参議院選挙をどう考えるか」
国民福祉と74年参議院選挙

立命館大学産業社会学部助教授 遠藤 晃
座談会「我々は参議院選挙をどう考えるか」

3・16医療危機突破抗議集会省録
本棚『死ぬことと生きること』

生野区 佐藤一夫
本棚『日本名医家伝』

寝屋川市 小松良夫
「医療荒廃を救う道はあるか」

第2回大阪の住民運動と自治体問題研究会より
第1日目「概要報告」

東成区 島喜一郎
第2分科会「提案報告」

茨木市 竹内治一
まとめ

大阪大学医学部助教授 朝倉新太郎
あなたもどうぞ「私の好きな野鳥」

八尾市 貴島和彦
あなたもどうぞ「医学に關した外国コインあれこれ」

東淀川区 西村 保
私の戦争体験シリーズ「からまわり人生」

岡凡太郎
詰碁「吉祥勢」(サロン・ド・ゴ)

心電図「日常みられるEKGの症例」2(高梨忠寛)
私の推薦する3冊の本 公害

堺市 富山良子
大阪保険医新聞読者アンケート結果(新聞部)

テキスト「甲状腺疾患の診断と治療」
京都大学第二内科 河野 剛

文芸「ヴェロニカ」3(桂 力)
編集後記(平井正也)

1974年6月号(No.18)

表紙絵「枇杷」(酒井一雄)
巻頭言「医療費の緊急は正に猛運動を」

西成区医師会々長 岩切 章
「わだつみの声」(軍医篇)についてお願い

こんなこと(4月の主なできごと)
「28%改廃をめくって その意味するもの」

税対部長 木村弥太郎
政策と実績にみる各党の態度

あなたもどうぞ「秋田犬」
東住吉区 土居内頼雄

医療品問題シリーズ「薬価引下げへ大きく前進」
救急医療にどう対処するか

摂津市救急医療対策協議会委員 竹内治一
資料「大阪府救急医療対策審議会答申」(抜粋)

本棚『内科シリーズ、気管支喘息のすべて』
東淀川区 山本 漸

本棚『祖父、小金井良精の記』
寝屋川市 小松良夫

京都長島会長と語る
「何をして京都の保険医を蜷川支援に踏みきらせたか」

詰碁「寒灰自暖勢」(サロン・ド・ゴ)
心電図「日常みられるE・K・Gの症例」3(高梨忠寛)

ひとこと「失敗談としてお読み下さい」
寝屋川市 小嶋照和

テキスト「気管支喘息をめぐる最近の問題」
桃山市民病院副院長・大阪市立大学医学部講師 濱田朝夫

編集後記

1974年7月号(No.19)

表紙絵「金魚」(酒井一雄)
巻頭言「夢よもう一度」

大正区医師会々長 中村義勝
「わだつみの声」(軍医篇)についてお願い

こんなこと(5月の主なできごと)
特集「患者の権利を守る看護とは」

第1回看護婦問題討論集より
講演「医療荒廃と看護婦問題」

淀川准看護学院 小沢礼子
「看護婦問題をどう発展させるか」

看護概念の実質化	平井正也	【外地】	阿倍野区 柴陽一彦
わが国の近代看護史の底流	阪大医学部 中川米造	二転三転	泉南郡 小林文徳
看護婦問題の考え方	日生病院 長門谷洋治	ターチョ(大車)と四人の侍	住吉区 今出金吾
座談会「話し合いの場と医療体制の充実を」	関大文学部 小山仁示	関東軍の終熄	枚方市 三田雄司
なにわ対談「なにわ世相の昔・今大いに語る」	三田雄司	戦没者を思う	北区 尾上道清
詰碁(サロン・ド・ゴ)	旭堂南陵師匠	公害シリーズ「公害健康被害賠償制度の実施をひかえて」	西淀川医師会々長 那須 力
あなたもどうぞ「釣乞食」	生野区 西川雄之助	あなたもどうぞ「写真と私」	港区 堀井 健
薬品問題シリーズ「70%以上の薬は買わない」	拡大評議員会報告	あなたもどうぞ「山と谷と峠」	城東区 木下栄作
テキスト「性病の現状と実地診療」	大阪府立万代診療所々長 津上久弥	心電図「日常みられるE.K.Gの症例」4	京都府立医科大学第3内科講師 高梨忠寛
文芸「ヴェロニカ」4(桂 力)	本棚『私生活主義批判』	医薬品問題シリーズ「薬の動向・買い方のコツ」	住吉区 平井賢久
本棚『細菌軍事裁判』	阿倍野区 安岡隆一	座談会「自民党の低医療費政策は打ち破れるか」	テキスト「泌尿器系X線検査手技上のコツ」
文芸「メキシコのピラミッド」	寝屋川市 小松良夫	大阪府支払基金審査委員 水野通也	詰碁「水落石出勢」(サロン・ド・ゴ)
編集後記(山本 漸)	東淀川区 吉田 甫	文芸「賤ヶ岳の戦」	生野区 池田苗夫
1974年8月号(NO.20)		1974年9月号(NO.21)	
表紙絵「瓢箪」(酒井一雄)	写真「ペンギンの子供」	表紙絵「すすき」(酒井一雄)	巻頭言「民主主義の第二段階」
詩	枚方市 三田雄司	こんなこと(6月・7月の主なできごと)	特集「森永ミルク中毒事件をめぐって」
巻頭言「単価にいのちを」	東住吉区 福中都生子	事件発生当時の症例報告より(抜萃)	「14年目の訪問」より(抜萃)
6.16西日本決起集会「102団体緊急引上げへ結集」	西淀川区医師会々長 那須 力	事件記録誌 発生当時の実態	細川一真
本棚『落日燃ゆ』	住吉区 松井幸民	丸山博先生訪問記	細川一真
本棚『暗い波濤』	寝屋川市 小松良夫	森永ミルク中毒事件と大学民主化	中川米造
終戦記念日特集「私の8月15日」	【内地】	森永砒素ミルク中毒被災児における神経系の障害	湯浅亮一
光華院釈俊哲童子	生野区 田中了介	MBD(Minimal Brain Dysfunction)症候群	北條博厚
無医村に疎開して	堺市 富山良子	砒素中毒既往児の剖検例	岡野錦弥
神武102工場の班長として	八尾市 貴島和彦	秘められた事件史	遠迫克美
入隊日に終戦	堺市 片山利貞	訴訟の終結と被害者の救済	伊多波重義
ピカドンから不死鳥のように	東成区 美田隆三	財団法人「ひかり協会」	丸山報告以後の経過と協会設立の意義
疑信	茨木市 野田英造		細川一真
回帰一暗夜・笙の音			

主治医として現場より	田中静之	表紙絵「さざんか」(酒井一雄)	
主治医登録の意義とお願い	福中勘治	巻頭言「開業医師に対する課税について」	川西 主
森永砒素ミルク中毒事件「経過と年表」	細川一真	第13回総会パネルディスカッション「インフレと医療の展望」	
あなたもどうぞ「花をたずねて幾万里」	吉田蒨樹	日医の医療政策の役割	松田和久
支部活動紹介「生野支部」	佐藤一夫	政府の医療政策と開業医	朝倉新太郎
テキスト「脳動脈硬化症」	白石純三	投稿「頭にくる話」	石田順一
大阪大学精神神経科		あなたもどうぞ「ボールにかける」	大村昌也
詰碁(サロン・ド・ゴ)	貴島和彦	あなたもどうぞ「静かなるブーム フライフィッシング」	石黒 清
本棚『夜の鷹』	京都からの報告』	特集「公費負担医療とは」1	
本棚『森永ヒ素ミルク中毒事件	竹内治一	公費負担医療の現状と問題点	朝倉新太郎
編集後記(小松良夫)		わが国の『公費医療』の戦前からの流れ	水野 洋
1974年10月号(NO.22)		結核予防法制定までの過程	小松良夫
表紙絵「くり」(酒井一雄)	益海政一	公害シリーズ「10月5日 それは1周年目の日」	那須 力
巻頭言「病者のための医療へ」	福中勘治	テキスト「貧血の臨床」	関西医科大学第1内科助教授 岡本緩子
支部活動紹介「平野支部」	桑原康則	文芸「サンフランシスコ」	吉田 甫
特集「中医協とは」	小松良夫	本棚『日本近代医学の歩み』	島喜一郎
「中医協」を「かくれ蓑」にさせない	松井幸民	本棚『闘』	松井幸民
中医協はどのようにしてできたか	野村 拓	詰碁「鉤鉅勢」(サロン・ド・ゴ)	
診療報酬引上げと中医協の推移	竹内治一	こんなこと(9月の主なできごと)	
中医協の本質	荻谷福吉	編集後記(松井幸民)	
「中医協解体論」について	石田順一	1974年12月号(NO.25)	
あなたもどうぞ「オーディオの仲間」		表紙絵「南天」(酒井一雄)	
あなたもどうぞ「油絵」		巻頭言「協会の二大方針に感銘」	早川 武
8・22医療団体緊急決起大会抄録		特集「公費負担医療とは」2	
詰碁問題「詐降勢」(サロン・ド・ゴ)		座談会「公費負担医療と住民運動」	
B ₁ 剤使用に際しての留意事項		「対岸の火事 堺市における公費負担の公害医療」	片山利貞
大阪の医療をよくする連絡会に府が第1次回答		公費負担医療の新たな問題点	竹内治一
こんなこと(8月の主なできごと)		ルポルタージュ「黒田知事を励まし革新大阪府政をさらにすすめる障害者と家族の要求を実現する府民集会」	小松良夫
本棚『ベンハイ川を越えて』	小松良夫	資料「医療制度・医療保障制度改革に関する構想(案)」	
本棚『慢性胃炎』	三嶋 孝	こんなこと(10月の主なできごと)	
文芸「ヴェロニカ」5(桂 力)		あなたもどうぞ「私の車アレコレ」	島喜一郎
テキスト「慢性胃炎」	小林恂三	座談会「激動の74年をふり返って」	
大阪市立大学医学部・第三内科		本棚『大阪自叙伝』	桂 力
編集後記(三田雄司)			
1974年11月号(NO.23)			

本棚『消化性潰瘍の薬物療法』

三嶋 孝

機関紙協会・小森事務局長と語る「大阪の医療・保険医運動の要に」
投稿「医師不信の声かくも強く」

守田由雄

投稿「腹にさすときの注意」

池田苗夫

詰碁「六道士逢厄勢」(サロン・ド・ゴ)

心電図「日常見られるEKGの症例」5(高梨忠寛)

テキスト「胃潰瘍の実態と治療」

国立大阪病院消化器科部長・阪大医学部内科 福井 興

文芸「小説『ヴェロニカ』私考とその背景」

桂 力

索引(通巻第13号～第26号)

編集後記(武井 久)

1975年1月号(NO.27)

表紙絵「金剛力士」(奈良東大寺法華堂、石田順一)

扉「紅梅絵と和歌」

尾上道清

巻頭言「家庭人の幸福」

藤沢桓夫

シリーズ自治体と医療

三府県合同座談会「革新自治体と医療」

医療における自治体の役割

朝倉新太郎

こんなこと(11月の主なできごと)

医薬品シリーズ「医薬分業をどう考えるか」

岩崎 正

皮膚科から内科へ「ステロイド外用剤の副作用」

安岡隆一

シリーズ外国の医療制度「ドイツ民主共和国の医療制度」1

日野秀逸

看護婦からひとこと「生きる権利に基づく看護の確立を」

中本冷子

あなたもどうぞ「古代史の謎を求めて」1

片山利貞

あなたもどうぞ「常夏の国 旅に句を拾う」

尾上道清

本棚『放射線と人間』

小松良夫

本棚『医療の癌を抉る』(インタビュー)

松井幸民

テキスト「心筋硬塞の診断と治療」

京都府立医大講師・京都府基金審査委員 松浦 徹

文芸「ヴェロニカ」6(桂 力)

編集後記

詰碁「老僧入定勢」(サロン・ド・ゴ)

1975年2月号(NO.28)

表紙絵「金剛力士」(興福寺、石田順一)

巻頭言「さらに新しい文化の灯を」

大岡欽治

シリーズ自治体と医療

座談会「黒田革新府政 輝かしい第二期を樹立しよう」
大阪の医療をよくするために

朝倉新太郎

短歌「黒田知事さんを推す」

澤トシ子

黒田府政の業績

黒田革新府政の継続をめぐる経過

これは便利「額帯鏡」

竹内治一

目でみる厚生社会保障統計「人口統計」(編集部)

奥さんこんにちは「鵜木先生の御家庭」

心電図「日常見られるEKGの症例」6(高梨忠寛)

開業保険医実態調査結果(調査部)

耳鼻咽喉科から他科へ「鼻内異物」「SM:KM治療と聴力検査」

内本栄光

新しい医学書

上原洋一郎

あなたもどうぞ「幕末・維新 長州の旅」

川口明夫

看護婦からひとこと「公立夜間保育所で働き続ける保障を」

堀内キヌ

本棚『革新大阪府政』

平井正也

本棚『蘆花徳富健次郎1』

小松良夫

こんなこと(12月の主なできごと)

テキスト「腎盂腎炎」

大阪府立病院腎疾患センター 飯田喜俊・岩崎悦子・白井大祿

文芸「ある画家の死」

真管南平

編集後記

詰碁

1975年3月号(NO.29)

表紙絵「月光菩薩」(東大寺法華堂、石田順一)

巻頭言「医療の専門家の立場から」

庄司 光

50年度国家予算にみる社会保障

沓脱タケ子

シリーズ自治体と医療

座談会「保険医と患者の権利を守る地域医療とは」

革新大阪府政第一期の成果とこれからの課題

加茂利男

奥さんと語る「知事夫人と語る」

シリーズ外国の医療制度「ドイツ民主共和国の医療制度2」

日野透逸

「28%特別措置法」改廃問題と診療報酬

木村弥太郎

眼科から他科へ「眼精疲労」

保田正三郎

あなたもどうぞ「右に左に、珍球を打ちわけ」

竹内治一

本棚『実践的医学概論』

松井幸民

本棚『からだの科学』60・61号

	三田雄司		波多野一男
目でみる厚生社会保障統計「人口推移」(編集部)		「仮面うつ病」と減点	
保団連第13回定期総会「50年度活動方針」			石塚忠義
こんなこと(1月の主なできごと)		「副水軟膏」と減点	
テキスト「高血圧症の診断と治療」			上田泰章
兵庫医科大学第1内科助教授 岩崎忠昭		明確な医学的根拠を示せ	
文芸「ヴェロニカ」8(桂 力)		小田健保訴訟の経過と現状	田中了介
編集後記		学問と審査問題について	川口重義
詰碁「猛虎駆羊勢」(サロン・ド・ゴ)			小田 一
1975年4月号(No.30)		資料「『保険診療研究』2巻9号より」(保団連)	
表紙絵「増長天」(東大寺戒壇堂、石田順一)		こんなこと(3月の主なできごと)	
巻頭言「医者者の運命」	幸日出男	あなたもどうぞ「種付け」	矢倉敏夫
特集「診療報酬引き上げ運動」		診療報酬引き上げの特集	
診療報酬引き上げの財源難を斬る	原口 力	座談会「診療報酬引き上げ運動と問題点」	
医療危機突破西日本保険医緊急代表者会議		各科保険診療の現状と問題点	
資料「診療報酬改定の年表」		耳鼻科(北尻金三郎)	
心電図「日常見られるEKGの症例」7(高梨忠寛)		小児科(成原忠彦)	
シリーズ外国の医療制度「イギリスの医療制度」	金子嗣郎	皮膚科(安岡隆一)	
あなたもどうぞ「プラモ10年」	水原貴城	眼科(保田正三郎)	
軍医シリーズ「医者にピストルはいらぬ」	故高倉中国先生	外科(稲松 滋)	
「二発のダムダム弾」	高倉 翔	産婦人科(杉村 保)	
「想い出の8枚の葉書」		医療労働者の賃金	庄野進夫
「故高倉先生の想い出」	宮軒安太郎	シリーズ外国の医療制度「ニュージーランド・オーストラリア」1	鶴木 淳
看護婦からひとこと「あゆみつづけて11年『あひるの会』」	植田嗣代	奥さんこんにちは「田中静之先生の御家庭」	
本棚『未来への遺産』	桂 力	テキスト「腹部単純X線写真の撮り方と読み方」	藤沢市民病院・放射線科部長 早野育男
本棚『抗生物質の使い方』	佐藤一夫	編集後記	
目でみる厚生社会保障統計「高齢化社会への備え」		詰碁「隠山谷勢」(サロン・ド・ゴ)	
こんなこと(2月の主なできごと)		1975年6月号(No.32)	
産婦人科から他科へ「胎児に対する薬物障害」	潮田富士男	表紙絵「雷神」(妙法院、石田順一)	
テキスト「慢性膵炎の診断の手順」		巻頭言「保険医療問題で革新府政の支えに」	宮沢信夫
大阪医科大学第二内科講師 若林 明		シリーズ外国の医療制度	
文芸「ヴェロニカ」9(桂 力)		座談会「アメリカ医療あれこれ」	
編集後記		インタビュー「医療の質向上に努力」	前田信雄
詰碁「五曜呈祥勢」(サロン・ド・ゴ)		臨床検査技師からひとこと「検査センターを利用する時の注意」	浅岡謙之助
1975年5月号(No.31)		医療危機突破西日本保険医決起集会	
表紙絵「弥勒思惟像」(広隆寺、石田順一)		軍医シリーズ「軍医とピストル」	富川篤郎
巻頭言「素晴らしい歴史の流れ」	榊原美文	本棚『爆発する宇宙』	桂 力
特集「審査問題」		本棚『賤民の後裔』	小松良夫
審査はどのようにおこなわれているか		こんなこと(4月の主なできごと)	
審査に思う		座談会「歯科医療の現状はどうなっているか」	
止むをえぬか、返戻通知		目でみる厚生社会保障統計	
		心電図「日常見られるEKGの症例」8(高梨忠寛)	

テキスト「尿情報による腎疾患の診断」 神戸大学医学部第2内科講師 佐藤英一	表紙絵「風神」(妙法院、石田順一) 巻頭言「寿命」	小野十三郎
文芸「パリからカサブランカへ」 吉田 甫	特集「私の戦後史」 部 転変の人生 転変の人生	
文芸・お医者たるもの1「当惑」 柴田象太郎		黒田了一
軍医シリーズを読んで 小宅 洋	戦後断章	三崎要一
編集後記 詰碁「単井勢」(サロン・ド・ゴ)	是々非々	尾花 茂
1975年7月号(NO.33)	中共軍の大夫	小林文徳
表紙絵「雷神」(妙法院、石田順一) 巻頭言「代表的大阪人」 毛利与一	報恩	塘 敏男
こんなこと(5月の主なできごと) 特集「第2期革新府政をどう発展させるか」 座談会「第2期革新府政をどう発展させるか」 第2期革新府政と大阪の医療 朝倉新太郎	映画フィルムの切れる日まで	片山利貞
医療の統一戦線組織を更に発展させ医療改善を 上田広蔵	部 心にやきついたページ アカシアの並木と榎の木立と	今出金吾
障害者に課せられた任務 松本晶行	母よ あなたは強かった	小山義裕
乳幼児医療の無料化と医療体制の拡充を 井上まさ	復員船で働いたこと	中川米造
革新府政建設への道は対府交渉の強化から 久井寿一郎	松阪の思い出	野田英造
府政との定期会合を! 中川豊馬	たった半日だけ通学した新制高校	守田由雄
教育条件整備の運動の中から革新府政を“大樹”へ 松村忠臣	泣いてもらった話	富山良子
憲法5原則を暮らしのすみずみに 本多淳亮	復員後の1年間	三田雄司
政策・ビジョンの学習・宣伝こそ発展への決定的意義 管生 厚	かぼちやとコンビーフ	西村 保
目でみる厚生社会保障統計 シリーズ・外国の医療制度「ドイツ民主共和国の医療制度」3 日野秀逸	バルナッスの丘に集った頃	野村 拓
原稿募集「なぜ医療費はふくらむか」 資料「大阪大学医学部研究現状調査集計報告」1 あなたもどうぞ「琵琶湖周航ヨットの旅」 村野 裕	部 開業医の道 敗戦の夢醒めて	加納繁美
本棚『ヘルスブック湯治場風土記』 倭馬左也	なんとか医者に	長門谷洋治
本棚『複合汚染(上)』 小松良夫	国破れて山河あり	藤澤文雄
テキスト「末梢循環障害」 総論(京都第二赤十字病院整形外科副部長 山下 渉) 症例解説(京都府基金審査委員・京都第二赤十字病院整形外科部長 岡田 皖) 文芸・お医者たるもの2「シャックリ」(柴田象太郎) 編集後記 詰碁「破竹勢」(サロン・ド・ゴ)	一老医の述懐	池田苗夫
	廃虚の中で開業す	江崎四十男
	住民の診療、そして選んだ政治の道	沓脱タケ子
1975年8月号(NO.34)	こんなこと(6月の主なできごと) 心電図「日常みられるEKGの症例」9(高梨忠寛) 講演「日本経済の動向と医療問題」 野村秀和	
	テキスト「X線診断時の患者被曝防護の実際」 大阪厚生年金病院 山田真三、水間寛、福岡薫、鶴飼康男	

投稿「ストーリー」			福山悦子
編集後記	池田苗夫	目でみる厚生社会保障統計	
詰碁「一將立切勢」(サロン・ド・ゴ)		シリーズ外国の医療制度「ドイツ民主共和国の医療制度」4	日野秀逸
		本棚『人間薬理学』	八ツ橋勉・城田脩爾
1975年9月号(NO.35)		本棚『ノモンハン』	小松良夫
巻頭言「医学と政治」	法橋和彦	資料「大阪大学医学部研究現状調査集計報告」2	
特集「大阪の公害」 大気汚染		テキスト「女子尿路感染症の実際」	東京電力電力病院泌尿器科医長 河野南雄
その現状と問題点	庄司 光	症例検討	神奈川県保険医協会講師団 中西淳朗
気象と大気汚染	中野道雄	文芸・お医者たるもの4「つぶし金」(柴田象太郎)	
大阪駅前の大気汚染調査について	尾崎一郎	編集後記	
大気汚染の人体影響	清水忠彦	詰碁「五将争鋒勢」(サロン・ド・ゴ)	
大気汚染とこどものかぜ症状	芹沢幸子	表紙絵「阿修羅」(興福寺、石田順一)	
大気汚染と耳鼻咽喉科疾患との関係	富山良子		
環境汚染監視センターからみた大気汚染の推移と問題点	井上 勉	1975年11月号(NO.37)	
女医さんこんにちわ「女医60余年の重み」		表紙絵「技芸天像」(秋篠寺、石田順一)	
	善見あい先生	巻頭言「生存否定に加担するか」	上田官治
放射線技師からひとこと「レントゲン発見から80年」	磯井義晴	特集「大阪市の医療」	
テキスト「結核治療における新しい考え方」	大阪府立羽曳野病院 山口 亘	座談会「大阪市の医療行政の現状と問題点」	
本棚『邪馬台の詩』	田中 宏	大学病院のふさわしい教育・研究・診療体制の確立を	大阪市立大学教職員組合医学部支部
本棚『迫る世界壊滅の日』	田中 宏	結核患者を切り捨てる大阪市の医療行政	大阪府患者同盟
こんなこと(7月の主なできごと)		障害者・家族に血のかよった市政を	
文芸「史跡連絡遊歩道に沿って 古代史散歩」	田中 宏	障害者(児)を守る会全大阪連絡協議会	
文芸・お医者たるもの3「減量」(柴田象太郎)		いつでも安心してかかれる医療体制を	大阪母親大会連絡会
編集後記		インタビュー「今は昔の大阪市医師会」	酒井一雄・久田賢二
詰碁「野猿過水勢」(サロン・ド・ゴ)		大阪市医療審議会について	島喜一郎
表紙絵「吉祥天女」(浄瑠璃寺、石田順一)		目でみる厚生社会保障統計	
		松尾論文「なぜ医療費はふくらむか」を読んで	
		なぜ医療費を国民医療向上に使わないか	成原忠彦
		医療費増大の真の原因は	三田雄司
1975年10月号(NO.36)		松尾論文の数値の再評価	川合日出雄
巻頭言「職業病の早期発見・早期治療」	辻村一郎	責任回避の松尾論文	石田順一
特集「大阪市の医療」		見当外れの三つの要因	安岡隆一
座談会「どうなる大阪市民の生命と健康」		安心して精進できる医療政策を	上原洋一郎
大阪市の医療・福祉行政 その矛盾と問題点	島喜一郎	資料「松尾均『なぜ医療費はふくらむか』」	
統計資料からみた大阪市国民健康保険	島喜一郎	本棚『播磨灘物語』	稲次直己
大阪市の結核	小松良夫	本棚『ガン病棟の九十九日』	小松良夫
こんなこと(8月の主なできごと)			
心電図「日常見られるEKGの症例」10(高梨忠寛)			
管理栄養士からひとこと「あゆみつづけるわかきさ会」			

こんなこと(9月の主なできごと)

75年大阪府知事選挙の総括

テキスト「めまいの診断と治療の実際」

大阪大学講師 松永 喬

文芸「スペインとこころ」

吉田 甫

文芸「お医者たるもの」5「待合室」(柴田象太郎)

編集後記

詰碁「明珠出海勢」(サロン・ド・ゴ)

1975年12月号(No.38)

表紙絵「十一面観音立像」(渡岸寺、石田順一)

巻頭言「政治の革新と医師団体への期待」

福井英雄

特集「揺れ動く70年代前半・いのちとくらし」

1974～75年世界恐慌と日本

中川信義

激動下の社会保障

吉田秀夫

1970年代前半の医学・医療技術

上林茂暢

心電図「日常見られるEKGの症例」11(高梨忠寛)

本棚『癌X線読影講座「胃癌X線読影の実際」』1

西野和彦

本棚『人体の驚異 レナルト・ニルソンの世界』

松井幸民

女医さんこんにちわ「阪口ホスピタル」

こんなこと(10月の主なできごと)

テキスト「神経内科領域の診断と実際」(前)

大阪大学第2内科 植田啓嗣

1 神経内科領域 診療の手引き

大阪大学第2内科 植田啓嗣

2 脳波のとりかた、みかた

大阪府立成人病センター 廣瀬憲文

3 髄液の生理と検査法

大阪大学第2内科 浜口知昭

4 筋電図の臨床

大阪大学第2内科 竹内博明、高橋光雄

索引(通巻27号～38号)

文芸・お医者たる者6「夢」(柴田象太郎)

編集後記

詰碁「玉鉤勢」(サロン・ド・ゴ)

1976年1月号(No.39)

表紙写真「大阪城」

三田雄司

巻頭言「ためらいなく『おめでとう』が言える日を」

横田三郎

特集「揺れ動く70年代後半・医学医療の展望」

地域医療を原則とした新しい形の医療へ

中川米造

開業医批難から開業医の管理へ

川上 武

「医療圏」設定による地域社会管理の進行

野村 拓

我家のお雑煮

我 黒田家の味

黒田了一

“病気に日曜はありません”

中野信夫

幸祈る祖先の知恵

今村佳洋子

味噌汁のおすまし雑煮

稲次美恵子

しきたりの移り変わり

片山利貞

看護婦さんとののはらはらした元旦の式

宇都宮健生

来訪待って心づくし

小松ひさ江

産地直送海老入り雑煮

稲松 滋

一味違う肉の味噌漬

大村清一

女尊男卑の正月

松井幸民

室町時代からの雑煮の由来

竹内治一

こんなこと(11月の主なできごと)

シリーズ「大阪の公的医療機関」1

大阪府職業病センター

水野 洋

第14回定期総会

記念講演「28%問題を中心とした医業課税論」

谷山治雄

「住民からも信頼され、お互いに親しみあえるみんなの協会へ」

桑原康則

座談会「統一の道開かれた北ベトナムを訪れて」

あなたもどうぞ「森と湖と雪山と カナダ旅行」

堀辺四郎

本棚『遙かなる山河』(画集)

K・K生

本棚『医療システム化の将来』

武井 久

支部だより「相続税と贈与税対策」(東成支部)

シリーズ日本の教育・世界の教育

「現代に生きているベストロッチ」

高倉 翔

資料「大阪大学医学部研究現状調査集計報告」3

病室より「こぼれちよるか 見ちよります」

武井 久

テキスト「神経内科領域の診療と実際」(中)

大阪大学第2内科 植田啓嗣

1 神経内科領域 意識障害へのアプローチ

大阪大学第2内科 植田啓嗣

2 脳卒中 脳出血のトピックス

大阪大学第2内科 畑中良夫

3 脳卒中の治療

大阪大学第2内科 大原俊樹

文芸「沖縄十首」

文芸「ヴェロニカ」9(桂 力)	吉田 甫	巻頭言「医療の信頼性の向上」	三田雄司
編集後記			細川修治
詰暮(サロン・ド・ゴ)		特集「地域医療の諸問題」	
1976年2月号(No.41)		地域の医療要求にどう応えるか	
表紙写真「四天王寺」	西川雄之助	泉大津医師会における年間の地域医療活動	岩崎 正
巻頭言「言葉」	藤本義一	住民運動からみた地域医療	心臓病児と森永ミルク中毒被害児 細川一真
特集「地域医療の諸問題」		学校保健の立場からみた児童生徒の健康問題	大西政子
地域の医療要求にどう応えるか		全国に先がける病児保育運動	南 貢
地域医療と開業医の役割	朝倉新太郎	地域医療私見	尾花 茂
保健所における「地域保健医療」の実践	丸山 創	「地域医療」特集執筆者報告会	
リウマチ患者と共に	藤村英夫	病室より「わたらの病院(1)」	武井 久
子宮ガン検診	原見権一	シリーズ日本の教育・世界の教育2「子どもと遊び」	高倉 翔
救急医療について	吉村輝久雄	シリーズ「大阪の公的医療機関」3	
「保険医雑誌」アンケート調査報告		大阪市立弘済院附属病院	磯 典理
シリーズ「大阪の公的医療機関」2		あなたもどうぞ「シベリアの女たち」	大形順子
大阪府立羽曳野病院	山口 亘	あなたもどうぞ「筆をもつお医者さん」	川崎晃彦
患者からひとこと「専門病院・専門医と公費負担の確立を」	小笠原政子	本棚『認識の風景』	内本栄光
リウマチ友の会		本棚『近代の斑鳩の素顔』	今村芳明
支部だより「支部活動の3つの方針」(生野支部)	伊達一男	70年代前半の協会活動	総辞退から4千名達成まで 鶴木 淳
鷗外の「医精不可課税論」をめぐって	岩崎 正	投稿「私の結婚観」	富川篤郎
小説『複合汚染』への反証	磯野 甫	支部だより「脱線、笑い、怒りを混ぜながら」(寝屋川・門真合同支部)	
本棚『「南進」の系譜』	武井 久	こんなこと(1月の主なできごと)	
病室より「あほう事件とおまえ事件」	松田 清	資料「大阪大学医学部研究現状調査集計報告」4	
あなたもどうぞ「患者に手作りの漬物を」	植田啓嗣	テキスト「うつ血性心不全 診療と治療」	大阪大学医学部第一内科 榊原 博
心電図「日常みられるEKGの症例」11(高梨忠寛)	中田俊士	文芸「建国記念日」	吉田 甫
こんなこと(12月の主なできごと)	高橋光雄	編集後記	
テキスト「神経内科領域の診療と実際」(後)	千野一竹	詰暮「奇遠勢」(サロン・ド・ゴ)	
1 神経内科領域、血液化学的検査		次号予告	
2 神経内科領域における治療のコツ		1976年4月号(No.43)	
文芸「病室より」		表紙写真「住吉大社の太鼓橋」	村田 進
文芸「ヴェロニカ」10(桂 力)		巻頭言「應無所住而生其心」	佐藤一耕
編集後記		特集「堺市の医療」	
詰暮「死中得活勢」(サロン・ド・ゴ)		堺市の医療	片山利貞
1976年3月号(No.42)		堺市の医療状況を示す若干のデータ	
表紙写真「大阪城梅林」			

堺市における老人医療の実態について	福永宏海	協会なしに守られない保険医	桑原康則
年未年始における休日診療	木下秋水	不当な監査に反対して	稲次直巳
堺市の学校心臓検診	松山文夫	このようにして保険医と被保険者が手を	桑原英武
堺市学校医会の特色	竹中恒夫	こうして生まれた堺の保険医協会	三田雄司
公害医療 内科	尾花 茂	今は懐し創立時の苦労	田中静之
公害医療 小児科	安賀 昇	昭和20年代の医療制度	浜元マツヨ
最近の堺市の大気汚染地域の移動について	芹沢幸子	座談会「第1次保険医協会創立の頃あれこれ」	小松良夫
堺市の名菓	富山良子	資料「第1次保険医協会運動略年表」	
南宗寺	片山利貞	病室より「その子どもたちの将来は」(武井 久)	
堺市章		シリーズ「大阪の公的医療機関」5	
支部だより「支部の歩みと今後の課題」(住吉・住之江合同支部)		大阪市立小児保健センター	大浦敏明
シリーズ「大阪の公的医療機関」4		看護婦からひとこと「私の悩み どうすればよい看護が」	前島町子
大阪府立成人病センター		支部だより「ゆっくりと確実に伸びる支部めざして」(守口支部)	
あなたもどうぞ「家族そろってスキーを」	田村 宏	本棚『お経のわかる本』	片山利貞
座談会「医学生と語る」	磯野 甫	本棚『安楽死』	大村清一
本棚『日本の黒幕』「小佐野賢治の巻」(上)	宇都宮健生	あなたもどうぞ「江戸小唄」	横山重孝
本棚『従軍慰安婦悲史』	小松良夫	シリーズ「日本の教育・世界の教育」3	
病室より「わたらの病院2」	武井 久	「ゴール・フリー・エジュケーション」	高倉 翔
こんなこと(2月の主なできごと)		テキスト「老人医療について」	
心電図「日常みられるEKGの症例」12(高梨忠寛)		大阪市立大学第2内科教授	和田正久
大阪における開業保険医の実態と意見 昭和50年度実態調査の報告(調査部)		文芸「ペンギンの住む島」	
テキスト「突発性難聴」	近畿大学医学部耳鼻咽喉科教授	文芸「お医者たるもの」7「新緑」(柴田象太郎)	吉田 甫
テキスト「輸液の考え方」	太田文彦	編集後記	
大阪大学医学部麻酔科助教授	吉川 清	詰碁「劉仲甫勢」(サロン・ド・ゴ)	
文芸「夜のうた」	桂 力	次号予告	
文芸「病むどち」	千野一竹	「私の戦後史」原稿募集	
編集後記		1976年6月号(No.46)	
詰碁「二仙出洞勢」(サロン・ド・ゴ)		表紙写真「八尾の豆狸」	貴島和彦
「私の戦後史」原稿募集		巻頭言「人の魂をゆさぶるもの」	すずききよし
1976年5月号(No.45)		特集「薬価のカラクリを探る」	
表紙写真「中之島」	佐藤一夫	医薬品業界の現状の医療経営	二場邦彦
巻頭言「人間を大切にしてるんやネェ！」	柴田 仁	銘柄別薬価収載方式が実施されたらどうなるか	土岐 卓
こんなこと(3月の主なできごと)		薬価基準を批判する	平井賀久
特集「第1次協会時代の歴史と教訓」		『薬事』3月号「薬価基準に関する諸問題」を読んで	平井賀久
保険医運動の勃興 昭和20~23年間の想い出			

座談会「開業保険医にとって薬価とは」		帯野 隆
シリーズ「大阪の公的医療機関」6		
大阪府立公衆衛生研究所		
	浅尾博一	
心電図「日常みられるEKGの症例」13(高梨忠寛)		
病室より「老人というものは1」(武井 久)		
支部だより「細やかな人情と温か味ある市民のために」(八尾支部)		
本棚『薬殺列島』		
	加藤宗男	
本棚『北天の星』		
	川浪暎二	
あなたもどうぞ「こちらアマチュア無線」		
	尾崎一郎	
「酒の味 知ったかぶり聞きかじり」		
	佐藤一夫	
こんなこと(4月の主なできごと)		
小特集「岩崎公判」		
記念講演「憲法30年と議会制民主主義」		
	河村武信	
テキスト「老人の医療2 高齢者における循環器・呼吸器疾患診療例の問題点」		
大阪市立大学第2内科教授 和田正久		
(森井浩世、関淳一、藤井暎)		
テキスト「ペインクリニックの現状」		
大阪大学医学部麻酔科助教授 吉川 清		
文芸「花」		
	尾上柊青	
編集後記		
「私の戦後史」原稿募集		
次号予告		
		1976年8月号(No.50)
		表紙写真「天王寺美術館」
		柳本昭三
		巻頭言「『花子』の感想」
		浅野孟府
		特集「私の戦後史」
		奇跡の生還
		野間 明
		屍の中を歩く
		松家雪枝
		ルソンから日本へ
		三崎要一
		ペニシリン1本が米1俵
		中沢 徹
		開業の頃
		桐島正義
		医学と心のささえを求めて
		下条文雄
		初月給4,000円、いまはなつかしく
		芹沢幸子
		終戦後折にふれて
		小林文徳・八百子
		若かりし日のレジスタンス
		深尾 正
		故郷沖縄の地を踏みしめた時
		名嘉山興全
		焼跡に残る校長訓話
		平井初美
金城湯地をゆるがす革新府政実現への力	稲次直己	
金権は野放し、民主主義が選挙違反?	貴島和彦	
検事の欺瞞性と選挙法のカラクリに怒り	山本義昌	
常識が勝つ		

- 食糧パニックとリュックサック
ただ一人の卒業式
モンゴロイドに教えられ脳性麻痺児と共に
戦後の北区医師会あれこれ
心電図「日常みられるEKGの症例」14(高梨忠寛)
病室より「階段ばなし」(武井 久)
本棚『流離の革命家 国崎定洞の生涯』
こんなこと(6月の主なできごと)
危機に立つ産婦人科(大阪産婦人科対策委員会)
看護婦さんのほしい医院のために
テキスト「夏にみられる小児のウイルス感染症」
文芸「旅は楽し」
次号予告
- 1976年9月号(No.51)
表紙写真「緑の讃歌」
巻頭言「医科大学増設ラッシュの後にくるもの」
特集「急げ!救急医療対策」
開業保険医からみた救急医療の現状(政策部)
座談会「救急医療担当者から提起する現状と問題点」
座談会「住民が安心して眠れる救急体制を」
病室より「老人というものは(3)」(武井 久)
本棚『マルクス主義と環境問題』
シリーズ「大阪の公的医療機関」8
大阪府立救急救急医療情報センター
あなたもどうぞ「シルクロードの旅・古都プハラ」
あなたもどうぞ「古代史の謎を求めて」2
小特集「70年代後半の医療問題・医療政策」
70年代後半の医療問題
資料「各政党の医療政策」(抜粋)
支部だより「会員の声を反映し今一番の奮起を」(阿倍野支部)
テキスト「ホルモン治療 特に更年期障害について」
大阪大学医学部産婦人科教授 尾崎公己
こんなこと(7月の主なできごと)
インタビュー「自叙伝掲載にあたって」
編集後記
次号予告
- 1976年10月号(No.52)
表紙写真「泉北ニュータウン」
- 小山義裕
北林忠正
村井正直
尾上道清
小松良夫
西田健三
武田博之
岡 宗夫
島喜一郎
堀辺四郎
片山利貞
野村 拓
富川篤郎
下条文雄
- 巻頭言「中国に思う」
特集「各科にみるこの不合理」
皮膚科泌尿器科・座談会「義理と人情にも限度がある」
産婦人科「前門の狼、後門の虎」
耳鼻咽喉科・座談会「扁桃の手術ができるように」
眼科「量より質へ 眼科不合理診療三題」
精神神経科「この不合理性 乳幼児加算のない脳波検査の実態」
外科「入院患者をとるべきか外来のみに徹すべきか」
内科・対談「不合理点数の是正こそ、住民の理解うる橋頭堡」
小児科専門病院「専門技術が生かせる点数設定を」
病院「診療所・病院が団結して」
8・24診療報酬引上げ大阪保険医緊急集会
8・29診療報酬引上げ・国民医療改善要求全国保険医決起大会
あなたもどうぞ「私と山」
シリーズ「大阪の公的医療機関」9
大阪府立中宮病院
心電図「日常みられるEKGの症例」15(高梨忠寛)
診療所拝見1「ふる里を思わせる民芸風建築」
本棚『火の鳥』
目でみる厚生社会保障統計
こんなこと(8月の主なできごと)
テキスト「側頭骨骨内に病変のある末梢性顔面神経麻痺の臨床」
文芸「自叙伝」1「空転」
文芸「月下美人」
編集後記
次号予告
原稿募集「わが中学時代の思い出」
- 1976年11月号(No.53)
表紙写真「心斎橋」
巻頭言「自治体と医療行政」
特集「ひろがる職業病」
座談会「職業病と開業医」
職業病概説
労働衛生コンサルタントの役割
病室より「四角いくわい」(武井 久)
診療所拝見2「機能的な配置に工夫」
- 野崎道郎
澤トシ子
保田正三郎
布施勝市郎
中野博光
宮 芳久
名嘉山興全
執行経世
平井医院
竹内治一
森 弘
富川篤郎
吉田 甫
水野 洋
田尻俊一郎
橋医院

シリーズ「大阪の公的医療機関」10 大阪府立身体障害者福祉センター	花岡俊行	大阪市立大学第1内科助教授 三木文雄	文芸「初冬」	千野一竹
支部だより「親しみあるブロックめざして」(河南ブロック) 本棚『がんを追いつめる』	松井幸民	索引(通巻39号~54号) 編集後記 次号予告		
本棚『書物とのかかわり』	田中静之	1977年1月号(No.55)	表紙写真「港大橋」	三田雄司
あなたもどうぞ「77歳の悪戦苦闘みてある紀 カナダ」 漆原滋雄			トピラ「新雪の立山」	山田嘉一郎
目でみる厚生社会保障統計「平均寿命・死亡」 テキスト「糖尿病患者の管理」 国立大阪病院内科医長・阪大医内科講師 泉 寛治	泉 寛治		巻頭言「私の健康法」	辻 久子
こんなこと(9月の主なできごと) 文芸「自叙伝」2「空転」(富川篤郎)			特集「転機にたつ開業医」 生保会社の「疾病特約」の進出と開業医の将来	野村 拓
編集後記 次号予告 原稿募集「わが中学時代の思い出」			国の根本政策の見究めを 経済学者の立場から	松田和久 横田三郎
1976年12月号(No.54)			生命をめぐる国民的総討論が起こらないのはなぜ?	島喜一郎
表紙写真「マルビル」	小山博三		開業保険医の未来は、我々の手で!!	島喜一郎
巻頭言「客車に喫煙室を」	山根銀二		「明日の開業医」 患者とのふれあいの場を	鶴木 淳
特集「ひろがる職業病」 じん肺	瀬良好澄		診療時間短縮で稀少価値を高めよう	富山良子
有機溶剤中毒	原 一郎		疾病の変動と内科的耳鼻科医への転進	柴田象太郎
職業性皮膚炎の動態とその対策について	西谷宣雄		あすの外科医の苦笑い	原 省吾
疲労性職業病	吉田正和		患者も納得する診療の夢	保田正三郎
労働衛生行政からみた職業病 大阪労働基準局労働衛生課			人生のあらゆる相談をうける精神科医の悩み	布施勝市郎
「先生、叱りとばしてください」	佐藤公次		20年、今昔「開業医」物語	三崎要一
「合理化」でどんどん進む健康破壊	坂井宝真		今後の地域医療の一問題	奥村千蔵
資料「職業病・労働衛生に関する参考図書」	水野 洋		二つの事実をマークせよ	片山利貞
資料「労働安全衛生大学講座教育要綱」 病室より「パブリックてなに?」(武井 久)			私の健康法「ふりそそぐ太陽の下 歩く会と畑作」	上田泰章
本棚『医心伝真』	西野和彦		あなたもどうぞ「注射器を絵筆にもちかえ ひかる信州の秋」	山田嘉一郎
シリーズ「大阪の公的医療機関」11 大阪府赤十字血液センター	田中正好		我家のおせち 毎年変わる主人の手作り	鶴木幸子
あなたもどうぞ「相撲小感」	平嶋 収		亡き姑の遺言を守って	福中都生子
心電図「日常みられるEKGの症例」16(高梨忠寛)			賞めたたえられる我がオードブル	田中了介
放談会「1976年をふりかえって」 こんなこと(10月の主なできごと)			結構うまいあなごのこぶ巻	平井賀久
テキスト・大阪府保険医協会第15回総会記念講演 「薬効評価後の抗生物質の正しい使い方」				

貧しい山国の精進煮しめ			細川一真
本棚『日本医師会』	尾上道清	本棚『農村医療にかけた30年』	福中勘治
わが中学時代	平井正也	あなたもどうぞ「やきもの談義」	徳永照正
若き日の恐しい思い出 第一次室戸台風	片山利貞	あなたもどうぞ「短歌と共に45年」	吉田 甫
支部だより「広域のなか、会員の声を聞くために」(堺支部)		目でみる統計資料「患者に信頼の厚い開業医」	
特別講座「痛み」		特別講座「黄疸」	
“痛み”	大阪大学整形外科 小野啓郎	黄疸の発生機構	国立泉北病院消化器科 高橋洋一
痛みの薬理学		血液疾患と黄疸	大阪大学輸血部 川越裕也
頭痛 問診の進め方を中心に	大阪大学歯学部 猪木令三	肝胆道疾患と黄疸	大阪大学第二内科 関 孝一
腹痛 その基礎と外科外来における診療のすすめ方	大阪大学第2内科 中田俊士	黄疸の手術適応	大阪大学第二内科 岡村 純
腰痛・坐骨神経痛	大阪大学整形外科 中川一刀	こんなこと(12月の主なできごと)	
こんなこと(11月の主なできごと)		編集後記	
文芸・自叙伝「空転」		詰碁(橋本宇太郎)	
	富川篤郎	勝敗をさぐる(吉野俊宏)	
文芸「石路」		次号予告	
文芸「新年」	尾上柊青		
	千野一竹	1977年3月号(No.57)	
編集後記		表紙写真「大阪南港」	柳本昭三
詰碁(橋本宇太郎)		巻頭言「医は何術か」	露乃五郎
勝敗をさぐる(吉野俊宏)		特集「急増するといわれている医療費の実態は何か」	
次号予告		「医療費の増大」とは何か	野村 拓
		急増するといわれている医療費の実態	真田 是
1977年2月号(No.56)		座談会「医療費増の実態は何か」	
表紙写真「大阪駅前ビル」	三田雄司	資料「惑わされやすい最近の医療統計から」	
巻頭言「死の価値」	かたおか しろ	私の健康法「真向体操法とエアロビクス運動法」	加納嘉文
特集「予防接種の問題点をさぐる」	朝倉新太郎	わが中学時代「2・26事件の頃の仏教中学」	小松良夫
我国伝染病対策の特質と予防接種		あなたもどうぞ「20年後に夢果たす尾瀬ヶ原紀行」	細野 猛
予防接種に関する歴史	栗村 敬	本棚『医師の世界 その社会学的分析』	上原洋一郎
予防接種と医師の役割	松井昌次	本棚『塔』	
予防接種被害者の求めるもの	河島二郎	特別講座「生物時計」	村田 進
衛生行政と予防接種の問題について	西宮 毅	時間生物学	
座談会「開業医からみた予防接種の問題点」		大阪大学蛋白研究所 中川八郎	
診療所拝見3「明るく軽快で親しみあふれる」	辻田外科・皮泌科	バイオリズム研究の現況と将来	大阪大学蛋白研究所 中川八郎
「日常みられるEKGの症例」17(高梨忠寛・加藤孝和)		性周期とその異常	大阪大学産婦人科 尾崎公巳
私の健康法「あびこ公園10周めざし 摩擦で爽快」	松井幸民	睡眠周期とその異常	大阪大学精神神経科 南野寿重、菱川泰夫
支部だより「地域との接点を着実に」(城東・鶴見支部)		生体リズムと内科臨床	
本棚『ベヴァリジ回顧録 強制と説得』			

大阪大学第三内科 森本靖彦	文芸・自叙伝「空転」5(富川篤郎)
こんなこと(1月の主なできごと)	特別講座「脂肪の臨床」
文芸・自叙伝「空転」(富川篤郎)	脂肪代謝と食餌
編集後記	大阪大学歯学部生化学教室 井上秀夫
詰碁(橋本宇太郎)	高脂血症と動脈硬化
勝敗をさぐる(吉野俊宏)	愛媛大学中央検査部 武内 望
次号予告	脂肪肝の成因と治療
	大阪大学第一内科 鎌田武信
1977年4月号(No.58)	肥満症
表紙写真「南天満公園」	大阪大学第二内科 石川勝憲、山本 章
三田雄司	文芸「なにわデカメロン」第1話
巻頭言「人生の貴い一ページ」	「かたき討ち(前編)」
四谷龍胤	野間 明
特集「2・26診療報酬上げ遅延抗議近畿保険医大会」	文芸「ベニス」
大会委員長挨拶「国庫負担の要求を前面に国民との大きな運動を」	吉田 甫
桑原康則	編集後記
保団連会長挨拶「全国保険医の要求を集めた大会の成果を全国に」	詰碁(橋本宇太郎)
中野信夫	勝敗をさぐる(吉野俊宏)
基調提案	次号予告
平井正也	
運動に立ち上がりずして要求実現の道はない	1977年5月号(No.59)
西山 茂	表紙写真「団地の五月」
生命を削っている低医療費	武田博之
清水幸太郎	巻頭言「文化の後進性」
診療報酬だけがなぜ据え置かれるのか	吉田太郎
八木 哲	特集「参議院選挙を考える」2
歯科問題を障害とせず診療報酬引き上げを	日医の政治的動向
加藤隆正	政治変動の方向は果たして何か
老人福祉充実のため国や自治体はいかに努力してるか	大西利穂
負担できぬ貧乏人は健保から切り捨て	島喜一郎
政府責任の赤字の穴うめを国民労働者に?	日野 豪
野村和夫	革新自治体を生み出した原点に
岩崎 正	中道の実現を見きわめ今から府知事選を
開業医駆逐の道か、真の救急医療確立の団体署名の道か	貴島康彦
由井英三郎	国民医療を守る薬剤問題の正しい解決を
桐島正義	要求を反映する民主主義を貫ぬく政治を
2・26大会に参加して	小林愛次郎
澤トシ子/菱本四郎/松井福太郎	わかりきったことですが
こんなこと(2月の主なできごと)	木村弥太郎
診療所拝見「診療所から病院へ」	さしせまる参議院選挙と協会の立場
杉村産婦人科	自民党医系候補走る 埼玉の場合(編集部)
「日常みられるEKGの症例」18(高梨忠寛・加藤孝和)	本棚『生命と医科学』
私の健康法「アスレチッククラブで生活のリズムを」	山本 漸
特集「参議院選挙を考える」2	本棚『薬 その安全性』
「医師政治連盟とはなにか」	井口正巳
野村 拓	私の健康法「すぐ眠れる環境を」
本棚『不思議の国ニッポン』『続不思議の国ニッポン』	竹中恒夫
三田雄司	あなたもどうぞ「湖北の網漁」
支部だより「北摂ブロック」(藤沢直行)	田中 宏
	わが中学時代「受験番号も忘れるパンカラ秀才」
	尾花 茂

支部だより「毎月行事を活発に」淀川・東淀川支部)
 特別講座「抗生物質の使い方」
 各種抗生物質の長所と短所
 大阪大学保健管理センター第三内科 大河内寿一
 消化器疾患領域
 淀川キリスト教病院内科 垣内義亨
 泌尿器科領域
 大阪大学泌尿器科 古武敏彦
 小児科領域
 大阪大学小児科 大国英和
 文芸「なにわデカメロン」第1話
 「かたき討ち(後編)」(野間 明)
 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)
 勝敗をさぐる(吉野俊宏)
 次号予告

1977年6月号(No.60)

表紙写真「いちょう並木」 西川雄之助
 巻頭言「医者の特称」 井上俊夫
 特集「府民の合意で進めよう、本格化した救急医療運動」
 救急医療をすすめるうえでの二つの問題 朝倉新太郎
 後送病院の整備と身分保障の確立を 竹内治一
 第三次救急の整備拡充を 野崎道郎
 救急医療のカテゴリゼーション化と情報のシステム化を 桂田菊嗣
 こんな救急車も必要なのでは 三田雄司
 資料「大阪における救急医療改善のために(案)」
 大阪府保険医協会の見解
 資料「大阪の救急医療条例化運動に対する大阪府医師会の見解」
 大阪府医師会
 資料「大阪府緊急医療の確立に関する条例制定請求書」
 大阪総評・自治労大阪本部・北大阪生協
 消費者友の会との懇談会「住民参加の救急体制を」
 こんなこと(3月の主なできごと)
 本棚『PO内科診断マニュアル』 川合日出雄
 本棚『梵鐘巡禮』 稲松 滋
 診療所拝見「テレビレントゲン等を備え意欲的診療」
 小山診療所
 「日常みられるEKGの症例」19(高梨忠寛・加藤孝和)
 あなたもどうぞ「ニュージーランド、オーストラリア、
 パプア・ニューギニア見記」1 吉田正和
 私の健康法「手軽なナフトビと見果てぬ夢」 佐藤一夫
 「東洋医学の断面」 小林良英

特別講座「ガンの診断と対策」
 根治はホルモン治療で可能か
 大阪大学癌研究所 松本圭史
 肺癌の診断と対策
 大阪大学第三内科 平尾文男
 胃癌診断の問題点と最近の手術成績について
 大阪大学第二内科 東 弘
 上部尿路腫瘍の診断
 東大阪市立中央病院泌尿器科 永原篤、三好進
 近畿大学泌尿器科 郡健二郎
 文芸・自叙伝「空転」6 富川篤郎
 文芸・なにわデカメロン第2話
 「ぶらり勘兵衛(前編)」(野間 明)
 文芸「アテネはさびし」 吉田 甫
 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)
 勝敗をさぐる(吉野俊宏)
 次号予告

1977年7月号(No.61)

表紙写真「城北公園の菖蒲園」 三田雄司
 巻頭言「保険訓」 住谷悦治
 特集「大阪の医師 幕末・明治編」
 大阪の町医列伝をめぐって 中野操先生にきく
 大阪医学風土記年表
 明治期の大阪の医育機関をめぐって 松田 武
 産婦人科医・緒方正情 長門谷洋治
 長寿医師「熱っぽく大阪の医療を語る」
 わが中学時代「通天閣は聳える」 小林文徳
 特集「府民の合意で進めよう、本格化した救急医療運動」2
 4・29救急医療シンポジウム
 医療連絡会の結成 八尾における救急問題 西野和彦
 開業医に協力するママさん救急を 堺市における救急医療問題
 片山利貞
 あなたもどうぞ「南太平洋のスリルある海底ハンティング」
 野中一彦
 あなたもどうぞ「ニュージーランド、オーストラリア、
 パプア・ニューギニア見記」2 吉田正和
 こんなこと(4月・5月の主なできごと)
 テキスト「高血圧の降圧剤療法の動向」
 大阪大学医学部第一内科講師 額田忠篤
 特別講座「老化」
 老化と免疫 熊本大学第二内科 岸本 進
 老化と精神機能 大阪大学精神科 西村 健

老化と骨					平井初美
老化と性功能	大阪大学整形外科	水島哲也	自由なメルヘンの世界	スイスの首都ベルン	加藤直彦
本棚『天台小止観』	大阪大学産婦人科	谷沢 修	ガーナの休日		加藤宗男
文芸・なにわデカメロン第2話	坐禅の作法』	片山利貞	森と川と湖と		村田 進
「ぶらり勘兵衛(中)」(野間 明)			山と溪谷のパラード雪岳山		尾崎 巖
編集後記			人情豊かな田舎町	学園都市チャペルヒル	西野和彦
詰碁(橋本宇太郎)			座談会「海外旅行あれこれ」		貴島和彦
勝敗をさぐる(吉野俊宏)			本棚『県民医療の処方箋』		高沢 忠
1977年8月号(No.62)			わが中学時代「百万石の城下町通った路はいまも」		高沢 忠
表紙写真「南港暮色」	山蔭一象		こんなこと(6月、7月の主なできごと)		稲次直己
巻頭言「自立的な女性像」	八橋一郎		私の健康法「50歳まで野球を 70歳までテニスを」		稲次直己
特集「保険医協会この15年」			テキスト「突発性心筋症について」		永田正毅
座談会「保険医協会この15年」			特別講座「高血圧症」		高血圧症発症の機構
大阪府保険医協会15年史年表			高血圧症発症の機構	愛媛大学第二内科	上田英之介
本棚『いっさい夢にごさ候』	本間雅晴中将伝』	小松良夫	高血圧症の診断と治療	府立成人病センター	赤神宏尚・柴田宣彦
診療所拝見「CTスキャンでチーム医療推進の拠点に」	豊中医療センター中西神経科		高血圧と脳卒中	大阪大学第一内科	額田忠篤
「日常みられるEKGの症例」20(高梨忠寛・加藤孝和)			高血圧症と心障害	市立豊中病院内科	村尾茂雄・加茂保治
あなたもどうぞ「モーターボート」	佐藤一夫		文芸・なにわデカメロン第3話		「鈴(前編)」(野間 明)
あなたもどうぞ「チロルの思い出」	山本博也		編集後記		詰碁(橋本宇太郎)
特別講座「輸液の臨床」			勝敗をさぐる(吉野俊宏)		次号予告
輸液総論	大阪大学第二外科	岡山和弘	1977年10月号(No.65)		表紙写真「南港大橋」
内科臨床と輸液			巻頭言「『難病』問題の焦点」		三田雄司
大阪大学第一内科	安東明夫・福原吉典・折田義正・阿部裕		特集「『難病』現状と問題点を探る」		東田敏夫
外科手術と輸液			“難病”救済に暖かい手を	これだけは知っておこう	島喜一郎
大阪大学第一外科	宗田滋夫・岡田正		医療上必要な血液は国の責任で	全国心臓病の子供を守る会	
小児の輸液療法	大阪大学小児科	飯田喜彦	プレドニンの使用方に不安	全国筋無力症友の会	
文芸・なにわデカメロン第2話			ベーチェット・センターの早期実現を	ベーチェット病友の会	
「ぶらり勘兵衛(後編)」(野間 明)			一層治療法の研究をお願いしたい	全国腎炎・ネフローゼ児を守る会	
編集後記			スリも泥棒もいない街	ユーゴのドブロブニク市	大阪スモンの会
詰碁(橋本宇太郎)					
勝敗をさぐる(吉野俊宏)					
次号予告					
1977年9月号(No.63)					
表紙写真「梅田阪急32番街」	三田雄司				
巻頭言「医者の子の雑感」	川崎彰彦				
特集「海外の旅 わたしのパスポートから」					
アメリカの恐竜遺跡	越田 豊				

難病診療の簡単な手びき	村田 進	大阪大学第二外科 岡村純・門田守人・柴田信博 手術とDIC
こんなこと(8月の主なできごと) 「日常みられるEKGの症例」21(高梨忠寛・加藤孝和) あなたもどうぞ「古代史の謎を求めて」3 「邪馬壹国の謎」(片山利貞) あなたもどうぞ「医学革命をもたらすCTスキャン で脳疾患の早期発見を」	中西 昭	大阪府立成人病センター外科 今岡真義 文芸・自叙伝7「希望を失い、転進を決意」(富川篤郎) 文芸・なにわデカメロン第4話 「つけぼくろ(1)」(野間 明) 文芸「エジプトの旅」2(吉田 甫) 編集後記 詰碁(橋本宇太郎) 勝敗をさぐる(吉野俊宏) 次号予告
本棚『船とワインと地中海と』	佐藤一夫	
特別講座「糖尿病」 糖尿病の生化学	山王義一	1977年12月号(No.68) 表紙写真「堺臨海工業地帯」
糖尿病の診断と治療	大阪大学第四内科 田中亮一・島健二	武田博之
糖尿病の合併症	大阪大学第一内科 七里元亮・河盛隆造・繁田幸男	君本昌久
小児の糖尿病	大阪大学小児科 岡田伸太郎・飯田喜彦	特集「老人医療に新たな認識を求めて」 日本資本主義の発展形態からみた老人問題の一考察 西岡幸泰
文芸・なにわデカメロン第3話 「すず(後編)」(野間 明) 文芸「エジプトの旅」1	吉田 甫	わが国における老人問題の特徴と対策 遠藤 滋
編集後記 詰碁(橋本宇太郎) 勝敗をさぐる(吉野俊宏) 次号予告		医学的立場からの老人問題 内科的側面 塩 栄夫
		老人に対する腹部手術の現状と問題点 林 四郎
		老人の心理的側面 市丸精一
		老人の検査値の見方 中村重信
1977年11月号(No.66) 表紙写真「信濃橋付近の立体交叉」	三田雄司	患者の立場から見た老人医療のあり方をどう考えるか 老後の幸を進める連絡会
巻頭言「軍医殿、船は……」	桑島玄二	本棚『病める医療』 西野和彦
特集「審査その現状と課題」 座談会「平均点数は全国一だが……」 審査問題の法的検討	小牧英夫	こんなこと(10月の主なできごと) あなたもどうぞ「長崎の秋はふけて」 川口明夫
審査委員会のあり方 歴史的回顧と将来の展望	桑原康則	私の健康法「散歩、冷水摩擦、鉄亜鈴と柔軟体操」 富川篤郎
本棚『からだノート』	小松良夫	「日常みられるEKGの症例」22(高梨忠寛・加藤孝和) 特別講座「実地医家のための臨床検査」 検査値の評価
診療所拜見「診療規模拡張に熱意 新興巨大団地で」 加藤診療所	亀田藤樹	大阪大学第1内科 井上通敏・堀正二 主訴に対するスクリーニング検査
あなたもどうぞ「緑の山野をアップダウン」		大阪大学第2内科 岸野文一郎・垂井清一郎 保険医と検査血液理化学を主として
こんなこと(9月の主なできごと) わが中学時代「早く上級生になりたかった島原の寄宿舎」	田中了介	大阪社保審委員 佐藤一夫 文芸・なにわデカメロン第4話 「つけぼくろ(2)」(野間 明) 文芸「わが腰」 吉田 甫
特別講座「血管内凝固症候群」 DICと出血 メカニズムを中心として	大阪大学輸血部 川越裕也	
出血と線溶能測定法	大阪大学中央臨床検査部 本射滋己	索引(通巻55号~68号) 編集後記 詰碁(橋本宇太郎) 勝敗をさぐる(吉野俊宏)
肝障害とDIC		

次号予告

1978年1月号(No.69)

巻頭言「ますます忙しくなる五十三年」

桑原康則

特集「夢ふくらむ新会館」

会館建設おめでとうございます

黒田了一

ヒポクラテスよ永遠に 日高正法氏を囲んで

保険医会館完成 開業医と府民の要に

挨拶「清潔な会館づくりを」

会館建設委員長 沢田孝明

挨拶「会館を中心に大阪文化の再現を」

共同設計(株)社長 飯田精次郎

会館への夢

今村芳明/細川一真/西野和彦/佐藤一夫/稲松

滋/上田泰章/本田寅二郎/片山利貞/貴島和彦

こんなこと(11月の主なできごと)

「わが家のお正月料理」

アップルパイと水餃子

久恒加寿

新鮮な自家製の材料で

西川雄之助

「わたしとスポーツ」1

タコ焼き器でゴルフ“開眼”

原 清

あなたもどうぞ「野球・スキー・ゴルフ」

田中 開

「六十路の春を迎えて」

もう還暦や

武井 久

憧れた女性にもう一度

北田康一

少し遅くやってきた青春

山本義昌

加令、また素晴しき哉

藤澤文雄

国民奉仕の医界の転換を

吉田一次

「Cherbar・馬・horse」1

「馬とともに馬を愛して」

吉村稀嗣

本棚『医者女の房』

稲松 滋

本棚『シルク・ロード』

堀辺四郎

なにわの郷土史1

「八百八橋とともに」

田中貞之助

わが中学時代「一日も休まなかった苦難の日々」

吉田 甫

特別講座「最近における臨床検査の動向」

臨床検査の進歩

大阪大学中央臨床検査部 宮井 潔

臓器別疾患の検査、ダイアグラム

「肝臓」

大阪大学第一内科 鎌田武信・林紀夫

「腎臓」

大阪大学第一内科 折田義正

「甲状線」

大阪大学第二内科 高井新一郎

異常値の解釈 測定法の立場上からの問題点

大阪大学中央臨床検査部 林 長蔵

臨床検査・将来の展望

大阪大学第四内科 熊原雄一

文芸・なにわデカメロン第4話

「つけばくろ(3)」(野間 明)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)

勝敗をさぐる(吉野俊宏)

次号予告

表紙写真「新しい保険医協会会館」

枚方市 三田雄司

1978年2月号(No.71)

巻頭言「あまんじゃく日を照らせ」

岩間紀行

特集「開業医にとって老後とは」

座談会「健康で診ることに老後の喜びが」

保険医の老後保障

吉田秀夫

保険医の老後の利殖法は

平井賀久

保険医協会の共済制度

稲松 滋

「開業医の老後の夢」

特殊技能を生かせる老人のホームを

澤トシ子

歴史書を老後の糧に

島田基晴

自然林の緑に療養院設立の夢

藤澤文雄

こんなこと(12月の主なできごと)

診療所拝見「内科中心の総合的運営と患者への思いやりを」

小松病院

わたしとスポーツ「娘達とアイススケートを」

H・S生

あなたもどうぞ「ロンドン塔の思い出」

漆原滋雄

「日常みられるEKGの症例」23(高梨忠寛・加藤孝和)

彫刻のページ1「序説 精神を秘めた形の芸術」

日高正法

海外旅行こぼれ話(S 生)

本棚『臨床薬理学』

佐藤一夫

なにわの郷土史2「なにわ地名考」

堀辺四郎

「Cherbar・馬・horse」2

馬はよき伴侶

安岡隆一

テキスト「上部消化管病変の診断と治療」
胃集検の実態とその評価
大阪府立府人病センター第2部長 愛川幸平
胃疾患の病理
大阪府立府人病センター第8部長 谷口春生
胃潰瘍の内科治療
大阪府立府人病センター消化器内科 三嶋 孝
胃・十二指腸疾患の手術療法とその評価
大阪府立府人病センター外科1科医長 岩永 剛
文芸・なにわデカメロン第4話
「つけぼくろ(4)」(野間 明)
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)
勝敗をさぐる(吉野俊宏)
次号予告
表紙写真「国立循環器病センター」
吹田市 本城進一郎

1978年3月号(No.73)

巻頭言「持続について」
山浦久治
特集「診療報酬はどうあるべきか」
座談会「諮問案はでたけれど」
医師への報酬支払い方式の世界的動向
姉崎正平
新点数をめぐる問題点
銘苅 進
資料「健保連の医療保険に関する基本方策」
資料「適正な診療報酬を求めて」
こんなこと(1月の主なできごと)
本棚『眼でみる免疫学』
海外旅行こぼれ話(S生)
なにわの郷土史3「古代の北河内と茨田堤」
金森 昭
「Cherbar・馬・horse」3
「馬にのってみませんか」(K・S)
わたしとスポーツ「開幕に胸は高なるチーム・ドクター」
林原明郎
わが中学時代「新世界・色街の往診カバン持ち」
川崎 登
彫塑のページ2「原始彫刻とギリシア彫刻」(日高正法)
テキスト「腎炎、ネフローゼの治療」
大阪大学医学部第一内科 折田義正
文芸・なにわデカメロン第4話
「つけぼくろ(4)」(野間 明)
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)
勝敗をさぐる(吉野俊宏)
次号予告
表紙写真「南港岸壁風景」
住之江区 小野林守一

1978年4月号(No.74)

巻頭言「田舎だより」
村田正夫

特集「のぞまれる医師像」
のぞまれる医師像

中川米造
「患者の立場から」
医療のために生活するか医療によって生活するか
岡田忠典
いつでも平等に最高の医療を
大川夫槻
復帰のためすぐれた臨床医を
石川武夫
治療効果はよい信頼関係で
菅野咲子
専門家としての社会的責任を
伊吹和子
患者の立場で丁寧に
砂湖和子
「医師の立場から」
日々向上する医師であるために
村井正直

良い医者に選ばれて
O先生
座談会「医師と住民の心のふれあいを」
「Cherbar・馬・horse」4
「西中尉の歓迎会で障害を披露」
三崎要一
なにわの郷土史4「寺内町の松蔭を偲ぶ」
西尾兵衛
本棚『日本医療の進路』
吉田正和
本棚『内科診療二頁の秘訣』
佐藤一夫
診療所拝見「老人層の多い地域で」
葛川診療所
「日常みられるEKGの症例」24(高梨忠寛・加藤孝和)
わたしとスポーツ「栄光のイレブン喜びは今も」
飯田 純

海外旅行こぼれ話(S生)
彫塑のページ3「ギリシア彫刻とルネッサンス彫刻」(日高正法)
こんなこと(2月の主なできごと)
テキスト「胆道疾患の診断と治療の問題点」
大阪市立大学第3内科 小林絢三
文芸・なにわデカメロン第4話
「つけぼくろ(6)」(野間 明)
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)
勝敗をさぐる(吉野俊宏)
次号予告
表紙写真「逸翁美術館」
吹田市 大沢恵美

1978年5月号(No.75)

巻頭言「奈良の協会は」
北林忠正
特集「すすむ円高・不況 医療はどうなるのか」
円高不況と医療の展望

国民と医療関係者の連帯を	置塩信雄	生きがいを感じる超音波検診	武内和之
経済面よりみた病・医院経営の展望	長 宏	二人医療の検査は能率的に	田中 宏
最近の金融情勢と資産運用	山林良夫	座談会「検査をいかに選ぶどう読むか」 「Cherbar・馬・horse」6 「晴れては乗り降っては手入れ」	佐多誠之
こんなこと(3月の主なできごと) 「Cherbar・馬・horse」5 「白馬が攻撃の目標に」	川浦清孝		沢田孝明
なにわの郷土史5「なにわの移り変わり」	永木俊一郎	なにわの郷土史6「キタとミナミ」かわちさぶろう 本棚『催奇形性等発生毒性に関する薬品情報』	佐藤一夫
片山利貞 本棚『A・Colour Atlas of Human Anatomy』	片山利貞	わたしとスポーツ「早朝ランニングでリハビリを」	田中稔久
本棚『通便異常の臨床』	本田寅次郎	診療所拝見「診察室から各部屋へ」	佐野輝明診療所
わが中学時代「アイスクリームで死にかけた牛」	佐藤一夫	彫塑のページ5「ロダン・ブルデル・マイヨール」(日高正法) テキスト「日常ありふれた乳幼児疾患の診断と治療」	菅原重道
海外こぼれ話(s 生)	中村安治郎	文芸・なにわデカメロン第4話 「つけぼくろ(8)」(野間 明)	
わたしとスポーツ「楯円球に燃えたプレスキッカー」	井上恭一郎	巷医遇感「望郷」	西田健三
彫塑のページ4「ミケランジェロとロダン」(日高正法) テキスト「大腸疾患の診断とその治療対策」	大阪市立大学第三内科 小林絢三	編集後記 詰碁(橋本宇太郎) 勝敗をさぐる(吉野俊宏) 次号予告 表紙写真「川崎橋」	
文芸・なにわデカメロン 第4話「つけぼくろ(7)」(野間 明)			東住吉区 柳本昭三
編集後記 詰碁(橋本宇太郎) 勝敗をさぐる(吉野俊宏) 次号予告 表紙写真「泉布観」			
	阿倍野区 本田光則	1978年7月号(No.77) 巻頭言「一石五鳥を狙う」	中野信夫
1978年6月号(No.76) 巻頭言「広大な地に燈火が」		特集「わたしの夏休み」 日ノ御崎の大公望	小山賢隆
こんなこと(4月の主なできごと) 特集「開業医にとって検査とは」 信頼できる検査は相互協力から	小斯波孜	きれいな海を子孫に 河童の旅・鬼の旅	富山良子
開業医にとっての検査	青山 巖	二重のゴルフボールに挑戦	若尾五雄
審査面からみた臨床検査	梅垣健三	白馬の別荘からの出発	菰池義彦
「わたしの検査法」 妊婦に貧血検査を	村田 進	第八師団ゆかりの十和田湖行き ロスの息子とカジノに熱狂	堀野一男
視能訓練士と眼科検査技師の養成を	岩永 啓	憧れの中南米	三崎要一
減点と医療告発の歯止め?	木内健二	霧にかすむローテンブルク	北田康一
意外に多い潰瘍と急性痔炎	小林愛次郎	チューリッヒ発 午前7時	堀田耕三
検査値のかけにあるものを	森本安雄	シベリアの爽やかさが	堀辺四郎 八木淳之

なぜ日本語が通じないの？	早川 武	空襲と誤診の谷間で	丸山 創
カナディアンロッキーの旅	田中 開	嘆願書で凄じい制裁が	川上 武
わたしのまどろみの世界	江崎四十男	止められなかった軍靴の音	西谷宣雄
もしクーラーが止まったら	渋谷 道	終戦時の青酸カリ	堀田耕三
泥棒の昼寝	中野 直	討伐	朝隈 靖
キタとミナミのピヤガーデン	舟橋 透	青春のブラックホール	藤谷芳生
怠け者の銷夏法	高田凱夫	新緑に萌える山野	武井 久
妻と仲良く	片山利貞	火の雨が降る	藤沢文雄
資料「夏休みアンケート集計」(編集部)	松井幸民	侵略地帯にコレラ菌	片山利貞
Cherbar・馬・horse7		赤ペンが語る審査委員会の戦後史	三崎要一
「人参で人馬一体に」	富川篤郎	診療所拝見「温かみを階段に」	鴨脚光増
なにわの郷土史7「二上山周辺の伝説と土俗信仰」	植嶋亨介	「日常みられるEKGの症例」25(高梨忠寛・加藤孝和)	高松診療所
わたしとスポーツ「精神と肉体を鍛えたグレンデ」	渡辺修治	Cherbar・馬・horse7	
海外こぼれ話(s 生)		「生き馬の眼をぬく大阪で」	丸山 博
こんなこと(5月の主なできごと)		わたしとスポーツ7「ゴルフコンペでC級卒業」	森本健二
わが中学時代「ある落第生」	若尾五雄	「華南みてあるき」	服部 洋
本棚『螢川』	東浦三郎	海外こぼれ話(s 生)	
彫塑のページ6「ヘンリー・ムーアとジャコメッティ」(日高正法)		なにわの郷土史7「楠木一族の財源をさぐる」	堀辺四郎
テキスト「RIA検査の進歩とその応用」	社保審査委員 佐藤一夫	本棚『よい医者・悪い医者』	河合秀郎
文芸・なにわデカメロン第4話		本棚『人びとの健康と社会保障』	東浦三郎
「つけぼくる(9)」(野間 明)		あなたも彫塑教室へ 時のたつのを忘れる世界	
編集後記		輝き出したわたしの時間	東浦三郎
詰碁(橋本宇太郎)		生命を与えるこの快感	夜久正治
勝敗をさぐる(吉野俊宏)		アイデアの自由な国へ	国枝 亮
次号予告		すいこまれる未知の空間	石上 直
表紙写真「赤川鉄橋」	東淀川区 辻田百典	彫塑のページ7「プランクেশユ」(日高正法)	
		テキスト「甲状腺疾患の診断と治療」	
1978年8月号(No.78)		大阪大学医学部第4内科 小豆沢瑞夫・熊原雄一	
巻頭言「協会組織は永遠に必要」	高田文夫	文芸・なにわデカメロン	
こんなこと(6月の主なできごと)		第4話「つけぼくる(10)」(野間 明)	
特集「わたしの戦後史」	一ノ瀬秀文	編集後記	
商大事件のレジスタンス	儀我壮一郎	詰碁(橋本宇太郎)	
幼年時代の戦争のかげ		勝敗をさぐる(吉野俊宏)	
餓鬼道の日々	真田 是		
熊本市大空襲			

次号予告					吉田秀夫
表紙写真「平田渡しの跡」					いま大阪で何が起きているか
	吹田市	林 学			伊藤 精
					少数派おきざりの現行健保制度
					古屋穎兒
1978年9月号(No.80)					「日常見られるEKGの症例」26(高梨忠寛・加藤孝和)
巻頭言「保険医に最も望まれるもの」		川口重義			Cherbar・馬・horse
					「生涯一度の大障碍馬術」
こんなこと(7月の主なできごと)					中村安治郎
特集「生命を切りすてる健保改悪」1					わたしとスポーツ10「体力のない人もスポーツを」
「健保」改革の歴史的変遷		島喜一郎			谷口武彦
今次「健保改正」案の問題点					診療所拝見13「万全の配慮で救急を」
国庫補助の増額を		岩崎 正			岩永産婦人科
先天異常の増加と医療行政の貧困		岩 弘			本棚『上手な医者のかかり方 暮しと医療』
健保改悪反対50万署名を		西村圭也			花田 力
座談会「しのびよる官僚統制強化の企み」		山口朝輝			村田 進
本棚『危機に立つ保健所 再生への歴史的展望と実践理論』					海外こぼれ話(s 生)
鴨脚光増					なにわの郷土史10「久米田池の賠償伝説」
わたしとスポーツ9「銃を担いだワングル」		西川雄之助			若尾五雄
Cherbar・馬・horse9					彫塑のページ9「具象彫刻における造形の要素」(日高正法)
「白馬神事で無病息災」		多谷 保			テキスト「婦人心身症の取扱い」
なにわの郷土史9「庶民の活力道頓堀」		田村耕介			国立京都病院産婦人科医長 中村隆一
海外こぼれ話(s 生)					文芸・なにわデカメロン第4話
わが中学時代11「軍事教練と登山のあけくれ」		三田雄司			「つけぼくろ(12)」(野間 明)
					編集後記
彫塑のページ8「彫刻の要素 形」(日高正法)					詰碁(橋本宇太郎)
テキスト「循環器疾患における検査法 心音図とCUG」					勝敗をさぐる(吉野俊宏)
大阪府立成人病センター病態生理研究室 小倉 浩					次号予告
文芸・なにわデカメロン第4話					表紙写真「新大阪駅」
「つけぼくろ(11)」(野間 明)					淀川区 川浪映二
編集後記					
詰碁(橋本宇太郎)					1978年11月号(No.84)
勝敗をさぐる(吉野俊宏)					巻頭言「ひとりぐらし」
次号予告					岡本文弥
表紙写真「西淀川公害センター」		西淀川区 西幹禎之			特集「医療事故にどう対処するか」
					座談会「医療事故にどう対処するか」
					アメリカの医事紛争
					竹村秀雄
					同一機器でとっさの時に 布施医師会の救急互助組織
					内本栄光
					ルポ「ある医療事故 たった1本の注射」
					明日はわが身
					医療事故・医事紛争防止に対する協会の方針
					島喜一郎
					こんなこと(9月の主なできごと)
					わが中学時代12「大阪を支える六稜校歌」
					黒田了一
					Cherbar・馬・horse11
					「馬子と河童と医者」
					若尾五雄
					座談会「人民のために医療の普及を」
					大阪医療従事者友好訪中団
					本棚『百花斉放』
					田中 開
					1978年10月号(No.83)
					巻頭言「恍惚は突然やってくる」
					木津川計
					こんなこと(8月の主なできごと)
					特集「生命を切りすてる健保改悪」2
					座談会「健保改悪反対 地域を揺り動かす大運動を」
					医療費増は防げるか 保健予防活動を中心に
					細川一真
					不況下こそ健保改善を
					二場邦彦
					仏・独の医療費抑制政策

- 本棚『医の倫理』
海外こぼれ話(s 生)
なにわの郷土史11「写し絵浪華のおもかげ」
わたしとスポーツ11「HD28『30』を笑う」
あなたもどうぞ「悪魔の紫煙」
彫塑のページ10「具象彫刻における造形の要素」(日高正法)
テキスト「慢性肝炎、肝硬変症の診断」
大阪市立大学第3内科 針原重義
文芸・なにわデカメロン第4話
「つけぼくろ(13)」(野間 明)
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)
勝敗をさぐる(吉野俊宏)
次号予告
表紙写真「木枯の吹く南天満公園」(天満橋北詰西)
枚方市 三田雄司
- 1978年12月号(No.85)
巻頭言「大阪魂」
近江砂人
こんなこと(10月の主なできごと)
特集「地方自治と医療」1
大阪における医療の向上と自治体の役割
朝倉新太郎
外国の地方自治と医療
多田羅浩三
室料差額を減免
山口 亘
住民により身近な保健所を
丸山 創
看護婦養成に助成拡充
倭馬左也
学校保健に専門的アドバイザーとして
尾花 茂
資料「全国のトップを切る医療実績」
本棚『第一線医療の探求 先駆者たちとの対話』
細川一真
本棚『成人病の予防医学 国民病・脳卒中その傾向と対策』
西野和彦
わたしとスポーツ12「卓球に悟りの境地を」
平井正也
「日常みられるEKGの症例」27(高梨忠寛、加藤孝和)
海外こぼれ話(s 生)
Cherbar・馬・horse12
「つぶらな瞳に颯爽と」
小松良夫
なにわの郷土史12「市民がみつけた高安城」
棚橋利光
診療所拝見14「明るく機能的に」
山村クリニック
彫塑のページ11「再び造形の要素」(日高正法)
- テキスト「肺癌の早期診断」
国立療養所近畿中央病院内科 古瀬清行
文芸・なにわデカメロン第4話
「つけぼくろ(14)」(野間 明)
1978年総索引(通巻69号～85号)
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)
勝敗をさぐる(吉野俊宏)
次号予告
表紙写真「岸和田城」
堺市 武田博之
- 1979年1月号(No.86)
巻頭言「えべっさん たのんまっせ」
ミヤコ蝶々
特集「地方自治と医療」2
座談会「人類35億年の夢 黒田知事と語る女医さん」
広がる医療要求に開業医はいま
緊急時の母子専門機関の連携を
張 和夫
老人に生きる力が
中路 実
革新府政で救急日本一へ
竹内治一
難病専門病院の建設を
乾死乃生
公害は住民の健康のパロメーター
安賀 昇
こんなこと(11月の主なできごと)
なにわ医見「診療報酬年1回改定の実施を早急に」
ルポ・わらしべ学園「障害児をひとりでも多く救いたい」
村井正直
海外こぼれ話(s 生)
わが中学時代13「イキな昔の教授さま」
今出金吾
ふぐの話1「フグ中毒24年」
北濱喜一
彫塑教室より1
日高正法
本棚『Diagnosis and Management』
辻田百典
本棚『失語症の歌』
鷗木 淳
テキスト「急性ウイルス性肝炎」
大阪市立大学第3内科助教授 門奈丈之
文芸・なにわデカメロン5
「餅つき(前編)」(野間 明)
文芸「ヒマラヤの見ゆる丘」
吉田 甫
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)
勝敗をさぐる(吉野俊宏)
表紙「十日戎」
枚方市 三田雄司

1979年2月号(No.89)

巻頭言「昼さがり」

梁 雅子

こんなこと(12月の主なできごと)
 なにわ医見「開業医の決起で医療福祉の充実を」
 特集「地方自治と医療」3
 国民主権確立の原動力は

遠藤 晃

座談会「頼りになる庶民の知事」
 資料「なぜ黒田府政の第3期実現をめざすのか」
 ひらかれた府政、開業医の出番が
 辻 一省/三田雄司
 日本一の福祉を発展させるのはあなたと府民と

開業医からの声

「日常見られるEKGの症例」28(高梨忠寛・加藤孝和)
 ふぐの話2「肝さえ食べなければ 三津五郎の死」
 彫塑教室より2(日高正法)
 あなたもどうぞ「レニングラード医療事情視察の旅」

森田 梶太郎

本棚『夫と妻のための老年学』

原田 勲

本棚『真菌検査への招待』

堀辺四郎

日本医療の将来を考える 開業保険医への提言1

日野秀逸

テキスト「血清学的検査について」1

国立成人病センター免疫血清検査室長 平松誠一

文芸・なにわデカメロン第5話

「餅つき(後編)」(野間 明)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)

勝敗をさぐる(吉野俊宏)

表紙「あびこ観音」

東住吉区 柳本昭三

1979年3月号(No.90)

巻頭言「日本人とスマイル」

大村 崑

なにわ医見「指導・監査強化の通達に思う」
 特集「地域医療における病院と診療所の有機的強化を」
 座談会「患者のための病院と診療所」
 資料「どんどん利用できる大阪の公的病院」(編集部)
 地区開業医と市民病院とのユニークな関係

石神勇太郎

小協同組合方式のグループ化を

菱本四郎

重複のない継続した治療を

小出鈴三

在宅ケアを地域グループ管理で

植田 彪

一次病院の開放で専門医と相談を

中村法雄

小児患者の第2次、3次も安心

細野 孟

こんなこと(1月の主なできごと)

海外こぼれ話(s 生)

診療所拜見15「老人層の社交場」

行友医院

日本医療の将来を考える 開業保険医への提言2

日野秀逸

彫塑教室より3(日高正法)

本棚『指で見る』

馬場昭夫

本棚『大都市とコンビナート・大阪』(F 生)

テキスト「血清学的検査について」2

国立成人病センター免疫血清検査室長 平松誠一

文芸・なにわデカメロン6

「源八子守唄1」(野間 明)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)

勝敗をさぐる(吉野俊宏)

表紙「春分の日」

東住吉区 柳本昭三

1979年4月号(No.91)

巻頭言「感謝の日々」

片岡仁左衛門

こんなこと(2月の主なできごと)

なにわ医見「『切り捨て御免』はもう御免」

特集「薬害防止のためスモンを探る」

薬害と薬務行政責任

小川定男

スモン裁判と骨ぬき薬事法

石橋一晁

ノーモア・スモン 医療援護の地域組織化を

東田敏夫

スモン治療の要訣8カ条

五百住明

金など一銭もいりません

中安綾子

スモン患者の早期救済を

大村一郎

資料「スモン年表」

スモン訴訟について

田辺製薬株式会社広報部

「日常みられるEKGの症例」29(高梨忠寛・加藤孝和)

古代史の謎を求めて4「崇神王朝の謎」(片山利貞)

彫塑教室より4(日高正法)

テキスト「新生児の管理」

関西医科大学小児科助教授 岩瀬帥子

本棚『過量投与時の症状と治療』

佐藤一夫

本棚『子どもの歯』『おかあさんの小児科ノート』

安岡隆一

文芸・なにわデカメロン6

「源八子守唄2」(野間 明)

文芸「ひそかなる冬の旅」

堀野一男

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)		川浪暎二
勝敗をさぐる(吉野俊宏)		時間切れの医学会総会
表紙「造幣局の通り抜け」		片山利貞
	枚方市 三田雄司	お上りさん うろちよるある記
		片山利貞
1979年5月号(No.92)		なにわ医見「上がる医療費、予防を急げ」
巻頭言「自信」	笑福亭松鶴	本棚『新しい輸血の時代』
		佐藤一夫
こんなこと(3月の主なできごと)		本棚『在宅看護への出発 権利としての看護』
なにわ医見「受診抑制のねらいは」		細川一真
特集「国民医療を守る医業税制を」		「日常みられるEKGの症例」30(高梨忠寛・加藤孝和)
座談会「国民医療を守る医業税制を」		彫塑教室より6(日高正法)
国民との合意で新しい税制を	磯野 甫	会員意見調査「すすむ開業医の健康・経営破壊」(調査部)
		テキスト「血清学的検査について」3
一般消費税は医業にどうかかわってくるか	大西耕三郎	府立成人病センター免疫血清検査室長 平松誠一
		文芸・なにわデカメロン6
カルテと質問検査権	香川公一	「源八子守唄4」(野間 明)
		編集後記
付帯決議をつけさせた協会活動	木村弥太郎	詰碁(橋本宇太郎)
		勝敗をさぐる(吉野俊宏)
資料「一般消費税がなくとも財源はこんなにある」		表紙「御田植神事」
本棚『生と死の経済学』	深尾利津雄	
		生野区 西川雄之助
本棚『宗教弾圧を語る』	片山利貞	
あなたもどうぞ「スポーツと芸術に燃えしわが人生」	白壁武弥	
		1979年7月号(No.94)
海外こぼれ話(s 生)		巻頭言「日本一の喜劇役者」
彫塑教室より5(日高正法)		香川登志緒
テキスト「生化学的立場よりみた肝機能検査の解析」	大阪市立大学中央臨床検査部教授 奥田 清	
		こんなこと(5月の主なできごと)
文芸・なにわデカメロン6		なにわ医見「許せぬ日医の裏切り」
「源八子守唄3」(野間 明)		特集「『指導・監査の通達』をどうみるか」
文芸「世界一の滝」	吉田 甫	草創期の健保と指導・監査
		中村安治郎
編集後記		30年間のしめつけを止める時
詰碁(橋本宇太郎)		辻 一省
勝敗をさぐる(吉野俊宏)		国富病院は「通達」の先取り
表紙「新能」	三田登美	合志至誠
		忍びよる財務・経理への立入り
		那須 力
		開業医の声 「しめられつづける開業医だが」
		善良な保険医のため協会が楯に
		澤トシ子
		死を早めた指導・監査(s 生)
		期待される地区医師会の行動力
		竹中普久
1979年6月号(No.93)		あなたもいつ指導・監査に
巻頭言「生涯を通じる好みを」	菊原初子	稲松 滋
		指導・監査強化にどう対処するか
こんなこと(4月の主なできごと)		島喜一郎
特集「開業医のみた医学会総会」		年表「大阪における指導・監査・審査問題」
開業医制度を生かすプライマリー・ケア	西野和彦	「『通達』は東京サミットか」(デスク)
		あなたもどうぞ「23年前の気概で白馬岳へいどむ」
患者側に立つ治療学を	寺本 清	細野 孟
ショックと痛み	木股康晴	海外こぼれ話(s 生)
		本棚『皮膚病診療』
肝疾患の対処は	佐藤一夫	
		稲松 滋
近代化の波に検査の花ざかり		本棚『村づくり聴診記』(F 生)

彫塑教室より7(日高正法)

テキスト「合併症を有する場合の高血圧の治療概要」

大阪大学第1内科講師 額田忠篤

文芸・なにわデカメロン6

「源八子守唄5」(野間 明)

漢詩(渡辺貞恵)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)

勝敗をさぐる(吉野俊宏)

表紙「愛染祭」

枚方市 三田雄司

1979年8月号(No.95)

巻頭言「現代の長屋住まい」

上岡龍太郎

こんなこと(6月の主なできごと)

なにわ医見「国民を守る壮大な運動を」

特集「わたしの戦後史」

「外地」

ビルマ戦線での顕微鏡の活躍

藤野恒三郎

勲章とは

三崎要一

パラオのジュータン爆撃

広井国男

伝染病棟の不寝番

青山いわお

30万開拓農民の悲劇

棧敷よし子

戦友よ安らかに眠れ

野間 明

「内地」

千本丸太町の老舗

中野信夫

七農三医

菊川 修

上六界限と共に

片山利貞

「日常みられるEKGの症例」31(高梨忠寛・加藤孝和)

彫塑教室より8(日高正法)

テキスト「小児心電図のみかた」

国立循環器病センター小児科医長 神谷哲郎

テキスト「高血圧の病態と治療のすすめ方」

大阪大学第一内科講師 今泉昌利

本棚『高齢者社会の構図』

島喜一郎

本棚『耳鼻咽喉科診療二頁の秘訣』

内本栄光

文芸・なにわデカメロン6

「源八子守唄6」(野間 明)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)

勝敗をさぐる(吉野俊宏)

表紙「今里新地の盆踊り」

生野区 西川雄之助

1979年9月号(No.96)

巻頭言「21世紀の子どもたちに」

羽仁説子

こんなこと(7月の主なできごと)

なにわ医見「政管健保がクシャミ?」

特集「今年こそ子どもの健康を考えては」

座談会「未来を担う子どもの健康は」

インスタント時代SOS(デスク)

児童期の神経症と心身症

松本和雄

子どものアレルギー性疾患

美濃 真

側弯症の早期発見を

山本利美雄

子どもにはじまる食生活

林 敬子

親こそ最良の小児科医

佐本 進

資料「肥った人のための体操」

佐々木美雄

あなたもどうぞ「さまよえる神様」

片山利貞

海外こぼれ話(S 生)

本棚『子どもの体力』

小松良夫

本棚『白内障』

横井一美

彫塑教室より9(日高正法)

テキスト「1歳6ヵ月児健康診査」

関西医科大学小児科助教授 岩瀬帥子

テキスト「高血圧症の眼底(眼底のみかた)」

大阪大学眼科講師 別所建夫

文芸・なにわデカメロン6

「源八子守唄7」(野間 明)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)

勝敗をさぐる(吉野俊宏)

表紙「岸和田だんじり祭」

堺市 武田博之

1979年10月号(No.98)

巻頭言「ピンクの膿盆」

寿岳章子

こんなこと(8月の主なできごと)

なにわ医見「地域医療を破壊する徳田思考」

特集「適正配置を陽の当る所で」

適正配置を考える

野村 拓

人口急増地帯と行政

芳川仙作

新規開業と適配

大森騏一郎

医師の共存共栄とは

占部英彦

- 追いだされて境界線へ
佐藤一夫
- 住民の健康を最優先
那須 力
- 医者ほど儲かるものはない
片山利貞
- 地域を高める土台に(デスク)
資料「52・53年度比較郡市区医師会の会費及び入会金一覧表」
「日常みられるEKGの症例」32(高梨忠寛・加藤孝和)
あなたもどうぞ「ベーリング海の船医」
海城 済
- 本棚『スポーツとからだ』
河合秀郎
- 本棚『欧米諸国の医療保障』
深尾利津雄
- 彫塑教室より10(日高正法)
テキスト「保険医のための性病の診断と治療」
日本皮膚科学会評議員 中西淳朗
- 文芸・なにわデカメロン6
「源八子守唄8」(野間 明)
漢詩(渡辺貞恵)
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)
勝敗をさぐる(吉野俊宏)
表紙「四天王寺の聖霊会」
堺市 武田博之
- 1979年11月号(No.99)
巻頭言「ある長生きの秘訣」
茂山千之丞
- こんなこと(9月の主なできごと)
なにわ医見「三人の若者で一人の老人」
特集「銘柄別以後の保険医と薬剤」
医療産業と医薬品資本の動向
二場邦彦
- 銘柄別以後の業界の動き
常松己一
- 薬局の店頭で
市川敏雄
- 医師の権限を犯す薬効表示
山本 漸
- 座談会「薬問題は患者中心に」
保険医の一番知りたいこと(デスク)
海外こぼれ話(s 生)
本棚『奇形児はなぜ』
堀辺四郎
- あなたもどうぞ「ベーリング海の船医」
海城 済
- 診療所拝見16「待合室で落書きを」
上田小児科
- 彫塑教室より11(日高正法)
テキスト「熱傷その病態と治療」
社会保険中京病院形成外科 井沢洋平
テキスト「高血圧の疫学」
大阪府立成人病センター集検第一部長 小町喜男
- 文芸・なにわデカメロン6
「源八子守唄9」(野間 明)
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)
勝敗をさぐる(吉野俊宏)
表紙「神農さん」
阿倍野区 本田光則
- 1979年12月号(No.100)
巻頭言「もう はなさない!!」
松旭斎滉洋
- こんなこと(10月の主なできごと)
なにわ医見「英国NHS制度と日本の開業医制度」
特集「70年代の医療」
医療産業の台頭した70年代
儀我壮一郎
- 医大新設ラッシュと大学再編成
木村 慶
- 開業医に何が起こったか
竹内治一
- 医業にふさわしい税制の実現へ
木村弥太郎
- 手術から薬・検査へ
内本栄光
- 小児科学の飛躍的發展
菅原重道
- 洗眼から眼機能中心へ
保田正三郎
- 分娩のない産婦人科
潮田富士男
- メスを捨てた外科医
原 省吾
- 必死の闘いのあと(デスク)
「日常みられるEKGの症例」33(高梨忠寛・加藤孝和)
本棚『治療総論』
佐藤一夫
- 彫塑教室より12(日高正法)
テキスト「呼吸機能検査の実際」
府立羽曳野病院生理機能検査科部長 外村舜治
- 文芸・なにわデカメロン6
「源八子守唄10」(野間 明)
1979年総索引
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)
勝敗をさぐる(吉野俊宏)
表紙「泉州石津太神社の火祭り」
堺市 武田博之

1980年1月(No.101)

巻頭言「年を忘れる日々」	市川房枝
11月のこんなこと	
なにわ医見「NOの審判」	
勝敗をさぐる37(吉野俊宏)	
海外こぼれ話(s生)	
なにわの郷土史1大阪城史話	
「秀吉晩年の病状」(上)	渡辺 武
「庚申の日」	
海外の医療・イタリア1「医療改革への提議」	片村永樹
編集後記	
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
特集「80年代の医療」	
座談会「80年代どこへ行く開業医」	
誰のための医療システム?	西岡幸泰
80年代以降の医療需要予測	金田治也
町ぐるみの地域医療へ	西 三郎
80年代の開業医を左右するもの	野村 拓
危険な「新経済7ヵ年年計画」	島喜一郎
資料「医療保障制度の改善のために」	
70年代の積み残しの解決を(デスク)	
テキスト「B型肝炎をめぐる諸問題」	織田敏次
東京大学医学部長	
テキスト「肝、胆、膵疾患の超音波診断」	朝井 均
大阪市立大学医学部第三内科	
本棚『あすへの記念碑 上二病院の30年』	細川一真
本棚『医師の歴史 その日本の特長』	堀辺四郎
彫塑教室より13(日高正法)	
文芸・なにわデカメロン第6話	
「源八子守唄11」(野間 明)	
漢詩(渡辺貞恵)	
表紙ひとこと「赤倉の新雪」	枚方市 三田雄司

1980年2月(No.102)

巻頭言「不老長寿の薬」	河井達海
12月のこんなこと	
なにわ医見「老人の日常生活まで保障を」	
あなたもどうぞ「フルショットでピンそば3m」	内本栄光
勝敗をさぐる38(吉野俊宏)	
「日常みられるEKGの症例」34(高梨忠寛・加藤孝和)	
なにわの郷土史2大阪城史話	
「秀吉晩年の病状」(下)(渡辺 武)	

海外の医療・イタリア2「専門医と一般医」(片村永樹)	
編集後記	
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
特集「高齢化社会をめぐる諸問題」	
シビルミニマムとしての老人保健・医療システム	小倉襄二
在宅老人ケアと開業医の役割	丸山 創
府民の声を生かす社会福祉審議会	倭馬左也
桐原の長寿を脅かす近代文明	古守豊甫
活力ある「いずみ健老大学」	古川 元
スポーツ医学に医師の主導性を	平井正也
老人保健医療制度への提言(政策部)	
予防からリハビリまでの地域を(デスク)	
資料「眼でみる高齢化社会」	
テキスト「小児の薬剤治療の実際」	丸山義一
元・兵庫医科大学小児科助教授	
ほんだな『子どもがはじめてであう絵本』	磯野 甫
ほんだな『食生活と身体の退化』	小松良夫
文芸・なにわデカメロン第6話	
「源八子守唄12」(野間 明)	
表紙ひとこと「飛驒白川郷」	平野区 村田 進

1980年3月(No.104)

巻頭言「野球人のこころ」	西本幸雄
1月のこんなこと	
なにわ医見「ゴマメの歯ぎしり」	
勝敗をさぐる39(吉野俊宏)	
海外こぼれ話(s生)	
あなたもどうぞ「負傷こそスキー開眼の秘訣」	木股康時
彫塑教室より14(日高正法)	
編集後記	
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
予告	
特集「地域医療は健康教育から」	
国民の健康権と医師の主導性	山城正之
80年代の町づくりは開業医中心に	井上英之
座談会「患者教育は地域づくり」	
危険な化肥農作物	梁頼義亮
難病根治の秘法	甲田光雄
歪んだ器は歪んだ内臓を生む	柏木博子

ポーズの繰り返しで体の矯正を	村田 進	人生観を変えた死亡診断書	篠永安幸
使用法は主治医の指示で	本田寅次郎	往診で最後まで希望を	永木俊一郎
健康教育にみんなの知恵を(デスク) テキスト「高血圧の薬物治療の実際」	大阪大学第1内科講師 額田忠篤	自主採算できりきざまれる体	富山良子
なにわの郷土史3大阪城史話 「黄金の城」(渡辺 武)		裁かれる人体実験	高沢 忠
海外の医療・イタリア3あたらしい「国民保健機構」(片村永樹) ほんだな『ツボ療法全書』	今村芳明	刀折れ矢つきた時に	石田準一郎
ほんだな『眼科Mookシリーズ10 斜視・弱視』	木内健二	ナーシングチームの拡充を	藤沢文雄
文芸・なにわデカメロン第6話 「源八子守唄13」(野間 明)		死ぬことをみつけた人々	片山利貞
表紙ひとこと「流し難」	堺市 武田博之	安らかな死を考える(デスク) テキスト「胃、十二指腸潰瘍の薬物療法の実際」	大阪市立大学第三内科講師 小林純三
1980年4月(No.105)		文芸・なにわデカメロン第6話 「源八子守唄14」(野間 明)	
巻頭言「笑わせる商売」	桂春団治	表紙ひとこと「津山城址の桜」	生野区 佐藤一夫
2月のこんなこと		1980年5月(No.106)	
なにわ医見「ツボ棧敷で13選」		巻頭言「誤字・感字・判字もの」	滝沢 一
勝敗をさぐる40(吉野俊宏)		3月のこんなこと	
「日常みられるEKGの症例」35(高梨忠寛・加藤孝和)		なにわ医見「バンクした救急センター」	
海外の医療・イタリア4		勝敗をさぐる41(吉野俊宏)	
「健康はだれにも平等に」(片村永樹)		海外こぼれ話(s 生)	
ほんだな『肩 その機能と臨床』	稲松 滋	編集後記	
ほんだな『サルから人間へ』	中村 進	詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
なにわの郷土史4大阪城史話 「地下に眠る豊臣時代大坂城(上)」(渡辺 武)		予告	
編集後記		特集「政治ぎらいの政治的役割」	
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)		政治ぎらいの政治的役割 医療と政治	野村 拓
予告		“伝研移管”と北里と	神谷昭典
特集「死をみとる医療」		求められる国手の役割	辻 一省
末期医療は包括的行為で	中川米造	「中道路線」はよい医療を築けるか	岩崎 正
死の臨床研究会のめざすもの	金子仁郎	政党支持のおしつけは違憲	野村和夫
安楽死・尊厳死と医師の使命	木崎良平	座談会「診療のなかでぶつかる政治」	
チームできっちりと交わりを	柏木哲夫	誰が救う政治ぎらい(デスク)	
生きがいへの配慮	中川峻二	テキスト「肩関節の機能と臨床」	信原病院院長 信原克哉
訪問看護に病院も一翼を	澤田絹子	投稿「“先生”といういやなやつ」	服部 洋
投稿「死と医療のあり方」		なにわの郷土史5大阪城史話	
生活苦にあえぐ植物人間	藤谷芳生	「地下に眠る豊臣時代大坂城(下)」(渡辺 武)	
わたしの遺言状	菰池義彦	海外の医療・イギリス1「みなおされる一般医」	笹井康典
		ほんだな『むんてら』	片山利貞

彫塑教室より15(日高正法)
文芸・なにわデカメロン第6話
「源八子守唄15」(野間 明)
表紙ひとこと「唐招提寺うちわまき」

東住吉区 柳本昭三

1980年6月(No.107)

巻頭言「ほれた5人の女性」

広沢瓢右衛門

4月のこんなこと
なにわ医見「時はいま」
勝敗をさぐる42(吉野俊宏)
「日常みられるEKGの症例」36(高梨忠寛・加藤孝和)
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
予告
特集「老後をひらく在宅ケア」
生命ある限り人間らしく

奈倉道隆

80年代を左右する年金改悪

公文昭夫

退院後の受け皿の充実を

渡辺直寛

在宅老人ケアのネットワークを

中山節子

ルポ・特別養護老人ホーム「年輪」
大阪府の老人福祉行政

馬場修一

資料「大阪府の老人福祉施設」
老人の尊敬される社会を(デスク)
テキスト「虚血性心疾患の薬物療法の実際」
府立成人病センター第一内科 岡本一善・赤神宏尚・柴田彦彦
なにわの郷土史6大阪城史話
「大阪築城の経費(上) 徳川再築の場合」(渡辺 武)
海外の医療・イギリス2「1974年以降の家庭医」

石本忠義

ほんだな『ガン回廊の朝』

貴島和彦

ほんだな『医の時代 高松凌雲の生涯』

竹内治一

文芸・なにわデカメロン第6話
「源八子守唄16」(野間 明)
表紙ひとこと「橋杭岩」

枚方市 三田雄司

1980年7月(No.108)

巻頭言「とばけた鯨」

直原玉青

5月のこんなこと
なにわ医見「72.9%のこえ」
勝敗をさぐる43(吉野俊宏)
海外こぼれ話(s生)
なにわの郷土史7大阪城史話(最終回)
「大阪築城の経費(下) 徳川再築の場合」(渡辺武)
海外の医療・イギリス3「地域格差の諸問題」(石本忠義)

彫塑教室より16(日高正法)
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
予告
特集「原点にたつ公害医療」
公害問題の今後の課題

庄司 光

原点にたつ公害医療を

那須 力

大阪の大気汚染とその人体影響

大志野章

オオムギを用いての大気汚染の検出

平井篤造

先進的な西淀川公害裁判

島川 勝

却下された診断書

安岡加代子

意図的な患者べらし

林 功

公害なんでも相談室設置

西川雄之助

地球から公害の追放を(デスク)

テキスト「喘息の薬剤治療の実際」

大阪府羽曳野病院第5内科部長 露口泉夫
アレルギー小児科部長 豊島協一郎

テキスト「予防接種と小児の発疹性疾患」

大阪医科大学小児科助教授 川上勝朗

ほんだな『専門医にきく呼吸器病の治療』

村田 進

ほんだな『補聴器コンサルタントの手引』

内本栄光

文芸・なにわデカメロン第7話「薬売り」(野間 明)
表紙ひとこと「旧伊勢街道」

生野区 西川雄之助

1980年8月(No.109)

巻頭言「爽やかな風土」

阿波野青畝

6月のこんなこと

なにわ医見「どうすればよいのですか」

海外の医療・フランス1「医師増、医療費増の波紋」

藤井良治

勝敗をさぐる44(吉野俊宏)

「日常みられるEKGの症例」37(高梨忠寛・加藤孝和)

ほんだな『パリの夢 アフリカの夢』

小林六郎

ほんだな『胡蝶の夢』(U生)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

予告

特集「わたしの戦後史」

パターン「死の行進」に想う

中村安治郎

ペチカで暖めた屍体

早川 武

見棄てられた民草		カルテ記帳で防げる請求ミス	佐藤一夫
満鉄の病院列車	松井 毅	健康カードで生涯管理	辻 一省
巻尺で測った頸の太さ	木下秋水	投稿「わたしのカルテ」 治療に有益なP.O.S.方式	吉岡観八
食べ盛りの潜入騒動	三田俊定	点数カードと経年経過記載	野田英造
スコップ1本で	堀辺四郎	保険証をカルテにコピー	沢田孝明
地獄絵図	大橋こふみ	高齢長期患者を主眼に	田中 開
漂流した7日間	椎名つ弥	誰がみてもわかるカルテを	小林愛次郎
人力車で往診に	木村ます	府下休日急病診療所のカルテ(編集部)	
かけだしの新生医師会	酒井一雄	チーム医療時代のカルテ(デスク)	
青年医師運動の残したもの	南 茂雄	テキスト「肺結核の薬剤治療の実際」 府立羽曳野病院臨床検査科部長	山口 亘
戦争体験者の責務とは(デスク)	多田羅浩三	なにわの郷土史9「熊野古道」	中山凡流
テキスト「慢性気管支炎の薬剤治療の実際」 府立羽曳野病院アイソトープ科部長	一之澤昭夫	海外の医療・フランス2「医療の自由」でストライキ	藤井良治
テキスト「補聴器の臨床 小児難聴を中心に」 住友病院耳鼻咽喉科部長	伊藤治夫	文芸・なにわデカメロン第9話 「お伊勢まいり」(野間 明)	
なにわの郷土史8熊野古道(大阪篇) 「消えゆく九十九王子」	脇田逸夫	表紙ひとこと「霞ヶ浦のワカサギ漁」 寝屋川市・歯科 宮地栄季	
文芸・なにわデカメロン第8話 「河太郎」(野間 明)		1980年10月(No.113)	
表紙ひとこと「夏の日の思い出」	寝屋川市 友田洋一	巻頭言「勘平のやすらぎ」	竹本越路大夫
1980年9月(No.110)		8月のこんなこと	
巻頭言「皮膚のストライキ」	小山乃里子	なにわ医見「ひとりっ子の家庭」 勝敗をさぐる46(吉野俊宏)	
7月のこんなこと		「日常みられるEKGの症例」38(高梨忠寛・加藤孝和)	
なにわ医見「診療所はなぜジリ貧」		海外の医療・欧米諸国の医療費問題	石本忠義
ほんだな『ホワイト・ホール』	辻 一省	編集後記	
ほんだな『空母信濃の生涯』	川浪映二	詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
勝敗をさぐる45(吉野俊宏)		予告	
海外こぼれ話(s 生)		特集「疾病と運動療法」	
彫塑教室より17(日高正法)		国民の健康権とは おかしな健康問題	正木健雄
編集後記		脳卒中 後遺症を最小に	種子田護
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)		小児ぜんそく 戸外で総合的訓練を	菅原猛行
予告		心疾患 心疾患の運動療法の実際	大野穰一
特集「カルテはだれのもの」		腰痛 症状にあった運動療法	博田節夫
カルテのルーツ	中川米造	糖尿病 運動療法のリハビリセンターを	中村幸二
訴訟をへらすカルテ	滝井繁男	メディカルチェック 事故防止のために	村山正博
患者中心の問題志向型カルテ	西野和彦		

脳卒中 医師とPTの連携で無駄のないリハビリを 山口武典・鮎澤芳穂	なにわの郷土史11大和川のはなし2 「元禄の嘆願書」	東川宗彦
絶対安静への疑問(デスク) テキスト「一般診療科における抗うつ剤の使い方」 大阪市立大学医学部神経精神科教授 川北幸男	海外の医療・欧米の医療費 「赤字対策あの手この手」(石本忠義)	
なにわの郷土史10大和川のはなし1 「度重なる水禍」	文芸・なにわデカメロン第10話 「かき舟(2)」(野間 明)	
東川宗彦	文芸「鬼界ヶ島」	吉田 甫
ほんだな『せつつの民話』	表紙ひとこと「初雪のみくりが池」	吹田市 大沢恵美
ほんだな『眼科Mook 高血圧と眼』	大月博視	
文芸・なにわデカメロン第10話 「かき舟(1)」(野間 明)	1980年12月(No.115)	
文芸・津和野考	巻頭言「腹ガヘッテ 困リマシタガ」	榊 莫山
堀野一男	10月のこんなこと	
表紙ひとこと「飛騨路の秋祭り」	なにわ医見「20年をふりかえる意義」	
北区 新保光世	勝敗をさぐる48(吉野俊宏)	
1980年11月(No.114)	編集後記	
巻頭言「才能のめざめ」	詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
友井唯起子	特集「会員実態調査」	
9月のこんなこと	住民に密着した家庭医に	細川一真
なにわ医見「許すな国盗り医療制度」	開業医・その誇りといらだち	野村 拓
あなたもどうぞ「ひろがる二つのレンズの世界」	舟橋 透	
勝敗をさぐる47(吉野俊宏)	座談会「80年代を開業医はどう生きる」	
海外こぼれ話(S 生)	「日常みられるEKGの症例」39(高梨忠寛・加藤孝和)	
ほんだな『西ドイツの社会民主主義』	なにわの郷土史12大和川のはなし(最終回)	
保田正三郎	「民衆の力で甦った用水路」	東川宗彦
ほんだな『くすりの常識』	片山利貞	川合日出雄
彫塑教室より18(日高正法)	編集後記	
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	予告	
特集「なんで医療費通知運動」	特集「なんでも医療費通知運動」	
誰が操作するマスコミ論調	野村 拓	
国民皆通知制は医療史の汚点	辻 一省	
指定取消しの引き金	北林忠正	
受診中断で失明した老人 被保険者の健保への関心を	仲田良夫	
投稿「医療費通知運動 根底からゆらく信頼関係」	社会の谷間で遠のく医療	
古屋頼兒	製薬メーカーの尻ぬぐい	
松井岩美	ケチな政府	
国見辰雄	ねらいは受診抑制(デスク)	
テキスト「脳卒中急性期の治療一般と薬剤治療の実際」	国立大阪南病院副院長 額田忠篤	
なにかの郷土史11大和川のはなし2 「元禄の嘆願書」		
海外の医療・欧米の医療費 「赤字対策あの手この手」(石本忠義)		
文芸・なにわデカメロン第10話 「かき舟(2)」(野間 明)		
文芸「鬼界ヶ島」		
表紙ひとこと「初雪のみくりが池」		
吹田市 大沢恵美		
1980年12月(No.115)		
巻頭言「腹ガヘッテ 困リマシタガ」		
榊 莫山		
10月のこんなこと		
なにわ医見「20年をふりかえる意義」		
勝敗をさぐる48(吉野俊宏)		
編集後記		
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)		
特集「会員実態調査」		
住民に密着した家庭医に		
細川一真		
開業医・その誇りといらだち		
野村 拓		
座談会「80年代を開業医はどう生きる」		
「日常みられるEKGの症例」39(高梨忠寛・加藤孝和)		
なにわの郷土史12大和川のはなし(最終回)		
「民衆の力で甦った用水路」		
東川宗彦		
ほんだな『写真図解 操体法の実際』		
川合日出雄		
ほんだな『神の汚れた手』上・下		
西川雄之助		
テキスト「心筋梗塞のリハビリテーション」		
府立成人病センター第一内科 前田泰治・柴田宣彦		
文芸・なにわデカメロン(最終回)第10話 「かき舟(3)」(野間 明)		
1980年総索引		
表紙ひとこと「北アルプスタ景」		
東淀川区 辻田百典		
1981年1月(No.116)		
巻頭言「人間を笑う鳥たち」		
上村淳之		
新春インタビュー・上村淳之の世界		
「翔ぶ生きざまを美の極地に」		
特集「開業医の声 医者としていかに生きるべきか」		
座談会「青年開業医の声・夢は地域でのチーム医療」		
スーパーで手にする広告の品		
藤原瑤子		
赤ひげかエコノミックドクターか		
吉田 茂		
短い女医の寿命		
北条富代		

なにわの郷土史15高山右近の信仰3 「ローマの伝道者超える信仰へ」(宇津木秀甫)	ほんだな『燃えさかれないのちの火』	細川一真
食はいのち2高脂質血症 「カロリー制限食の基本的効果」(南部征喜)	ほんだな『おっちょこちょ医』	上田浩治
「古代史の謎を求めて」5(片山利貞)	テキスト「糖尿病の薬剤治療の実際」 大阪市立大学第2内科 木下迪男・魚井孝悦	
ほんだな『小児皮膚疾患カラーアトラス』	編集後記	
	詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
ほんだな『医師の心』	表紙ひとこと「吉野の桜」	茨木市 夜久正治
海外の医療・西ドイツ3「医療費抑制策と老人医療 制度」(石本忠義)		
彫塑教室より20(日高正法)	1981年5月(No.120)	
テキスト「日常診療において搬送を考慮すべき小児疾患」 菅原重道	巻頭言「付録」	曾我廼家明蝶
文芸「中国旅行雑詠」		
	3月のこんなこと	
文芸・旅靴1「雑流し」	なにわ医見「“医師会村”からの脱皮」	
	特集「知っておくべき審査問題」	
八尾市 岩垣子鹿	審査委員会とは	辻 一省
編集後記		
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	凄じい保険者の異議申し出	佐藤一夫
表紙ひとこと「太子町のぶどう畑」		
堺市 武田博之	良識を失ったケースは査定を	山本 漸
1981年4月(No.119)	425円の重み 守田審査訴訟の意義	小島 靖
巻頭言「2,000人の視線」	忍びよる医療監視体制の強化	西野和彦
亀田美佐子		
2月のこんなこと	資料「再審査と川合判決」	
なにわ医見「対話の輪を」	国民の生命を守る審査(デスク)	
特集「薬価のカラクリ」	こちらは基金ですが	片山利貞
薬価決定の抜本改正を		
	勝敗をさぐる53(吉野俊宏)	
太田 秀	Q&A「2月号特集への質問と回答」	西幹禎之/中川米造
薬価引下げは日雇労働の道		
倭馬左也	海外こぼれ話(S 生)	
薬価高値安定にメスを	なにわの郷土史17河内史点描1	
	「石川流域の開発と古市の大溝」	古田 実
イギリスの薬価決定方式		
沓脱タケ子	海外の医療・朝鮮民主主義人民共和国2	
日野秀逸	「主体思想にねざした予防医学」(片村永樹)	
三田雄司	食はいのち3治療食	
「製薬企業と薬価基準」を読んで	「ちょっとした運動を加えて」(南部征喜)	
成原忠彦	ほんだな『わらじ医者京日記 ぼけを看つめて』	本田寅二郎
医薬品購入調査「不当に高い医薬品一覧」(調査部)		
薬価決定をガラス張りに(デスク)	ほんだな『皮膚科の臨床』	南 浩
海外の医療・朝鮮民主主義人民共和国1		
「身の丈にあった近代化と発展」		
片村永樹	彫塑教室より21(日高正法)	
「日常みられるEKGの症例」41(高梨忠寛・加藤孝和)	テキスト「脳循環障害とめまい」	額田忠篤
勝敗をさぐる52(吉野俊宏)		
「なにわデカメロン」完結インタビュー	文芸・旅靴2「田舟」(岩垣子鹿)	
惚れこんだ大阪人気質	編集後記	
野間 明	詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
私のくふう「縫合糸圧痕を残さない縫合法」	表紙ひとこと「ポートピア81」	東住吉区 柳本昭三
沢田孝明		
なにわの郷土史16高山右近の信仰(最終回)		
「北摂のかくれキリシタン」(宇津木秀甫)		

1981年6月(No.122)

巻頭言「責任者出てこい!」	人生幸朗
4月のこんなこと なにわ医見「力強い同盟軍」 特集「八尾市のねたきり老人実態調査」 高齢化社会の貴重な指標に	貴島康彦
八尾市寝たきり老人の特徴と問題点	金田治也
開業医に依頼する健康管理(調査部) ユニークな住民参加の調査	大国美智子
調査員の声「高齢化社会に対応する地域社会を」 自分で働けないイラだち	上田浩治
結婚もできずに介護に	吉村武史
もしこの看護者が倒れたら	立石あゆみ
柳原病院の訪問看護 安心して自分の家で生活を	東条妙子
我々のできること(デスク) 勝敗をさぐる54(吉野俊宏) あなたもどうぞ「試合をつくり出す卓球魔」	栗山秀重
なにわの郷土史18河内史点描2 「古事記に見える樟の巨木伝承」(古田 実) 海外の医療・朝鮮民主主義人民共和国3 「地域の総合診療所で」(片村永樹) ほんだな『内科疾患と皮膚症状』	村田 進
ほんだな『鬼伝説の研究』	辻 一省
テキスト「高齢者の感染症」	上松一郎
文芸「ひそかなる冬の旅」	堀野一男
編集後記 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫) 表紙ひとこと「新緑の飛鳥路」	淀川区 安保立郎
1981年7月(No.124)	
巻頭言「信じる」	森繁久弥
5月のこんなこと なにわ医見「引上げのない改訂」 特集「公費医療を点検する」 結核予防法 切り捨てられた釜ヶ崎	本田良寛
老人福祉法 長生きは保険財政の敵	野村 拓
母子保健法 なぜ回避する国の責任	大湊 茂

精神衛生法 入院中心主義から地域医療へ	金子嗣郎
公費医療改善こそ国民的課題	平井正也
ご都合主義の政府(デスク) 資料「国の助成に係る公費負担事業一覧」 海外の医療・朝鮮民主主義人民共和国4 「朝鮮統一を心からねがって」(片村永樹) 食はいのち4糖尿病 「徹底的に食事と運動療法を」(南部征喜) 勝敗をさぐる55(吉野俊宏) 海外こぼれ話(s 生) あなたもどうぞ「チェロにのめりこんで」	佐々木均
なにわの郷土史19河内史点描3 「渡来系氏族と河内地方の開発」(古田 実) ほんだな『仏陀のおしえ』	巴 徳安
ほんだな『白隠禅師 健康法と逸話』	片山利貞
彫塑教室より22(日高正法) テキスト「高齢者と骨・関節疾患」	吉岡康裕
文芸・旅艶3「鮎の宿」(岩垣子鹿) 編集後記 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫) 表紙ひとこと「夕日のトランペット」	堺市 武田博之

1981年8月(No.126)

巻頭言「花はたべられぬ」	杉山平一
6月のこんなこと なにわ医見「協会をいつも考える時」 特集「わたしの戦後史」 お母さん	飯藤謙三
南十字星下の敗走	吉岡観八
0.1mgのアトロピン	樋口一郎
幻の野田藤咲きぬ	吉田シズ
難波駅前ですったさつまいも	巴 徳安
無条件降伏の翌日	藤谷芳生
今も昔も流行性出血熱	池田苗夫
望郷を夢みた収容所	植田 彪
生と死の分かれ目	西川美博
モンテンルパの丘	箕浦健三

尊き生命を守る先頭に(デスク)
海外の医療・アルゼンチン共和国
「24時間の医療サービス」

舩松伸男

「日常みられるEKGの症例」42(高梨忠寛・加藤孝和)
なにわの郷土史20河内史点描4
「天平の瑞龜出現とその波紋」(古田 実)

勝敗をさぐる56(吉野俊宏)

天邪鬼

あなたもどうぞ「大阪マリッジ協会 離婚なき結婚」
萱沢正平

ほんだな『かげからガンまで 天候とからだ』

東浦三郎

ほんだな『海軍軍医戦記』

小松良夫

テキスト「新点数の影響と留意点」(研究部)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

表紙ひとこと「琵琶湖の虹」

生野区 佐藤一夫

1981年9月(No.128)

巻頭言「忘れる 忘れない」

新野 新

7月のこんなこと

なにわ医見「マスコミと保団連要求」

特集「20歳を迎えた保険医協会」

「協会医師会屋上屋」論に答える歴史的一考察

辻 一省

目でみる協会史

協会に何を期待するか

日経メディカル副編集長 盛 宮喜

健保連大阪支部医療対策室長 橋爪甲太郎

大阪母親大会連絡会 浜口照子

大阪地方医療労働組合協議会委員長 上田広蔵

大阪府放射線技師会副会長 坪田正夫

座談会「なんでもしゃべろう大阪協会論序説」

協会は一人ひとりの手に(デスク)

勝敗をさぐる57(吉野俊宏)

海外こぼれ話(S 生)

なにわの郷土史21河内史点描(最終回)

「楠木正成についての私的再考」(古田 実)

海外の医療・エクアドル

「国立医療でネットワーク」(舩松伸男)

あなたもどうぞ「日本一の児童図書館」

黒坂潤一

ほんだな『近代医学の壁 魔弾の効用を超えて』

内本栄光

ほんだな『東京発・北方脅威論 北海道からの提言』

山本義昌

彫塑教室より23(日高正法)

テキスト「慢性肝炎の漢方治療」

矢野敏夫

文芸・旅靴4「千草の径」(岩垣子鹿)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

表紙ひとこと「桜島噴煙」

北区 新保光世

1981年10月(No.129)

巻頭言「朝のあいさつ」

宮本竹逯

8月のこんなこと

なにわ医見「医師の情熱はどこへ」

特集「6月1日の波紋」

基金にみる改定の問題点

佐藤一夫

進む医薬品の寡占(協同組合薬品部)

25%の大幅ダウン(近畿地区衛生検査所協会)

地域との連帯に生きる道

生駒貞嗣

眼科3年まってこんな点数

保田正三郎

産婦人科 厚生官僚がソロバン片手に

山村友良

小児科 バカにされた医師会員

萬谷雅宣

耳鼻科 標準偏差値による検討

崔 達俊

泌尿器科 内科へ転科する群

前田義雄

改定の意味するもの

桑原康則

推進本部で大運動

木村弥太郎

物のかすりの代償?(デスク)

勝敗をさぐる58(吉野俊宏)

日常みられるEKGの症例43(高梨忠寛・加藤孝和)

海外の医療・欧州の公衆衛生1

「地区の保健サービス」

丸山 創

あなたもどうぞ「阿波の夏 平和を喜び踊り狂う」

西川美博

ほんだな『アレルギー』

横山恒夫

ほんだな『生きがいある未来のために』

由井英三郎

座談会「税務署なんか恐くない」

なにわの郷土史22和泉式部塚崎語1「花と実と」

中山凡流

テキスト「アルコール関連障害について」

小杉好弘

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

表紙ひとこと「八ヶ岳高原秋景」

東淀川区 辻田百典

1981年11月(No.130)

巻頭言「医の道」

橋高薫風

9月のこんなこと		西原利昭
なにわ医見「100年の大計」		出来高払は物量中心主義
特集「真の自立をめざす完全参加と平等」		橋爪甲太郎
人間絶滅の危険を回避するため		保険医療を向上させた点数単価出来高払制
	黒田了一	桑原康則
一貫した発達保障		出来高払制維持の正当性
	山口ちとせ	成原忠彦
立ち遅れる社会的リハビリ		出来高払制の堅持を
	吉井一光	河崎 茂
小児死亡統計よりみた先天異常		命は金にかえられない(デスク)
	岩瀬帥子	勝敗をさぐる60(吉野俊宏)
空々しいステッカー		「日常みられるEKGの症例」(最終回)
	宇佐美正暢	高梨忠寛・加藤孝和
身障害の立場から		なにわの郷土史24
	松田孫一	「鬼才・阪田三吉 銀が泣いている」
インタビュー・府立身障者センター「厳しい社会復帰」	坂井和夫	堀辺四郎
強行される障害者いじめ(デスク)		海外の医療・欧州の公衆衛生3
勝敗をさぐる59(吉野俊宏)		「能力を生かせる老後」(丸山 創)
海外こぼれ話(s 生)		食はいのち5誤った食事療法
なにわの郷土史23和泉式部塚綺語2		「食事療法による合併症」(南部征喜)
「愛欲の奴隷」(中山凡流)		ほんだな『都市と交通』
C.T.による診療の現況		ほんだな『丸山ワクチン ガンを追いつめる』
	遠藤俊夫	辻田百典
海外の医療・欧州の公衆衛生2		テキスト「高血圧のメカニズム」
「きめの細かいサービス体制」(丸山 創)		大阪大学医学部第4内科 荻原俊男・熊原雄一
食はいのち5体重増がなくても		文芸・漢詩(渡辺貞恵)
「高脂血症形成の基盤」(南部征喜)		1981年総索引
ほんだな『地域と医療』		編集後記
	西野和彦	詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
ほんだな『人間と医学』(編集部)		表紙ひとこと「朝焼けの白馬連峰」
彫刻教室より24(日高正法)		寝屋川市 友田洋一
テキスト「小児の運動発達とその異常」	梶浦一郎	
		1982年1月(No.132)
文芸・旅砲5「爐火」(岩垣子鹿)		巻頭言「人ごとでない話」
編集後記		手塚治虫
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)		11月のこんなこと
表紙ひとこと「釣り場」(伊賀にて)	生野区 西川雄之助	なにわ医見「Stay Young」
		特集「未来の医学」
		未来医学の哲学的条件
		中川米造
1981年12月(No.131)		コンピュータ診断
巻頭言「サヨナラだけが人生」	藤本統紀子	古川俊之
		細胞融合
10月のこんなこと		岡田善雄
なにわ医見「臨調の民主的改善」		先天異常
特集「なぜいま出来高払見直しか」		千代豪昭
医療費を公的に保障させる道	山城正之	ライフサイエンス
		宮崎慶三
無責任な登録医制導入	吉田秀夫	人工心臓
		阿久津哲造
今日の医療制度の最も悪い面	太田 薫	レーザー医学
		滝澤利明
支払方式改善の提案	大村潤四郎	人工臓腑
		繁田幸男
医療費11兆円時代の支払制度		

ほんだな『大阪古地図物語』	堀辺四郎	表紙ひとこと「清滝の桜」	阿倍野区 本田光則
ほんだな『印刷発注マニュアル』	馬場昭夫	1982年5月(No.136)	
テキスト「脳卒中症例を中心にした診断上の諸問題」	阪和病院内科脳卒中診療部 入野忠芳	巻頭言「山の匂い」	今井通子
テキスト「筋弱力・筋萎縮症例を診た時」	愛媛大学保健管理センター 畑中良夫	3月のこんなこと	
文芸・コレラ戦線異状なし3	「見知らぬ顔の兵士たち」(野間 明)	なにわ医見「屋久島原生林を守れ」	
文芸・旅靴7「彼岸櫻」(岩垣子鹿)	編集後記	特集「成人病予防のための保健事業」	
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	表紙ひとこと「早春の水郷」	自己責任論による有料化	山下節義
東淀川区 辻田百典		保健所からみた老人保健法案	丸山 創
1982年4月(No.135)		関係機関の分業と協業	飯田 稔
巻頭言「限界までの努力」	玉の海梅吉	医師、住民、行政が包括医療	西野和彦
2月のこんなこと		住民の手による検診	浅井種男
なにわ医見「一兆円減税と医業税制」		ヘルパーと保健婦で看護ケア	中山節子
特集「病院のオープン化と開業医」		検診データの弊害	片山利貞
質の高い病院医療	紀伊國献三	資料「老人保健法案の保健事業の概要と実施計画」	
未来志向の千里方式	吉岡観八	予防からリハビリまで(デスク)	
新千里病院を利用して	吉長正文	勝敗をさぐる65(吉野俊宏)	
医師会病院は精神的支え	益崎 優	あなたもどうぞ「金曜日は書道教室 字を大切にすること」	原 省吾
地域の開業医にセミオープン	小松良夫	歯科医の目5「乳歯のたたり 小児歯科」	川野敏樹
病診が胸襟を開く時	竹中普久	海外こぼれ話(s 生)	
オープン型病院と地域医療	細川一真	なにわの郷土史29大阪の町人文化1	
地域に開かれた病院(デスク)		「大阪連歌の中心人物 西山宗因」	藤本 篤
古代史の謎を求めて6「出雲神話の謎2」(片山利貞)		ほんだな『運動と寿命』	細野 孟
勝敗をさぐる64(吉野俊宏)		ほんだな『吉田茂とその時代』上・下	小川 孝
仏教の故郷2「仏塔の変遷2」(堀辺四郎)		テキスト「神経疾患のみかた」	北野病院神経内科部長 今井輝国
なにわの郷土史28大阪城落城後の町家の変遷(最終回)		文芸・コレラ戦線異状なし5	
「天下の台所」(矢内 昭)		「闇にまぎれて潜行せよ」(野間 明)	
歯科医の目4「抜歯すべきか保存すべきか」(東谷泰爾)		文芸・漢詩(渡辺貞恵)	
ほんだな『生命の医と生命の農を求めて』	守田由雄	編集後記	
ほんだな『楽しく読める聖書』	二宮聖耳	詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
彫塑教室より26(日高正法)		表紙ひとこと「吉野の鯉のぼり」	堺市 武田博之
テキスト「日常ありふれた皮膚疾患」	二宮聖耳	1982年6月(No.139)	
文芸・コレラ戦線異状なし4		巻頭言「発刊10周年にあたり」	桑原康則
「天に背いた男」(野間 明)		4月のこんなこと	
文芸・旅靴8「海棠」(岩垣子鹿)		なにわ医見「なにが何でも医療費圧縮」	
編集後記		特集「大阪保険医雑誌発刊10周年記念」	
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)		「開業医の医学」の創造的発展を	

プロイラー鶏舎のような病院	朝倉新太郎	37万被爆者の1人として	小林栄一
組織が前進する条件	木津川計	核廃絶を確認した世界の医師	石田 定
歴代雑誌部長座談会「開業医のすばらしい創意」	小森孝児	救いを求める音楽はもう二度と	辻 久子
会員の声「こんな企画をしてみてもは」		大阪を反核の草の根に	竹花義郎
多くの会員が参加する雑誌に	大谷英一	権力者が核のボタンを押すとき	金子嗣郎
視野をひろげて住民の中へ	大形順子	各地で発足する反核医師の会	桐島正義
医療の将来展望を	菅原重道	核戦争防止の実行委員会を発足	岩崎 正
協会ならではのレセプト掲載	鈴木元太郎	資料「最近1年間の反核の動き」	
高額所得者から医師が消える時(青雲子)		人類の危機を救う運動(デスク)	
保険医雑誌モニターアンケート結果「保険医雑誌に		勝敗をさぐる67(吉野俊宏)	
望まれていること」		歯科医の目7「正しい育児が歯を守る基本」(川野敏樹)	
昭和48年(1973)はこんな年		海外こぼれ話(S生)	
10年前の物価		あなたもどうぞ「清楚な蝶にひかれて」	小林弘明
特集企画「テキストのあゆみ」		投稿「保険診療雑感」	武田良逸
あなたもどうぞ「カミキリムシ一筋で40年」	田村 保		
医療とコンピュータ1「宇宙計画からおもちゃまで」	三好賢周	なにわの郷土史31大阪の町人文化3	
勝敗をさぐる66(吉野俊宏)		「曽根崎心中で大当り 近松門左衛門」(藤本 篤)	
仏教の故郷3「飛天の系譜」(堀辺四郎)		医療とコンピュータ2「大量情報の組織化」(三好賢周)	
歯科医の目6「重要となる歯科衛生士の役割」(川野敏樹)		ほんだな『核先制攻撃症候群』	西野和彦
なにわの郷土史30大阪の町人文化2		ほんだな『イギリスの地域医療とくらし』	山本哲夫
「近代小説の生みの親 井原西鶴」(藤本 篤)		テキスト「高血圧治療 最近の進歩」	
ほんだな『町医者毒舌』	山村友良	大阪大学医学部第四内科 荻原俊男・熊原雄一	
ほんだな『新臨床病理学総論』(、 、)	島喜一郎	文芸・コレラ戦線異状なし7	
彫塑教室より27(日高正法)		「露営の夢よ ふるさとよ」(野間 明)	
テキスト「聴力検査のすすめ方」	関西医科大学講師 綾仁信夫	編集後記	
文芸・コレラ戦線異状なし6		詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
「狙いをさだめて撃て」(野間 明)		表紙ひとこと「濃緑の北山杉」	吹田市 大沢恵美
文芸・旅鞆9「河鹿」(岩垣子鹿)			
編集後記			
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)			
表紙ひとこと「ローズシャトウのばら」	淀川区 安保立郎		
1982年7月(No.140)			
巻頭言「芸は楽しくむつかしい」	山村 若	6月のこんなこと	
5月のこんなこと		なにわ医見「生涯忘れられない日」	
なにわ医見「星雲の中の貴重な星」		特集「わたしの戦後史」	
特集「医師と反核」		8カ月間の拘置所ぐらし	田村 清
核の家庭訪問時代		日米両軍に焼かれた家	国見辰雄
原爆講座で学生に感想文	林 智	軍医速成の強行スケジュール	野村和夫
	高木昌彦	300名の決死隊	片岡義雄
		医学教育の四本柱	守屋 正

地元医師会主催の一日総会を			桐島正義
医療関連団体を網羅する総会を	守田由雄	「君は美しい」のほめ言葉	松井幸民
患者の参加で更に有意義に	寺本 清	思い出す恩師ナチス党員のことは	中谷 勝
誰でも参加できる交歓行事	上田泰章	わがナニワ節人生	辻田百典
第1回日本医師卓球大会成功を	将棋を通じ懇親の和を 藤垣 元	平和憲法は守護神	入野敏夫
交歓行事一覧	栗山秀重	水の教訓	貴島康彦
私はここが聞きたい		資源のない日本の教育訓	巴 徳安
古屋顕児／横山恒夫／井口正己		1つの目標に向かう	
／佐藤一夫／西野和彦／辻一省／小川孝			事務局 田中重利
第21回日本医学会総会の演題、演者・司会者一覧		医学生のみた将来の開業医像	
人類の未来を考える場に(デスク)		人間はいかにして文化を育てたか(デスク)	
勝敗をさぐる72(吉野俊宏)		勝敗をさぐる73	
仏教の故郷6 最終回「仏教東進のなぞ」(堀辺四郎)		「初春対局 橋本宇太郎vs若山秀二」(吉野俊宏)	
歯科医の目(最終回)「高齢者の抜歯は十分注意を」	池 徹	いま役に立つ臨床検査1「尿検体取扱いのポイント」	大場康寛
なにわの郷土史36おかげ参り3		民族学の旅・世界と日本1大阪にできた「世界に開く窓」	国立民族学博物館 杉本尚次
「すさまじい民衆のエネルギー」(相蘇一弘)		海外こぼれ話(s 生)	
医療とコンピュータ7		あなたもどうぞ「鬼ガワラの紋様で時代考証」	舛谷幸丸
「操作の容易なパッケージ方式」(三好賢周)			
ほんだな『総史沖縄戦』	倭馬左也	医療とコンピュータ8	
		「漢字化とマルチ処理で残業が解消」(三好賢周)	
ほんだな『戒老録』	西岡舟子	なにわの郷土史37おかげ参り4	
		「参詣人は杓を1本持って」(相蘇一弘)	
彫塑教室より30(日高正法)		11月のこんなこと	
テキスト「最近の眼科屈折検査」	奈良医科大学眼科 西信元嗣	なにわ医見「協会の真価が問われる1年」	
文芸・コレラ戦線異状なし(最終回)		ほんだな『現代の医療問題』	深尾利津雄
「平和のために、鐘は鳴る」(野間 明)			
文芸・旅鞆12「歳の市」(岩垣子鹿)		ほんだな『ガンが消えた』	二宮聖耳
1982年総索引		テキスト「型アレルギー-疾患に対する医療用漢方製剤療法」	近畿大学東洋医学研究所 谿 忠人
編集後記		文芸・漢詩(渡辺貞恵)	
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)		編集後記	
表紙ひとこと「冬の越前」	堺市 保田 勝	詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
		表紙ひとこと「橋杭岩の曙」	淀川区 安保立郎
1983年1月(No.148)			
巻頭言「ゴールのテープが見える頃」	桂 信子	1983年2月(No.149)	
特集「次の世代に望むこと」		巻頭言「最高の遊び つり」	小西和人
食べもの生きることを考えよう	丸山 博		
世界を核から守る正義感	亀田得治	12月のこんなこと	
健康に気をつけ明るい人生を	稲葉 博	なにわ医見「政治嫌いの眼」	
円 相		特集「大阪の医療・福祉 現状と将来」	
		府民の健康と将来への提言	朝倉新太郎
生命を大切にする優しさ	藪内百治	母と子に信頼できる乳幼児健診を身近に	速水敏子
平和を守ることの意味	河崎 茂	地域医療に「生残り」をかける中小病院	

保健所衰退の要因	植田 彪	申告納税制度見直しと開業医	木村弥太郎
総合対策へさらに一歩を	大阪保健所問題研究会	保団連・医業税制改善要求 記帳に便利な協会の帳簿類 財政破たんのはわ寄せ(デスク) 勝敗をさぐる75(吉野俊宏) あなたもどうぞ「四ツ球にねらいをつけて」	宇佐美正暢
老人の介護は国民的課題	清水忠彦	いま役に立つ臨床検査3 「実地医家のための簡便緊急検査セット」(大場康寛) 民族学の旅世界と日本3 変わりゆく南太平洋の島々(中)「私はサモアの酋長」(杉本尚次) なにわの郷土史39 おかげ参り6「百姓一揆にも等しい反封建行動 文政のおかげ踊り」(相蘇一弘) 海外こぼれ話(S 生) 医療とコンピュータ10 「産出データをグラフ化」(三好賢周) ほんだな 児童詩集「たいようのおなら」	磯野 甫
大阪の救急医療システムの推移と現況	大国美智子	ほんだな『安藤昌益全集』全21巻	竹内治一
住民意識の進歩と第一線医療	松井清孝	テキスト「一過性脳虚血 その病態と重要性について」 国立循環器病センター内科 山口武典	山口武典
なぜ大阪は不健康か(デスク) 勝敗をさぐる74(吉野俊宏) あなたもどうぞ 「晩秋の穴場勸光地へ 尾道の歴史と文学を求めて」 川口明夫	貴島幸彦	テキスト「実地医家のための治る肺がん診断」 ハットリ内科院長 服部正次	服部正次
医療とコンピュータ9 「導入の場合は機種比較検討を」(三好賢周) いま役に立つ臨床検査2 「尿検査成績をよむ時のために」(大場康寛) 民族学の旅・世界と日本2変わりゆく南太平洋の島々(上) 「西サモアの自然と生活」(杉本尚次) なにわの郷土史38 おかげ参り5 「油屋政七のおかげ参宮紀行」(相蘇一弘) ほんだな『現代日本病人史』	小松良夫	編集後記 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫) 表紙ひとこと「雪原に生きるミズナラ」 阿倍野区 本田光則	本田光則
ほんだな『読書の方法<未知>を読む』 馬場昭夫	馬場昭夫	1983年4月(No.152) 巻頭言「忘れ得ぬ恩師の言葉」	久保田富子
彫塑教室より31(日高正法) テキスト「老人診療に必要な泌尿器科疾患」 小松病院副院長 井上彦八郎	井上彦八郎	2月のこんなこと なにわ医見「住民の健康管理にどう関わるか」 特集「医療とマスコミ」 地域で医療文化を明らかに	西 三郎
テキスト「外科手術に必要な検査」 大阪市立大学臨床検査研究室 巽典之・奥田清文芸・旅鞆13「夕鶴」(岩垣子鹿) 編集後記 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫) 表紙ひとこと「立春」	柳本昭三	医療記事ができるまで	本田一二
東住吉区	柳本昭三	マスコミが脱帽する批判を	長倉 功
1983年3月(No.150) 巻頭言「見捨てられた廃村へ」 藤嶽彰英	藤嶽彰英	すべての開業医が青色申告に	堀内龍獅虎
1月のこんなこと なにわ医見「民主憲法を守る道は何か」 特集「臨調路線と徴税攻勢」 大企業本位の補助金行政	山口 孝	医療体制づくりを考えると 「聖職宣言」でイメージ向上を	今松英悦
財政再建は大企業の優遇見直しで	浦西照二	医事評論家を斬る	佐藤一段
自治体と税理士会を徴税の下請に	吉原克己	拝啓、論説委員殿	西野和彦
簡易記帳で診療の実態を把握	辻本 勉	拝啓、編集局長殿	島喜一郎
法人化は近代化への展望をもって	益子純一	マスコミとの相互理解を(デスク)	由井英三郎

医療とコンピュータ11

「導入に当たっての注意事項1」(三好賢周)

勝敗をさぐる76(吉野俊宏)

いま役に立つ臨床検査4

「血清化学成分の正常値と年齢」(大場康寛)

民族学の旅世界と日本4 変わりゆく南太平洋の島々

(下)「ナウル共和国 豊かな燐鉱石の島」(杉本尚次)

なにわの郷土史40 おかげ参り(最終回)

「民衆の社会不安が極限に」(相蘇一弘)

あなたもどうぞ「誰でも咲かせられる花“らん”」

松村謙一

ほんだな『臨床医学示説』全62巻

阪口敏彦

ほんだな『家庭の健康百科』

今村芳明

彫塑教室より32(日高正法)

テキスト「ベッドサイドの腰痛症」

大阪労災病院リウマチ科部長 辻本正記

テキスト「痛みとペインクリニック」

大阪医科大学麻酔科教授 兵頭正義

文芸・旅靴14「島の春」(岩垣子鹿)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

表紙ひとこと「平安神宮の桜」

虹彩会(保険医カメラクラブ) 三田雄司

1983年5月(No.153)

巻頭言「道頓堀の名医」

三田純市

3月のこんなこと

なにわ医見「手づくりの地域医療を」

特集「優生保護法『改正』の問題点をさぐる」

優生保護法改悪の裏にある危険な流れ

辻 一省

有事立法としての優生保護法「改正」

野村 拓

基本的人権にかかわる優生保護法

坂本福子

「おめでとう」のいえないお産

上道知三

安心して産み育てる環境整備を

澤トシ子

改正派の本当の狙いは(デスク)

勝敗をさぐる77(吉野俊宏)

いま役に立つ臨床検査5

血液検査「正常値と年齢」(大場康寛)

民族学の旅・世界と日本5

「木曜島と日本人 海外出稼ぎ漁民の活躍」(杉本尚次)

なにわの郷土史41 大塩平八郎の乱1

「“救民”の旗かかげ」

藪田 貴

和泉邪馬台国研究「中国史書の記載と泉州」

小堀 弘

海外こぼれ話(s 生)

ほんだな『トンネル山の子どもたち』

西川雄之助

ほんだな『ガン回廊の朝』

原 勲

医療とコンピュータ12

「導入に当たっての注意事項2」(三好賢周)

テキスト「胆石症の内科療法 胆石の形成と溶解剤」

聖徳病院内科・大阪大学医学部講師 垣内義亨

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

表紙ひとこと「鯉のぼり」

虹彩会 武田博之

1983年6月(No.154)

巻頭言「巖窟王を絶滅するとき」

佐古田英郎

4月のこんなこと

なにわ医見「公正な医業税制の確立を」

特集「くすりののませ方」

「薬の時代」にふさわしい服薬指導

海老原昭夫

医・病院間の重複投薬解消を

市川敏雄

薬局と処方医との緊密な連絡を

稲森英美

患者との対話をもう一度考えて

佐々木長

電話で服用の追跡調査

佐谷圭一

1mmでも小型化を

山平良也

薬袋から出して説明

白神弘子

各科の声「服薬指導の工夫」

母親への十分な説明と納得で

建石保子

外用薬はぬり方をその場で模範

二宮聖耳

基本姿勢は必要最小限の投薬

小川 孝

慢性疾患は生活管理に重点を

阪口敏彦

点眼薬の共用に注意

保田正三郎

他科での投薬は必ず確認

馬場昭夫

理想は一回分一包

片山利貞

薬は治療上最大の武器(デスク)

勝敗をさぐる78(吉野俊宏)

あなたもどうぞ「雄大で未知な琵琶湖に帆を張って」

村野裕/石見邦夫/乾健三/太田光重

民族学の旅・世界と日本6「シドニーの新しい象徴

オペラハウス」(杉本尚次)

なにわの郷土史42 大塩平八郎の乱2

「大塩平八郎とその門人たち」(藪田 貴)

いま役に立つ臨床検査6

「白血球数算定と診断」(大場康寛)		原 文夫
医療とコンピュータ13		
「導入に当たっての注意事項3」(三好賢周)		前田義雄
ほんだな『お父さん腎臓ありがとう』	守田由雄	神野健栄
ほんだな『文章速達法』	片山利貞	津上久弥
彫塑教室より33(日高正法)		
テキスト「臨床医として必要な輸液の知識」		
大阪府立病院腎疾患センター	飯田喜俊	
テキスト「抗生物質」		虹彩会 本城進一郎
関西医科大学附属洛西ニュータウン病院長	大久保寛	
文芸・旅靴15「紫陽花」(岩垣子鹿)		
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)		
表紙ひとこと「六月」		
	虹彩会 大澤恵美	
		1983年7月(No.155)
巻頭言「医者通いと医者嫌い」		
	夢路いとし	
5月のこんなこと		
なにわ医見「姨捨山のさくら」		
特集「老人保健法実施から半年」		
老人保健法実施後の問題点と今後の課題	奈倉道隆	
望まれる保健サービスの再編成	金田治也	
増大する老人ホーム入所待機者	岩田克夫	
着実に進行する老人患者の減少	小林明雄	
特例許可は中間施設への布石	竹中普久	
110番で老人の医療とくらしを把握	上坪 陽	
混乱と誤解が渦巻く老健法	佐藤一夫	
診療所を去りゆく老人達	片山利貞	
会員アンケート結果報告		
病院アンケート結果報告		
老人いじめの臨調路線(デスク)		
勝敗をさぐる79(吉野俊宏)		
いま役に立つ臨床検査7		
「フェノールスルホンフタレイン試験」(大場康寛)		
民族学の旅・世界と日本7「フィヨルドに行くヨーロッパ鉄道の旅」(杉本尚次)		
海外こぼれ話(s生)		
医療とコンピュータ(最終回)		
「医療におけるデータシステム」(三好賢周)		
なにわの郷土43 大塩平八郎の乱(最終回)		
「共鳴者は各地各層に」(藪田 貴)		
投稿「4月号『医療とマスコミ』を読んで」	西谷宣雄	
ほんだな『嫌煙権を考える』		
ほんだな『日本の近未来衝撃』		
寄稿「広がるアスベストによる発癌」		
テキスト「最近の性病(STD)の話題」		大阪府立万代診療所所長
編集後記		
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)		
表紙ひとこと「西表島の青い海」		
		1983年8月(No.156)
巻頭言「人類の母として平和運動へ」		湯川スミ
6月のこんなこと		
なにわ医見「核兵器の全面禁止を」		
特集「被爆者問題と平和」		
足もとに迫る核戦争の危険		
被爆者の心理を理解して治療を		木原正雄
恐怖と絶望の急性放射線障害		星崎東明
非核平和と援護法を求めて		山田真三
弁護士による被爆者の法律相談		高木静子
毎日が傷の痛む日々		木下準一
反核は医師の社会的使命		梶山孝子
資料「年表・核兵器開発と核戦略の歴史」		岩川 修
医師が先頭に立つて反核運動を(デスク)		
ほんだな『頭痛』		内本栄光
ほんだな『大日本帝国の研究』		川浪暎二
勝敗をさぐる80(吉野俊宏)		
いま役に立つ臨床検査8		
「末梢好酸球数と診断」(大場康寛)		
民族学の旅世界と日本8		
「市民のふるさとスカンセン」(杉本尚次)		
あなたもどうぞ「庶民のカメラ歴史館」		近常恒雄
彫塑教室より34(日高正法)		
なにわの郷土史44 いまもここに生きる人1		
「与謝野晶子(上)」		河野正伸
テキスト「喘息シリーズ1」		
小児気管支喘息の総合治療		
府立羽曳野病院・アレルギー小児科部長	豊島協一郎	
文芸・旅靴16「合歓の花」(岩垣子鹿)		
編集後記		
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)		

表紙ひとこと「天神祭」	虹彩会 宮地栄季	8月のこんなこと なにわ医見「高齢化社会こそすこやかな老後を」 特集「患者への接し方」 患者の苦悩に共感し援助を	
1983年9月(No.158)			
巻頭言「35年ぶりの再会」	加藤義明	手術は難しさを知らせて	中島さつき
7月のこんなこと なにわ医見「戦後の大反動期」 特集「大阪の審査問題」 審査委員は国民医療を守る番人	川口重義	一人ひとりの患者の身になって	吉川 清ほか
スキのない充実したレセプトを	佐藤一夫	疾患別転送ルート確立を	西野和彦
一層重要となる審査委員会の民主的運営	鴨脚光増	患者の顔と名前を覚えるコツ	小松良夫
古傷を互いの教訓として	山本 漸	外来における看護の質的向上を	泉田行夫
少なくなった審査委員会の裁量権	稲松 滋	フロントは来訪者の身になって	坂本瑠美子
レセプトは個別性のうつし	藤森 弘	看護学生の患者体験	妻谷重三
ルポ「大学病院への審査」 久しぶりに舞いこんだ減点通知	山本福造	不安と悩みを取除く接し方(デスク) 勝敗をさぐる82(吉野俊宏) 民族学の旅・世界と日本10「現代に生きる石の文化 ヴェロナの野外オペラ」(杉本尚次)	野村 拓
審査は療養担当規則に照らして	橋爪甲太郎	あなたもどうぞ「萩・津和野の旅」	巴 徳安
資料「保険者ではどのようにチェックされているか」 医療費抑制とレインボーシステム(デスク) 勝敗をさぐる81(吉野俊宏) いま役に立つ臨床検査9 「インドシアニンググリーン(ICG)試験」(大場康寛) 民族学の旅・世界と日本9「ドイツ人のふるさと シュバルツバルト」(杉本尚次) あなたもどうぞ「子どもの頃からの夢 鉄道模型」 八木淳之		なにわの郷土史46 いまもここに生きる人3「関 一(上)」 いま役に立つ臨床検査10 「末梢リンパ球数と診断」(大場康寛) ほんだな『苦楽の園』	芝村篤樹
海外こぼれ話(s生) なにわの郷土史45 いまもここに生きる人2 「与謝野晶子(下)」(河野正伸) ほんだな『ガン医師の記念誌』	貴島和彦	ほんだな『懐旧九十年』	守田由雄
ほんだな『人間の限界』	小林愛次郎	彫塑教室より35(日高正法) テキスト「喘息シリーズ3」 小児気管支喘息の吸入療法 府立羽曳野病院アレルギー小児科 最近の薬疹をめぐる話題 大阪市立大学医学部教授	小松良夫 林田道昭 濱田稔夫
テキスト「喘息シリーズ2」 吸入療法の基礎と臨床 府立羽曳野病院生理機能検査科部長 不妊と内分泌 無排卵症の診断と治療 神戸大学医学部産科婦人科教室	大杉隆史 片山和明	文芸・旅靴17「雨月」(岩垣子鹿) 編集後記 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫) 表紙ひとこと「越前海岸」	友田洋一
編集後記 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫) 表紙ひとこと「初秋の夕暮れ」	虹彩会 三田雄司		
1983年10月(No.159)			
巻頭言「心ある教師のとりで」	青木 一	9月のこんなこと なにわ医見「強気にでるチャンス」 特集「今日までそして明日からの医療」 根こそぎの収奪に草の根から反撃を	西山卯三
		望まれる新しいタイプの全科医	野村 拓

離陸するコンピュータ診断	渡辺 淳	細胞化学的方法で発見が容易に	森井卓郎・柴田弘俊
保健活動は生協で、治療は開業医で	古川俊之	がんマーカーの進歩とその評価	石井 勝
難病患者や障害児のホームドクターに	篠崎次男	慢性疾患は年一回総合的見直しを	佐藤一夫
座談会「開業医の将来は開業医の手で」	服部由子	夢でないガンの完全治癒(デスク)	
野村拓/平井正也/木村弥太郎		勝敗をさぐる84(吉野俊宏)	
/成原忠彦/西野和彦		民族学の旅・世界と日本12「東マレーシア	
転換期をどう曲がり切るか(デスク)		ボルネオ・サラワクのロングハウス」(杉本尚次)	
あなたもどうぞ「敦煌への道 千年の美の結晶」	堀辺四郎	いま役に立つ臨床検査12「ヘマトクリット値(Ht)	
勝敗をさぐる83(吉野俊宏)		と診断」(大場康寛)	
いま役に立つ臨床検査11「赤血球数と診断」(大場康寛)		なにわの郷土史48 いまもここに生きる人5	
民族学の旅・世界と日本11		「五代友厚(上)」	小田康徳
「複合民族国家マレーシア」(杉本尚次)		古代史の謎を求めて7「倭人南下の謎」(片山利貞)	
海外こぼれ話(S 生)		ほんだな『経済』『賃金と社会保障』(編集部)	
なにわの郷土史45いまもここに生きる人4		ほんだな『実録/新・自民党戦国史』	小川 孝
「関 (下)」(芝村篤樹)		彫塑教室より36(日高正法)	
守口支部臨床懇「頭痛を主訴として来院した転移性		テキスト「肝臓外科の最近の進歩」	
脳腫瘍の一例」	橋本忠雄	大阪市立大学第二外科講師	木下博明
ほんだな『蛙よ、木からおりてこい』	西川雄之助	テキスト「遮断剤と高血圧」	前田如矢
ほんだな『ガダルカナル』	辻 一省	大阪市立大学教授	
テキスト「喘息シリーズ4」		文芸・旅靴18「枯葉の径」(岩垣子鹿)	
喘息における吸入療法の実際		1983年総索引	
府立羽曳野病院アレルギー内科	寺岡 修	編集後記	
テキスト「骨折の最近の治療」		詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
大阪府立病院整形外科	浜田博朗	表紙ひとこと「冬の滝」	虹彩会講師 石井信夫
編集後記			
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)		1984年1月(No.162)	
表紙ひとこと「千国街道の秋」	虹彩会 新保光世	巻頭言「解ることの難しさ」	菊原初子
		11月のこんなこと	
1983年12月(No.161)		なにわ医見	
巻頭言「天は吾を見捨てず」	吉田襄助	年頭所感	平井正也
10月のこんなこと		特集「わたしの健康法」	
なにわ医見「創意ある開業医医療を」		豊かな精神と堂々とした行動 不養生からの脱出	河合秀郎
特集「第一線でガンを疑う時の対応」		毎日の実践で威力を発揮 ヨガ	村田 進
ガン死亡率の推移とその要因	梅田勝彦	われ土とともに生きて ファミリー農園	守田由雄
ガン年齢の胃症状はまず疑いを	谷口春生	登山家は若くみえる 山登り	細野 孟
血痰患者には肺ガンの存在を考えた対応を	古瀬清行	苦悩をきっかけに12年間 冷水摩擦・座禅	松井 毅
治癒率100%近い早期頸ガン	尾崎公巳	ダンスは生活のリズム 社交ダンス	村上康子
重要な自己検診	谷口健三	わたし一人のオリンピック 水泳	平井初美
大腸ガンの診断に際して	奥田博・森武貞	無欲の糸を垂れ夢を釣る 釣り	川村慶二

- 運動処方として効果に期待 ストレッチ体操
紋谷正人
運動靴一足でどこでも誰でも ジョギング
甲田博和
- 勝敗をさぐる85
「初春対局 橋本宇太郎vs神田公三」(吉野俊宏)
民族学の旅・世界と日本13「村ぐるみ保存した河回
民俗村訪問記 韓国」(杉本尚次)
いま役に立つ臨床検査13
「ヘモグロビン(Hb)と診断」(大場康寛)
なにわの郷土史49 五代友厚(中)
「世界に目を向けた都市への発展」(小田康徳)
あなたもどうぞ「彫塑の世界へ」
協会彫塑教室(土龍会)
- 海外こぼれ話(S生)
寄稿「ナホトカ航路」
波多野一男
- ほんだな『意識革命のすすめ』
米良博量
- ほんだな『住民と自治』『文化評論』(編集部)
テキスト「ミネソタコードによる心電図判定」
小澤秀樹
- テキスト「実地眼科医のための臨床検査」
巽典之
- 戯曲「戦友よ安らかに眠れ」第一場
野間 明
- 編集後記
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
表紙ひとこと「阿寒の冬」
虹彩会 友田洋一
- 1984年2月(No.163)
巻頭言「庶民の側からの21世紀計画を」
斎藤 浩
- 12月のこんなこと
なにわ医見
特集「よい医療をすすめるための経営の近代化」
近代化は、科学的・合理的運営で
木村弥太郎
地域中心の姿勢が経営安定の根本 診療所の守備範囲
橋本忠雄
展望は抵抗の戦線構築から 中小病院の守備範囲
貴島康彦
民主主義をゆるがす申告納税制度見直し あるべき医業税制
磯野 甫
地方自治体の独立を侵す事業税制度 事業税課税の問題点
浦西照二
財務諸表の活用は近代化のポイント 記帳と経営把握
大西耕三郎
コンピュータ導入で研修時間の確保 コンピュータ導入の是非
村田 進
- 資料「開業医所得の分析 医師の所得調査中間報告」
資料「医療統計からみた開業医の実態」
患者本位の近代化で経営安定を(デスク)
勝敗をさぐる86(吉野俊宏)
- 民族学の旅・世界と日本14「海外フィールドワーク
と病気」(杉本尚次)
いま役に立つ臨床検査14「赤沈と診断」(大場康寛)
守口支部臨床懇2「虚血性大腸炎の一症例」
森 博一
- なにわの郷土史50 五代友厚(下)
「財界の真の指導者」(小田康徳)
あなたもどうぞ「きりえ 童話を主体に印象に残る作
品づくり」(東成支部きりえ教室)
彫塑教室より37「芸術の真」(日高正法)
ほんだな『編集長のボク靴』
尾内康彦
- テキスト「予防接種について」
峯川好一
- テキスト「外来でみられる精神障害」
志水 彰
- 文芸・旅靴19「春の音」(岩垣子鹿)
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
表紙ひとこと「雪の彦根城」
虹彩会 辻田百典
- 1984年3月(No.164)
巻頭言「真の運動文化発展の時代」
岡崎玲二
- 1月のこんなこと
なにわ医見
特集「現代社会と病気 病気は自己責任なのか」
健康破壊は現代の貧困 疾病構造の変遷とその背景
山下節義
労働要因は発症のプロモーター 労働条件と病気
田尻俊一郎
急激な都市化で蝕まれる健康 都市独居老人と病気
大国美智子/三宅智恵子
生活リズムを律する自然条件結合 環境破壊と病気
神山恵三
経験欠乏症候群 子どもの病気とその背景
服部祥子
全額無料は世界の目標 自己責任論に反論する
成原忠彦
- 疾病の社会責任を明確に(デスク)
勝敗をさぐる87(吉野俊宏)
民族学の旅・世界と日本15「地方色豊かな日本の民
家 民博の民家模型を中心に」(杉本尚次)
いま役に立つ臨床検査15「赤血球恒数と診断」(大場康寛)
なにわの郷土史51 奥田弁次郎
「千日前開発者の代表」
小田康徳
- 海外こぼれ話(S生)
ほんだな『フィールドワークの方法』
金森 昭
- ほんだな『ちひろのひきだし』
杉嶋正信
- テキスト「高齢者における貧血と出血素因」
川越裕也

テキスト「プロスタグランジンの臨床」

額田忠篤

戯曲「戦友よ安らかに眠れ」第二場(野間 明)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

表紙ひとこと「雪原の丹頂鶴」

虹彩会 宮地栄季

1984年4月(No.166)

巻頭言「教養としての社会衛生を子どもたちに」

羽仁説子

2月のこんなこと

なにわ医見

特集「子どもの未来と第一線医療」

座談会「医師は健康管理のチーム・リーダーに」

林崎時子/白井佐智子/平林敬子/榎本晴美

/藤森弘/菅原重道/三田雄司/片山利貞

発達に関する環境因子 専門医からみた現代子ども像

数内百治

混迷する社会が生み出す母子分離 被虐待児症候群

飯田喜彦

発達課題の遂行を適切に 登校拒否児とその背景

生野照子

遊びの保障はまちづくりの課題 都市空間と遊び場

松村 優

発達を阻害する社会環境(デスク)

勝敗をさぐる87(吉野俊宏)

民族学の旅・世界と日本16「南方系の可能性を秘めた二棟造り民家 宮崎の旧黒木家住宅を中心に」(杉本尚次)

いま役に立つ臨床検査16

「網赤血球数と診断」(大場康寛)

なにわの郷土史52 松本重太郎(上)

「鉄道の足場となる百三十銀行設立」(小田康徳)

私説「邪馬台国和泉説 邪馬台国の謎」(片山利貞)

彫塑教室より38「ロダン作 鼻欠けの男」(日高正法)

ほんだな『1・2・3・4の5ろうちゃん』

菅原重道

ほんだな『健康診断のすすめ方』

奥村慶雄

テキスト「神経ブロックについて」

吉川清/野坂修一

テキスト「甲状腺疾患の診断と治療」

網野信行

文芸・旅靴20「落花の舞」(岩垣子鹿)

文芸「サイパンは春」

吉田 甫

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

表紙ひとこと「海津大崎の春」

虹彩会 大沢恵美

1984年5月(No.167)

巻頭言「先のみえるネットワークづくりを」

池上 惇

3月のこんなこと

なにわ医見

特集「医療保障制度の将来像 世界と日本」

新自由主義潮流との対決を 社会保障の危機と転換

二宮厚美

民間保険による私的医療の拡大 諸外国の医療保障の動向

野上秀雄

医療分野の中核をなす生保会社 アメリカの民間医療保険

青木郁夫

健康を売り渡す健保民営化(デスク)

勝敗をさぐる89(吉野俊宏)

民俗学の旅・世界と日本17「平家伝説と古風な民家の宝庫 九州山地の椎葉村」(杉本尚次)

いま役に立つ臨床検査17

「末梢血小板数と診断」(大場康寛)

守口支部臨床懇3「高血圧症と多発性嚢胞腎」

橋本忠雄

あなたもどうぞ「個性と気品のあるアートの花

アートフラワー教室」

海外こぼれ話(S 生)

ほんだな『もうどうけんドリーナ』

間木茂樹

ほんだな『村長ありき 沢内村 深沢晟雄の生涯』

傘木宏夫

テキスト「慢性関節リウマチと抗炎症剤」

田中清介

テキスト「補聴器の取り扱い方について」

太田文彦

テキスト「変形性股関節症の治療」

上野良三

戯曲「戦友よ安らかに眠れ」第三場(野間 明)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

表紙ひとこと「新緑の六義園」

虹彩会 安保一郎

1984年6月(No.170)

巻頭言「みどり豊かに」

平井篤造

4月のこんなこと

なにわ医見

特集「公害行政の後退と今日の環境問題」

今望まれる冷静かつ公正な審議 中公審諮問とその背景

那須 力/小川 孝

認定は医学常識を重視して 公害患者の認定はどうあるべきか

西野和彦

多くの疑問を残す安全性と有用性 食品添加物の現状と問題点

油谷朝子

計画の抜本的見直しを 関西新空港と環境影響

岩本智之

まず近隣から公害をなくそう 超低周波公害

汐見文隆

第一種指定地域での対応 東大阪市の公害問題について

松永剛裕

公害の原因に目を向けよう(デスク)

勝敗をさぐる90(吉野俊宏)

いま役に立つ臨床検査18

「末梢好中球数と診断」(大場康寛)
 なにわの郷土史53 松本重太郎(下)
 「鉄道敷設から紡績、麦酒会社まで」(小田康徳)
 彫塑教室より39「サモトラケのニケ」(日高正法)
 ほんだな『ある病気の運命 結核との闘いから何を学ぶか』
 長門谷洋治

ほんだな『ぼくの八は もう おとな』(事務局・M)
 テキスト「皮膚真菌症の治療 抗真菌剤を中心として」
 宗 義朗
 テキスト「スポーツ医学の現況と運動処方出し方」
 市川宣恭

文芸・旅靴21「栗の花」(岩垣子鹿)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 表紙ひとこと「初夏の大台ヶ原」

虹彩会 三田雄司

1984年7月(No.171)

巻頭言「地道な日常活動で草の根の広がり」
 名嘉 清

5月のこんなこと

なにわ医見
 特集「これからの診療形態と近代化」
 患者の人格を尊重した診療形態を 近代化の視点
 野村 拓
 経済大国を支える長時間労働 勤労者の生活実態
 菅沼副夫
 雇用の近代化は国民的運動への契機 医療の職場と男女雇用平等法
 斎藤ともよ
 研修と交流で患者への信頼を 新設医大と開業医の連携
 山本哲夫

「開業医の診療時間」

精一杯の診療で患者さんから好感を

守田由雄

地域特性にかなった診療時間(編集部)

開業医と診断機器

新規開業の標準装備

共同利用の実際(都島医学共同研究所)

地域ニードに適合した水準の確保を(デスク)

勝敗をさぐる91(吉野俊宏)

いま役に立つ臨床検査19

「フィラデルフィア染色体と診断」(大場康寛)

地域医療を訪ねて1「在宅難病患者をチームで支える
 難病相談室」

海外こぼれ話(S 生)

ほんだな『だれでもできる 実践健康学』

入野敏夫

ほんだな『レニングラード物語 華麗なる都の250年』
 二宮聖耳

テキスト「アトピー性皮膚炎 最近の考え方と治療法」
 上原正巳

テキスト「アレルギー性眼疾患の診断と治療」
 湯浅武之助

戯曲「戦友よ安らかに眠れ」第四場(最終回)(野間明)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 表紙ひとこと「夏の瀕八丁」

虹彩会 本田光則

1984年8月(No.172)

巻頭言「2万5千年目の人類」

原 清

6月のこんなこと

なにわ医見
 特集「医師と反核」
 求められる非核・非同盟・中立の道 緊迫する核の現状
 芦田 亘
 世界に目標を与えた日本の平和運動 反核運動の成果と教訓
 黒川万千代
 社会保障への財政配分は憲法の正義 社会保障と軍拡路線
 古川利通

のぞまれる反核医師の会の組織強化 核戦争防止国際医師会議の活動
 稲松 滋

権力者の不気味な墓あな シェルターの心理
 金子嗣郎

故郷に帰れぬまま逝った婦人 わたしの戦後史
 片山利貞

黙っていても手遅れになる(デスク)

勝敗をさぐる92(吉野俊宏)

グラビア「酒井一雄名誉理事長生涯を閉じる」

いま役に立つ臨床検査20

「毛細血管抵抗試験と診断」(大場康寛)

なにわの郷土史54 土居通夫(上)

「大阪商業の組織発展に貢献」(小田康徳)

寄稿「安全かつ成績良好の個別接種方式 基礎疾患
 児へのワクチン接種」

小川 實ほか

「盲目のアジアの民に開眼を ネパールで活躍する眼科医」

彫塑教室より40「マイヨール作 地中海」(日高正法)
 ほんだな『オモニの歌』『日本に残る古代朝鮮』

安岡隆一

ほんだな『奇跡のシベリア収容所』

辻田百典

テキスト「内科医のための眼底検査」

原田 勲

テキスト「日常診療における乳癌の早期発見のポイント」
 斎藤洋一

文芸・旅靴22「朝涼し」(岩垣子鹿)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 表紙ひとこと「歓迎」

虹彩会 武田博之

1984年9月(No.174)

巻頭言「改憲のプログラム」

福本富男

7月のこんなこと

なにわ医見

特集「在宅医療と開業医」
家庭機能の崩壊と在宅介護

診療所を一步ふみ出して積極的に

患者中心に考え合っってよい医療を

在宅ケアは患者への福音 往診でどこまでできるのか

ネットワークと施設の充実・強化

資料「在宅老人福祉事業案内」

不可欠な社会的ネットワーク(デスク)

勝敗をさぐる93(吉野俊宏)

いま役に立つ臨床検査21

「血小板機能検査と診断1」(大場康寛)

なにわの郷土史55「土居通夫」(下)

「大阪の近代都市づくりに先見の明」(小田康徳)

海外こぼれ話(S生)

「花咲か爺の故里」

ほんだな『法華経』

ほんだな『医業簿記の基礎』

テキスト「痛風の診断と治療」

テキスト「頭部外傷」

雑詠「汗」

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

表紙ひとこと「秋の住友別邸」

1984年10月(No.175)

巻頭言「築こう福祉国家」

8月のこんなこと

なにわ医見

特集「『改正』税法の問題点と対応」

座談会「『改正』税法のここが問題だ」

香川公一/大西耕三郎/浦西照二

/木村弥太郎/磯野甫/村田進/島喜一郎

資料「主な『改正』点とそのポイント」(編集部)

権利としての自主記帳、自主申告を(税対部)

近代化の視点で自主記帳を(デスク)

勝敗をさぐる94(吉野俊宏)

いま役に立つ臨床検査22

「血小板機能検査と診断の2」(大場康寛)

寄稿「健保法改悪下における老人達

次代への遺産に高齢期保障を」

地域医療を訪ねて2

大国美智子

在宅医療と開業医

竹内治一

保健婦の体験記

木本瑞枝

深尾利津雄

在宅福祉と施設

町野 宏

片山利貞

松井 毅

永野文衛

中村 徹

越野兼太郎

尾上柗青

虹彩会 井上俊男

亀井 勝

亀井 勝

上坪 陽

「院内新聞の発行 地域に根づく信頼関係」

夫婦で訪ねた古寺・史跡 保団連「鎌倉めぐり」に参加して

彫塑教室より41「プールデル作 アポロの首」

ほんだな『人間について』

ほんだな『ヒトの足 この謎にみちたもの』

テキスト「慢性閉塞性肺疾患の診断と治療」

テキスト「プライマリーケアの心臓病」

文芸・旅鮑23「秋桜」(岩垣子鹿)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

表紙ひとこと「雨の高野山」

文芸・旅鮑23「秋桜」(岩垣子鹿)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

表紙ひとこと「雨の高野山」

虹彩会 新保光世

1984年11月(No.176)

巻頭言「人生讃歌の一日」

9月のこんなこと

なにわ医見

特集「生活指導と患者への説明」

状態把握と誠意で生まれる信頼

生活指導とコミュニケーション

確信と希望を与える体験学習 喘息友の会活動

知識よりも動機づけに重点を 高血圧の生活指導

患者、家族、スタッフが一体に 糖尿病教室

子宮筋腫の診断は正確な問診で 婦人科疾患の指導

医療を見つめ直すとき 老人の健康教室

指導の要点記入に工夫を カルテ記入上の留意点(編集部)

理論に基づき実践的な指導を(デスク)

勝敗をさぐる95(吉野俊宏)

寄稿「乳幼児の下痢の際の食事指導について」

いま役に立つ臨床検査23

「末梢血液像と診断1」(大場康寛)

なにわの郷土史56 岩本栄之助

「株の儲けで中央公会堂を寄付」(小田安徳)

寄稿「老健法施行 第一線行政の現状と今後の課題」

海外こぼれ話(最終回)

ほんだな『担癌者』『共生』

テキスト「尿路結石症 基礎と最近の話題」

テキスト「消炎鎮痛剤の最近の進歩とその応用」

- 編集後記
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
表紙ひとこと「風のあと」
虹彩会 本城進一郎
- 1984年12月(No.177)
巻頭言「大衆とともに」
平野良博
- 10月のこんなこと
なにわ医見
特集「健保改悪でこれからどうなる」
対談「健保改悪がもたらしたもの」
由井英三郎/村田進
- 理念を忘れた「中間層」論 「有料福祉」は社会福祉か
成瀬龍夫
- 医療の産業化に適切なコントロールを
野上秀雄
- ひとこともの申す 会員意見八カキ
窓口アンケート「一割負担の宣伝だけが浸透」(研究部)
歴史を逆転させる民間活力(デスク)
勝敗をさぐる96(吉野俊宏)
いま役に立つ臨床検査24
「末梢血液像と診断2」(大場康寛)
あなたもどうぞ「ジョギング 生活改善と運動療法に最適」
木下栄作
- 彫塑教室より42「ヘンリー・ムア作 家族の群像」
(日高正法)
- ほんだな『アメリカの医療と看護』
佐藤一夫
- ほんだな『汚れなき戦士たち』
間木茂樹
- テキスト「心電図からみた心筋梗塞診断のコツ」
南野隆三
- テキスト「イアーバンクと中耳移植」
浅井良三
- 文芸・旅靴24「枯野」(岩垣子鹿)
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
1984年総索引(通巻第162号～第177号)
表紙ひとこと「寒に咲く花」
虹彩会 柳本昭三
- 1985年1月(No.179)
巻頭言「おせちのおもいで」
村上昭子
- なにわ医見
11月のこんなこと
特集「医学の未来」
医療相談センターで保険診療充実 医療の近未来
堀内龍獅虎
- 非観血的、三次元的に病態把握 心疾患の診断と治療
山上 徹
- 総合的画像診断システムへ期待 画像診断の進歩
朝井 均
- 一部代行から完全機能代行へ 人工臓器
七里元亮
- ガン細胞の分化誘導で個々のガンに対応
田口鐵男
- 急速にひろがる医学とのかかわり 細胞融合
岡田善雄
- 開発が期待される遺伝子工学ワクチン
加藤四郎
- 新企画/レントゲン読影講座1「C型早期胃ガン」
遠山敏春
- 勝敗をさぐる97
「初春対局 橋本宇太郎vs渡部太郎」(吉野俊宏)
新企画/新民族学の旅・世界と日本1
「カバ酒の思い出」
秋道智彌
- いま役に立つ臨床検査25
「骨髄検査と診断1」(大場康寛)
新企画/「われら歴史を歩く」1
新春座談会「歴史の遺産をたどり平和な未来へ」
鈴川精一/金森昭/佐多誠之/上田泰章
/大嶋一太郎/玉井作次/岡一弘/片山利貞
- 地域医療を訪ねて3
「松原デイ・ケアセンター 在宅福祉のバックアップ」
守口支部臨床懇「青ブダイ中毒の一例」(橋本忠雄)
公式文書には出てこない基金の審査基準の実際(研究部)
会員のこえ
ほんだな『中国文学館』
本出真三
- ほんだな『医療改革 日常生活からの提言』
丸山俊郎
- テキスト「外来で取り扱う不整脈の診療」
高木 誠
- テキスト「網膜の電気現象について」
高橋洋司
- 編集後記
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
用語事典「キャプテンシステム」
表紙ひとこと「山門の燈台鬼」
虹彩会 三田雄司
- 1985年2月(No.180)
巻頭言「日常茶飯事」
横笛太郎
- なにわ医見
12月のこんなこと
特集「家庭医、認定医、専門医」
医療法改正と表裏をなす専門医制度
朝倉新太郎
- 家庭医を支える基盤 イギリスにおける一般医
多田羅浩三
- 家庭医の育成ですすむ地域医療の再生
アメリカにおけるGPとFP
秦 洋一
- 社会の要請にこたえる医師の養成 内科認定専門医制度
塩田登志也

国民の健康のために英知の結集を	皮膚・泌尿器科 前田義雄	診療所からみた医療法「改正」	丸山俊郎
会員が参加できる制度に	産婦人科 新田一郎	矛盾する医療法と法人税法	大西耕三郎
日本の医療に適したビジョン確立を	耳鼻咽喉科 横山恒夫	「医療法の一部を改正する法律案」に対する見解	
レベルアップに期待	眼科 保田正三郎	資料「医療法『改正』要綱」	
資料「学会認定（専門）医制度一覧」		グラビア・レントゲン読影講座3	
レントゲン読影講座2「型早期胃ガンの症例」(遠山敏春)		「c adv.かBorr3か？」(遠山敏春)	
彫塑教室より43(日高正法)		勝敗をさぐる99(吉野俊宏)	
勝敗をさぐる98(吉野俊宏)		われら歴史を歩く3	
新民族学の旅・世界と日本2「ミクロネシアのヤシ		「日本人の心のふるさと 飛鳥・東明神」	
酒文化」(秋道智彌)		新企画/「医療とコンピュータPart 1」	
いま役に立つ臨床検査26		「ニューメディアの夢と現実1」	青木 司
「骨髄検査と診断2」(大場康寛)		いま役に立つ臨床検査27	
会員のこえ		「日常診療における血中薬物濃度測定」(大場康寛)	
われら歴史を歩く2「幻の都・大津京」		新民族学の旅・世界と日本3「ニューギニア低地の	
こころに残る旅		病気と治療」(秋道智彌)	
「コーラルプリンセス号に乗って 韓国・釜山の旅」	桂 勉	地域医療を訪ねて4「保健・福祉と連携した在宅医	
地域保健セミナー 1「これからの医療はどうなる」	中川米造	療ねたきり老人への往診活動」	
生活指導の実際「小児科1 反復する腹痛について」	丸山義一	会員のこえ	
寄稿「老健法と眼科」	保田正三郎	ほんだな『花壇』	巴 徳安
ほんだな『森鷗外と衛生学』	長門谷洋治	ほんだな『魏志倭人伝』	福田 寿
ほんだな『兵役』	三崎要一	テキスト「現代における性教育の問題点と課題」	日野林俊彦
テキスト「感冒症候群」	牧 淳	テキスト「軽症高血圧の診療と降圧剤の選択基準」	額田忠篤
テキスト「最近の脳血管障害の診療の動向」	澤田 徹	編集後記	
文芸・旅艶25「春の雪」(岩垣子鹿)		詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
編集後記		用語事典「公益法人」	
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)		表紙ひとこと「天満宮の梅」	虹彩会 友田洋一
用語事典「グループワーク」			
表紙ひとこと「真冬の水郷」	虹彩会 安保立郎		
1985年3月(No.182)			
巻頭言「卓球を生涯の友として」	千葉キン子	1985年4月(No.183)	
なにわ医見		巻頭言「周恩来と空気伝染」	宮本直毅
1月のこんなこと		なにわ医見	
特集「医療法『改正』の問題点をさぐる」		2月のこんなこと	
インタビュー・朝倉新太郎先生に聞く		特集「地域へふみだす保険医協会 今なぜ活性化か」	
「医療法『改正』の歴史と背景」	聞き手 村田進/柚木達男	若手医師懇談会「英知の結集とネットワークづくり」	
医療費抑制と官僚統制強化への布石		橋本忠雄/若杉一夫/寺西伸介/奥野龍興	
病院からみた医療法「改正」		亀井輝二/福井宏有/山藤琢爾/山田英次	
		郡義彦/由良正信/村上公一/八杉誠	
		細川一真/貴島和彦/今村芳明/東浦三郎	
		府民と手をつないで拓けゆく展望	
		貴島和彦	
		第一次協会解消の誤りを教訓に 医師会・協会論再論	
		投稿「保険医協会に期待する」	竹内治一
		諏訪兼善/大谷英一/井本愛子/岡田君代	
		確かな財産を地域医療の発展に	
			田中 勉
住民ニーズに応えた真の改革を	竹中普久	レントゲン読影講座4「びまん性癌」(遠山敏春)	

- 彫塑教室より44(日高正法)
 勝敗をさぐる100「100回記念対局
 宮本直毅vs黒田了一」(吉野俊宏)
 寄稿「人類の未来への課題 アフリカ人民を悲劇から
 救おう」
 鴨脚光増
- なにわの郷土史57 大阪の考古学1
 「古代史上重要な大阪の陵墓」
 堀田啓一
- いま役に立つ臨床検査28「血清アルカリホスファターゼと酸性ホスファターゼ」(大場康寛)
 生活指導の実際「小児科2 学校検尿の事後指導」
 下辻常介
- 新民族学の旅・世界と日本4
 「オセアニアの婚資」(秋道智彌)
 われら歴史を歩く4「神武東征伝承の地 忍坂・磐余」
 地域保健セミナー2「在宅医療とプライマリ・ケア」
 奈倉道隆 / 谷田悟郎
- 会員のこえ
 ほんだな『橋本宇太郎の世界』
 黒田了一
- ほんだな『タイの山より愛をこめて』
 麻田真知子
- テキスト「産婦人科に必要なSTDの話題」
 津上久弥
- テキスト「脊椎外科の最近の進歩」
 岩崎洋明
- 文芸・旅靴26「惜春」(岩垣子鹿)
 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 用語事典「古都保存協力税」
 表紙ひとこと「水芭蕉」
 虹彩会 宮地栄季
- 1985年5月(No.184)
 巻頭言「ものに逢える日」
 山下房子
- なにわ医見
 3月のこんなこと
 特集「現代社会とこころの病気」
 身体的異常から内面の探り出しを
 病気をみる医者から生活をみる医者へ
 藤森 弘
- 精神病理的の症状は市民意識の反映
 精神科からみた現代患者像
 古屋頼兒
- 社会防衛的性格をつくり出す生産性社会
 中高年サラリーマンとうつ病
 乾 正
- 最初のチェックはまず開業医で 現代社会とアルコール
 真野元四郎
- 地域社会で生活の場の提供を
 生きがいのある老齢期を過ごすために
 石神文子
- レントゲン読影講座5「胃憩室の中にpolypoid??」
 (遠山敏春)
 勝敗をさぐる101(吉野俊宏)
 いま役に立つ臨床検査29
 「血清酵素の正常値1」(大場康寛)
 新民族学の旅・世界と日本5
 「イルカのイレズミ」(秋道智彌)
 会員のこえ
 地域医療を訪ねて5
 「精神薄弱者(児)の生活の場 金剛コロニー」
 なにわの郷土史58 大阪の考古学2
 「畿内に集中する墓誌の分布」(堀田啓一)
 「医療とコンピュータPart」2
 「ニューメディアの夢と現実2」(青水 司)
 われら歴史を歩く5「神さぶる山・生駒谷」
 新企画「女医の診察室」1
 「診療、家事、育児で全力疾走」
 平井初美
- ほんだな『死にゆく人々のケア』
 川野悦司
- ほんだな『核廃絶は可能か』
 岸岡民夫
- テキスト「小児のけいれん」
 神尾守房
- テキスト「唾液腺疾患」
 山下敏夫
- 短歌「老境、早春に憶ふ / 新点数、偶感」
 千野一竹
- 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 用語事典「ピーターパン・シンドローム」
 表紙ひとこと「石仏と山吹」
 虹彩会 柳本昭三
- 1985年6月(No.185)
 巻頭言「老いらくの性」
 新藤兼人
- なにわ医見
 4月のこんなこと
 特集「環境の危機と大阪の水・空気・みどり」
 講演抄録「消費市場の拡大は基本的条件
 自然保護と繁栄は両立するか」
 置塩信雄
- どうしても負けれないたたかい
 公害指定地域解除反対の運動
 林 功
- のぞまれる患者・スタッフ協同の医療
 公害患者の健康管理
 川崎美榮子
- 多くの疑問に民主的、科学的再調査を
 南港LNG火電建設と環境影響
 岩本智之
- 自動車交通は主要な公害原因者 巨大道路と大気汚染
 西川栄一
- 生物環境の保全是人間らしさの基盤 大阪の都市とみどり
 木下陸男

- 汚さない努力と監視の目を 大阪の水を考える
森吉一彦
- レントゲン読影講座6「胃炎とC」(遠山敏春)
彫塑教室より45(日高正法)
勝敗をさぐる102(吉野俊宏)
なにわの郷土史59 大阪の考古学3(堀田啓一)
いま役に立つ臨床検査30
「血清酵素の正常値2」(大場康寛)
新民族学の旅・世界と日本6
「ジャワの大道芸」(秋道智彌)
会員のこえ
地域保健セミナー3「チームケアによる在宅医療の
進め方」
谷和光彦/鈴木俊夫
生活指導の実践・小児科3「小児ぜんそくの心理療法」
豊島協一郎/岡田正幸
われら歴史を歩く6「大陸文化伝授の地・若狭路」
ほんだな『「悪魔」と「人」の間』
紀野 正
ほんだな『詩めぐり』
中村桃太郎
テキスト「虚血性心疾患診療の最近の進歩」
平盛勝彦
テキスト「尿路感染症」
石神襄次
テキスト「Microsurgeryを応用した四肢の再建手術」
玉井 進
- 文芸・旅艶27「梅雨の橋」(岩垣子鹿)
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
用語事典「大阪湾コスモアイルズ構想」
表紙ひとこと「6月の北海道」
虹彩会 大沢恵美
- 1985年7月(No.186)
巻頭言「平和の山百合」
住井すゑ
なにわ医見
5月のこんなこと
特集「どうなる老人の医療と福祉」
医療における民活推進の突破口
老人保健法「見直し」の背景
山下節義
老後の生活保障は国家の責任
中間施設構想と老人病院・老人ホーム
本田寅二郎
年金改悪と老後のくらし
花岡哲太郎
私的保険とシルバービジネス
野上秀雄
地域で総合的なまちづくりを 在宅医療と住宅問題
植田 章
資料「年金制度『改正』のポイント
/新聞報道にみる医療関連産業」
レントゲン読影講座7「良性潰瘍の証拠」(遠山敏春)
- 勝敗をさぐる103(吉野俊宏)
いま役に立つ臨床検査31「臨床検査のPanic Value
(緊急異常値)」(大場康寛)
新民族学の旅・世界と日本7
「アテネの市場」(秋道智彌)
女医の診察室2「顔」
大形順子
なにわの郷土史60 大阪の考古学4(堀田啓一)
会員のこえ
われら歴史を歩く7
寄稿「健保改悪慰安の旅」
巴 徳安
医療とコンピュータPart 3「患者管理システム1」
西 史嗣
ほんだな『心電図プログラム演習』
田中文男
ほんだな『おおさかの民家』
片山利貞
テキスト「婦人癌診断のコツ」
山片重房
テキスト「小児にみられる血尿と尿蛋白」
日衛嶋禎介
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
用語事典「MSW」
表紙ひとこと「赤い花びら」
虹彩会 武田博之
- 1985年8月(No.188)
巻頭言「3個の原爆」
猿橋勝子
なにわ医見
6月のこんなこと
特集「医師と核廃絶」
講演抄録「核の冬が語るもの」
岩本智之
廃棄は可能 核兵器廃絶の技術的側面
館野 淳
医療要求と人類的課題 核兵器廃絶と開業医
平井正也
広がる核廃絶のうねりに持てる確信
小森孝児
岐路に立つ母校を守るために奔走 私の戦後史
岩村泰助
尊い「人間愛」 私の戦後史
長沢健一
資料「東京宣言」
資料「核兵器全面禁止・廃絶のためにヒロシマ・ナ
ガサキからのアピール」
レントゲン読影講座8
「幽門輪近傍の病変」(遠山敏春)
彫塑教室より46(日高正法)
勝敗をさぐる104(吉野俊宏)
なにわの郷土史61 大阪の考古学5(堀田啓一)
いま役に立つ臨床検査32

「血清肝臓酸と診断」(大場康寛)

新民族学の旅・世界と日本8

「難産の文化人類学」(秋道智彌)

会員のこえ

われら歴史を歩く8「婦人の護り神・淡島神社」

短歌「ある鎮魂譜」

千野一竹

ほんだな『考古学の先覚者たち』

堀辺四郎

ほんだな『都市をどう生きるか』

傘木宏夫

テキスト「脳障害と眼症状」

中尾雄三

テキスト「大腸疾患の最近の進歩」

吉川宣輝

文芸・旅靴28「蜻蛉の空」(岩垣子鹿)

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

用語事典「C3.1システム」

表紙ひとこと「滝と地蔵尊」

虹彩会 本田光則

1985年9月(No.189)

巻頭言「40年前の記録を」

早乙女勝元

なにわ医見

7月のこんなこと

特集「開業医に役立つ診療機器」

心電図解析伝送システム

医療情報サービスに応えるニューメディア時代の心電計

村田 進

心電図自動解析装置 患者への対応にゆとり

島喜一郎

ホルター心電計 不整脈の判定に威力を発揮

東原康雄

TVレントゲン 鮮明画面と容易な操作(編集部)

腹部エコー 聴診器なみの必需品(編集部)

眼底カメラ 世界をリードする日本製品

保田正三郎

尿自動分析器 信頼を増す眼前でのデータ提示(編集部)

胃ファイバースコープ 広がる応用範囲

東 弘

救急蘇生・酸素器具 まとめてわかりやすく表示を

寒川昌明

開業医と理学療法 治療からリハビリへ

辻田百典

ローリングベッド 付加価値期待される理学療法器(編集部)

レセプトコンピュータ ソフトを重視した選択を(編集部)

在宅介護用品 ちょっとした工夫で喜ばれる看護

乾死乃生

レントゲン読影講座9「十二指腸の病変」(遠山敏春)

勝敗をさぐる105(吉野俊宏)

「医療とコンピュータPart」4

「患者管理システム2」(西 史嗣)

新民族学の旅・世界と日本9

「ニューギニアにおける育児と母乳」(秋道智彌)

いま役に立つ臨床検査33

「臨床検査のシステム化の展開」(大場康寛)

会員のこえ

われら歴史を歩く9

「日本の統一は近江から 近江王朝」

女医の診察室3「まわりから支えられて22年」

田中アヤ子

地域医療を訪ねて6「医師・保健婦の連携した在宅ケア」

ほんだな『医療ビジネス』

守田由雄

ほんだな『医院・病院の税務』

永野文衛

テキスト「感音性難聴 原因・病態および治療」

中井義明

テキスト「皮膚科 最近の進歩 水泡を見たら」

坂本邦樹

テキスト「不明熱(FUO)をどう診るか」

西澤芳男

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

用語事典「NMR CT」

表紙ひとこと「9月の東尋坊の夜」

虹彩会 三田雄司

1985年10月(No.190)

巻頭言「自然と教育」

旭堂小南陵

なにわ医見

8月のこんなこと

特集「集病・診連携はどうすればすすむか」

四本柱で医師会主導の地域医療

病・診連携をどうすすめるのか

平山正樹

泉州医療事情 公立病院の施設と受入れ体制充実を(編集部)

対談「公的病院と開業医 互いの機能分担と能力

の向上で協力を」

上松一郎/村田 進

成功の鍵は親密さと相互信頼 診療所からみた病・診連携

守田由雄

まず病院からの接近を 病院からみた病・診連携

小松良夫

資料「生野支部・病診アンケート調査

病診競合状態を反映」

資料「平野区医師会・病診連携アンケート調査

病院機能の情報を明確に」

レントゲン読影講座10「牛角胃のC」(遠山敏春)

彫塑教室より47(日高正法)

勝敗をさぐる106(吉野俊宏)

生活指導の実際・小児科4「乳児下痢症の食事療法」

古川元宣

なにわの郷土史62 大阪の考古学6(堀田啓一)

新民族学の旅・世界と日本10

「マサイ族とカメラ・サファリ」(秋道智彌)

会員のこえ

われら歴史を歩く10「幻の都の発掘・長岡京」 武内 進	テキスト「内科から見たカルシウム代謝と骨粗鬆症」 森井浩世
わたしの映画評「路」 トルコ民族の悲愁の声 いま役に立つ臨床検査34「腫瘍マーカー 『糖鎖抗原CA19 9』と診断」(大場康寛)	文芸・旅靴(番外)「案山子が笑う」(岩垣子鹿)
ほんだな『魯迅のリアリズム』	編集後記
本出真三	詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
テキスト「便通異常の臨床」	用語事典「シャウブ税制」
細田四郎	表紙ひとこと「高野山の秋」
テキスト「迷路性めまい疾患」	虹彩会 川浪暎二
北原正章	1985年12月(No.194)
テキスト「保険診療Q&A」(研究部)	巻頭言「医師よ綱を引け」
文芸・旅靴29「十三夜」(岩垣子鹿)	下里正樹
編集後記	なにわ医見
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	10月のこんなこと
用語事典「事業税」	特集「死を看とる医療」
表紙ひとこと「秋桜」	末期医療は医療の試金石 末期医療は包括的行為で 中川米造
虹彩会 本城進一郎	国民の支払う医療費と死亡した人の医療費 医療費からみた末期医療
1985年11月(No.192)	前田信雄
巻頭言「なつかしの外国映画」	座談会「審査からみた終末医療 医学に欠落する『死』の考え方」 小松良夫/佐藤一夫/辻一省/村田進
松浦総三	人間の尊厳への社会的援助 ホスピスの理念と現実 千原 明
なにわ医見	「尊厳死」議論はよりよき生・死のために 病院が受けもつターミナル・ケア
9月のこんなこと	池田信明
特集「危機にたつ国民健康保険」	のぞまれる地域での有機的連携 開業医が受けもつターミナル・ケア
制度構造に見合う負担の公平化を 国保財政の危機 小山英一	村田 進
滞納者増大で市民生活悪化 堺市国保の現状と問題点 森田恭平	平素の生きざまが大切 宗教者からみた末期患者 織田昭爾
払えない保険料、かかれない医療 国保の沿革と実態(編集部)	資料「臨床看護マニュアル」(抜粋)
資料「市長村国保実態調査 減免制度条例化は4市のみ」	レントゲン読影講座12
資料「当面の国保問題に関する保険医協会の申し入れ」	「小弯短縮のなれのはて」(遠山敏春)
レントゲン読影講座11「胃粘膜下腫瘍」(遠山敏春)	彫塑教室より48(日高正法)
勝敗をさぐる107(吉野俊宏)	フォト・グラフ「武井 久先生ご逝去」
新民族学の旅・世界と日本11	勝敗をさぐる108(吉野俊宏)
「バンノキと南国の楽園」(秋道智彌)	われら歴史を歩く12「東山三十六峰の景観・將軍塚」 新民族学の旅・世界と日本12
医療とコンピュータPartII5	「チチカカ湖のアシ舟」(秋道智彌)
「患者管理システム3」(西 史嗣)	いま役に立つ臨床検査36(最終回)「血清コリンエステラーゼ おかしな検査値の教訓」(大場康寛)
講演抄録「厚生省内に渦まく中小病院淘汰政策」 志鷹健次郎	会員のこえ
いま役に立つ臨床検査35	わたしの映画評3「目撃者」
「食事と臨床検査値」(大場康寛)	碧 川
会員のこえ	なにわの郷土史64 大阪の考古学8(堀田啓一)
われら歴史を歩く11	1985年総索引(通巻第179号~第194号)
「河内王朝をしのぶ」 松岳山美山古墳	ほんだな『難病と保健活動』
島田甚晴	ほんだな『心臓を守り脳卒中を防ぐ』
なにわの郷土史63 大阪の考古学7(堀田啓一)	沢田孝明
わたしの映画評「トラヴィアータ 1985・椿姫」 中村カラス	波多野一男
ほんだな『火の鎖 和島為太郎伝』	テキスト「胆道疾患の診断と治療」 辰巳駿一/小林絢三
竹内治一	
ほんだな『日本の樹木』	
波多野健	
テキスト「整形外科に求められるもの」	
高山 瑩	

テキスト「顔面を主とした形成外科」

文芸・旅靴30「おでん」(岩垣子鹿)
編集後記詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
用語事典「家族治療」
表紙ひとこと「越中五箇山」

虹彩会 新保光世

1986年1月(No.195)

巻頭言「『健康都市大阪』をめざして」

宮本憲一

なにわ医見

11月のこんなこと

特集「華ひらく文化活動」

座談会「彫塑教室は人間形成の場」

日高正法 / 東浦三郎

/ 小野公平 / 石上直 / 堀江静子

医史学 医史学に関心をもつ仲間たち

長門谷洋治

カメクラブ さらに一歩も二歩も突込んだ作品を

柳本昭三

歴史を歩く会 清浄な空気と歴史の勉強を

金森 昭

俳句 旅靴余滴

岩垣正典

生野区陶芸クラブ 趣味の究極は土ひねり(編集部)

アートフラワー教室

「美を求める精神」で家庭円満(編集部)

書道 「静」の中に自分をとりもどす(編集部)

絵画 マチス・デッサンと私の絵画理論

塚田守人

レントゲン撮影講座13「食道憩室」(遠山敏春)

われら歴史を歩く13「鉄の生産地・山の辺道」

新企画 / アメリカの医療・経済事情1

「医療産業における研究開発と規制緩和」

青木郁夫

会員の声

地域保健セミナー5「最近の児童の食生活と健康」

なにわの郷土史15 大阪の考古学9(堀田啓一)

わたしの映画評「インドへの道」(碧川)

ほんだな『精神科医による元気になる本』

森川三郎

テキスト「乳房の診断について」

高塚雄一

テキスト「口腔粘膜病変の診断と治療」

毛利 学

文芸・旅靴31「初雪」(岩垣子鹿)

編集後記

勝敗をさぐる109

「新春対局 橋本宇太郎vs神田公三」(吉野俊宏)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

用語事典「パフォーマンス」

表紙ひとこと(虹彩会 三田雄司)

1986年2月(No.196)

巻頭言「人間らしい思いやりを教育・福祉に」

横田昌子

なにわ医見

12月のこんなこと

特集「申告シーズンに考える」

医師と税制改革

浦西照二

横行する不当調査と経費否認 税務調査実態ルポ
不正と人権抑圧がまかり通る国税職場

辻 正夫

「自主記帳の会」会員に聞く(編集部)

ていねいな指導で記帳をマスター

貴島裕子

医院のOA化も基本は記帳

仁土賢一

医療ニーズに応えた活動で住民との信頼関係を

築野 甫

103国会で「医療法」「一人法人」はどう審議されたか

竹内治一

レントゲン撮影講座14「食道の粘膜下腫瘍」(遠山敏春)

彫塑教室より(日高正法)

医療とコンピュータPart (番外編)

「医療用コンピュータ、私はこう選ぶ」

福島涼子

地域医療を訪ねて7「行政と連携して保健事業を積
極的推進」(吹田市医師会)

会員のこえ

アメリカの医療・経済事情2

「産業論からみたアメリカ医療(上)」(青木郁夫)

わたしの映画評「アンダー・ファイヤー」

「キリング・フィールド」(碧川)

なにわの郷土史66 大阪の考古学10(堀田啓一)

ほんだな『遅いあなたが主役です』

金 秋子

ほんだな『長い命のために』

山本 漸

テキスト「脳血管障害急性期の管理
当院における片麻痺の理学療法」

糸木俊清

テキスト「言語のリハビリテーション」

松元瑞枝

編集後記

勝敗をさぐる110(吉野俊宏)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

用語事典「クロヨン」

表紙ひとこと「信濃路の冬」

虹彩会 本田光則

1986年3月(No.197)

巻頭言「身体に感謝しながら走る」

高石ともや

なにわ医見

1月のこんなこと

特集「ジョギング 第一線医療にどういかすか」

日医ジョガーズ会員座談会

「軽い気持でおおらかに走る」

久保田競 / 吳京修 / 萩原隆
萩原芙蓉 / 平井正也

ジョギングと共に10年

松井幸民

夢は臨床的治療の応用

小味淵智雄

健康を維持するのに適した体力は

ネパールに体力のルーツを探る

増田卓三

ジョギングを第一線医療にどういのか

宇佐美暢久

レントゲン撮影講座15「食道静脈瘤」(遠山敏春)

会員のこえ

われら歴史を歩く14

「飢餓で死んだ縁者供養の仏・北条の石仏」

金森 昭

アメリカの医療・経済事情3

「産業論からみたアメリカ医療(下)」(青木郁夫)

わたしの映画評「シルクウッド」(碧 川)

なにわの郷土史67 大阪の考古学11(堀田啓一)

ほんだな『私の歩いた道』

波多野一男

テキスト「プロスタグランジンの基礎と臨床」

早石 修

テキスト「眼底出血の原因と最近の治療」

渡辺千舟

文芸・旅靴32「花衣」(岩垣子鹿)

編集後記

勝敗をさぐる111(吉野俊宏)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

用語事典「スポーツ・ドクター」

表紙ひとこと「春への彩」

虹彩会 柳本昭三

1986年4月(No.198)

巻頭言「忘れられない医師」

吉開那津子

なにわ医見

2月のこんなこと

特集「医師と政治参加」

政治・金・医療 正攻法を考えよう

野村 拓

さざんかの「医」 医師は何色のコートを着るのか

下里正樹

政治に何を思う 会員の声より

杉村清子 / 川崎美栄子 / 沢トシ子

田中アヤ子 / 大原一枝 / 山村友良

柚木達男 / 安岡隆一 / 稲次直己

政治にどうかかわるか 若手開業医座談会より

早川貫治 / 橋本忠雄 / 大矢亮二

木下裕康 / 東原康雄

クオ・ヴァディス日医連 日本医師連盟の軌跡

辻 一省

レントゲン撮影講座16「食道癌」(遠山敏春)

彫塑教室より50(日高正法)

地域医療を訪ねて8「家庭医・専門医・保健婦による

地域ケアづくり」(難病相談室)

われら歴史を歩く15「幻の葛城王朝」

金森 昭

なにわの郷土史68 大阪の考古学(最終回)(堀田啓一)

会員のこえ

アメリカの医療・経済事情4「歯科医療におけるデ

ンチュリズムと消費者ニーズ」(青木郁夫)

わたしの映画評「マルチニックの少年」(碧 川)

ほんだな『黙ってはられない』

沓脱タケ子

ほんだな『大阪のむかしばなし』

麻田真知子

テキスト「プライマリー・ケアにおける四肢関節痛」

博田節夫

テキスト「胸痛のプライマリー・ケア」

石村孝夫

編集後記

勝敗をさぐる112(吉野俊宏)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

用語事典「永田町言葉」

表紙ひとこと「花の吉野山」

虹彩会講師 石井信夫

1986年5月(No.199)

巻頭言「地震のメキシコシティ」

熊谷 榎

なにわ医見

3月のこんなこと

特集「『高齢化社会』論を洗い直す」

いかに老いるか

平井正也

野上彌生子から学ぶもの

小松良夫

ニューヨークの馬糞

堀辺二郎

資料ファイル「厚生官僚たちの暴言」(編集部)

「棄老」か「不老開発」か

辻 一省

大正はあわれ愛して頂戴ね

木津川計

「高齢化社会 = 危機」説の俗説をこえて

里見賢治

資料ファイル「厚生省高齢者対策企画推進本部報告を読む」

進む孤老にどう対処するのか(編集部)

レントゲン撮影講座17「大腸癌」(遠山敏春)

医院の近代化に役1「血沈(赤沈)検査を見直そ

う スピード血沈台HOK405」

会員のこえ

われら歴史を歩く「16藤の木古墳 王侯らの悲哀を語る」

島田甚晴

わたしの映画評「愛と哀しみの果て」(碧 川)

なにわの郷土史69 大阪の古代氏族1「西文氏」

医学ビデオライブラリー 「プロスタグランジン 基礎と臨床」 ほんだな『しんぼう』正・続	請田正幸	表紙ひとこと「羽衣の松」	池田市 粟田正人
テキスト「外科に必要な形成外科」	山本哲夫	1986年7月(No.202) 巻頭言「ウィルヒョーより佐多を経て」	岡野錦弥
テキスト「小児の不明熱」	村岡道徳	なにわ医見 5月のこんなこと 特集「生涯教育」	
文芸・旅靴33「芥子の花」(岩垣子鹿) 勝敗をさぐる113(吉野俊宏) 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫) 編集後記 表紙ひとこと「都市空間」	小林陽之助	座談会「第一線医療の魅力を高める生涯研修に」 中川米造/平井正也/村田進/佐藤一夫 臨臨審「生涯教育」答申と国民、開業医	木下春雄 西野和彦
	堺市 武田博之	日医「生涯教育制度化のガイドライン」の問題点を考える 大阪協会・研究部活動のこれまでとこれから	村田 進
1986年6月(No.200) 巻頭言「子どもが主人公の映画」	松田司郎	生涯教育を地区医師会でどう具体化するか	吉田正和
なにわ医見 4月のこんなこと 保険医雑誌発刊200号によせて	野村 拓	私の勉強法、資料整理の仕方 協会理事アンケートから 資料ファイル「大阪協会・研究会活動の軌跡」 資料ファイル「日医 生涯教育制度化のガイドライン」 レントゲン撮影講座19「クローン病」(遠山敏春) 医療の近代化に一役3「レセプト用コンピューター」 会員のこえ なにわの郷土史71 大阪の古代氏族3「多治比氏」(請田正幸) われら歴史を歩く18 「1年間の足跡をふりかえる 8mm上映会」	佐多誠之
特集「学齢期シンドロームと臨床医」 問題提起「子ども社会におきている問題に開業医はどう関わっていくのか」	辻 一省		
座談会「子ども社会に何が起きているのか」 芦名猛夫/石井郁子/上田正雄 川端利彦/平井初美/辻一省	佐藤一夫	わたしの映画評「シテール島への船出」(碧川) 医学ビデオ・ライブラリー「老人ケア・セミナー」 「医療機関の再編を加速化 老人保健施設を考える」 テキスト「慢性膵炎の病態と治療」	河盛隆造 清水達夫
役に立つ校医制度に	青木 一		
新しい校医像のために			
レントゲン撮影講座18「大腸憩室症」(遠山敏春) 彫型教室より51(日高正法) われら歴史を歩く17 「因幡・伯耆路 環日本海文化の一翼」(金森 昭) 医院の近代化に一役2「セキュリティシステム」 なにわの郷土史70 大阪の古代氏族2「西文氏」(請田正幸) 旅のファイルブック1「高知」 わたしの映画評「マリヤの恋」「パリ・テキサス」 (碧川) ほんだな『ターニング・ポイント』			
	原 文夫		
テキスト「パーキンソン病の診断と治療・管理」	谷口和寛	1986年8月(No.205) 巻頭言「医師と核兵器の廃絶」	三宅泰雄
テキスト「小児の頭痛」	神尾守房	なにわ医見 6月のこんなこと 特集「核時代と医師の責務」 対談「いま医師に求められていること」	小田徹也/新田一郎
「医療法具体化による府下の病床規制を考える」 編集後記 勝敗をさぐる114(吉野俊宏) 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫) 用語事典「学齢期シンドローム」		被爆者医療の現状と責務	小林栄一
			東淀川区 川浪暎二

女の悲しみをのりこえて 被爆者の戦後史 野中フミ子	厚生官僚の発言にみる開業医切り捨て政策 レントゲン読影講座21「クローン病3」(遠山敏春)
被爆者の完全救済は国の責務 被爆者援護法を考える 早川光俊	医療の近代化に一役 「パーソナルワープロ、パーソナルファクシミリ」 なにわの郷土史73 大阪の古代氏族5 「中臣氏」(請田正幸)
崩壊した安全神話 チェルノブイリ原発事故が語るもの 安齋育郎	私の映画評「アルシノとコンドル」(碧川)
量産される被曝労働者 原発労働者の健康被害(編集部)	地域保健セミナー9「成人病と運動療法」 岡田邦夫
レントゲン撮影講座20「クローン病2」(遠山敏春)	寄稿「開口神社の謎(下)」 片山利貞
彫塑教室より52(日高正法)	ほんだな『億万長者はハリウッドを殺す』上・下 尾内康彦
医院の近代化に一役	テキスト「高血圧の病態と最近の治療動向」 今泉昌利
会員のこえ	テキスト「耳鳴の診断と治療」 牛呂公一
「私の戦後史」108編をふりかえって 辻 一省	文芸・旅靴35「芒」(岩垣子鹿)
なにわの郷土史72 大阪の古代氏族4 「百済王氏」(請田正幸)	編集後記
私の映画評「パパは出張中」(碧川)	勝敗をさぐる117(吉野俊宏)
寄稿「開口神社の謎(上)」 片山利貞	詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
ほんだな『都市空間の中の文学』 柚木達男	表紙ひとこと「陸中海岸」 吹田市 大澤恵美
テキスト「老人における整形外科」 小川亮恵	1986年10月(No.207)
テキスト「中小病院で対応すべき救急医療の課題と限界」 横田順一郎	巻頭言「寿命」 四手井綱英
テキスト「ウイルス肝炎の診断と新しい治療」(再掲) 清水達夫	なにわ医見
編集後記	8月のこんなこと
勝敗をさぐる116(吉野俊宏)	特集「開業医の老後」
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	訪問インタビュー「私の老後 期待と不安」(編集部)
表紙ひとこと「朝の汀」 東大阪市 松井正清	開業医の老後設計と有料老人ホーム(編集部)
1986年9月(No.206)	有料老人ホームをウインドウショッピング 人生最期の大買物 伊吹和子
巻頭言「張学良氏と再会したい」 儀我壮一郎	折り込み付録「有料老人ホーム一覧」 シルバー産業の明と暗 東藤 護
なにわ医見	資料「シルバー産業の具体例」 開業医の老後・アメリカ版 野村 拓
7月のこんなこと	匿名座談会「これをやってみたい」 協会の老後対策事業」
特集「開業医はいま何を語るべきか」	開業医政策の現状と協会の役割 成原忠彦
開業医宣言(大阪協会案)を提起するまでの経過	レントゲン撮影講座22
開業医宣言(大阪協会案)	「胃の悪性リンパ腫」(遠山敏春)
開業医宣言(解説)	彫塑教室より53(日高正法)
座談会「住民と共に生きる開業医像」 朝倉新太郎/金子敦美/永田修二 平井正也/山本哲夫	医院の近代化に一役「協同組合まつり」 アメリカの医療・経済事情5(青木郁夫)
各界からの声	なにわの郷土史74 大阪の古代氏族6「大伴氏」(請田正幸)
中川米造/湯川スミ/角田禮子 /山崎寛/瀬川至郎/米山哮/斎藤浩 /木村繁/石川和子/上田広蔵 /乾死乃生/砂原茂一/大谷藤郎 /下垣内博/西脇美代子/橋本博	食品と毒性シリーズ「植物の自然毒1」 今村 甫
ヒポクラテスと今日の開業医 日野秀逸	私の映画評「ストレンジャー・ザン・パラダイス」
資料ファイル	
『ヒポクラテスの誓い』『挾氏醫戒之略』『患者の 権利章典』『患者の権利宣言(案)』	

(碧川)
 地域保健セミナー10
 「成人病と運動療法2 心臓疾患に対する運動療法」
 宇佐美暢久
 われら歴史を歩く19「郡山の遺跡」
 島田甚晴
 ほんだな『健康のしつけ』
 佐藤一夫
 テキスト「脳梗塞の予防」
 緒方 絢
 テキスト「術後感染症とその予防的化学療法」
 酒井克治
 編集後記
 勝敗をさぐる118(吉野俊宏)
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 用語事典「人材活用センター」
 表紙ひとこと「能登金剛の潮騒」
 東淀川区 辻田百典

1986年11月(No.208)

巻頭言「健康都市・大阪への展望」
 角橋徹也
 なにわ医見
 9月のこんなこと
 特集「検証 不健康都市・大阪」
 指標が語る不健康都市・大阪
 小薮幹夫
 環境汚染に蝕まれる府民の健康
 塚谷恒雄
 劣悪な保障制度が不健康を増加させている
 近藤邦男
 人間らしい職場と生活を
 平井初美
 公共スポーツ施設の著しい立ち遅れ
 川野弘之
 スポーツのできる青空をとりもどそう
 岸田泰輝
 各年代が済んでこそ活気ある地域社会に
 抱千代子
 無計画な居住地環境整備
 松村 優
 高齢化するあいりん労働者(編集部)
 「合理化」のもとに強行される超過密・未権利労働
 下仲英夫
 「健康都市・境」の創造をめざす一つの試み
 荻野正巳
 不健康都市脱却へのアプローチ
 レントゲン撮影講座23「Fornixの良性潰瘍」(遠山敏春)
 われら歴史を歩く20「屋敷山古墳と忘年会」
 金森 昭
 医院の近代化に一役「電気睡眠導入器SLEEPY」
 梅本 孝
 なにわの郷土史7
 大阪の古代氏族7「為名氏」(請田正幸)
 アメリカの医療・経済事情6

「医療機器産業と公共政策」(青木郁夫)
 私の映画評「プレス・イン・ザ・ハート」「カン
 トリー」「ザ・リバー」(碧川)
 旅のファイルブック2「会津と日光の旅」
 医療とファクシミリ
 食品と毒性シリーズ2「植物の自然毒2」(今村 甫)
 ほんだな『北方の原形 ロシアについて』
 波多野一男
 テキスト「呼吸困難を主訴とする呼吸器疾患の診断と治療」
 日置辰一郎
 テキスト「嘔声の診断と治療」
 高橋宏明
 文芸・旅靴36「恋鹿」(岩垣子鹿)
 編集後記
 勝敗をさぐる119(吉野俊宏)
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 表紙ひとこと「永源寺の紅葉」
 北区 新保光世

1986年12月(No.210)

巻頭言「見えない連鎖の輪」
 川口良仁
 なにわ医見
 10月のこんなこと
 特集「医療『民活』と地域医療計画のゆくえ」
 地域医療計画で何が問題となっているのか
 竹内治一
 ガン検診センターを問う
 ガン検診センターは誰のものか
 平井正也
 ガン予防は府民本位で
 松本三郎
 “都島市民病院”の虚像と実像
 辻 一省
 たたき売りに出される泉北病院(編集部)
 売れない民間医療保険(編集部)
 広がる人材派遣・外注 大阪の実態
 西尾 勉
 中小病院の選択 生き残り戦略私案
 小松良夫・堀内弘雄
 中曽根「民活」と開業医の活力
 野村 拓
 レントゲン撮影講座24
 「総胆管へのバリウム逆流」(遠山敏春)
 彫塑教室より54(日高正法)
 医院の近代化に一役「NECファクシミリ」
 なにわの郷土史76
 大阪の古代氏族8「土師氏」(請田正幸)
 私の映画評「カラー・パープル」(碧川)
 食品と毒性シリーズ3「植物の自然毒3」(今村 甫)
 1986年総索引(1986年1月号～12月号)
 ほんだな『I LOVE コミュニケーション』
 上田浩治
 テキスト「熱傷の病態と治療」

寒川昌明	特集「医療的住居論」
テキスト「子宮筋腫をめぐる臨床的諸問題」	医療的住居論 住まいを見直そう
植木 実	大阪大学助教授 野村 拓
随筆「ある爺ちゃんの話」	住宅医学的診断学 住診で見落せないこと
森川三郎	西淀川区 藤森 弘
編集後記	寝たきり老人の住宅事情 保健婦の調査から
勝敗をさぐる120(吉野俊宏)	守口保健所 中村真由美
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	地域医療における家庭訪問の意義と今日的課題
用語事典「オリンピック病院」	PTの活動経験を通して
表紙ひとこと「昆陽池のユリカモメ」	耳原鳳病院理学診療科PT 橋本寿美子
枚方市 三田雄司	老人・障害者・病弱者に適した住宅改善
	建築設計事務所所長 松村 優
1987年1号(No.211)	日本の伝統的な住まい その衛生問題的特質
巻頭言「酒盛り」	京都府立大学教授 吉野正治
岩井宏實	此ノ邦ニ生レタルノ不幸 住宅政策批判
特集「酒を語れば」	大阪教育大学助教授 岸本幸臣
私の酒	資料「日本住宅会議 住宅憲章(案)」
平井正也/野間明/上野洋	テキスト「手の痛み」
片山利真/奥村隆彦/金森昭	玉井 進
堀辺四郎/本出真三/守田由雄	テキスト「呼吸器疾患 気管支喘息の治療と管理」
イラスト・ルポ造り酒屋見学記「河内長野・天野酒」	小松病院
高宮信一	レントゲン読影講座26「胃炎のX線像」(遠山敏春)
河内ワインとまちづくり	なにわの郷土史78
大阪をあんじょうする会事務局長 高田 昇	大阪の古代氏族10「錦部氏」(請田正幸)
名酒の地、灘五郷を訪ねて 菊正宗酒造記念館館長	食品と毒性シリーズ5「植物の自然毒5」(今村 甫)
全国地酒自慢 全国協会の酒好き役員の語る地酒	私の映画評「海と毒薬」(碧 川)
アルコール消費量と中年期障害	医院の近代化に一役「セキュリティシステム」
大東保健所所長 逢坂隆子	ほんだな『知将秋山真之』
アルコール依存症と取り組んで	守田由雄
藍野病院 天羽 薫	旅のファイルブック「韓国・慶州」
テキスト「気管支喘息の治療に際し知っておきたい知識」	なにわ医見
大山口渥	12月のこんなこと
テキスト「生命科学の進歩と医学」	彫塑教室より55(日高正法)
岡田善雄	編集後記
レントゲン読影講座25「胃石」(遠山敏春)	詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
なにわの郷土史77	地域医療を訪ねて9「喘息特診レポート」
大阪の古代氏族9「津守氏」(請田正幸)	池田美也
食品と毒性シリーズ4「植物の自然毒4」(今村 甫)	勝敗をさぐる122(吉野俊宏)
私の映画評「ラウンド・ミッドナイト」(碧 川)	今月の表紙「梅の北野天満宮」
医院の近代化に一役「キテコ」	吹田市 大澤恵美
ほんだな『あいらぶ関西』	
尾内康彦	1987年3月号(No.214)
なにわ医見	巻頭言「ブラジルの桜」
11月のこんなこと	岡部伊都子
編集後記	特集「大阪の高齢者問題」
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	大阪の高齢化状況と行政の役割(編集部)
文芸・旅靴37「雪の観音」(岩垣寺庵)	苦闘する要保護・要援護老人家庭 在宅患者訪問活動から
勝敗をさぐる121	なにわ病院医療社会事業部長 沖津邦弘
「初春対局 橋本宇太郎vs羽田回」(吉野俊宏)	神戸・真野地区のまちづくりを訪ねて(編集部)
今月の表紙「冬の造形」	大阪の高齢者運動の軌跡 自主的組織の拡大に努めて
東住吉区 柳本昭三	平和で豊かな高齢化社会をめざす大阪連絡会世話人
	酒井 平
1987年2月号(No.213)	高齢化社会と開業医 開業医の役割を高めるために
巻頭言「小さな町の博物館」	入野敏夫
平林国夫	寄稿「シルバーサービスがもたらすもの」

植田 章
新シリーズ「病理学の窓」1「病いとは？」1
岡野錦弥
テキスト「プライマリー・ケアにおける不眠への対応」
齋藤正己
テキスト「小児救急への対応 発熱・腹痛・嘔吐・下痢」
鶴原常雄

レントゲン読影講座79

「残胃のポリポイド様隆起」(遠山敏春)

なにわの郷土史79

大阪の古代氏族11「河内氏」(請田正幸)

食品と毒性シリーズ6「植物の自然毒6」(今村 甫)

私の映画評「男はつらいよ 幸福の青い鳥」(碧 川)

医院の近代化に一役「キテコ」「NECファクシミリ」

なにわ医見

1月のこんなこと

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

文芸・旅靴38「春の航」(岩垣子鹿)

勝敗をさぐる123(吉野俊宏)

毒劇薬のカタログ1

上村 甫

今月の表紙「春の訪れ」

淀川区 安保立郎

1987年4月号(No.215)

巻頭言「修羅場の神経病理学」

白木博次

特集「健康情報過多時代」

あふれる健康情報 その背景

大阪大学医学部助教授 野村 拓

健康雑誌の実相ルーツから編集まで

医療ジャーナリスト 東藤 護

開業医が読んだ「健康雑誌」雑感(編集部)

会員投稿「情報過多・迷信に悩まされた体験」

健康教育活動の課題

住民の健康向上と行政サービスの役割

元A市保健事業課長 寺中祐二(仮名)

東成健康教室の活動から

東成支部長 宮本 潔

手づくり新聞でコミュニケーション 金森小児科

新シリーズ「上方芸能こぼれ咄」1「恋しい」

「上方芸能」編集次長 森西真弓

テキスト「排尿障害の診断と治療」

原田 卓

テキスト「内科医が知っておきたい産婦人科の境界病変」

植田勝間

テキスト「小児呼吸器感染症をめぐる諸問題」

西村忠史

レントゲン読影講座29「肺炎 心不全」

元山福祥

なにわの郷土史80

大阪の古代氏族12「船氏とその一族」(請田正幸)

わたしの映画評「蜘蛛女のキス」(碧 川)

食品と毒性シリーズ7「植物の自然毒7」(今村 甫)

医院の近代化に一役「ホーマーイオン」

病理学の窓2「病いとは？」2(岡野錦弥)

勝敗をさぐる124(吉野俊宏)

彫塑教室56より(日高正法)

なにわ医見

2月のこんなこと

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

今月の表紙「水面の桜」

新保光世

1987年5月号(No.216)

巻頭言「エイズ恐慌 医学への信頼と期待」

藤野恒三郎

特集「現代文明とエイズ」

エイズ 開業医の文明批評

堀辺四郎/波多野一男/辻一省/江本敬

前林尚/片山利貞/岸本伸人/澤トシ子

エイズ相談にみる当世事情

大阪府和泉保健所長 大里和久

世紀末のエイズは何を語る

大阪大学医学部教授 中川米造

発生源としての売春産業

同志社大学教授 三塚武男

取材リポート「売春現場の断面とエイズ対策の苦悩」(編集部)

エイズ報道と市民の反応

朝日新聞大阪本社編集委員 田辺 功

「エイズ予防法」と患者等の人権

弁護士 河村武信

エイズ検査 開業医の対応

佐藤一夫

テキスト「開業医に必要なエイズの知識」

中井益代

テキスト「夏によくみられる皮膚疾患」

相模成一郎

レントゲン読影講座81「結核性胸膜炎」(元山福祥)

なにわの郷土史81 大阪の古代氏族13

「田辺氏」(請田正幸)

わたしの映画評「ジンジャーとフレッド」(碧 川)

食品と毒性シリーズ8「植物の自然毒8」(今村 甫)

毒劇薬のカタログ2(上村 甫)

医院の近代化に一役「エブソンEX」

ほんだな『スポーツドクター植田勝間の健康ゴルフ講座』

文芸・旅靴39「嵯峨の新緑」(岩垣子鹿)

病理学の窓3「病いとは？」3(岡野錦弥)

勝敗をさぐる125(吉野俊宏)

なにわ医見

3月のこんなこと

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

今月の表紙「北アルプスの春」

阿倍野区 本田光則

1987年6月号(No.217)

巻頭言「新卒の先生たち」

特集「学齡期シンドロームと臨床医Part2」	鹿島和夫	特集「公費医療の現在」	
ほおっておけない子どもの心とからだ	近未来への警告 塚本祐壮	公費医療と公的責任	大阪大学医学部助教授 野村 拓
「ここまで異常が」		現場からのレポート	
小児動脈硬化症		生保	甲斐修児
肥満・肝障害	野瀬幸 / 牧一郎	難病	井上 明
食生活	辻野儀一	障害	西脇美代子
嘔めない子どもたち	飯田喜彦	精神	後藤順治郎
視力	磯村寿賀人	結核	永田修三
骨格異常・ハリソン溝	湖崎 克	老人	老幸連
体力・筋力	佐藤一夫	母子	日比野次子
行動	廣橋賢次	原爆(編集部)	
心身症・ストレス	服部祥子	公害(編集部)	
性	富田和巳	公費医療を開業医の目から問い直す	辻 一省
地域に子育て医療ネットワークを	白井佐智子	公費医療拡充の運動と地方自治体(政策調査部)	
求められる発想の大転換		資料「府および府下市町村実施医療費助成事業一覧」	
歩みだした性教育活動	青木 一	公費負担医療の概要(医療活動部)	
協会・産婦人科部会の試み		地域医療を訪ねて10「障害者と開業医の相互理解を	
寄稿「開業医の親子関係を考える	辻 一省	求めて 障連協 / 福岡甲子郎」(編集部)	
自分史およびある症例から」		なにわの郷土史83 大阪の中世社寺1「勝尾寺」	
テキスト「めまい疾患の診断と治療」	服部祥子	大阪府立大学総合科学部助教授 上田さち子	
松永 喬		テキスト「他科にも必要な眼科の知識」	渡辺千舟
レントゲン読影講座30「甲状腺機能低下症」(元山福祥)		テキスト「人工受精の最近の話題」	磯島晋三
なにわの郷土史82 大阪の古代氏族(最終回)		レントゲン読影講座31「肺囊胞症」(元山福祥)	
「池辺氏」(請田正幸)		わたしの映画評「プラトーン」(碧 川)	
わたしの映画評「ミッション」(碧 川)		ほんだな『日本庭園史新論』	佐藤一夫
食品と毒性シリーズ9「植物の自然毒9」(今村 甫)		医院の近代化に一役「脱臭殺菌装置」	
彫塑教室より57(日高正法)		文芸・旅鞆40「尾道の夏」(岩垣子鹿)	
医院の近代化に一役「カードパック機」		病理学の窓5「ウィルヒョウ論1」(岡野錦弥)	
上方芸能こぼれ咄(2)「笑い病」(森西真弓)		勝敗をさぐる127(吉野俊宏)	
病理学の窓4「病理の歴史」(岡野錦弥)		なにわ医見	
勝敗をさぐる126(吉野俊宏)		5月のこんなこと	
なにわ医見		編集後記	
4月のこんなこと		詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
編集後記		今月の表紙「初夏の上高地」	東淀川区 辻田百典
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)			
今月の表紙「黎明対馬」			
	淀川区 川浪暎二		
		1987年8月号(No.219)	
		巻頭言「Food and politics」	G.C.ムアング
		特集「飢餓と飽食」	
		急務は安全な水と電源の確保(フィリピン・ネグロス島)	舟橋 透
1987年7月号(No.218)			
巻頭言「極寒の白頭山登山」			
	今井通子	悪条件が原因・結果を繰り返す(アフリカ)	

アイキャンブで白内障患者に光を(ネパール)	馬場昭夫	行政・学校・医師会の合意形成が大切	白井佐智子
人民の力で保健活動を推進(ニカラグア)	黒住 格	東大阪市の予防接種と医師会	三田 稔
日本も半世紀前は飢餓だった	鴨脚光増	切実な予防接種から排除されている	越川和枝
ふたたび来るか飢餓と貧困	那須 力	ワクチンについて詳しい説明がほしい	新日本婦人の会八尾支部大正班
「南北問題」と軍縮の論理	河野 裕	住民の理解のため行政は努力を	堀辺四郎
大阪外国語大学教授	巢山靖司	学校医の現実は大変(H氏)	開業医団体としても見直しを
問われる海外援助のあり方	都島区 辻 一省	寄稿「確信なく注射し続けることは医師としての良心が許さない」	細川一真
軍事費と貧困からの解放	八尾市 西野和彦	デスクより	由上修三
座談会「日本人のライフスタイルを考える」	小石秀夫(市大教授) / 中川米造(阪大教授)	予防接種における開業医の役割と苦悩	地域医療対策部長 山本哲夫
寄稿「レイチェル・カーソン女史から学ぶもの」	平井正也 / 堀辺四郎	インフルエンザ予防接種の問題点とは	大阪市立桃山病院 大國英和
地域医療を訪ねて11	小松良夫	予防接種事故の法問題	予防接種被害者弁護団 井関和雄
「スタートした老人保健施設・希望ヶ丘」	呉 海龍	テキスト「予防接種の実際」	川上勝朗
テキスト「最近の抗生物質とその耳鼻科的利用」	植手鉄男	テキスト「骨粗鬆症に対するADFR療法」	笹井実人
テキスト「眼周囲の形成外科」	田嶋定夫	テキスト「臨床医に必要な歯科の知識」	辻 忠良
レントゲン読影講座32「汎発性強皮症」(元山福洋)	なにわの郷土史84	レントゲン読影講座33「肺過誤腫」(元山福洋)	なにわの郷土史85
大阪の中世社寺2「壺井八幡と通法寺」(上田さち子)	わたしの映画評「カイロの紫のバラ」	「四天王寺」(上田さち子)	わたしの映画評
「ハンナとその姉妹」(碧 川)	食品と毒性シリーズ10「植物の自然毒10」(今村甫)	「ノスタルジア」「サクリファイズ」(碧 川)	食品と毒性シリーズ11「植物の自然毒11」(今村甫)
彫塑教室より58(日高正法)	医院の近代化に一役「自動現像機」	医院の近代化に一役「ホルター心電計」	こえ「『医者たちの8月15日』読後感」
上方芸能こぼれ咄3「切り傷」(森西真弓)	病理学の窓6	文芸・旅鞆41「曼珠沙華」(岩垣子鹿)	病理学の窓7
「ウィルヒョウ論2 細胞病理学」(岡野錦弥)	勝敗をさぐる128(吉野俊宏)	「ウィルヒョウ論3 人間ウィルヒョウ」(岡野錦弥)	勝敗をさぐる129(吉野俊宏)
なにわ医見	6月のこんなこと	なにわ医見	7月のこんなこと
編集後記	詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	編集後記	詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
今月の表紙「夏の陸中海岸」	枚方市 三田雄司	今月の表紙「彼岸花」	東住吉区 柳本昭三
1987年9月号(No.220)	巻頭言「知床原生林伐採のもたらすもの」	石井政之	1987年10月号(No.221)
特集「予防接種」	予防接種の歴史と今日的意義	川上勝朗	巻頭言「婦人が長く、豊かに働き続けるために」
インタビュー「予防接種をめぐる」	個別接種で効くワクチンを効率的に	田辺 功	特集「医者が語る最近女性事情」
			働く女性の心とからだ その社会的背景を診る
			大阪府職業病センター 水野 洋

チェコスロバキア 的羽エヴァ
スリランカ 盛岡ニラーニ
イタリア マウロ・デ・パオリス
フィンランド 庄司ミア
中国 周 昭孝
アメリカ リチャード・J・ブロック
西ドイツ ヘルムート・オイゲン
フランス ミッシェル・ローゼンベルク
ニュージーランド ウェイン・ミルズ
イギリス・イタリアの医療事情を視て

日野秀逸

対談「国際化時代の日本の医者語る」

ジャムシッド/野村拓

テキスト「糖尿病の患者管理」

泉寛治・河盛隆造

レントゲン読影講座36

「慢性肺炎の急性増悪に伴う左胸水」(元山福洋)

なにわの郷土史88

大阪の中世社寺6「住吉大社」(上田さち子)

わたしの映画評「ゆきゆきて神軍」(碧川)

食品と毒性シリーズ14「植物の自然毒14」(今村甫)

上方芸能こぼれ咄5「眼病」(森西真弓)

医院の近代化に役「医療事務専用コンピュータ」

87年「総決算」色眼鏡カルタ(北区 無 茶)

病理学の窓10「近代病理観1」(岡野錦弥)

勝敗をさぐる132(吉野俊宏)

なにわ医見

10月のこんなこと

彫塑教室より60(日高正法)

編集後記

1987年総索引

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

今月の表紙「宝剣山から南アルプスをのぞむ」

淀川区 安保立郎

1988年1月号(No.224)

特集「おおさか・食の文化」

昭和ヒト桁の食文化

野村 拓

伝統創作「なにわ旬膳」(編集部)

写真ルポ「大阪市中央卸売市場」(編集部)

大阪の食文化、その歴史

宮本又次

ファミリーレストランの盛衰と庶民の食文化

大田 貢

巻頭言「医者の不養生」

『あまから手帖』編集長 重森 守

テキスト「新しい薬の知識」

脳神経用薬・循環器用薬

額田忠篤

リウマチ性疾患に対する治療薬

前田晃

テキスト「慢性肝炎」

門奈丈之

特別企画「ベレストロイカとソ連の医療」

勝敗をさぐる133

「初春対局 橋本宇太郎vs野本利明」(吉野俊宏)

病理学の窓11「近代病理観2」(岡野錦弥)

わたしの映画評「古井戸」(碧川)

なにわの郷土史89

大阪の中世社寺7「久米田寺」(上田さち子)

文芸・旅靴43「お山焼」(岩垣子鹿)

レントゲン読影講座37

「アルコール性肝炎と低蛋白血症」(元山福洋)

医院の近代化に役

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

11月のこんなこと

編集後記

「厚生省『国保改革プラン』の影響を試算する」

表紙写真「南紀串本・橋杭岩の夜明け」

虹彩会 三田雄司

1988年2月号(No.225)

特集「医師会を問う」

いま医師会に何が起きているのか

竹内治一

日医「官製化」の危機

野村 拓

日医医療政策批判 その拙策さゆえの危険性

補論「医師と国民の分断招く福祉目的税」

紀野 正

補論「保険医療の危機」

成原忠彦

補論「開業医医療の危機にどう立ち向かうのか」

細川一真

補論「国民とともに歩む協会の選択」

村田 進

国民とともに歩む協会の選択

平井正也

対談「地区医師会を語る」

波多野一男/辻 一省

巻頭言「登校拒否の処方求めて」

群馬県保険医協会理事 大川 章

テキスト「高血圧の治療と管理」

額田忠篤

テキスト「劇症肝炎およびB型肝炎の感染予防」

佐野萬碁壽

新連載「保険医の昭和史」1「医療費調査」

野村 拓

勝敗をさぐる134(吉野俊宏)

病理学の窓12(最終回)「近代病理観3」(岡野錦弥)

わたしの映画評29「ラジオ・デイズ」(碧川)

なにわの郷土史90 大阪の中世社寺8

「天野山金剛寺」(上田さち子)

上方芸能こぼれ咄6「酒乱」(森西真弓)

レントゲン読影講座38「肺気腫」(元山福洋)

彫塑教室より61(日高正法)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

12月のこんなこと

編集後記

表紙写真「石垣島の唐人墓」

虹彩会 川浪暎二

1988年3月号(No.227)

特集「医学教育への注文」

投稿「医学教育への注文」

早川貫治 / 堀辺四郎 / 紀野正 / 水野洋
西野和彦 / 青島幸彦 / 竹内治一 / 柚木
達男 / 佐藤一夫 / 羽田同 / 田辺功

医師になるまでの巨大迷路とその後

中井久夫

医学生のおうつ

藤崎和彦

揺れ動く医学教育

長門谷洋治

教育「臨調」と医学教育

南 清彦

巻頭言「医の精神の緊張」

元名古屋大学学長 飯島宗一

テキスト「最近の眼科領域の検査機器の進歩」

西信元嗣

テキスト「脳神経外科の現状と頭部外傷の初期治療」

安藤協三

海外の医療事情2

「ブラジル保険機構における集団医療と役割」

新企画 / 街角遊歩1「食の図書室」(編集部)

保険医の昭和史2「取締り行政のなかで」(野村 拓)

わたしの映画評30

「グッドモーニング バビロン！」(碧 川)

なにわの郷土史91

大阪の中世社寺9「大念仏寺」(上田さち子)

食品と毒性15「植物の自然毒15」(今村 甫)

文芸・旅艶44「白魚宿」(岩垣子鹿)

勝敗をさぐる135(吉野俊宏)

レントゲン読影講座39

「慢性関節リウマチ 結節？」(元山福洋)

ほんだな『縛られた巨人』

佐藤一夫

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

1月のこんなこと

会員の声

編集後記

開業医宣言(案)コメント

弁護士 斎藤ともよ

表紙写真「早春の落日」

虹彩会 辻田百典

1988年4月号(No.229)

特集「告知と医師・患者関係」

医師・患者関係の再構築

ヒポクラテスから開業医宣言まで

野村 拓

「告知・私の場合 開業医の体験集」

竹内治一 / 二宮聖耳 / 堀辺四郎

稲垣道雄 / 片山利貞 / 羽田同

/ M・S生 / 入野敏夫 / 深津潤一

/ 島田博匡 / 中村洋

患者との対話の重視 インフォームド・コンセントとは

西野和彦

病名告知の実際 何をどこまで知らせるか

黒川順夫

巻頭言「死をみつめる青年の日記」

ジャーナリスト 若林一美

テキスト「消化器 胃潰瘍を中心に」

小味淵智雄

テキスト「膵炎の治療と管理」

河盛隆造

上方芸能こぼれ咄7「吃音」(森西真弓)

保険医の昭和史3「点数表は一夜漬け？」(野村 拓)

わたしの映画評30

「マルサの女」「マルサの女2」(碧 川)

なにわの郷土史92 大阪の中世社寺10

「火走神社」(上田さち子)

食品と毒性16「植物の自然毒16」(今村 甫)

彫塑教室より62(日高正法)

勝敗をさぐる136(吉野俊宏)

新企画「CT&US読影講座」1「肝細胞癌」

小林保雄

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

2月のこんなこと

編集後記

「診療報酬・薬価改定の影響を試算する」

表紙写真「春暖の庭園にて」

虹彩会 新保光世

1988年5月号(No.231)

特集「大阪人のカルテ」

衛生指標にみる大阪人の健康状況

大島 明

心臓病

南野隆三

呼吸器疾患

松田敏宣

子宮ガン

野田 定

STD(性行為感染症)

大国 剛

アレルギー性鼻炎

竹内治一

肝臓病

清水達夫

結核

小松良夫

愛隣地区の行旅病

山本祐夫

健康都市への転換

片村永樹

都市型医療の課題

巻頭言「機関委任と団体委任」

朝倉新太郎

大阪大学医学部教授 多田羅浩三
 テキスト「呼吸不全・呼吸器能障害患者の医療」
 木村謙太郎

テキスト「腎炎透析の適用」

折田義正

保険医の昭和史4「労働者の健保要求」(野村 拓)

わたしの映画評32「黒い瞳」(碧 川)

なにわの郷土史93 大阪の中世社寺11

「興正寺別院と富田林寺内町」(上田さち子)

勝敗をさぐる137(吉野俊宏)

CT&US読影講座2「良性肝腫瘍」(小林保雄)

街角遊歩2「富田林・寺内町」(編集部)

文芸・旅靴45「梨の花」(岩垣子鹿)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

3月のこんなこと

編集後記

海外の医療事情3「フィリピン」

上野誠一

表紙写真「八瀬・大原周辺の農家」

虹彩会 楠 研二

1988年6月号(No.232)

特集「福祉マインドの点検」

大阪の福祉行政の動向

牧里每治

福祉のかかえる困難とは

武南千賀子

大阪市ケースワーカー座談会

「福祉後退の中の生活保護」

各種福祉制度の利用法(地域医療対策部)

福祉行政改善のために(政策調査部)

「在宅医療」に対する府下開業医の意識動向

巻頭言「長寿を祝える社会に」

シナリオライター 小山内美江子

テキスト「骨折の保存的療法と治療材料」

有澤 修

地域医療を訪ねて13

「開業医と福祉行政の接点 インタビュー西本明文」

保険医の昭和史5「老衰が2日で『治癒』」(野村 拓)

わたしの映画評33「遠い夜明け」(碧 川)

上方芸能こぼれ咄8「痘痕」(森西真弓)

なにわの郷土史94

大阪の中世社寺12「南宗寺」(上田さち子)

彫聖教室より63(日高正法)

勝敗をさぐる138(吉野俊宏)

CT&US読影講座3「びまん性肝疾患」(小林保雄)

海外の医療事情4「ペレストロイカとソ連の医療2」

エレオノダ・ゴルブノバ

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

4月のこんなこと

編集後記

新企画/連載小説「悪意の不在」

有津 武

表紙写真「初夏の飛鳥路」

虹彩会 大沢恵美

1988年7月号(No.234)

特集「保育と臨床医」

医師として親として

早川貴治/滝本加代/朝枝裕子

守田由雄/大里光伸/平井初美

開業医と住民ですすめる病児保育

保坂智子

民間中小病院の院内保育

日野病院

夜間保育の現場から

ナルド夜間保育園

保育者と開業医の接点

こま共同保育所/こばと保育園

保育所の中の託老所

石川県保険医協会

保育行政の現状と子育ての現在

横田昌子

巻頭言「子どもは偉大なる模倣者だ」

大阪教育大学教授 秋葉英則

テキスト「頭痛 プライマリー的アプローチ」

上田健彦

テキスト「緑内障の日常診断」

清水芳樹

なにわの郷土史95

近世の大阪1「大阪の町づくりと菓種商」

上田 穰

保険医の昭和史6「変動単価制」(野村 拓)

わたしの映画評34「ラストエンペラー」(碧 川)

勝敗をさぐる139(吉野俊宏)

CT&US読影講座4「胆道疾患」(小林保雄)

文芸・旅靴46「天神祭」(岩垣子鹿)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

5月のこんなこと

編集後記

海外の医療事情5「西ドイツ医療視察団報告記」

北村陽英

表紙写真「真鍋島の子供たち」

虹彩会 本田光則

1988年8月号(No.236)

特集「あの時、私は」

戦後の重大事件に関わる開業医らの証言

「ジェーン台風」(昭和25年9月3日)

「世界放射能会議」(昭和30年6月4日)

「森永ヒ素ミルク中毒」(昭和30年8月24日)

「売春防止法施行」(昭和33年4月1日)

「小児マヒ大流行」(昭和34年~36年)

「新幹線開業」(昭和39年10月1日)

「天六ガス爆発」(昭和45年4月9日)
 「千日デパート火災」(昭和47年5月13日)
 「オイルショック」(昭和48年11月)
 巻頭言「過酷な運命の日」
日航ジャンボ機被災者8・12連絡会 美谷島邦子
 テキスト「日常診療で経験するさまざまな排尿障害」
 片村永樹

新連載「軽音楽誌上鑑賞会」1
 「演歌とタンゴとジブシーと」(獨樂子)
 街角遊歩3「西天満・画廊通り」
 堀辺四郎

なにわの郷土史96 近世の大阪2
 「商業都市大阪のルーツを考える」(上田 稔)
 勝敗をさぐる140(吉野俊宏)
 保険医の昭和史7「日医は保険医をして」(野村 拓)
 上方芸能こぼれ咄9「狂乱」(森西真弓)
 わたしの映画評35「愛と宿命の泉」(碧 川)
 CT&US読影講座5「胆嚢疾患2」(小林保雄)
 彫塑教室より64(日高正法)
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 なにわ医見
 6月のこんなこと
 編集後記
 小説「悪意の不在」2(有津 武)
 表紙写真「白石島にて」

虹彩会 柳本昭三

1988年9月号(No.239)

特集「いのちを語る」
 いのちを語る 各科臨床医らの随筆集
 音田篤/大村清一/本田寅二郎/前田茂和
 野崎道郎/上田裕/貴島康彦/渡辺熊夫
 /守田由雄/杉原和子/市岡五道/阿部久美子
 /本出真三/片山利貞/辻一省/堀辺四郎
 ドキュメント・反核ライブ「いのちの讃歌」
核戦争に反対する医師の会(愛知県) 高木弘己
 巻頭言「生き生きと」
三菱化成生命科学研究所 中村桂子
 テキスト「虚血性心疾患の患者管理」
 柴田宣彦

新企画/私の昭和医療史1
 「私の経歴した病院 その後」
 宇野久弥太

軽音楽誌上鑑賞会2「カンツリーミュージック」
 蔵本正人
 CT&US読影講座6「胆道疾患」(小林保雄)
 なにわの郷土史97 近世の大阪3
 「生活の中の溝川」(上田 稔)
 保険医の昭和史8「円タクと『円床』」(野村 拓)
 わたしの映画評36「黄昏に燃えて」(碧 川)
 勝敗をさぐる141(吉野俊宏)
 ほんだな『赤ちゃん漂流』
 佐藤一夫

「声」

山本義昌/川口明夫/五十嵐暢

文芸・旅靴47「秋の蝶」(岩垣子鹿)
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 なにわ医見
 7月のこんなこと
 編集後記
 表紙写真「モーレン湖」

虹彩会 安保立郎

1988年10月号(No.240)

特集「学齢期シンドロームPart3」
 子どもたちは訴える アレルギー疾患を中心に
 アレルギー疾患治療の考え方
 豊島協一郎
 アレルギー性鼻炎
 竹内治一
 アレルギー性結膜炎
 水野昇平
 喘息
 早川貫治
 アトピー性皮膚炎
 二宮聖耳
 心療科から診たアレルギー
 富田和巳
 食物アレルギー
 豊島協一郎
 「胸郭調査」中間報告
 藤森 弘

「胸郭調査」モニターからの手記
 骨格変形と子どもたちの生活
 吉田正和
 保健室からみた子どもたち
 白井佐智子
 巻頭言「黒い帽子の啓くん」
子どもの本研究者 高木智津子
 テキスト「うつ病に関する外来での管理」
 亀田英明
 テキスト「血管柄付腓骨移植術」
 玉井 進

軽音楽誌上鑑賞会3「ニューオリンズとリバプール」
 CT&US読影講座7「胆道疾患2」(小林保雄)
 なにわの郷土史98 近世の大阪4
 「なにわ『時報鐘』の独言」(上田 稔)
 保険医の昭和史9「昭和医会」(野村 拓)
 わたしの映画評37「インテルビスタ」(碧 川)
 彫塑教室より65(日高正法)
 勝敗をさぐる142(吉野俊宏)
 上方芸能こぼれ咄10「足萎え」(森西真弓)
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 なにわ医見
 8月のこんなこと
 編集後記
 小説「悪意の不在」3(有津 武)
 表紙写真「奥飛騨の合掌造り」

虹彩会 三田雄司

1988年11月号(No.241)

特集「医者の一週間」

私の一週間

佐多誠之 / 福田治男 / 秦石賢 / 古川佳夫
/ 新井幸吉 / 杉村清子 / 村田進 / 無茶

開業医への要望

小山仁示

資料「会員意見調査にみる大阪の開業医」

夜間・休日診療の動向(編集部)

巻頭言「ベトちゃんドクちゃんと私」

都立病院看護婦 宮内美沙子

テキスト「脳血管障害の患者管理」

今泉昌利

テキスト「大阪府における皮膚科、泌尿器科領域

特に皮膚科領域における医事紛争」

細川寿郎

海外の医療事情6「アメリカの医療事情」

池田信明

軽音楽誌上鑑賞会4「ロック」

蔵本正人

CT&US読影講座8「胆道疾患3」(小林保雄)

なにわの郷土史99

近世の大阪5「大都市大坂の都市化現象」(上田 穰)

保険医の昭和史「社会民衆党と医療」(野村 拓)

わたしの映画評38

「さくら隊散る」「明日/Tomorrow」(碧 川)

勝敗をさぐる143(吉野俊宏)

文芸・旅靴48「晩秋」(岩垣子鹿)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

9月のこんなこと

編集後記

表紙写真「塀瓦の布袋さん」

虹彩会 本田光則

1988年12月号(No.242)

特集「私の国保患者」

会員投稿「私の国保患者」

石部武 / 山中元滋 / 辻田百典 / 佐藤武

守田由雄 / 大国剛 / 早川武 / 佐藤一夫

国保審査、最近の動向

村田 進

国保を解体する医療保険「一元化」

紀野 正

『国保安定化計画』指定市町を歩く(編集部)

「基金では今」1

上田浩治

巻頭言「活用と悪用」

社会保険労務士 渡辺 清

テキスト「必ず治るボケの薬の使い方」

多田国利

テキスト「アレルギー性皮膚疾患」

青木敏之

軽音楽誌上鑑賞会5「泣き」を唄う(獨樂子)

CT&US読影講座9「臍疾患1」(小林保雄)

上方芸能こぼれ咄11「変身」(森西真弓)

なにわの郷土史100

近世の大阪6「大坂三郷の土地台帳」(上田 穰)

保険医の昭和史11「軍人の医療」(野村 拓)

彫塑教室より66(日高正法)

わたしの映画評39「芙蓉鎮」(碧 川)

勝敗をさぐる144(吉野俊宏)

小説「悪意の不在」4(有津 武)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

10月のこんなこと

編集後記

1988年総索引(1988年1月号～12月号)

現地ルポ「原発労働者と企業病院」

福井県保険医協会 高木和美

表紙写真「初冬の洛北」

虹彩会 川浪暎二

1989年1月号(No.243)

特集「湯けむり談義」

イラスト・ルポ「高槻かまぶる温泉体験記」

高宮信一

日本温泉史話

中村 昭

開業医のための温泉療法の知識

植田理彦

投稿「私と温泉」

温泉こぼれ話

倭馬左也

集落ごとに沸く野沢温泉村

山中元滋

シルクロードの温泉

堀辺四郎

各協会の役員らが薦める「とっておきの温泉」

巻頭言「銭湯再考」

建築家 山崎泰孝

テキスト「最近話題の臨床検査 選び方とよみ方」

奥田 清

テキスト「小児とアレルギー」

佐々木聖

投稿「藤ノ木古墳に眠る人は……」

島田甚晴

勝敗をさぐる145

「新春対局 橋本宇太郎vs野本利明」(吉野俊宏)

なにわの郷土史101

近世の大阪7「町の本草家・木村兼葎堂」(上田 穰)

保険医の昭和史12「師団軍医部動く」(野村 拓)

わたしの映画評40「旅立ちの時」(碧 川)

ほんだな『ものぐさ精神分析』

中島健造

CT&US読影講座10「臍疾患2臍癌」(小林保雄)

文芸・旅靴49「寒牡丹」(岩垣子鹿)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

11月のこんなこと

編集後記

きり絵

東成きり絵教室 藤谷 龍

88年「総決算」色眼鏡カルタ(無 茶)

今月の表紙「出石の大黒瓦」

東大阪市 武田貞彦

1989年2月号(No.245)

特集「大阪の後継者問題」(前編)

都市問題としての開業医高齢化

図表にみる大阪の開業医の高齢化(編集部)

後継者対策、私の場合

八木淳之/M氏

後継して思うこと

篠原良孝/小林将秀/阪口昌子/高橋徳

開業に魅力ありますか? 勤務医会員アンケート結果

勤務医の声

菟池義彦/海野勝利

巻頭言「気候は人類共通の財産」

京都大学教授 村松久史

テキスト「最近的花粉症と鼻アレルギーの診断と治療」

萩野 敏

テキスト「副鼻腔嚢胞性疾患のMRI診断」

山下敏夫

勝敗をさぐる146(吉野俊宏)

保険医の昭和史13「トラさんの家計指導」(野村 拓)

なにわの郷土史102

近世の大阪8「油屋吉右衛門と顕微鏡」(上田 穰)

上方芸能ごぼれ咄12「元気」(森西真弓)

わたしの映画評41「ベルリン・天使の詩」(碧 川)

彫塑教室より67(日高正法)

CT&US読影講座11

「脾疾患3脾嚢胞性腫瘍」(小林保雄)

旅のファイルブック「有田陶器市と博多どんたくの旅」

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

12月のこんなこと

編集後記

小説「悪意の不在」5(有津 武)

今月の表紙「びわ湖夕影」

東淀川区 楠 研二

1989年3月号(No.247)

特集「大阪の後継者問題」(後編)

座談会「開業医医療を未来につなぐ」

野村拓/早川貴治/畠中正人/佐藤一夫/辻一省
保険医運動と後継者問題

細川一真

経営・税務面からみた後継者対策

古田啓裕

巻頭言「まだまだ沢山することがある」

ハンディ・コープ代表 春山 満

テキスト「強力な抗コレステロール療法による動脈硬化の予防と治療」

山本 章

テキスト「パーキンソン病に関する最近の知見」

谷口和寛

特別寄稿「環境とエントロピーに関する二書評

21世紀論として(上)」

岡野錦弥

地域医療を訪ねて14「淀川キリスト教病院ホスピス病棟」(編集部)

勝敗をさぐる147(吉野俊宏)

基金では今2「形骸化する審査委員会」(医療活動部)

保険医の昭和史14「保健所の創設」(野村 拓)

なにわの郷土史103 近世の大阪9「柏原村の豪商

三田浄久と『水野家文書』(上田 穰)

わたしの映画評42「さよなら子供たち」(碧 川)

ほんだな『第二集 きけわだつみのこえ』

小松良夫

CT&US読影講座12「脾疾患・脾炎」(小林保雄)

文芸・旅靴50「但馬路の春」(岩垣子鹿)

福祉のデパート「ハンディ・コープ」(編集部)

海外の医療事情7「東アフリカでの診療紀行&見聞録」

二宮聖耳

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

1月のこんなこと

編集後記

新連載「シルクロードの美妃」1「ビビ王妃」

堀辺二郎

今月の表紙「小屋にしまわれた竹」

泉佐野市 三好宏和

1989年4月号(No.248)

特集「在宅医療の現実」

座談会「進んだか在宅医療」

村田進/本田寅二郎/辻一省/大國剛

/安岡隆一/木村弥太郎/保田正三郎/佐藤一夫
条件整備を国・自治体の責任で

辻 一省

新・病院競合時代への序章(編集部)

在宅ケアを地域で支えるために

小藪幹夫

社会的保障なき高齢化社会における家族

三塚武男

巻頭言「緒方洪庵をふりかえって」

大阪大学教授 ひろたまさき

テキスト「リハビリテーションの実際」

大田仁史

テキスト「局所麻酔の上手な効かせ方からブロックまで」
天方義邦

地域医療を訪ねて15

「地域リハビリテーションの現状と課題」

勝敗をさぐる148(吉野俊宏)

保険医の昭和史15「戦前の保険医協会」(野村 拓)

なにわの郷土史104 近世の大阪10

「町人天文学者 間重富1」(上田 穰)

上方芸能ごぼれ咄13

「にんじん飲んで首くくる」(森西真弓)

わたしの映画評43「8月の鯨」(碧川)
彫塑教室より68
「第11回土龍会展によせる」(日高正法)
「環境とエントロピーに関する2書評(中)」(岡野錦弥)
ほんだな『新老年医学入門』
竹内治一
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
なにわ医見
2月のこんなこと
編集後記
小説「悪意の不在」6(有津武)
今月の表紙「姫路城にて」
枚方市 三田雄司

1989年5月号(No.249)

特集「新・解体新書」
日本社会と日本人の“空洞化”
野村 拓
「新・解体新書」 開業医が綴る現代日本社会考
日本列島珍病理学
堀辺四郎
皮膚
伊藤謙吾
肛門
波多野一男
胃
小松良夫
目・耳
竹内治一
口
守田由雄
手
野間 明
頭
今村 甫
肩
藤森 弘
日医解体論
丸山俊郎
腸
藤森 弘
不倫(匿名)
膀胱・尿道
江本 敬
すぎたるは及ばざるがごとし
小松建次
腰
片山利貞
『解体新書』を生み出したエネルギーと情熱
長門谷洋治
巻頭言「フライブルク大学本館入口の像」
大阪大学医学部教授(解剖学) 藤田尚男
テキスト「慢性気道閉塞を呈する疾患の診断と治療
に関する最近の動向」
藤本繁夫

「古代史の謎を求めて」8(片山利貞)
勝敗をさぐる149(吉野俊宏)
保険医の昭和史16「資源不足を体力で」(野村拓)
なにわの郷土史105 近世の大阪11「麻田流天文一
門と科学技術2」(上田 穰)
わたしの映画評44「レインマン」(碧川)
「環境とエントロピーに関する2書評(下)」(岡野錦弥)
文芸・旅靴51「牡丹」(岩垣子鹿)
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
なにわ医見
3月のこんなこと
編集後記
今月の表紙「当麻寺石光寺」
吹田市 大沢恵美

1989年6月号(No.250)

特集「審査委員会」
審査・本音と建て前 審査委員が語る
藤原二郎/川合日出雄/伊藤謙吾
/大国剛/有澤源蔵/鴨脚光増/山本漸
審査の流れ 最近の傾向と対応策(医療活動部)
異議申請を積極的に 阿倍野なんでも審査相談室より
鶴木淳/大谷英一
審査委員に望むこと 阿倍野「審査、減点アンケート」
審査の民主化を 審査委員会に求められるもの
村田 進
審査攻勢の構図 日本型医療標準づくりとたたかう
広がる外部委託 自治体国保レセ点検外部委託の実態
巻頭言「四つ橋が亡くなる日」
大阪市立電気科学館学芸員 黒田武彦
テキスト「基金にみる審査基準の実際」(医療活動部)
テキスト「皮膚疾患と食物アレルギー」
豊島協一郎
テキスト「虚血性心疾患 その初期診断と治療」
河口正雄
勝敗をさぐる150
「150回記念対局 宮本直毅vs角橋徹也」(吉野俊宏)
シルクロードの美妃2「誇り高き胡妃」
堀辺四郎
なにわの郷土史106 近世の大阪12
「麻田流天文一門と科学技術3」(上田 穰)
わたしの映画評45「サンドイッチの年」
「巴里ホテルの人々」(碧川)
彫塑教室より69(日高正法)
保険医の昭和史17「末期・戦時医療」(野村拓)
上方芸能こぼれ咄14
「まことに意外のご血色」(森西真弓)
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
なにわ医見
4月のこんなこと
編集後記
小説「悪意の不在」7(有津武)
今月の表紙「港神戸・ポータタワー」
虹彩会 新保光世

1989年7月号(No.253)

特集「専門医・認定医・開業医」
開業医にとっての専門性とは
佐藤武 / 成原忠彦 / 山本哲夫
/ 大村清一 / 保田正三郎 / 竹内治一
専門医制をひねる

専門医法制化の狙いと日本医師会の対応

標榜科目「見直し」と開業医の評価

勤務医・医学生への影響

高齢開業医のこれから

巻頭言「豊かな国」の幻想

「全国婦人新聞」編集長 関千枝子
テキスト「老年者の高血圧治療」

テキスト「治りにくい湿疹を見たら」

投稿「私の欧州ガイド旅行」

わたしの映画評46「善人の条件」(碧川)
保険医の昭和史18「労働者の友」(野村 拓)
なにわの郷土史107

近世の大阪13「平野郷と含翠堂」(上田 穰)

勝敗をさぐる151(吉野俊宏)

ほんだな『フロンガスが地球を破壊する』

「会員の声」

権藤高春 / 呉海龍
地域医療を訪ねて16「開業医参加の健康教育」
資料「府下自治体の保健事業に基づく健康教育の実施状況」
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

5月のこんなこと

編集後記

文芸・旅靴52「青葉木菟」(岩垣子鹿)

今月の表紙「夏の日」

1989年8月号(No.254)

特集「昭和をおくる」
「夜明け前」の日本医療

昭和史の医師たち

昭和時代の私の中小病院

伝染病にみる昭和

産婦人科、風にそよいで50年

外科医の手術室 無影燈から無用燈へ

野村 拓
福田治男
畠中正人
岸本伸人
佐藤一夫
中丸光昭
坂本邦樹
谷村守彦
大矢智子
東住吉区 柳本昭三

専門分化する泌尿器科

女医の昭和史

小児科の昭和史

平成も模索の時代 精神科医

無産者診療所の頃

巻頭言「緑の保全」

大阪府立大学教授 高橋理喜男
テキスト「最近の化学療法と薬剤耐性について」
横田 健

テキスト「妊娠とくすり」

現地ルポ「原発労働者の独り語り」(高木和美)

わたしの映画評47

「紅いコーリヤン」「子供たちの王様」(碧川)

保険医の昭和史19「南日本公衆衛生会議」(野村 拓)
上方芸能こぼれ唾15

「年寄りにさら湯は毒」(森西真弓)

なにわの郷土史108 近世の大阪14

「創設期の懐徳堂」(上田 穰)

勝敗をさぐる152(吉野俊宏)

ほんだな『長崎市長への7300通の手紙』

彫塑教室より70(日高正法)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

6月のこんなこと

編集後記

小説「悪意の不在」8(有津 武)

今月の表紙「瀬戸の夕照」

小松良夫
枚方市 三田雄司

1989年9月号(No.256)

特集「地球診断」

発展の代価

サンガ・ンゴイエ・カサディ
軍事技術と天文学者

医師と核戦争・核軍拡

ヒバクシャとして、医師として

対談「環境問題の視点」

地球を救うための私の提案

服部洋 / 片村永樹 / 今村甫 / 宇佐美正暢
IPPNW日本大会の課題

岩崎 正

資料「地球規模の環境破壊」(核戦争防止運動推進委員会)

巻頭言「老いを見つめて」

フリーカメラマン 田辺順一

テキスト「日光と皮膚」

堀尾 武

テキスト「頭部CTの実際と診断」

御供政紀

テキスト「胸部CTの意義」

伊藤春海

現地ルポ「原発労働者の独り語り2」(高木和美)

わたしの映画評48「黒い雨」(碧川)

保険医の昭和史20「医師の最低生活費」(野村 拓)

なにわの郷土史109 近世の大阪15

「中山竹山・履軒時代の懐徳堂」(上田 穰)

勝敗をさぐる153(吉野俊宏)

文芸・旅靴53「鰯雲」(岩垣子鹿)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

7月のこんなこと

編集後記

今月の表紙「欽心寺山門前茶店寸景」

淀川区 川浪暎二

1989年10月号(No.258)

特集「保健所と開業医」

保健所再編成と開業医

丸山 創

座談会「保健所と開業医のこれから」

朝倉新太郎/逢坂隆子/小林孝三

槌田洋/村田進/早川貫治

医療再編成の中の保健所の行方(政策調査部)

森永ミルク中毒事件にみる保健婦像

細川一真

保健婦から開業医への注文

資料「保健所宣言」(案)

巻頭言「保健所のあるべき姿」

近畿大学医学部教授 清水忠彦

テキスト「うつ病に関する外来での管理について」

中村桃太郎/亀田英明

テキスト「高脂血症の診断と治療の実際」

斎藤 康

現地ルポ「原発労働者の独り語り3」(高木和美)

わたしの映画評49

「愛は霧のかなたに」「コイサンマン」(碧川)

保険医の昭和史21「医療制度の教育」(野村 拓)

なにわの郷土史110 近世の大阪16

「適適齋塾放談」(上田 穰)

彫塑教室より71(日高正法)

上方芸能こぼれ咄16

「散る花にも風情があるなあ」(森西真弓)

勝敗をさぐる154(吉野俊宏)

小説「悪意の不在」9(有津 武)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

8月のこんなこと

編集後記

今月の表紙「コスモス」(川原寺前にて)

淀川区 安保立郎

1989年11月号(No.259)

特集「薬の説明」

薬をどう説明しているか

笹川和信/畑中治/井上喜久子/甲田博和

西沢クリニック/南條節子/小島通宏

患者側からみた医師の薬の説明

太田裕治/磯野輝子/平林敬子

医薬分業における薬の説明

中村幸子/中西光景

薬剤師からみた医師の薬の説明

飯島幸次

基金審査からみた投薬

佐藤一夫

良薬口に甘しというけれど 薬の今昔

吉岡 信

巻頭言「文学の対象にタブーはない」

文芸評論家 千頭 剛

テキスト「嘔声診断の進め方と治療」

田辺正博

テキスト「屈折・機能障害・眼筋・眼位について」

西信元嗣

テキスト「理学療法について」

博田節夫

現地ルポ「原発労働者の独り語り4」(高木和美)

わたしの映画評50「私の中のもうひとりの私」(碧川)

保険医の昭和史22「60年安保前後」(野村 拓)

なにわの郷土史111 近世の大阪17

「緒方洪庵と除痘館」(上田 穰)

ほんだな『チバガイギーの内幕 薬害の構造』

佐藤一夫

勝敗をさぐる155(吉野俊宏)

文芸・旅靴54「時雨」(岩垣子鹿)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

9月のこんなこと

編集後記

今月の表紙「真如堂の紅葉」

東淀川区 辻田百典

1989年12月号(No.260)

特集「80年代医療界総決算」

医療事情1980総括篇

辻 一省

「80年代医療改悪のバランスシート」

診療報酬・薬価改訂

稲松 滋

老健法制定と老人医療

本田寅二郎

健保・国保改悪

成原忠彦

医業税制

木村弥太郎

医療法「改正」

山本哲夫

優性保護法「改正」劇顛末記	辻 一省
学会認定医・生涯教育	竹内治一
80年代の病院	堀内弘雄
公害は終わっていない	那須 力
21世紀へ向けて 90年代の保険医運動	細川一真
80年代に関するキセル的考察	野村 拓
巻頭言「北欧と民間治療者」	庄司博史
国立民俗学博物館助手 テキスト「脳循環の生理と病態」	松本昌泰
わたしの映画評51	
「利休」「本覚坊遺文 千利休」(碧 川)	
現地ルポ「原発労働者の独り語り5」(高木和美)	
なにわの郷土史112	
近世の大阪18	
「蘭学の地方伝播と適塾」(上田 穰)	
保険医の昭和史23「浪速のことは……」(野村 拓)	
上方芸能ごぼれ咄17	
「南無三紅が流るるは」(森西真弓)	
勝敗をさぐる156(吉野俊宏)	
彫塑教室より72(日高正法)	
小説「悪意の不在」10(有津 武)	
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
なにわ医見	
10月のこんなこと	
編集後記	
1989年総索引	
今月の表紙「上賀茂の秋」	

東大阪市 武田貞彦

1990年1月号(No.261)

特集「医八衣ナリ」
 特集へのプロローグ 医は〔イ〕なり
 イラスト・ルポ「昔の医師像を訪ねて」
 京都・小石家訪問記
 近代における庶民と町医者 of 依服
 白衣の孝現学
 どんどん白衣から脱却すれば
 衣服と衛生
 船場 衣料問屋経営の一側面
 巻頭言「1990年、課題の壁」
 毎日新聞社論説委員 増田れい子
 テキスト「足の進化からみた足部疾患」 島津 晃
 勝敗をさぐる157
 「新春対局 橋本宇太郎vs神田公三」(吉野俊宏)
 わたしの映画評52「あ・うん」(碧川)
 現地ルポ「原発労働者の独り語り6」(高木和美)
 なにわの郷土史113 近世の大阪19
 「町民本草家・堀田龍之助(一)」(上田 穰)
 特別企画「1989年総決算色眼鏡カルタ」(無茶)
 ほんだな「あじさい供養頌」
 佐藤一夫
 保険医の昭和史(最終回)「昭和の終り」(野村 拓)
 文芸・旅靴54 「鷲替」(岩垣子鹿)
 シルクロードの美妃3「砂漠の華」
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 なにわ医見
 11月のこんなこと
 編集後記
 今月の表紙「早春の湖北」

枚方市 三田雄司

1990年2月号(No.262)

特集「私の待合室」
 「私の待合室」
 感染病児を別にして
 待合室は患者のテリトリー
 自作の油絵が対話の媒介に
 スペースの有効利用で
 すべて自分で設計
 患者中心の快適さを求めて
 伝統と調和を生かす

岩崎 正

古屋頼児

巴 徳安

李 英煥

源 伸夫

竹内利幸

競争、派閥、健康相談、逃避

モニターに順番表示

「患者側からみた待合室」
 先生が親切でも受付が

行きやすいことが一番

待合室「進化論」(編集部)
 巻頭言「言茶室と待合室」公共施設研究所
 テキスト「外来の救急処置」

テキスト「食品由来の寄生虫疾患」

海外の医療事情8「スウェーデンの経済と福祉」

彫塑教室より73(日高正法)

勝敗をさぐる158(吉野俊宏)

わたしの映画評53「ベレ」(碧川)

現地ルポ「原発労働者の独り語り7」(高木和美)

なにわの郷土史114 近世の大阪20

「町民本草家・堀田龍之助2」(上田 穰)

上方芸能こぼれ咄18(森西真弓)

基金では今4「申し合わせ無視の事務審査」(医療活動部)

小説「悪意の不在11」(有津 武)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

12月のこんなこと

編集後記

今月の表紙「たそがれの二月堂」

東淀川区 楠 研二

1990年3月号(No.263)

特集「人体汚染」
 人体汚染のメカニズム

投稿「環境と食生活」

機能的食品・健康良品を考える

水と健康

ゴルフ場と農薬

和食への回帰

食品添加物・農薬などの規制の実際

港からの警告(編集部取材)

輸入食品の実態

自然と人間の共生をめざして

横山 永

丸山俊郎

森崎 昇

浅川久恵

高橋真由美

山田嘉朗

吉川 清

荒木恒治

日野秀逸

湯浅精二

守田由雄

羽田 回

川口洋志

堀辺四郎

山越仁一

小川昭夫

藤岡義孝

砂漠からの脱出

辻 一省

巻頭言「新名所『菅原城北大橋』」

府立香里丘高等学校教諭 有馬忠雄

テキスト「死につながる不整脈」

柴田宣彦

テキスト「産婦人科領域を中心とした腫瘍マーカ」

奥田 清

会員寄稿「インド観光体験1週間」

谷村守彦

ワイド20世紀医療史1「気の早い20世紀論」

野村 拓

ほんだな『環境百禍』

片山利貞

ほんだな『今日の外来診療』

小松良夫

勝敗をさぐる159(吉野俊宏)

わたしの映画評54

「セックスと嘘とビデオテープ」(碧 川)

現地ルポ「原発労働者の独り語り(8)」(高木和美)

なにわの郷土史115 近世の大阪21

「大村益次郎 殉難の碑」(上田 穰)

読者からの手紙

久保省吾

文芸・旅靴55「芽柳」(岩垣子鹿)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

1月のこんなこと

編集後記

今月の表紙「陽光」

泉佐野市 三好宏和

1990年4月号(No.264)

特集「現代コ・メディカル論」

従業員の雇用実態アンケート(編集部)

近未来を拓く 協業としての医療

須磨忠昭

開業医とコ・メディカル

野村 拓

「従業員から経営者への期待」

機能別の仕事の期待と家庭との両立に耐える精神力

高安玉子

経営者と仲間の理解で働きやすい職場を

竹沢和枝

働きやすさの保障が大事

和田忠弘

コ・メディカル養成と技術評価

協会・政策調査部

医療人に誇りと夢を

西野和彦

巻頭言「人生二人連れエッセイスト」

和多田勝

テキスト「めまい とくに脳循環障害との関係」

額田忠篤

テキスト「耳鼻咽喉科疾患における精神神経用剤の

使い方」

西浦信博

ワイド20世紀医療史2「1900年の医師数」(野村拓)

彫塑教室より75(日高正法)

勝敗をさぐる160(吉野俊宏)

わたしの映画評55

「ニュー・シネマ・パラダイス」(碧 川)

現地ルポ「原発労働者の独り語り9」(高木和美)

なにわの郷土史116 近世の大阪22

「日本最初の公園計画と大阪舎密局」(上田 穰)

上方芸能こぼれ咄19(森西真弓)

小説「悪意の不在12」(有津 武)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

2月のこんなこと

編集後記

今月の表紙「竹生島」

枚方市 三田雄司

1990年5月号(No.265)

特集「開業医の職・住分離」

府下開業医の職・住分離状況(編集部)

「私の職・住分離論」

職・住分離私論

守田由雄

西淀川区における職・住分離への経過

稲松 滋

医療は文化

両角龍一

こだわらず、ただ誇りをもって

重原正則

分離してから変わった考え

大谷英一

期待されるグループ診療所

苫居喜久夫

地域が見え、余裕が持てる

近藤利之

「地域住民・患者から」

地域住民も医師も地域を変革する一員に

川口あい

医療や教育の整った町を望む

大地兼雄

人口移動からみた「住みごちよき大阪」は

山田正明

都市問題として職・住分離を考える

梶浦恒男

巻頭言「いま、ここでは」

兵庫県赤穂記念病院内科医師 井久保伊登子

テキスト「仕事の停滞を伴う適応障害」

夏目 誠

テキスト「頸椎間板症・鞭打ち症の保存的療法」

岩崎洋明・澤井利樹

ワイド20世紀医療史3「医学会総会」(野村 拓)

ほんだな『わが町 昔さが誌』

片山利貞

勝敗をさぐる161 (吉野俊宏)
わたしの映画評56「7月4日に生まれて」(碧川)
現地ルポ「原発労働者の独り語り10」(最終回)
高木和美
なにわの郷土史117 近世の大阪23 (最終回)
「大阪築港計画と淀川改修工事」(上田 穰)
文芸・旅靴56「花菖蒲」(岩垣子鹿)
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
なにわ医見
3月のこんなこと
編集後記
表紙絵「5月半ば」

吹田市 大澤恵美

1990年6月号(No.267)

特集「医療研究集会の成功に向けて」
座談会「医療研究集会とは何か」
池尻重義/村田進/佐藤一夫
竹内治一/片山利貞/辻一省
「分科会への期待」
食べものと健康 風土に合った食べものを食べる
藤永延代
子育てと社会環境 子育てのあり方がシンドロームの素因
木村弘子
子どものこころとからだ 現代社会が与えるはず
み
富田和巳
医師の視点で社会生活環境を診る
金森照隆
在宅医療を中心とした地域医療
篠原良孝
医療史分科会「日本近代医学発達の過程をみる」
小松良夫
公害分科会「経済優先が生む環境破壊に提言」
豊田忠昭
医療研究集会「全体企画の紹介」
村田 進
巻頭言「文化としての景観」

造形作家 今井祝雄

テキスト「硝子体手術 最近の考え方」
東大阪市 武田貞彦
テキスト「開業医における臨床検査の再評価」
なにわの郷土史118「竹内街道」

山田政弥

小説「悪意の不在13(最終回)」(有津 武)
ワイド20世紀医療史4「労働科学」(野村 拓)
上方芸能こぼれ20(森西真弓)
わたしの映画評57「恋恋風塵」「童年往事」(碧川)
勝敗をさぐる162(吉野俊宏)
彫塑教室より76(日高正法)
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
なにわ医見
4月のこんなこと
編集後記
今月の表紙「初夏」

虹彩会 新保光世

1990年7月号(No.268)

特集「医師と宗教」
日本における宗教と医療の変遷
宗田 一
医の倫理と宗教
奈倉道隆
ホスピスにみる死生観
柏木哲夫
全人的回復への共同作業
大川義篤
宗教の迷走、医学の反省
辻 一省
「私の忘れえぬ患者を通して」
信頼は本物の宗教
羽田 回
医者と僧侶と患者
木下栄作
母のおしえ
紀野 正
会員アンケートにみる医師と宗教の接点(編集部)
小説にみる作家の「生と死」(編集部)
巻頭言「宗教、とくに仏教・仏陀と公衆衛生」
元大阪大学教授 丸山 博

テキスト
「膠原病 特にSLEおよび近縁疾患の診断と治療」
なにわの郷土史119 大阪の街道2「京街道」
数内吉彦

文芸・旅靴57「時鳥」(岩垣子鹿)
ワイド20世紀医療史4「霊園つき病院」(野村 拓)
わたしの映画評58
「ドライビング・ミス・デイジー」(碧川)
勝敗をさぐる163(吉野俊宏)
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
なにわ医見
5月のこんなこと
編集後記
今月の表紙
「オンフルーの港」(ノルマンディー・フランス)
東大阪市 武田貞彦

1990年8月号(No.270)

特集「医療を通して平和を語る」
現代日本社会における「平和」の構造
神田文人
座談会「世代を超えて平和を語る」
成田一郎/早川貴治/兪順奉
緒方浩美/安賀昇/小松良夫
「私の体験 いまに伝える」
青春の一コマから
倉澤高志
抗命の罪その他
今泉恭二郎
映像にみる「戦争と平和」(碧川)
8月6日の中学生

まぼろしのメーデー	鳥居 宏	文芸・旅靴58「初紅葉」(岩垣子鹿)	島田甚晴
歴史は巡る	大形順子	ワイド20世紀医療史7 「座敷牢からホームレスへ」(野村 拓)	
巻頭言「手話は普遍的な言語である」	島田甚晴	わたしの映画評60「ラ・ファミリア」(碧 川)	
枚方市立牧野公民館館長 渡辺義彦		ほんだな『反秀才論』	佐藤一夫
テキスト「最近の結核事情と治療の進め方」		勝敗をさぐる165(吉野俊宏)	
テキスト「低血圧と心臓疾患」		詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
なにわの郷土史120 大阪の街道3「東高野街道」	加藤政一	なにわ医見	
新連載「思秋期1」	野間 明	7月のこんなこと	
ワイド20世紀医療史6「侵略と医療」(野村 拓)		編集後記	
上方芸能こぼれ咄21		今月の表紙「黎明瀬戸大橋」	淀川区 川浪暎二
「首が飛んでも動いてみせるわ」(森西真弓)			
彫塑教室より77(日高正法)		1990年10月号(No.274)	
わたしの映画評59「夢」(碧 川)		特集「勤務医と開業医との対話」	
勝敗をさぐる164(吉野俊宏)		「運動」と「事業」の2本足	
基金では今5(医療活動部)			細川 - 真
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)		福祉の原点に立ちかえって	
なにわ医見		協会に3つの問題を提案	團野迪樹
6月のこんなこと			南部正敏
編集後記		これから力を入れてもらいたい協会活動	
今月の表紙「五箇山」	枚方市 三田雄司	中西彰/山本武/中川喜美子 笹川和信/八杉誠/水野重治	
		協会がめざす地域医療の承継	紀野 正
1990年9月号(No.272)			
特集「医学をささえてきた動物たち」		専門職を加えたチームで対応を	河村武信
実験モデルを用いた脳虚血病態の検索		承継問題懇談会での会話から(編集部)	
松本昌泰/鎌田武信/木村和文		開業してみても 私の経験から	三好 茂
外科領域における動物実験の現況	門田守人	福祉の視点からみた社会的承継	
動物実験から臨床実験へ	馬場宏一	竹内治一/川端朝子	
解説「実験動物と動物」		巻頭言「コアラの離乳食前」	上野動物園長 中川志郎
解説「実験近代医学の源流と社会状況の変化」		テキスト「増え続ける大腸疾患」	吉川宣輝
医学生のみからみる医学とヒューマニズムの葛藤	石丸裕康	テキスト「第一線診療における大腸肛門疾患」	稲次直樹
動物実験にももの申す	天野英敏	なにわの郷土史122大阪の街道5「暗越奈良街道」	泉 耿子
実験動物の生産と流通 施設での処遇(編集部)		ワイド20世紀医療史8(野村 拓)	
動物実験、わたしの経験から	羽田 同/西野和彦	上万芸能こぼれ咄22(森西真弓)	
ヒトでないヒトのモデル(編集部)		ほんだな『NAM 狂気の戦争の真実』	小松良夫
資料「実験動物の飼養及び保管等に関する基準」		彫塑教室より78(日高正法)	
巻頭言「文楽への招待」	国立文楽劇場企画制作課長 古谷忠弘	わたしの映画評61「悲情城市」(碧 川)	
テキスト		勝敗をさぐる165(吉野俊宏)	
「世界のなかの日本の子ども からだと心の問題点」		文芸・思秋期2(野間 明)	
テキスト「糖尿病の食事療法・薬物療法		詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
その実際をめぐる最近の動向」		なにわ医見	
なにわの郷土史121 大阪の街道4「能勢街道」	神野茂樹	8月のこんなこと	
寄稿「信濃の歴史の旅」		編集後記	

今月の表紙「尾瀬の秋」

東住吉区 柳本昭三

1990年11月号(No.275)

特集「有料老人ホームを考える」
高齢社会と高齢者の要求

終身介護に魅力と期待

長寿、福祉社会と有料老人ホーム

ソフトの充実が今後の課題

地域との有機的つながり

医療の充実で安心感が

生活の場をどう見出すのか(編集部)
福祉マンパワー確保の見通し

資料「西日本の有料老人ホーム110番の電話相談」
大阪弁護士会

福祉と医療の谷間に光を

巻頭言「『公共性』の原則」

和光大学経済学部教授 原田勝正

テキスト

「日本の血液事業と輸血をめぐる最近の話題」

小林芳夫

テキスト「肝疾患の薬物療法」

溝口靖紘

なにわの郷土史123 大阪の街道6「庚申街道」

竹島昌威知

ワイド20世紀医療史9「人口の再生産」(野村 拓)

わたしの映画評62「少年時代」(碧 川)

勝敗をさぐる167(吉野俊宏)

文芸・旅靴60(岩垣子鹿)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

9月のこんなこと

編集後記

今月の表紙「哲学の小道(京都)」

東淀川区 辻田百典

1990年12月号(No.276)

第1特集「花博と医者」

公園の原点を守れ

高橋理喜男

写真でみる世界の公園(編集部)

医者のみた花博

守田由雄 / 小田邦夫 / 古屋頼児

辻一省 / 鹿島洋一

極楽は並木

西川雄之助

大阪にでっかい空間を

資料でみる花博

座談会「4月診療報酬改定は何をもたらしたか」

審査の動向と日常診療への影響

佐藤一夫 / 小松良夫 / 大国剛 / 川合日出雄

各科への影響

中村満次郎 / 保田正三郎

巻頭言「歴史をみつめる」

前京都府立大学教授 寿岳章子

テキスト「基金にみる審査基準の実際」(医療活動部)

テキスト「抗体遺伝子からみた日本民族の原流」

松本秀雄

テキスト「型アレルギーの基礎と最近の話題」

四宮敬介

テキスト「耳鼻科診療と関連のある小児科的知識」

西田 勝

なにわの郷土史124 大阪の街道7「西国街道」

藪内吉彦

彫塑教室より79(日高正法)

ワイド20世紀医療史10「医療費委員会」(野村 拓)

上方芸能こぼれ咄23

「あたたかき湯の湧くところ」森西真弓)

わたしの映画評63

「ゴースト ニューヨークの幻」(碧 川)

文芸・思秋期3(野間 明)

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

なにわ医見

10月のこんなこと

編集後記

1990年度総索引

今月の表紙「トドワラ」

阿倍野区 本田光則

1991年1月号(No.277)

特集「タイムストリーム OSAKA」

テンパーザン探険隊 これが評判の海遊館

高宮信一

失ってはならない「おおさか」

小田康徳

おおさかのいま、そしてこれから

斎藤 浩

消えゆく町並み、のこる町並み

柴田正己

「街なみウオッチング」

船場慕情

藪内吉彦

くすりのまち「道修町」

三島佑一

豊かさは、ゆとりと遊び心 ~わが町の公園散歩

守田由雄

ソウルの下町 - 御幸通商店街

松井 久

高度成長を支えた文化住宅群(編集部)

旅はトレンディーに

バスであそぶ

ナイト・イン・おおさか 流転の夜	北川 幸	なにわの郷土史126 大阪の街道9「西高野街道」 加藤政一
ああ、ストリップ ~天満界隈はいま	片山利貞	勝敗をさぐる170(吉野俊宏)
巻頭言「味は人なり」	八杉 誠	ワイド20世紀医療史12「明治124年」(野村 拓)
料理研究者 土井 勝		ぼんだな『日本権力構造の謎』 小松良夫
テキスト「にきび 最近のトピックスについて」	朝田康夫	わたしの映画評65 「ミュージック・ボックス」(碧 川)
テキスト「老人の検査値」	福尾恵介	文芸・思秋期4(野間 明)
勝敗をさぐる169 「新春対局 橋本宇太郎vs羽田回」(吉野俊宏)		上方芸能こぼれ咄24「江戸の地よ、江戸の人よ、さらば(最終回)」(森西真弓)
俳画	木下秋水	なにわ医見
なにわの郷土史125大阪の街道8「亀岡街道」	鈴木照世	12月のこんなこと 編集後記
ワイド20世紀医療史11「賃金と単価」(野村 拓)		彫塑教室より80(日高正法)
90年総決算「色眼鏡カルタ」(無茶)		詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
わたしの映画評64「フランスの友だち」 「主婦マリ -がしたこと」(碧 川)		今月の表紙「冬の昆陽池」 東淀川 楠 研二
文芸・旅靴61「国栖の舞」(岩垣子鹿)		1991年3月号(No.279)
なにわ医見		特集「地球環境とくらし」
11月のこんなこと		ライフスタイルから変革の時代
編集後記		山村恒年
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)		クルマ社会と医の倫理
今月の表紙「日ノ岬の日の出」	枚方市 三田雄司	都市の温暖化と熱エネルギー
		杉田 聡
		ゴルフ三昧、ゴルフ三悪
		稲浦 昂
		山田國廣
		廃棄物から資源への転換
		1991年2月号(No.278)
		特集「健康都市・大阪の創生」
		環境破壊問題に挑む高校生
		いま改めて不健康をみつめる
	朝倉新太郎	「環境生協」スタート
		関根一昭
	芝村篤樹	大気汚染と病像の変化
		藤井絢子
	三輪泰史	川崎美栄子
	小田康徳	「医師と環境問題」 ダイオキシン対策を早急に
	浅野宜春	佐藤 武
	柴田悦子	お医者さん、ゴルフしますか?やめますか?
	小西和人	藤岡義孝
	森 啓	内なる環境破壊
		三瀬 徹
		十三点景
		稲垣道雄
		レイチェル・カーソンの予言
		堀辺四郎
		『沈黙の春』からアース・デーにむけて
		小松良夫
	漫画家 ありむら潜	巻頭言「自然の内と外」
	松沢佑次	国立民族学博物館助教
	稲葉宣雄	秋道智彌
		テキスト「外来における抗菌剤の選択」
		三木文雄
		テキスト「糖尿病と眼」

福田全克	東住吉区 柳本昭三
テキスト「行政・病院との連携による在宅医療・ケアの実際」	1991年5月号(No.282)
勝敗をさぐる171(吉野俊宏)	特集「一人医療法人の功罪」
わたしの映画評66「桜の園」「大誘拐」(碧川)	近代化へ検討の価値
なにわの郷土史127 大阪の街道10「奈良街道」	清家 裕
神野茂樹	メリットとデメリット
ワイド20世紀医療史13「生計費と医療」(野村 拓)	古田啓祐
ほんだな「ごみとリサイクル」	専門家がみた経営診断
守田由雄	改善・充実が急がれる「一人法人」
文芸・旅鞆62「お水取り」(岩垣子鹿)	鳥居義昭
なにわ医見	鳥喜一郎
1月のこんなこと	納得納税へのベターな道
編集後記	二宮聖耳
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	5000万超「青」3年目
今月の表紙「カスカード・ロック・ガーデン」(パンフ)	西村 保
淀川区 安保立郎	現代社会をどう生き抜く
1991年4月号(No.280)	佐藤邦友
特集「今、看護婦さんが求めているもの」	医療法人の監督について
看護制度の流れからみた看護問題	巻頭言「生徒とともにブナ原生林調査」
長門谷洋治	岸和田市立光陽中学校教諭 鯉谷 勉
「下働き」から「共に働く者」へ	テキスト「消化性潰瘍の新しい治療」
中西睦子	川野 淳
学生も教員も苦悩の対応	テキスト「耳鼻咽喉科における高齢者への対応」
張 知夫	石田 稔ほか
看護学生の悩みと選択	テキスト「副甲状腺疾患 カルシウム異常と骨疾患」
津村智恵子	西澤良記
公共性の誇りと自負	なにわの郷土史129 大阪の街道12「紀州街道」
桑原好雄	竹島昌威知
座談会「がんばれ子持ち看護婦さん」	勝敗をさぐる173(吉野俊宏)
看護学生の希望と不安	歴史を歩く会「中国辺境の地・雲南の旅」
西城智子/山前由紀子	島田甚晴
巻頭言	わたしの映画評68
大久野島毒ガス資料館館長 村上初一	「桑の葉」「暗闇の子供たち」「シバジ」(碧川)
テキスト「心身症と心身医学」	ワイド20世紀医療史15「病院の解剖学」(野村 拓)
高石 昇	文芸・旅鞆63「風五月」(岩垣子鹿)
テキスト「慢性関節リウマチの薬物療法」	なにわ医見
小松原良雄	3月のこんなこと
なにわの郷土史128 大阪の街道11「中国街道」	編集後記
泉 耿子	詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
勝敗をさぐる172(吉野俊宏)	今月の表紙「五月の朝」
彫塑教室より81(日高正法)	吹田市 大沢恵美
ワイド20世紀医療史14「保健投資論」(野村 拓)	1991年6月号(No.284)
ほんだな『医薬分業の時代』	特集「実のある在宅福祉への道」
佐藤一夫	こんなにちがう高齢者福祉 東京と大阪(編集部)
わたしの映画評67「安心して老いるために」(碧川)	住民参画による地域福祉
文芸・思秋期5(野間 明)	一番ヶ瀬康子
寄稿「美しい地球と空への道」	後追い開発か先取り福祉か
西澤芳男	高橋紘一
なにわ医見	民間の知恵と行政の責任
2月のこんなこと	大澤準一
編集後記	最低生活を守る自治体の役割
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	細川一真
今月の表紙「堀に舞う花びら」	幅広く看護と介護を提供

ネットワークの定着へ	川人 明	梁瀬義章
看護よりも生活援助を	山本哲夫	東 禹彦
新しく育つ介護福祉士	小藤田浩美	大西利夫
	山際耕兄	なにわの郷土史131 大阪の街道14「勝間街道」 竹島昌威知
資料「介護福祉士養成所と養成数」		勝敗をさぐる175(吉野俊宏)
資料「福祉を支えるモノと技術」		ワイド20世紀医療史17「国勢調査」(野村 拓)
巻頭言「美術展に想うこと」		ほんだな『脳卒中の早期リハビリテーション』 山内禮一
大阪市立美術館館長 神山 登		
テキスト「漢方と肝臓疾患」	森田陽一	わたしの映画評70 「ダンス・ウイズ・ウルブズ」(碧 川)
テキスト「最近の生殖医学の進歩」	星 合昊	文芸・旅靴64「河骨」(岩垣子鹿)
なにわの郷土史130 大阪の街道13「千早街道」	神野茂樹	なにわ医見 5月のこんなこと 編集後記
勝敗をさぐる174(吉野俊宏)		詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
ワイド20世紀医療史16「医師・患者関係」(野村 拓)		今月の表紙「法金剛院の蓮」
ほんだな『白い航跡』		東大阪市 武田貞彦
	小松良夫	1991年8月号(No.288)
わたしの映画評69「愛と哀しみの旅路」(碧 川)		特集「戦争感覚と平和感覚」
文芸・思秋期6「よって、たかって、好奇心」	(野間 明)	憲法の下でこそ可能な平和協力
なにわ医見		浅井基文
4月のこんなこと		湾岸報道ゲーム気分で
編集後記		映画・映像にみる「わたしの戦後史」
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)		「ハワイ・マレー沖海戦」
今月の表紙「海峡」		二宮聖耳
中央区 水野 耕		「ブリキの太鼓」「太平記」
		両角龍一
1991年7月号(No.285)		「人間の条件」
特集「勤労者の健康と産業医」		「プラトーン」
健康と病気の狭間で考える「健康増進」	渡部眞也	「長崎の子馬」
健康産業と不健康産業	野村 拓	「7月4日に生まれて」
勤労者のメンタルヘルス	倉沢高志	石丸裕康
健診からみた個人、職場、家庭	濱口知昭	I P P N W・ストックホルム大会参加報告
問口2問、奥行き3問	堀辺四郎	緒方 洋
診療の特性を生かした相談医	羽田 回	「戦争と青春」 新作映画案内(編集部)
THP その理念と背景	岡田邦夫	対談「二人のシベリア体験者は語る」 白井卯三朗/小松良夫
モデル施設から1年 生野区・吉永敏男先生を訪ねて		巻頭言「和尚堂」
法的義務と責任は重大	清水偉男	児童文学者 角野栄子
解説「労働安全衛生法の改定」(編集部)		テキスト「寝たきり患者の栄養管理と排泄」
巻頭言「日本人の音の感性と音環境」		西島治子
摂南大学講師 中嶋鴻毅		テキスト「三歳児眼科健診」
テキスト「整形外科的頸椎疾患 めまい、耳鳴との関連で」		田中尚子
		テキスト「副腎疾患 内分泌性高血圧症を中心に」 檜垣實男・荻原俊男
		今連載/医師のフィランソロビー 1 「最後の『晚餐』考」

- 西浦信博
 テキスト「甲状腺疾患 診断と治療の最近の進歩」
 網野信行
 勝敗をさぐる176(吉野俊宏)
 ワイド20世紀医療史18「軍医と病兵」(野村 拓)
 なにわの郷土史133 大阪のシンボル「みおつくし」
 柚木 学
 ほんだな『医師たちのヒロシマ』
 佐藤一夫
 医師のフィランソロピー2
 「『ヴェニス商人』考」(西浦信博)
 わたしの映画評71「八月の狂詩曲」(碧 川)
 「アンボンで何が裁かれたか」「生きるために」(碧 川)
 わたしの映画評72
 勝敗をさぐる177(吉野俊宏)
 ワイド20世紀医療史19「保健所の人件費」(野村
 拓)
 文芸・旅靴65「秋野」(岩垣子鹿)
 なにわ医見
 7月のこんなこと
 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 今月の表紙「海峽」
 枚方市 三田雄司
 淀川区 川浪暎二
- 1991年9月号(No.289)
 特集「保険医協会の30年」
 質量ともに着実な前進
 創設期の先輩は語る
 健康保持への役割は同じ
 審査の民主化で飛躍した協会
 4原則を大切に
 うつりかわり
 親の時代、私の時代
 思いを声に、声を力に
 いつの世も“人手不足”時代?
 親子で地域医療の拠点づくり
 府民とともに
 91年を社会保障飛躍の年に
 うたごえは地球のすみずみへ
 障害者の自立に理解ある医療を
 座談会「魅力ある協同組合への展望」
 木村弥太郎/土岐卓/宇恵光生
 物価、世相にみる30年 ああ、移りゆく世の姿
 野村 拓
 巻頭言「人間らしく生きることを求めて歌おう」
 関西合唱団常任指揮者 守屋博之
 テキスト「臓器移植の現状と問題点」
 岡 隆宏
 テキスト「脳死と臓器移植の問題点」
 中川米造
- 1991年10月号(No.290)
 特集「日常診療での感染性下痢症」
 腸管感染症と病原菌
 阪上賀洋
 国レベルで感染症情報システムを
 井原二郎
 臨床医に必要な知識とこまめ
 山下 健
 「国際化」する病原菌
 高橋泰二
 細菌培養検査の実際
 北瀬照代
 小児の感染性下痢症
 今石秀則
 たかが下痢、されど下痢
 羽田 回
 赤痢? その時観光列車は
 守田由雄
 医師の届出義務の範囲
 野村 拓
 巻頭言「『吉野ヶ里』が語るもの」
 吉野ヶ里遺跡全面保存会 古賀久人
 テキスト「検体検査の再評価」
 奥田 清
 テキスト「泌尿器科最近のトピックス STDの扱い方」
 大里和久
 なにわの郷土史134 近世大坂の海運2
 「『車輪なき文化』と水上交通」
 柚木 学
 医師のフィランソロピー3
 「『ハムレット』考」(西浦信博)
 わたしの映画評73「ジブシーのとき」(碧 川)
 ワイド20世紀医療史20「社会政策と医療」(野村
 拓)
 新連載「タイムカプセル2000年」1
 「弥生文化について考える」

勝敗をさぐる178 (吉野俊宏)	金森 昭	即席の軍医教育世代	莊野忠彌
文芸・思秋期8「恋をしましよ お酒落して」(野間明)		戦地行き回避を模索	河野 裕
彫塑教室より84 (日高正法)		タブー多き現代	成田一郎
なにわ医見		配属将校 Z の内申書	波多野一男
8月のこんなこと		軍艦マニアの少年	野村 拓
編集後記		Gone with the wind	竹内治一
詰碁 (橋本宇太郎)・詰将棋 (有吉道夫)		いま、言論の自由が危ない	諏訪兼善
今月の表紙「曾爾高原」	泉佐野市 三好宏和	医療を犠牲にする世界第3位の海軍国	西谷宣雄
1991年11月号 (No.291)		軍靴の足音とともに	片山利貞
特集「健康と自治」	真田 是	国を滅ぼす「豊かさ」	島田基晴
社会参加が可能な条件づくりを		キリスト教、戦争そして日本	二宮聖耳
欠ける住民自治の視点	斎藤 浩	わが心のビッグマン	植田 彪
政令指定都市の検証と分析		自分に何ができるのか	福本吉夫
市と住民が一体になって「杜の都」を守る 仙台市		英会話にが手、軍歌得意	菰池義彦
公社方式の積極面を生かす 横浜市		戦中世代の在宅医療に全力	西村 保
特養建設に土地を無償提供 広島市		水都チョコレートが消えていった日々	守田由雄
国保8割給付の堅持 名古屋市		ミャンマーの反政府学生軍	清水偉男
住民参加型のモデルづくり 神戸市		価値観の50年	
生涯福祉の町づくり 川崎市		変わらない価値観の土台	下條文雄
資料「政令指定都市指標比較」		「剣より筆」のわが人生観	井上慶三
巻頭言「住民の『最初の政府』ということ」	中野区長 神山好市	平和は努力と忍耐の結果	甲田博和
テキスト「日常診療における不整脈への対応」	柴田宣彦	本ものの自由と民主主義を	井上まさ
テキスト「副鼻腔炎の保存的療法」	石田 稔	マインド・コントロール時代	井上はねこ
医師のフィランソロピー 4		差別なき社会の実現へ	澤田和子
「『森鷗外・堺事件』考」(西浦信博)		アジアから来た若者たち	
勝敗をさぐる179 (吉野俊宏)		今も昔も長時間、低賃金 (編集部)	
わたしの映画評74		巻頭言「ベトナムを訪ねて」	作家 早乙女勝元
「達磨はなぜ東へいったのか」(碧 川)		テキスト「虚血性心臓病の基礎知識と外来診療」	児玉和久
タイムカプセル2000年2「南方熊楠のこと」	西村慎吾	医師のフィランソロピー 5	
なにわの郷土史135 近世大坂の海運3		「『秀吉と利休』考」(西浦信博)	
「河村瑞賢と東廻り、西廻り航路」	柚木 学		
ワイド20世紀医療史21「医療市場」(野村 拓)			
文芸・旅鞆66「紅葉かつ散る」(岩垣子鹿)			
なにわ医見			
9月のこんなこと			
編集後記			
詰碁 (橋本宇太郎)・詰将棋 (有吉道夫)			
今月の表紙「ローテンブルク」	淀川区 安保立郎		
1991年12月号 (No.292)			
特集「パールハーバー 50年」			
開戦の足音をどう聞いたか			
昼は勤労、夜は勉強	水口正春		

勝敗をさぐる180(吉野俊宏)
わたしの映画評75「息子」(碧川)
タイムカプセル2000年3「『吉野ヶ里』について」
島田甚晴
なにわの郷土史136近世大坂の海運4その一
柚木 学
ワイド20世紀医療史22「医業」(野村 拓)
文芸・思秋期9「不倫の花は夜ひらく」(野間 明)
索引1991.1～1991.12
なにわ医見
10月のこんなこと
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
彫塑教室より85(日高正法)
今月の表紙「野の佛」

東淀川区 辻田百典

1992年1月号(No.293)

特集「私にとっての『旅』」
新年特別企画「近場でええとこ、オオサカ探そ」
淀川の北限と湖北のロマンを訪ねる
守田由雄
私にとっての「旅」
素敵に生きる出逢い求めて
藤嶽彰英
「旅」私の楽しみ方
ソ連の表裏を垣間見た船旅
村野 裕
生活を見聞する楽しみ
内本栄光
西国・新西国霊場めぐり
江口 享
充実のドライブ
諏訪兼善
一人旅、二人旅
大形順子
古書涉獵の旅
小松建次
サイクリングで大阪の再発見
木下栄作
出発までが、また楽し
金森 昭
カメラとジープの冒険旅行
樋口兼春
残念だった旅
武田貞彦
あたりまえに旅したい
塩見洋介
旅人たちは語る
てい談「私の企画、みんなの楽しみ」
倭馬左也/本出真三/金野行雄
旅を仕事として
波濤孝治
楽しく通勤、旅気分
奥村慶雄

巻頭言「21世紀の宇宙」
天文学者 海部宣男
テキスト「痛み治療、最近の話題」 兵頭正義
テキスト「乾癬、膿疱性乾癬、掌跖膿疱症」
病因論と治療」 白井利彦
テキスト「眼精疲労とVDT テクノストレス眼症」
平井宏明
新春作品「三猿」
木下秋水
海外の医療事情「ねたきり老人のいない国」
佐藤 武
勝敗をさぐる181新春対局
橋本宇太郎 vs 渡部太郎(吉野俊宏)
わたしの映画評76「無能の人」(碧川)
医師のフィランソロビー6
「『ハラキリ』考」(西浦信博)

ワイド20世紀医療史23「ホームケア」(野村 拓)
なにわの郷土史137「菱垣廻船、樽廻船の始まり2」
(柚木 学)
文芸・旅靴67「比良暮雪」岩垣子鹿
1991年「総決算」色眼鏡カルタ
無 茶

なにわ医見
11月のこんなこと
編集後記
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
今月の表紙「アマルフィ海岸にて」
東大阪市 武田貞彦

1992年2月号(No.294)

特集「福祉機器とマンパワー」
自立促進と介護負担の軽減
小谷野奎一郎
福祉機器から福祉工学へ
川上博久
生涯住宅の思想
後藤義明
営利目的とせず共助システムを築く
長田侃士
ヘルパーは福祉専門職
青木二郎
ボランティアからプロの労働者へ
竹本政子
手厚いケアのための人材
野村 拓
有効なアメニティーか「介護保険」(編集部)
ホームヘルパーを社協正職員として
中村良夫
ヘルパーと市立老健施設(編集部)
資料「緊急通報用電話、特別装置つき電話」
資料「介護費用保険の比較」
巻頭言「下町のノーマライゼーション」
特別養護老人ホ - ム喜楽苑宛長 市川禮子
テキスト「実践的血液学(: 赤血球篇)」

テキスト「一般外来での心不全の管理」	巽典之	医師以外の分野の活動	馬場昭夫
彫塑教室より86(日高正法)	伯耆徳武	フィリピンでの貧民幼稚園の開設	土山牧羔
勝敗をさぐる182(吉野俊宏)		高校教師の傍ら、無料の“薬屋さん”	岡部一利
わたしの映画評77		青年海外協力隊からの報告(編集部)	新山博久
「ジャーニー・オブ・ホープ」(碧川)		国際交流と医師-留学生の身元保証人として	
医師のフィランソロピー7		資料「医師の海外派遣の現状」	
「『定家名月記私抄』考」(西浦信博)		資料 民間援助団体(NGO)の役割と政府の支援体制	
ワイド20世紀医療史24(最終回)		資料 平成3年度 NGO補助金の実施状況	
「2000年戦略」(野村拓)		資料 平成3年度 NGO補助金交付決定一覧表	
タイムカプセル2000年4「竹原古墳の壁画の謎」	佐多誠之	巻頭言「いまこそ私たちが為すべきこと」	山岳写真家 白旗史朗
なにわの郷土史138近世大坂の海運6		テキスト「インターフェロンの歴史と概念」	岸田綱太郎
「菱垣廻船と樽廻船(その三)」(柚木学)		テキスト「再発を抑える抗潰瘍剤の使い方	
私の研究「石綿使用は安全か」	神野健栄	~胃潰瘍再発予防を中心に」	荒川哲男
ほんだな『医療・福祉のマンパワー』	小松良夫	勝敗をさぐる183(吉野俊宏)	
文芸・思秋期10「春は枯木に梅が咲く」(野間明)		医師のフィランソロピー7	
なにわ医見		「『定家名月記私抄』考 8『百人一首』考」	(西浦信博)
12月のこんなこと		わたしの映画評78「12人の優しい日本人」(碧川)	
編集後記		タイムカプセル2000年5「『葛城雑考』1」西村慎吾	
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)		なにわの郷土史139近世大坂の海運7	
今月の表紙「忍野から見た早春の富士山」	楠研二	「『朱の丸』幟から『日の丸』国旗へ」(柚木学)	
		投稿 エジプト旅行始末記	谷村守彦
1992年3月号(No.295)		文芸・旅靴68「落椿」(岩垣子鹿)	
特集「医師の国際協力」		なにわ医見	
発展途上国への国際支援と日本の役割	佐々木建	1月のこんなこと	
開業医がみる国際貢献とその課題		編集後記	
日本の海外援助は何が問題なのか	竹内治一	詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
「国際化」を意識しなくてすむ日	川崎美栄子	今月の表紙「大阪城の梅園」	東大阪市 武田貞彦
日本の果たすべき国際平和への貢献	住江憲勇		
PKOよりCPKにご用心	成田一郎	1992年4月号(No.296)	
医師の国際協力、その実際		特集「医家の家庭教育」	
国際協力事業団(JICA)の医師派遣		早期進路決定が人間形成に及ぼす影響	中川米造
~ガーナの保健医療水準向上に向けて	中野貴司	公・私教育の危機 私学ブームが意味するもの	尾木直樹
純粹な心に惚れた日本の学者		医家の家庭教育、わが家の場合	
~ミャンマーでの病院建設に関わって	濱島義博	お母さんは月光仮面	川崎美栄子
地球上すべてが診療圏	岩崎和佳子	田舎でゆっくりマイペースで頑張る	山本直人
ドク(duc)ちゃんの義足装着をめぐる		三人三様、自然体が一番	早川貫治
~義肢器具における国際協力を	澤村誠志	もし、やり直しができるなら子育てと学校選びを	小田信子
アフリカに「はだしの診療所」		わが家の「三人娘」	紀野正
		生活というしっかりした土台を大切に	

イギリスGPの家にホームステイして	関谷秀一	編集後記	
医者人生のペースを語る		詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
週休二日のリズムにのって		今月の表紙「三船祭」(京都、嵐山渡月橋上流にて)	淀川区 安保立郎
父の診療時代、私の診療活動	守田由雄		
駆け抜けて来た人生	垣田さち子	1992年7月号(No.300)	
治療の前線から退き、今後はぬくもりのある診療を	片山利貞	特集「今次改定と開業医の選択」	
私の人生の一端(匿名)	杉村清子	保険点数と保険診療の今昔と今後の展開	竹内治一
私のライフスタイル 終わり良ければ全て良し?	佐藤一夫	改定の影響と私の主体的選択	
カメラ7分に医療3分?	蔵本正人	一枚の貼り紙から	音田 篤
回想	波多野一男	患者・住民に現実を知らせる運動を	倉澤高志
心の豊かさを求めて	両角龍一	朝四暮二	野本修平
趣味人の豊かな人生	小松建次	差し引きでややプラスだが	深尾利津雄
駆け出し開業医のライフスタイル	篠原良孝	“ホントに最悪”	笹川和信
診療スタイルで装備を見きわめる		物価上昇に見合った単価引き上げを	入野敏夫
重装備備却型か、軽装備シンプルライフか	赤星伸一	ネットワークで在宅医療の質の向上を	松尾美由起
タンゴも医業も私の本業 バンドネオンと共に43年	舩松伸男	原資を増やす政治的努力を	水野慶三
歴史上の医者・田中祐吉(香漣)小伝	小松良夫	求められる医療サイドの意識改革	北畑英樹
巻頭言「生身ライフスタイルとしての旅、また旅」	作家 甲斐崎圭	内科偏重を脱皮し外科系とのバランスを	堀内弘雄
テキスト「運動療法の指導と実際」	藤田峻作	マイナスカバーの手は打つが	伊藤良則
テキスト「糖尿病性神経障害」	畑中行雄	薬・検査差益の縮小化と技術料の増点を	藤井良一
テキスト「皮膚病変と内臓疾患」	喜多野征夫	建値制と医院経営 建値制導入のねらい	上田浩治
勝敗をさぐる186(吉野俊宏)		「建値制」を口実にした“高値安定”(調査部)	野村 拓
わたしの映画評81「フォー・ザ・ボーイズ」(碧川)	岡 一弘	診療報酬問題の展望	
タイムカプセル2000年8「竹内街道1」		巻頭言「大阪市の健康管理を監視して」	松浦米子
医療の国際動向3「コーホート解析」(野村 拓)		市民グループ「市役所見張り番」代表世話人	
医師のフィランソロピー 11		テキスト「過労死問題とは」田尻俊一郎	
「J・オーウェルの『1984年』を読む」(西浦信博)		テキスト「最近の眼科診療システム」	森下清文
ほんだな『看護婦はなぜ辞める?』	二宮聖耳	テキスト「匂いと香りの科学」	山田芳明
なにわの郷土史142 近世大坂の海運10	北前船3	テキスト「外来における抗生物質と抗菌剤の使いわけ」	螺良英郎
「西村屋忠兵衛」	柚木 学	勝敗をさぐる187「300号記念対局」	
文芸・思秋期12		「滝口磯子プロvs渡部太郎」(吉野俊宏)	
「若き日の、人恋いそめし春の宵」(野間 明)		わたしの映画評82「客途秋恨」(碧川)	
なにわ医見		タイムカプセル2000年9「丹後半島1」	武内進/岡一弘
4月のこんなこと		医療の国際動向4「臓器移植」(野村 拓)	
		医師のフィランソロピー 12	

『死ぬことと見つけたり』考(西浦信博)
 なにわの郷土史143 近世大坂の海運11
 「金比羅詣りと金比羅船」(柚木 学)
 文芸・旅靴70「落し文」(岩垣子鹿)
 なにわ医見
 5月のこんなこと
 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 今月の表紙「マジジャ渓谷」

東大阪市 武田貞彦

1992年8月号(No.301)

特集「自然と人との共生」
 てい談
 「暮らしと自然を守るネットワークの創成」(前編)
 保母武彦/小西和人/天野礼子
 暮らしに自然をとり入れよう
 自然から学ぶこと
 庭園にみられる自然観
 造園と土いじり
 虫とも一緒に暮らそうよ
 体内から自然が失われると
 生理学的にみた現代社会と睡眠
 子どもに自由な時間を
 外国の自然保護の例にならえ!

中村幸昭

梶田真章

中谷一昭

西川雄之助

松本淳治

石井 守

塩崎賢明

巻頭言「8月15日を日常の平和を考える機会に」
 写真家 福島明博
 テキスト「慢性腎不全の管理」上田尚彦
 勝敗をさぐる188(吉野俊宏)
 医師のフィランソロピー 13『夜と霧』考(西浦信博)
 医療の国際動向5「世界の医療生協」(野村 拓)
 タイムカプセル2000年10
 「地名の正倉院・丹後半島」

西村慎吾

佐藤一夫

わたしの映画評81「橋のない川」(碧 川)
 文芸・思秋期(最終回)
 「貞女をまどわす男は見えず」(野間 明)
 なにわ医見
 6月のこんなこと
 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 今月の表紙「とりとなすび」

生野区 西川雄之助

1992年9月号(No.303)

特集「従業員の雇用・育成」

医院のスタッフ育成から開業医の復権をはかる

西 三郎

従業員雇用・育成の失敗例

赤星伸一/八杉誠/中西彰/松尾美由紀/
 守田由雄/堀辺四郎/中嶋啓子/南部正敏

新規開業医の医療観とスタッフの育成

西澤芳男/亀田英明/阪口起造/山本起義

人間業のキャリアを

野村 拓

巻頭言「『十把一からげ』の奥にあるもの」

新聞記者 本多勝一

テキスト「絞扼性神経症」

豊島 泰

てい談「暮らしと自然を守るネットワークの創成」(後編)

保母武彦/小西和人/天野礼子

勝敗をさぐる189(吉野俊宏)

わたしの映画評84

「フライド・グリーン・トマト」(碧 川)

タイムカプセル2000年11「丹後半島」

佐多誠之

なにわの郷土史144 近世大坂の海運12

「千石舟の帆走」(柚木 学)

医師のフィランソロピー 14『アンネ・フランクの
日記』考(西浦信博)

文芸・旅靴71「花野」(岩垣子鹿)

なにわ医見

7月のこんなこと

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

今月の表紙「丸ビルの一景」

淀川区 川浪暎二

1992年10月号(No.304)

特集「地域医療と国・公立病院 現状と期待」

国・公立病院が地域で果たすべき機能と役割

朝倉新太郎

国立病院の統廃合・移譲 近畿一円では

野村 拓

国・公立病院への提言

堀辺四郎

開業医・患者・住民からの期待

大阪市立総合医療センターへの危惧

辻 一省

出ると入るとを正して

二宮聖耳

国・公立病院に期待する

下條文雄

機能的地域医療のネットワーク化を提言

萬代敬三

開業医にとって身近な公的病院像

篠原良孝

国の政策医療と問題点

植田 彪

東大阪市民病院廃止をめぐる

水口正春

中核病院としての2つの使命	福田治男	合同審査会の活性化に向けて	竹内治一
「ふうん」から「まてよ」	栗村節子	解説「審査の流れとしくみ」(医療活動部)	
独立採算よりも先に質の改善を	水町真知子	巻頭言「優しい道具を求めて」	大阪府立身体障害者福祉センター 川上博久
巻頭言「医学生気質、25年」	小森田精子	テキスト「味覚雑感 食物の嗜好性について」	多賀和光
大阪大学教養部講師		テキスト「味覚障害」	前谷近秀
テキスト「高インスリン血症とシンドロームX」	茂原 治	勝敗をさぐる191(吉野俊宏)	
テキスト「心身症と心身医学2治療論」	高石 昇	わたしの映画評86「遥かなる大地へ」(碧 川)	
寄稿「エコリポート『赤目の森』の試み	ゴルフ場	医師のフィランソロピー16『沈黙の春』考(西浦信博)	
開発から里山を守るために」	藤岡義孝	医療の国際動向7「長期ケア」(野村 拓)	
勝敗をさぐる190(吉野俊宏)		タイムカプセル2000年13「浦島伝説」	金森 昭
わたしの映画評85「紅の豚」(碧 川)		なにわの郷土史145 近世大坂の海運13	
医師のフィランソロピー15『芭蕉文集』考(西浦信博)		「大坂の川船」(袖木 学)	
医療の国際動向6「尊敬される看護婦」(野村 拓)		文芸・旅靴72「佗助」(岩垣子鹿)	
タイムカプセル2000年12「丹後半島・天の橋立」	島田甚晴	なにわ医見	
文芸・新連載「ウの目タカの目ニャンコの目1」		9月のこんなこと	
「老婚」	野間 明	編集後記	
なにわ医見		詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	
8月のこんなこと		今月の表紙「箕面の晩秋」	淀川区 安保立郎
編集後記			
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)			
今月の表紙「古都フェズ」	東大阪市 武田貞彦		
		1992年12月号(No.306)	
		特集「まったなしのエイズ」	
		感染爆発、いま瀬戸際に立つ私達	宗像恒次
		「薬害」としてのエイズ	片平冽彦
		大阪府におけるエイズ対策	中森 繁
		血友病患者・家族から医療機関に望むこと	屋鋪恭一
	石部 武	映画に描かれはじめたエイズ問題	岸野令子
審査委員は一般医師の立場に立って	大阪野郎	開業医からみたエイズ 見逃されていたリスクファクター	羽田 回
開業医の権利を守ることで患者の権利を守ることができる	沢トシ子	エイズ予防に提言	
不当な査定、減点に思う	白藤達雄	「暴走の祟り」の結果か	大国 剛
再審査昔ばなし	杉村 保	歯科での交叉感染防止に	大野武司
当月内再審査制度の復活を願う	駿河 洋	エイズ予防法、キャンペーンの瞞臆感	成田一郎
歴史は繰り返す いま、逆流の審査問題	村田 進	小さな事からコツコツと	谷口信博
審査する側とされる側の問題点	佐藤一夫	感染者には愛の手が必要	
人工呼吸器の保険減点に抗議復点	安賀 昇	巻頭言「主治医はシャーマン アマゾンの虫刺され」	天理大学国際文化学部助教授 武井秀夫
当月内再審査方式の廃止に反対	上田浩治	テキスト「変形性足関節症の病態と治療」	高倉義典
		テキスト「慢性ウイルス肝炎の治療」	益沢 学

勝敗をさぐる192 (吉野俊宏)
 なにわの郷土史146 近世大坂の海運14 「船絵馬は語る」(柚木 学)
 医療の国際動向8 「医療財政」

松田亮三

タイムカプセル2000年14 「アメノヒボコ伝説」
 今田昌次郎

わたしの映画評87

「コロンブス」「1492・コロンブス」(碧 川)

医師のフィランソロピー 17

『テレーズ・デスケイルウ』考」(西浦信博)

1992年総索引 (1992年1月号～12月号)

文芸・ウの目タカの目ニャンコの目2 「万引き」(野間明)

なにわ医見

10月のこんなこと

編集後記

詰碁 (橋本宇太郎)・詰将棋 (有吉道夫)

今月の表紙 「近江八幡堀」

東淀川区 楠 研二

1993年1月号 (No.307)

特集「お茶をたのしむ」

信楽無農薬茶園探訪

高宮信一

薬用の茶と喫茶の風習

宗田 一

茶の湯の歴史と逸話

福原圭緒

茶室拝見「市中の隠・仙境を訪ねて

是心庵 (高松邦三郎・貞子先生)」(編集部)

私にとってのお茶

たいせつにしたい、人との出会い

吉田恭子

お茶は思考の源

守田由雄

日本文化独特の妙を感じながら

森口久子

私と茶道の出会い

巴 徳安

一期一会の心を大切に

松尾澄正

あるお茶会

大形順子

茶ことば・あれこれ

三善貞司

茶陶の歴史 香雪美術館 (編集部)

巻頭言「おやすみさん」

筑波技術短大講師 横佐知子

テキスト「運動ニューロン疾患の臨床」

上西園宏 / 谷口謙 / 西村康

新春作品「トリ」

木下秋水

投稿「ゴルフ気質と血液型」

植田勝間

投稿「スリ・ランカに行きませんか 南伝仏教をたずねて」

勝敗をさぐる193 「新春対局 橋本宇太郎プロvs奥田信弘」(吉野俊宏)

なにわの郷土史147 なにわの伝説1

「長柄の人柱1」

大阪成蹊女子短期大学講師 三善貞司

医師のフィランソロピー 18 「『老人と海』考」(西浦信博)

医界雑録「新シリーズ連載にあたって」

日本医史学会会員 青柳精一

わたしの映画評88

「こうのとりの、たちずさんで」(碧 川)

タイムカプセル2000年15 「墨坂・長谷路」

馬場英明

文芸・旅靴73 「雪山」(岩垣子鹿)

なにわ医見

11月のこんなこと

編集後記

詰碁 (橋本宇太郎)・詰将棋 (有吉道夫)

今月の表紙「ケリドの火口湖」

東大阪市 武田貞彦

1993年2月号 (No.308)

特集「保険請求事務を見直す」

レセプトのうつりかわり

山本 漸

転換期における医療事務の展望

大久保 崇

保険請求事務 わたしの工夫

佐藤南夫 / 島田博匡 / 森崎昇 / 田中医院

審査員からみた「見やすいレセプト」「見にくいレセプト」

太田康彦 / 紀野正 / 大国剛 / 保田正三郎

請求事務に必要な審査の話

村田 進

医療事務者の養成と医院における役割

岸根節子

フォト「病院とコンピュータ」(大野記念病院)

アンケート「医院における保険請求事務の実態」

巻頭言「街を変える雑誌めざして」

「おおさかの街」編集長 北川 幸

テキスト「開業医の将来像」

矢後昭彦

テキスト「般外来におけるアレルギー疾患の取り扱い方」

露口泉夫

勝敗をさぐる194 (吉野俊宏)

なにわの郷土史148 なにわの伝説2

「長柄の人柱2」(三善貞司)

医師のフィランソロピー 19

『ウォールデン 森の生活』考」(西浦信博)

ほんだな『ボディウォッチング』

小松良夫

タイムカプセル2000年16 「桜塚古墳群をゆく」

西村慎吾

医界雑録2 「誤植、それとも計算違い」(青柳精一)

わたしの映画評89 「復活の朝」(碧 川)

医療の国際動向9 「E C 免許の医師」(野村 拓)

文芸・ウの目タカの目ニャンコの目3「離別」(野間明)
 なにわ医見
 12月のこんなこと
 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 今月の表紙「冬のウインドサーフィン」(二色の浜にて)
泉佐野市 三好宏和

1993年3月号(No.309)

特集「在宅ケアと老人保健福祉計画」
 医療と老人保健福祉計画は本当に無関係か
森 茂
 開業医は「老人保健福祉計画」に何ができるか
**紀野正 / 赤星伸一 / 堀辺四郎
 松尾美由起 / 田宮宏二**
 高槻市医師会・大東市 往診・地域リハビリ
協力・岡田宏 / 山本和儀
 枚方市 ネットワークづくり
協力・町野宏 / 大本英治 / 大村昌司
 「老人保健福祉計画」への開業医の提言(政策調査部)
 巻頭言「教育と福祉の結びつき」
龍谷大学文学部教授 高浜介二
 テキスト「耳鼻咽喉科外来での英会話 English
 for NET Doctors」(耳鼻科部会)
 「片山利貞先生を悼む」
**細川一真 / 野村拓 / 守田由雄 /
 小松良夫 / 佐藤一夫 / 堀辺四郎**

勝敗をさぐる195(吉野俊宏)
 なにわの郷土史149 なにわの伝説3
 「怪物鶴塚」(三善貞司)
 医師のフィランソロピー 20
 『清貧の思想』考(西浦信博)
 医療の国際動向10「医師組合・ブラジル」(野村拓)
 わたしの映画評90「インドシナ」(碧 川)
 医界雑録3
 「まだある厚生省の医師統計の誤り」(青柳精一)
 ほんだな『夜の病院はどうなっているのか?』
二宮聖耳

文芸・旅籠74「花月夜」(岩垣子鹿)
 なにわ医見
 1月のこんなこと
 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 今月の表紙「京都祇園の白川橋の近くの夕暮れ」
淀川区 川浪暎二

1993年4月号(No.310)

特集「勤務医の夢・開業医の夢」
 夢 人間の望みについて
野村 拓
 わたしのゆめ
 勤務医の夢～
 夢は憧れから人との出逢いに
小椋香苗
 ある1日の夢

井上朱実
 夢はかなったものの
嶋田一郎
 もうアキちゃんは死なない
中川喜美子
 開業医の夢～
 犬一代
古屋穎兒
 病気ではなく病人を診る
小川光一
 夢のない日本をつくりかえるのは女性の手で
上島嘉美
 生きていることが夢
西山泰正
 真冬の夜の夢
林 健郎
 思春期の心の病に取り組んで
阪口起造
 素晴らしい「死」を演出する精神科医に
亀田英明
 ふくらむチーム体制への想い
堀古民生
 漢方の夢かけて 漢洋医学の闘争
堀辺四郎

実現度は中くらい 新規開業医のアンケート調査からみた「夢と現実」(政策調査部)
 巻頭言「雪の日に」

作家 石牟礼道子

テキスト「急増する大腸癌 早期発見のために」
奈良大腸肛門病センター 稲次直樹ほか
 テキスト「膠原病と抗磷脂質抗体症候群」
国立大阪病院膠原病センター 橋本武則

勝敗をさぐる196(吉野俊宏)
 なにわの郷土史50 なにわの伝説4
 「兼好法師の藁打石」(三善貞司)
 医師のフィランソロピー 21「『良寛』考」(西浦信博)
 医界雑録4「まだある厚生省の医師統計の誤り(続)」
 (青柳精一)
 わたしの映画評91「二十日鼠と人間」(碧 川)
 医療の国際動向11「社会的不平等と健康」
松田亮三

ほんだな『冬の銀河』
佐藤一夫

文芸・ウの目タカの目ニャンコの目4「挑戦」(野間 明)
 なにわ医見
 2月のこんなこと
 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 今月の表紙「彦根城の赤ちょうちん」
東淀川区 楠 研二

1993年5月号(No.311)
 特集「医者が患者になった時」
 患者になった医者 わたしの心象風景から
守田由雄

わたしの闘病記	特集「医師と定年」	
一生忘れられないインフォームド・コンセント	医師が自ら終止符を打つとき	守田由雄
梶本 勝		
病の床で揺れ動く心	医師の定年を考える	野村 拓
島田博匡		
北の新地のからっ風に痛風がいたむぜ	わたしはこう考える「医師と定年」	
佐藤邦友	棋友との勝率5割以下が定年の基準	若山秀二
3回の入院	事情に応じて	
安岡隆一		
退院時のアンケートを	一概でない医師の潮時	湯川研一
二宮聖耳		
やり場のないシステムの中で死をむかえることは	無医村へ行きたい	武田勝文
古屋頼児		
喘息患者となって	老いたる駄馬は前進あるのみ	橋本忠雄
佐藤一夫		
獅子身中の癩	医師には定年はない 自身が決めること	澤トシ子
中川政幸		
果して医者是不養生か	医師過剰ならば定年制か	吉田正和
早死した開業医の父	黄昏の人生と定年	木下秋水
重森 守		
「科学的」になるあまり忘れられがちな養生	ゆとりを満たして焦らずに	福本吉夫
藤岡義孝		
健康は個性から、個性は養生で維持	素晴らしい自由時間と様変わりした生活	下篠文雄
羽田 回		
ライ患者との固い愛の絆 小川正子の医師であり患者	定年後の勤務医はどうしたいか	佐藤一夫
にもなった生きざま	古稀を区切りに	
小松良夫		
巻頭言「ライフサイクルとライフスタイル」	希望により選択できる定年制を	井上彦八郎
関西大学教授 森岡孝二		
テキスト「喘息診断・管理ガイドラインをめぐる」	ある先輩の話	上嶋 勲
藤村直樹		
テキスト「胸部疾患の画像診断--単純X線像、CT、MRI」	巻頭言731「部隊とエイズの謎」	神木照雄
伊藤春海		
医療の国際動向12「世界の医療システム」(野村拓)	大阪市立大学名誉教授 儀我壮一郎	
勝敗をさぐる197(吉野俊宏)	テキスト「高血圧の治療」	
なにわの郷土史151 なにわの伝説5	国立大阪南病院循環器科 額田忠篤	
「お染久松物語」(三善貞司)	テキスト「内視鏡下外科手術の現況と将来展望」	
投稿「男にもある。更年期障害が」	宝塚市立病院診療部長 大橋秀一	
植田勝間	医界雑録6「最後の国手、浅田宗伯」(青柳精一)	
	勝敗をさぐる198(吉野俊宏)	
わたしの映画評92「マルコムX」(碧川)	なにわの郷土史152 なにわの伝説6「絶世の美女	
医界雑録5「付属病院を付属医院と改称」(青柳精一)	衣通姫」(三善貞司)	
ほんだな『思春期ブック』	投稿「社保審委員会第1次報告における2、3の問題点」	貴島和彦
橋本 卓		
医師のフィランソロピー 22	医師のフィランソロピー 23	
「『海と毒薬』考」(西浦信博)	「『夜と霧の隅で』考」(西浦信博)	
文芸・旅靴75「水馬」(岩垣子鹿)	医療の国際動向13「看護婦の年齢・カナダ」(野村拓)	
なにわ医見	わたしの映画評93「愛について、東京」(碧川)	
3月のこんなこと	ほんだな『漢方無限 - 現代漢方の源流』	
編集後記		
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)	佐藤 武	
今月の表紙「万勝院のぼたん」	文芸・ウの目タカの目ニヤンコの目「再会」(野間明)	
枚方市 三田雄司	なにわ医見	
	4月のこんなこと	
	編集後記	

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 今月の表紙「七道士」

東淀川区 新山博久

1993年7月号(No.313)

特集「休養のすすめ 医者にとってゆとりとは何か」
 現代における休養 人間の権利

藤森 弘

医師の労働の実態をみる

水野 洋

変革されつつある医師のライフスタイル

長門谷洋治

休日考寸言 八尾市医師会調査の休日アンケート

堀辺四郎

開業医の労働時間の動向(政策調査部)

私にとっての休養

心のときめく休養をめざして

井村昭三

1に休養、2に仕事

福本吉夫

ゆっくりあわてず日々を充実して

山田温江

ハワイでみたゆとりのスタイル

荘野忠彌

忙しいと心が亡びます

音田 篤

休養確保のないかかりつけ医

諏訪兼善

4つの楽しみ

荒木常男

発想の転換 反疲労で休養

井上慶三

歩くから

苫居喜久夫

協会の厚生部活動でみい出した充実

東浦三郎

気楽に体を動かす

入野敏夫

巻頭言「たかが名前・されど名前」

NHKアナウンサー 古屋和雄

テキスト「ウイルスと発癌」

金沢大学医学部耳鼻咽喉科 古川 侑

テキスト「皮膚科領域における漢方薬の使い方」

富山医科薬科大学皮膚科学教室 諸橋正昭

勝敗をさぐる199(吉野俊宏)

なにわの郷土史153 なにわの伝説7

「四天王寺の不思議石1」(三善貞司)

医師のフィランソロピー 24

「『まあだだよ』考」(西浦信博)

医界雑録7

「『医制』の公布と長與専斎の意図」(青柳精一)

ほんだな『レパントの海戦』

守田由雄

わたしの映画評94「愛の風景」(碧川)

医療の国際動向14

「看護婦のいないナーシング・ホーム」(野村 拓)

文芸・旅靴76「烏賊火」(岩垣子鹿)

なにわ医見

5月のこんなこと

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

今月の表紙「勤修寺の初夏」

吹田市 大澤恵美

1993年8月号(No.314)

特集「氷河期の中小病院」

いま中小病院はどうしたらよいのか

小松良夫

中小病院の今後に期待する 住民・診療所の視点から

細川一真

どう乗り切ろうとしているのか

医療と経営との板ばさみ

貴島範彦

試練のときだが本気で取り組む絶好の機会

藤井良一

新時代を開く支え合い高め合う仲間

中尾嘉文

民医連であればこそ

井上賢二

目的をはっきり ニーズに即したきめ細かな対応を

浅田俊勝

厳格な収支による経営と医療の向上

小林明雄

想像以上の経営難と一丸となった対応

近藤 慧

看護婦の実効ある充足・定着・養成を

西村謙作

巻頭言「郷土食に魅せられて」

日本の伝統食を考える会代表 宮本智恵子

テキスト「イリザロフ創外固定器」

大阪府立大手前整肢学園整形外科 榊田理ほか

勝敗をさぐる200「200回記念対局大山国夫プロvs
 小川博正」(吉野俊宏)

なにわの郷土史154 なにわの伝説8

「四天王寺の不思議石2」(三善貞司)

投稿「エコリゾ-ト『赤目の森』のその後」

藤岡義孝

ほんだな『特攻 外道の統率と人間の条件』

西谷宣雄

医師のフィランソロピー 25

「『花のれん』考」(西浦信博)

医療の国際動向15「医療・金・モラル」(野村 拓)

わたしの映画評95

「映画にみる老いと死のはざま」(碧川)

医界雑録8「明治初期の病院事情1」(青柳精一)

文芸・ウの目タカの目ニヤンコの目6

「仮面」(野間 明)

なにわ医見

6月のこんなこと

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
今月の表紙「マウイ島の浜」

淀川区 安保立郎

1993年9月号(No.316)

特集「いま承継問題は 開業医のメタボリズム」
地域における開業医医療の承継

承継の実態

地域で考える開業医継承問題

細川一真

座談会「地域の承継を考える 阿倍野区の実態」

傘木宏夫

承継の時の問題点

医師会は承継におもいきった配慮を

堀辺四郎

税法上からみた医業の事業承継のあり方

古田啓祐

インタビュー「賃貸借による医院の存続」

第三者に承継したMさんに聞く

承継について思う

現役の父と一緒に診療

渡辺 直

まともな承継、経営が報われる行政の転換を

小林将秀

存続は地域の需要に応えることで判断

二宮聖耳

果たして承継はなりたち得るのか

原田 誠

診療の手伝いをしてくれる日を楽しみに

本田寅二郎

医学史としてみた承継

21代当主が語る医業承継の難しさ

北小路博央

勢力なしには続くことのなかった「見庵」

木下栄作

巻頭言「こころのふるさと」

大阪市立大学生活科学部助教授 岩堂美智子

テキスト「眼外傷」

大阪市立大学眼科学教室教授 三木徳彦

勝敗をさぐる201(吉野俊宏)

なにわの郷土史155 なにわの伝説9

「野里の人身御供」(三善貞司)

医師のフィランソロピー 26

「『まあだだよ』考」(西浦信博)

医界雑録9「明治初期の病院事情2」(青柳精一)

医療の国際動向16「EC諸国の標準化死亡比」(野村拓)

ほんだな『拒食症・過食症とは』『子どもの健康ウォッチング』

上田浩治

わたしの映画評96

「映画にみる老いと死のはざま(続)」(碧川)

文芸・旅靴77「秋の風」(岩垣子鹿)

なにわ医見

7月のこんなこと

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
今月の表紙「破れ築地(般若寺)」

東淀川区 辻田百典

1993年10月号(No.317)

特集「医師とスポーツ」
大阪では思いっきりスポーツができるのか

身体に適したスポーツのすすめ

山田文男

福田 淳

スポーツを指導管理する立場から
各人に具体的な運動処方

島津健三

スポーツと視覚管理

安藤 純

スポーツ選手の診療をして感じる

島田永和

重要な中高年女性の健康問題

古結一郎

私とスポーツ

コートめざしてまっしぐら

斧山治子

・ネルソンをきどった頃から

小林立美

医師は身体が強くなくては

鈴木範子

速歩術

守田由雄

人生を一変させた空手

八杉 誠

心身ともにリフレッシュ 広がる交友

植原智英子

浮気的スポーツ論

平井正也

自然のなかでマイペース

横山淳二

医師自ら実行を促し浸透をはかるジョギング

萩原 隆

雪上が恋しいスキーの虫

鄭 則之

とことんボウリング くたくた会はや25年

亘 康男

7年計画でフルマラソン

木下栄作

スポーツ障害のリハビリテーション

T・N

自然からの恩恵

今井通子

巻頭言「学齢期シンドローム」その後へ

日本体育大学教授 正木健雄

テキスト「遺伝子工学と医学」

大阪大学細胞生体工学センター教授 田中亀代次

テキスト「めまいのプライマリーケア」

四宮眞男

勝敗をさぐる202(吉野俊宏)

なにわの郷土史156 なにわの伝説10

「養老説話蟻通」(三善貞司)

ほんだな『ヤブ医者の見分け方!!』『お医者さま』
古屋顕児

医界雑録10「明治初期の病院事情3」(青柳精一)

医師のフィランソロピー 27

「『虫も樹も』考」(西浦信博)

医療の国際動向17「政権交代と医療」(野村 拓)

わたしの映画評97「マルメロの陽光」(碧 川)

文芸・ウの目タカ目ニヤンコ目7

「死神」(野間 明)

なにわ医見

8月のこんなこと

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

今月の表紙「箱根彫刻の森にて」

枚方市 三田雄司

1993年11月号(No.318)

特集「わたしの協同組合」

世界の協同組合の動向と保険医協同組合

菅野正純

協同組合の発祥とロバート・オーエン

貴島幸彦

大阪府保険医協同組合の創設の意義

木村弥太郎

大阪府保険医協同組合の今日的課題と問題点

磯野 甫

保険医協同組合と協会会員の役割

竹内治一

協同組合にわたしはこう思う

建値制で問われている協同組合の力量

岡田俊夫

多彩な情報に有益な品々

神原佳子

所得を守れる税金への対応を望む

萬谷雅宣

はがゆい殿様商売の体質

福田治男

共同購入方式をわれわれの手で

伊藤謙吾

高薬価ダメージを上まわるさらなる事業展開を

西本明文

協同組合にも導きとなる智者を

加来弘臣

真面目な医師の願いによせて

甲田博和

拡大でなく安定供給のための種類限定化の必要性

小山高澄

粉骨砕身の設立時の努力に思いをはせて

川上成子

評価できる協会の厚生省薬務局申入れ

寺村定雄

祈りの手

宮川松剛

一般企業とは同列に扱えない協同組合の値打ち

諏訪兼善

年表「大阪府保険医協同組合23年の歩み」

巻頭言「住宅問題 飛見者としての保険医」

神戸大学工学部環境計画学科教授 早川和男

テキスト「更年期以後の女性成人病」

植田勝間

医療の国際動向18「世界は日本をどう見る」(野村 拓)

勝敗をさぐる203(吉野俊宏)

なにわの郷土史157 なにわの伝説11

「身代わり幸寿丸」(三善貞司)

医界雑録11「明治初期の病院料金1」(青柳精一)

ほんだな『白い手』

守田由雄

わたしの映画評98

「月光の夏」「エーゲ海の天使」(碧 川)

医師のフィランソロピー 28「『砂の器』考」(西浦信博)

文芸・旅靴78「冬牡丹」(岩垣子鹿)

なにわ医見

9月のこんなこと

編集後記

詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)

今月の表紙「東福寺」

東淀川区 楠 研二

1993年12月号(No.319)

特集「開業医 駆け出し時代」

初心にかえって日々の診療を

紀野 正

逆風満帆の航海日誌

森田重治

わたしの駆け出し時代

人のぬくもりで支えられる診療所の存在意義

李 利彦

人のありがたさとむずかしさを実感する開業1年

林 健郎

大きな“誤算”と大きな“誤診”

朴 忠良

肩にかかる経営手腕と全責任

李 英煥

苦勞とは思わなかったひたむきで素直だった日々

羽田 同

開業以来続けてきた初診患者の検尿

田崎 巖

離岸

守田由雄

諸先輩が活躍された往時をふり返って

福田博司

ペニシリン、S.M.注射の威力

木下秋水

当世開業医の「駆け出し」費用(政策調査部)

「駆け出し」の考現学

野村 拓

巻頭言「最優先はどんな患者さん？」

松本歯科大学教授 笠原 浩

テキスト「神経痛、癌性の痛み、心因性の痛み」
 テキスト「ペインクリニックのすすめ」
 滋賀医科大学麻酔科 天方義邦ほか
 テキスト「人工内耳の実際とその成績」
 大阪大学耳鼻咽喉科 久保 武
 勝敗をさぐる204 (吉野俊宏)
 なにわの郷土史158 なにわの伝説12
 「長吉井戸と墨掛地蔵」(三善貞司)
 医師のフィランソロピー 29
 「『みにくいアヒルの子』考」(西浦信博)
 ほんだな『学徒出陣』
 小松良夫
 わたしの映画評99
 「リバー・ランズ・スルー・イット」(碧川)
 医界雑録12「明治初期の病院料金2」(青柳精一)
 医療の国際動向19「日本医療の相場」(野村拓)
 1993年総索引(1993年1月号～12月号)
 文芸・ウの目力カの目ニャンコの目8「哀別」(野間明)
 なにわ医見
 10月のこんなこと
 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 今月の表紙「サントウスタッシュ教会の前で」(パリ)
 北区 井村昭三

1994年1月号(No.320)

特集「友」
 人生において友とは何か
 一期一会の出会い
 友というもの
 砂場から歩んだ友情をふり返って
 橋本宇太郎
 杉山平一
 堀辺四郎
 医学史にみる医師の交遊録
 我が国医史学創始をめぐっての交友
 富士川・土肥・呉・藤浪
 長戸谷洋治
 映画に描かれた友人像 漠然とは描きえない友情
 波多野一男
 「文学」にみる「友情」
 成田一郎
 わたしの友
 患者さんは友だち
 亀田英明
 ふたりはヤクルト狂
 天城 昭
 友だち問答
 古屋頼兒
 歳月を重ねた心やすさと重み
 大形順子
 目を閉じればともにいる
 土田龍也
 友情に支えられ踏みだそうわが一歩
 山田真理子

戦火に咲く白い花
 福田博司
 しらずと湧き出る勇氣
 清田俊子
 心友
 野間 明
 わたしの宝石
 守田由雄
 友情も風化する
 佐藤一夫
 巻頭言「公的福祉サービスと老後」
 消費生活アドバイザー 星 珠枝
 テキスト「壮年期以降よくみられる眼科の病氣」
 木村好美
 新春作品「カサブランカ」
 杉村清子
 ほんだな『新しい朝鮮史像をもとめて』
 安岡隆一
 勝敗をさぐる205「新春対局 橋本宇太郎プロvs小川博正」(吉野俊宏)
 なにわの郷土史159 なにわの伝説13
 「阿弥陀池の仏さま」(三善貞司)
 医師のフィランソロピー 30
 「『知られざる古代』考」(西浦信博)
 医界雑録13「明治初期の病院料金3」(青柳精一)
 わたしの映画評100「オランダ」(碧川)
 医療の国際動向20
 「旧社会主義国の人口統計」(野村拓)
 文芸・旅靴79「四温」(岩垣子鹿)
 なにわ医見
 11月のこんなこと
 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 今月の表紙「綿の城の夕暮」
 東大阪市 武田貞彦

1994年2月号(No.321)

特集「医療におけるコミュニケーション」
 医師と患者のコミュニケーション 歴史的な成果と
 たちおくれる日本
 木下栄作
 医者への思い 患者への思い 言葉がかみあっていますか
 大野啓文
 インフォームド・コンセントのコミュニケーション
 患者自身がのり越える力を培う相互関係
 桜井泰平
 患者さんの望む医療 ガン告知を受けての唯一の救い
 近藤 宏
 病医院におけるコーディネーター 気軽に声をかけてもらえるスタッフに
 松下雅人
 真心が通じる医療を 待合室は矛盾の縮図
 富沢節子
 「受付」は医院の顔 ベテラン受付はオールマイティ
 守田由雄

わたしの工夫		堀辺四郎
わかつところまで咀嚼して通いあう情報を	武田勝文	自宅復帰へのスタッフの熱意 貝塚「希望ヶ丘」訪問記
「カルテ」記載の心得		倉沢高志
	紀野 正	「ナイチンゲールの施設」での「マザーテレサの看護」
百も承知であえていいたい		羽田 回
	佐藤一夫	資料「府下の老人保健施設一覧」
「双方向コミュニケーション」「Let Me Decide」	島田永和	巻頭言「ルコント映画の人気の秘密」
小説『麻醉』にみる患者家族と医師		映画パブリシスト 岸野令子
	小松良夫	テキスト「花粉症 最近の考え方とその治療」
巻頭言「素晴らしい人 コラソン・C・アキノ女史」		大阪府立羽曳野病院内科 露口泉夫
	芦屋市長 北村春江	テキスト「気管支喘息の慢性期の管理」
テキスト「慢性関節リウマチの治療指針」		近畿大学医学部第4内科助教 長坂行雄
	国立大阪南病院・内科医長 志水正敏	医界雑録15「前代未聞の刺客捜査の詔勅」(青柳精一)
テキスト「外来における不整脈のマネージメント」		勝敗をさぐる207(吉野俊宏)
	北野病院循環器内科 松村忠史	なにわの郷土史161 なにわの伝説15
勝敗をさぐる206(吉野俊宏)		「鉢かづき姫の古里」(三善貞司)
なにわの郷土史160 なにわの伝説14		医師のフィランソロピー 32「『おかげまいり』と
「略奪結婚名月姫」(三善貞司)		『ええじゃないか』考」(西浦信博)
医師のフィランソロピー 31		ほんだな『老化とは何か』
「『Jリーグからの風』考」(西浦信博)		古屋顕兒
ほんだな『福中都生子詩集 大田という町』	守田由雄	わたしの映画評102「友だちのうちはどこ?」「そして人生はつづく」(碧川)
		医療の国際動向22「アフリカの保健統計」(野村 拓)
わたしの映画評101「月はどっちに出ている」(碧川)		文芸・旅観80「涅槃図」(岩垣子鹿)
医界雑録14「医療費不払いに県が布達」(青柳精一)		なにわ医見
医療の国際動向21「北米医療圏」(野村 拓)		1月のこんなこと
文芸・ウの目タカ目の目ニヤッコの目9「厄日」(野間明)		編集後記
なにわ医見		詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
12月のこんなこと		今月の表紙「龍安寺界限」
編集後記		淀川区 川浪暎二
詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)		
今月の表紙「水仙郷(越前岬)」	泉佐野市 三好宏和	
		1994年4月号(No.323)
		特集「日本の高薬価の背景をさぐる」
		国際比較からみた日本の医薬品産業
		儀我壮一郎
		「薬大国日本」の“官財学”癒着を排す
		田辺 功
		薬剤費の適正化のために 医薬品行政の国際比較試論
		森 茂
		インタビュー・村山眞弁護士に聞く
		「日本医薬品流通」の“診断書” 『医薬品流通に
		おける独禁法違反事例全国調査』の747症例をふり返って
		本誌編集部
		医薬品流通問題の闘いと今後の課題
		原 文夫
		巻頭言「80%か100%か」
		精神科医・エッセイスト 斎藤茂太
		テキスト「向精神薬の使い方と選び方」
		大阪市立大学医学部教授 山上 榮
		テキスト「膝関節外傷のプライマリケアと関節鏡」
		大阪市立大学医学部整形外科講師 吉田研二郎
		勝敗をさぐる208(吉野俊宏)
		なにわの郷土史162 なにわの伝説16
		「安倍晴明と母狐1」(三善貞司)
		医師のフィランソロピー 33

『『木のいのち木のこころ』考』(西浦信博)
 ほんだな『愚徹のひと 丸山千里』
 二宮聖耳
 わたしの映画評103「ウェディング・バンケット」
 「戯夢人生」(碧川)
 医療の国際動向23「英国の私立病院」(野村拓)
 医界雑録16
 「ウイルスム・ウイルスについて1」(青柳精一)
 文芸・ウの目タカ目ニヤンコ目10「校則」(野間明)
 なにわ医見
 2月のこんなこと
 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 今月の表紙「吉野山の桜」

泉南市 新山昭次

1994年5月号(No.324)

特集「薬の副作用問題を考える」
 急がれる医薬品安全対策の改善・強化「総務庁勧告」から考える
 片山冽彦
 市民からみた薬害問題と医療機関への期待
 患者主体の確立へ医療者は情報の提供を(編集部)
 薬害を真剣に考えるべき時期
 小林将秀
 座談会「“薬害大国”からの脱却をめざして」
 大西昇/奥野信彦/岸田鴻作/二宮聖耳
 浜六郎/三瀬徹/森田重治/紀野正
 投稿
 各科からみた副作用 私の投薬工夫
 抗ヒスタミン剤の副作用
 皮膚科 和田健太郎
 ステロイドホルモンの副作用
 眼科 米良博量
 インターフェロンの副作用
 内科 鶴田一郎
 インフォームド・コンセントが基礎
 耳鼻科 中井義尚
 早期の蘇生術の必要を痛感
 産婦人科 岩浅義彦
 医師は恐がりでない
 外科 海野勝利

巻頭言「小劇場、この人間実感の魅惑の磁場」
 演劇プロデューサー 中島陸郎
 テキスト「側頭骨外科とその周辺の進歩」
 近畿大学耳鼻咽喉科教授 村田清高
 テキスト「内分泌疾患の診断と治療」
 大阪赤十字病院第5内科部長 隠岐尚吾
 勝敗をさぐる209(吉野俊宏)
 なにわの郷土史163 なにわの伝説17
 「安倍晴明と母狐2」(三善貞司)
 医師のフィランソロピー 34
 「『法隆寺への精神史』考」(西浦信博)
 ほんだな『朝鮮通信使往来 260年の平和と友好』
 西谷宣雄

わたしの映画評104「ピアノ・レッスン」(碧川)
 医界雑録17
 「ウイルスム・ウイルスについて2」(青柳精一)
 医療の国際動向24
 「届出なき死亡 ラテン・アメリカ」(野村拓)
 文芸・旅靴81「虞美人草」(岩垣子鹿)
 なにわ医見
 3月のこんなこと
 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 今月の表紙「吉野のしゃくなげ」

枚方市 三田雄司

1994年6月号(No.325)

特集「成人アトピー性皮膚炎」
 患者さんからの手紙
 成人アトピー性皮膚炎の現状をどうとらえるか
 笹川征雄
 成人アトピー性皮膚炎の診断基準
 遠藤秀彦
 その医学的現状と社会的問題点
 我が国の成人重症アトピー性皮膚炎の増加の原因を探る
 上原正巳
 アレルゲンの除去こそ治療の基本
 小塚雄民
 脱ステロイド療法のすすめ
 玉置昭治
 開業医の目からみた成人アトピー性皮膚炎
 患者に使い方をデモンストレーション
 松村雅示
 十分なスキンケアと生活改善が前提
 赤枝民世
 ジャーナリストの目からみた現状と問題点
 成長しつつある患者たち
 堀 素子
 聞こえてきた医師の本音
 江頭建彦
 カウンセリングセンターがほしい!
 患者団体の願いと要求(編集部)
 成人アトピー電話相談 集計と考察
 電話相談集計
 上田浩治
 医師側の問題点 いま医師が成すべきことは?
 和田健太郎
 患者側の問題点 患者も医療側も抱える問題は共通
 赤枝民世
 「成人アトピー性皮膚炎の電話相談」に参加して
 患者の専門的知識の豊富さを再確認
 橋爪健二
 特殊な「治療法」にも一定の知識が必要
 笹瀬晃弘
 つらい医師の立場
 奥地敏恵
 情報の氾濫でかえって混乱

これは便利！大阪市内独立系映画館ガイド（編集部）
三越劇場／テアトル梅田／シネマ・
ヴェリテ／シネマアルゴ梅田／扇町
ミュージアムスクエア／第七藝術劇
場／ホクテンザ／国名小劇／ACTシ
ネマテーク／パラダイス・シネマ

巻頭言「パパゲーノと太郎冠者」

狂言師 山口耕道

テキスト「AIDSと呼吸器疾患」

大阪赤十字病院呼吸器内科 西坂泰夫

テキスト「早期肺癌の診断～肺癌早期発見のために」

大阪赤十字病院呼吸器外科 弘野慶次郎

ほんだな『家族療法』

古屋頼兒

勝敗をさぐる212（吉野俊宏）

なにわの郷土史166 なにわの伝説20

「茨木童子」（三善貞司）

医師のフィランソロピー 37

「『坊っちゃん』考」（西浦信博）

医療の国際動向27「米国の高齢者施設」（野村 拓）

わたしの映画評107「日の名残り」（碧 川）

医界雑録20「レオポルド・ミュルレル」（青柳精一）

文芸・へちま大将2「ててなし子2」（野間 明）

なにわ医見

6月のこんなこと

編集後記

詰碁（橋本宇太郎）・詰将棋（有吉道夫）

今月の表紙「夏の華」

淀川区 安保 立郎

1994年9月号（No.328）

特集「ビタミン再考」

市場原理へはしる厚生省

野村 拓

ビタミン軽視をするとどうなる

ビタミン学会専門家の立場から

ビタミンB群による成人病の予防と治療

稲田雅美

ビタミンCによる成人病の予防と治療

鈴江緑衣郎

国民の食生活の現状と課題

田中平三

声「ビタミンはずしをどう思うか」

点滴に何を入れるかは医師の裁量に

植村 隆

“健康増進”に逆行する保険はずし

美濃 真

摂取不足・利用傷害には保険の継続を

安田和人

望まれる簡便で精度の高い検査法

下辻常介

ビタミンを返せ

羽田 回

代謝改善・促進物質としての役割も大

入野敏夫

資料「医療保険におけるビタミンB群・C製剤につ
いての要望」

巻頭言「『死の隔離』で失われたもの」

日本ジャーナリスト会議運営委員 荒川恒行

テキスト「慢性腎不全の内科的治療」

大阪府済生会中津病院腎臓内科 桑原 隆

症例研究「頻回の失神をきたした Sustained
Accelerated Idioventricular Rhythmの一症例」

北区 佐藤邦友

ほんだな『子宮筋腫と言われたら』

早川謙一

勝敗をさぐる213「早すぎた投了」（吉野俊宏）

なにわの郷土史167 なにわの伝説21

「幽霊の足跡」（三善貞司）

医師のフィランソロピー 38

「『アーロン収容所』考」（西浦信博）

医療の国際動向28

「看護婦が医者より少ない国」（野村 拓）

わたしの映画評108

「風の丘を越えて」「キルソドム」（碧 川）

医界雑録21

「『学制』の医学校と東大医学部」（青柳精一）

文芸・旅鞆83「夜霧」（岩垣子鹿）

なにわ医見

7月のこんなこと

編集後記

詰碁（橋本宇太郎）・詰将棋（有吉道夫）

今月の表紙「サルラにて」

東大阪市 武田貞彦

1994年10月号（No.329）

特集「老人訪問看護ステーションと開業医」

開業医の将来像と老人訪問看護ステーション

山本哲夫

老人訪問看護ステーションへの夢

権藤 勇

インタビュー「北千住訪問看護ステーション前所長

宮崎和加子氏に聞く」（編集部）

開業医からみた老人訪問看護ステーション

・病院併設型「ハートパークはびきの」

紀野 正

・特養併設型「四天王寺悲田院訪問看護ステーション」

倉澤高志

・医師会立型「生野区老人訪問看護ステーション」

福田治男

・医師会立型「城東区老人訪問看護ステーション」

鶴田一郎

・自治体立型「豊中市老人訪問看護ステーション」

森田重治

インタビュー「厚生省老人保健福祉局訪問看護係長

中川 泉氏に聞く」（編集部）

在宅生活のQOLを引き上げる牽引車

若林直樹

巻頭言「産みの苦しみを抑える『高齢者の人権』」

きづがわ共同法律事務所弁護士 青木佳史

テキスト「細菌感染症と臨床検査」
近畿大学医学部臨床病理学助教授 古田 格
 ほんだな『訪問看護ステーション』 紀野 正
 勝敗をさぐる214
 「一問トビのうすみつかれる」(吉野俊宏)
 なにわの郷土史168 なにわの伝説22
 「幽霊の片袖」(三善貞司)
 医師のフィランソロビー 39
 「『私のセレンディピティ』考」(西浦信博)
 医療の国際動向29「社会防衛費」(野村 拓)
 わたしの映画評109
 「ロング・ウォーク・ホーム」(碧 川)
 医界雑録22「人力車の出現と開業医」(青柳精一)
 文芸・へちま大将3「ててなし子3」(野間 明)
 なにわ医見
 8月のこんなこと
 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 今月の表紙「常神半島」

枚方市 三田雄司

1994年11月号(No.330)

特集「激変する入院看護 付き添い廃止と新看護体系」
 座談会「看護の最前線からみた付き添い廃止と新看護体系」
 阿部紀美子/堀内キヌ/松本ユミ子/大山正夫
 中小病院と付き添い廃止 池山 淳
 病院からみた新看護体系の問題点
 ・小松病院～基準看護病院にも大きな影響 堀内弘雄
 ・原病院～看護要員の増加をまかなえる診療報酬 原 満
 有床診療所からみた付き添い廃止
 ・喜馬外科(港区)を訪問して 植田 彪
 わが病院はどう対応するか
 ・辻外科病院～基準看護をとり、療養型とのケアミックスへ 辻 尚司
 ・貴島中央病院～あるべき看護像から基準看護を取得 貴島範彦
 ・青山病院～地域医療と特例許可老人病棟の両立 大谷静男
 激変の波を受ける病院と国民医療の課題 篠崎次男
 こうあってほしい入院看護 患者の立場から 辻本好子
 インタビュー「懸念される夜間のケア水準の低下～
 家政婦紹介所に聞く」
 テキスト「睡眠時呼吸障害の診療」
大阪医科大学耳鼻咽喉科教授 高橋宏明
 テキスト「変形性膝関節症に対する外科的治療の
 タイミング」
大阪大学整形外科 堀部秀二

勝敗をさぐる215「逆転許した単八ネ」(吉野俊宏)
 なにわの郷土史169 なにわの伝説23
 「難波の蘆刈」(三善貞司)
 医師のフィランソロビー 40「『聖徳太子の称号の
 謎』考」(西浦信博)
 ほんだな『島にくらしをきずく』

古屋穎兒

わたしの映画評110「ギルバート・グレイブ」(碧川)
 医界雑録23
 「医界をゆるがした漢洋医学論争(上)」(青柳精一)
 医療の国際動向30(最終回)
 「グローバルな視点」(野村 拓)
 文芸・旅艶84「鴨歩く」(岩垣子鹿)
 なにわ医見
 9月のこんなこと
 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 今月の表紙「晩秋の奈良」

吹田市 大澤恵美

1994年12月号(No.331)

特集「薬価の国際比較」
 医薬品問題への視角と協会運動の課題 細川一真
 国際薬価比較の意義と日本の薬価の問題点 浜 六郎
 調査結果に対する各界の声
 ・医療経済学者の立場から「ユニークな調査、インパクトある政策提言を」 アキ・ヨシカワ
 ・経営学者の立場から「薬価基準制度と薬価の国際比較」 井上 薫
 ・参議院厚生委員の立場から「薬価の見直しと薬剤の適正使用は緊急の課題」 今井 澄
 ・ジャーナリストの立場から「国民と医師を排除する日本の薬構造」 田辺 功
 ・薬剤師の立場から「日本の薬価はなぜこんなに高い」 中村玉枝
 ・患者の立場から「薬価は治療上の価値を優先すべき」 水間典昭
 薬価比較調査の反響からみえてきたもの 小藪幹夫
 巻頭言「『和』の精神が招いたソリブジン薬禍」
毎日新聞大阪本社特別報道部記者 砂間裕之
 テキスト「呼吸不全患者の在宅医療」
大阪府立羽曳野病院 川幡誠一
 テキスト「糖尿病外来診療の実際」
枚方市民病院内科科長 磯谷治彦
 ほんだな『ロードス島攻防記』 守田由雄
 勝敗をさぐる216「一路右なら生きていた」(吉野俊宏)
 なにわの郷土史170 なにわの伝説24
 「子守歌発生地」(三善貞司)

医師のフィランソロピー 41
 「『和をもって日本となす』考」(西浦信博)
 医界雑録24
 「医界をゆるがした漢洋医学論争(下)」(青柳精一)
 わたしの映画評111「ブロンクス物語」(碧川)
 1994年総索引(1994年1月号～12月号)
 文芸・へちま大将4「ててなし子4」(野間 明)
 なにわ医見
 10月のこんなこと
 編集後記
 詰碁(橋本宇太郎)・詰将棋(有吉道夫)
 今月の表紙「パリの10月」

北区 井村昭三

1995年1月(No.332)

巻頭言「音楽を育む文化の土壌」
 声楽家 日下部祐子
 なにわ医見「検証したい団塊の開業医50年の道程」
 特集「道」
 インタビュー「数学の道、お茶の道 大塚香代先生
 をお訪ねして」(編集部)
 高貴で深い人の大きさに感動

生野区 杉村清子

エッセー「都市のみち、道～来し方行く末」
 小山仁示
 インタビュー「関西の文化を育てて50年 青野馬
 左奈画伯を訪問して」(編集部)
 人生に通じる“目と心で描く”

八尾市 堀辺四郎

投稿「私の道」
 医学の道
 道を尊ぶわが国の文化と今後の医療
 京都市 奈倉道隆
 小児心身医学の道
 西区 富田和巳
 医学史への道
 豊中市 長門谷洋治

社会活動の道
 国際貢献への道
 中央区 岩崎和佳子
 ひとの道
 堺市 下條文雄
 僕の芸能生活15年間
 北区 佐藤邦友

趣味の道
 麻薬になった油絵
 西淀川区 山田嘉一郎
 彫塑に取り組んで
 堺市 石上 直
 音楽愛好症候群
 東大阪市 蛭沼 進
 「むし」の道
 豊中市 吉田正和
 「歴史を歩く会」を歩く道
 守口市 金森 昭

雨のない夏
 生野区 西川雄之助
 タイ国に魅せられて
 淀川区 河合祐太郎
 「道」への随想
 自立への道
 堺市 赤星伸一
 道それぞれ
 豊中市 西澤芳男
 道三題
 住吉区 守田由雄
 道
 中央区 甲田博和
 今月の表紙「橋杭岩の初日の出」
 堺市 近藤宏和

テキスト「閉塞性動脈疾患と抗血小板療法」
 おおしろクリニック院長 大城 孟
 協会アラカルト(11月のこんなこと/2月の予定)
 支部から、地域から「北摂懇談会」
 各科の話題 皮膚科

城東区 笹川征雄

新企画/コーヒーぶれいく「音楽と私」
 天王寺区 河本俊樹
 ほんだな『首都圏病院ランキング』
 住之江区 二宮聖耳
 勝敗をさぐる217「新春対局」(吉野俊宏)
 日本医療の半世紀を問う1「座談会」

小松良夫/辻一省/紀野正
 新企画/あなたもできる健康料理「オニオングラタ
 ンスープ」

高橋恭子

なにわの郷土史171 なにわの伝説25
 「脚気の神様服部天神」(三善貞司)
 医師のフィランソロピー 42「『縮み志向の日本人』
 考」(西浦信博)
 医界雑録25」
 「長與専齋の『衛生意見書』(上)」(青柳精一)
 わたしの映画評112(最終回)「全身小説家」(碧川)
 詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
 文芸・旅靴85「凍鶴」(岩垣子鹿)
 新春作品「北国の春」

西淀川区 山田嘉一郎

2月号予告/編集後記

1995年2月(No.333)

巻頭言「地球に表も裏もない」
 ラテン歌手・エッセイスト 八木啓代
 なにわ医見「おおさか考」
 特集「おおさか考」
 インタビュー「黒田清さんに聞く『どうなってんね
 ん 大阪のまちと政治』」
 インタビュアー・笹川征雄
 健康都市・大阪への課題
 安全で豊かな健康都市大阪の課題
 阪大名誉教授 朝倉新太郎

西成区からみた大阪の健康問題
市大講師 関守一、市大教授 小林絢三
公害地域の再生に向けて
関西総合研究所 傘木宏夫
インタビュー・加茂利男市大教授に聞く
「府民の創造力活かした大阪再生を」(編集部)
インタビュアー・八杉 誠
投稿「改正予防接種法への対応」
門真市 馬場宏一
子どもの健康の実態がつかめなくなる学校健診改訂案
西淀川区 藤森 弘
子育て支援
枚方市 保坂智子
座談会「府民の暮らしと地方自治」
坂本允子 / 渡辺秀郎 / 川崎美栄子 / 紀野正
今月の表紙「大台ヶ原の樹氷」
泉佐野市 新山昭次
テキスト「皮膚炎の具体的、実際の観察と考え方」
大阪医科大学皮膚科 長谷川義博
協会アラカルト(12月のこんなこと / 3月の予定)
支部から、地域から「老人保健福祉計画で区役所と
懇談会」(東成支部)
各科情報 外科・整形外科
生野区 稲次征人
こーひーぶれいく「自費出版」
平野区 山内信和
ほんだな『「世界一」の医療費抑制政策を見直す時期』
住吉区 守田由雄
日本医療の半世紀を問う2
「診療報酬と物価の50年」(野村 拓)
医師のフィランソロピー 43
『佐橋甚五郎』考(西浦信博)
医界雑録26
「長與專齋の衛生『意見書』(下)」(青柳精一)
なにわの郷土史172 なにわの伝説26
「狂言の秘曲『釣狐』」(三善貞司)
新企画 / わたしの文化評1
「パウンティフルへの旅」
富田和巳
勝敗をさぐる218
「急所2の一への対応誤る」(吉野俊宏)
あなたもできる健康料理2
「かんだんゴマの朝食」(高橋恭子)
詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
文芸・へちま大将5「さすらい1」(野間 明)
読者ファックス直送便
3月号予告 / 編集後記
1995年3月(No.334)
巻頭言「少女と指導者」
読売新聞大阪本社記事審査委員 大鋸厚生
なにわ医見「地震と法律」
緊急特集「阪神大震災」
インタビュー 堀内三郎・京大名誉教授に聞く
「阪神大震災で問い直される地域防災計画」(編集部)

都市防災と災害医療の課題
京科大学名誉教授 万井正人
オピニオン 加茂利男・市大教授に聞く(編集部)
「自治・分権の防災体制こそ急務」
医療最前線からのレポート
避難所の救護活動から見た災害医療
本山第一小学校避難所、救護所医師(震災第1日目から12
日までの医療責任者)
神戸大学医学部講師 溝口 明
被災地での医療 診療所からのレポート
西宮市広川内科クリニック 広川恵一
阪神大震災 / 神戸協同病院1カ月の記録
神戸市長田区 神戸協同病院 上田耕蔵
今月の表紙「1995年1月28日西宮市北部」
城東区 笹川征雄
クローズアップ「震災がもたらした新たな疾病」
「クラッシュ症候群」と重症呼吸不全
大阪市大助教授 行岡秀和
増幅されたアトピー性皮膚炎の問題点
城東区 笹川征雄
アスベストの危険にどう対処すべきか
大阪府中央労働事務所 水野 洋
投稿「救援活動に参加して」
精神神経科医の救援活動
都島区 古屋頼兒
情報 もうひとつのライフライン
八尾市 松尾美由起
災害医療よせて
北区 石井 豊
協会アラカルト(1月のこんなこと / 4月の予定)
詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
4月号予告 / 編集後記
1995年4月(No.335)
巻頭言「或る春の出来事」
僧侶 大橋信雅
なにわ医見「医師過剰時代と卒後研修」
特集「どうなる医師の雇用・開業」
“医師過剰”でどうなる勤務医の就業環境
「定着」と「滞留」の狭間で
『日経ヘルスケア』編集長 川口達也
医療の質とかがみあった医師数の議論を
臨床研修義務化法案の問題点
奈良県立医科大学衛生学教室 藤崎和彦
インタビュー「山口健一、下川和男両弁護士に聞く」
定員問題で大論争の法曹界(編集部)
覆面对談「医師過剰時代の環境激変を検証する」
A(勤務医・女性) / B(開業医・男性)
インタビュー「医師過剰時代にどう対応するか」
牛尾光宏・厚生省医事課課長補佐に聞く
インタビュアー 紀野正・森田重治・笹川征雄
表紙「祇園白川」
泉佐野市 三好宏和
テキスト「狭心症の治療と最近の考え方」
阪南中央病院内科科長 浜 六郎

協会アラカルト(2月のこんなこと/5月の予定)
 支部から、地域から
 各科情報「眼科 白内障手術と人工水晶体」
 保田正三郎
 こーひーぶれいく「趣味について」
 中央区 益田元子
 ほんだな『精神鑑定 現代こころの事件簿』
 平野区 細川一真
 日本医療の半世紀を問う3「戦後私立病院小史1」
 小松良夫
 医界雑録27「医業を捨て開拓に命を捧げた関寛斎
 (上)」(青柳精一)
 医師のフィランソロピー 44
 「『大仏以後』考」(西浦信博)
 あなたもできる健康料理3
 「ワカメの五目炒め」(高橋恭子)
 なにわの郷土史173 なにわの伝説27
 「天野屋利兵衛」(三善貞司)
 わたしの文化評「森のなかの淑女たち」(順子)
 勝敗をさぐる219「大場よりも急場」(吉野俊宏)
 詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
 文芸・へちま大将6「さすらい2」(野間 明)
 読者ファックス直送便
 5月号予告/編集後記

1995年5月(No.336)

巻頭言「マルチメディア時代のある日」
 三洋電気AV事業本部情報基盤センター課長 坂中正典
 なにわ医見「マルチメディア時代」
 特集「マルチメディア時代」
 インタビュー「姫路市医師会のニューメディア実験
 『いきいき』カードで支える地域医療/中村憲治担当
 理事に聞く」
 「ドクターズネットでマルチメディアはどこまで可
 能か」
 ドクターズネット事務局 田野忠一
 投稿「協会ネットに期待する」
 市立リハビリテーションセンター 辻 正記
 投稿「マルチメディア時代に対する医師の雑感」
 柏原市 小路徹二
 オピニオン「高度情報社会の光と影」
 大阪市立大学経済研究所教授 植田政孝
 師弟対談「マルチメディア時代を語る」
 明星大学教授・橋本昌幸vs城東区・笹川征雄
 考察「マルチメディアと情報化社会」
 城東区 笹川征雄
 マンガ「サッカー先生のマルチメディア入門」
 原作/笹川征雄、作画/高宮信一
 今月の表紙「山上の垂訓教会」
 東大阪市 武田貞彦
 テキスト「改定『予防接種法』の実施と開業医」
 医療法人宏和会ばば小児科 馬場宏一
 協会アラカルト(3月のこんなこと/6月の予定)
 支部から、地域から「診療所の特色いかした在宅医療」
 各科情報 耳鼻咽喉科

「耳鼻科領域における人工的装具」
 東大阪市 太田康彦
 こーひーぶれいく「医者への鏡」
 天王寺区 中村和裕
 医界雑録28「医業を捨て開拓に命を捧げた関寛斎
 (中)」(青柳精一)
 日本医療の半世紀を問う4
 「戦後私立病院小史2」(小松良夫)
 医師のフィランソロピー 45「『続“超”整理法・時
 間編』考」(西浦信博)
 あなたもできる健康料理4「鰹の角煮」(高橋恭子)
 なにわの郷土史174 なにわの伝説28
 「安徳天皇隠れ里1」(三善貞司)
 勝敗をさぐる220
 「細工はいいが仕上げにミス」(吉野俊宏)
 わたしの文化評「オリーブの林をぬけて」(碧 川)
 ほんだな『震災の真ん中で』
 泉大津市 紀野 正
 詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
 文芸・旅靴86「落の臺」(岩垣子鹿)
 読者ファックス直送便
 6月号予告/編集後記

1995年6月(No.337)

巻頭言「ガンの告知」
 弁護士 松尾直嗣
 なにわ医見「家で死にたいが 開業医と臨死医療」
 特集「臨死医療を考える」
 終末期の生を支える総合ケア 死と向き合う医療の課題
 龍谷大学社会学部教授 奈倉道隆
 オピニオン「受容から浄化へ」
 在宅ホスピスケアの中での学び
 高崎市 小笠原一夫
 インタビュー「患者の権利を守る医療に 弁護士か
 ら見た臨死医療」加藤良夫弁護士に聞く(編集部)
 実践「在宅ホスピスをめざして」
 枚方市 南 吉一
 座談会「臨死医療をどう構築するか」
 杉村良平/額田勲/辻一省
 インタビュー「ホスピス病棟から見た臨死」
 淀川キリスト教病院・恒藤暁先生に聞く
 インタビュアー 紀野 正
 今月の表紙「いろどりの琵琶湖」
 枚方市 三田雄司
 テキスト「在宅における終末期医療 特に末期癌患
 者の疼痛管理」
 喜多病院院長 喜多 薫
 テキスト「突発性難聴とその周辺疾患への対策」
 テキスト「頭頸部腫瘍におけるボジトロンCTの応用」
 大阪市立大学医学部耳鼻咽喉科教授 中井義明
 協会アラカルト(4月のこんなこと/7月の予定)
 支部から、地域から「堺支部」
 各科情報 精神神経科「デイ・ケアのピンチ」
 都島区 古屋親児
 こーひーぶれいく「おじさんのボランティア活動」

- 港区 倉澤高志
ほんだな『語り合う医療』
- 住之江区 二宮聖耳
日本医療の半世紀を問う5「日本医学教育の50年」
藤崎和彦
医界雑録29「医業を捨て開拓に命を捧げた関寛齋
(下)」(青柳精一)
なにわの郷土史175 なにわの伝説29
「安徳天皇隠れ里2」(三善貞司)
医師のフィランソロピー46「『老い』考」(西浦信博)
あなたもできる健康料理5「ゆで豚」(高橋恭子)
勝敗をさぐる221
「根拠の有無が攻防を決す」(吉野俊宏)
わたしの文化評「父性社会vs母性社会！」(冨田)
詰碁(本田邦久・詰将棋(有吉道夫))
文芸・へちま大将7「さすらい3」(野間 明)
読者ファックス直送便
8月号原稿募集
7月号予告/編集後記
- 1995年7月(No.338)
巻頭言「この国の『かたち』、この年の『かたち』」
都市計画家 吉田 薫
なにわ医見「鴨長明と堀田善衛」
特集「わたしの書いた本1」
『タンゴ 歴史とバンドネオン』
- 住吉区 舩松伸男
『タイ蝶ふれあいの旅』
- 西区 勝瀬 健
『韓国おりおりの記』『町医者者の寝言』
- 寝屋川市 崔 達俊
『漂白人(さすらいびと)よ、旅人よ』
- 河内 竹谷 正
『歯科医療過誤』
- 阿倍野区 澤トシ子
『あなたにカルテを差し上げます』
- 守口市 橋本忠雄
『主人在宅ストレス症候群』
- 豊中市 黒川順夫
『皮膚のトラブル110番』
- 堺市 東 禹彦
『不妊症なんかこわくない』
- 中央区 西川 潔
『小児心身医学 臨床の実際』
- 西区 冨田和巳
今月の表紙「パラグライダー 遥かに瀬戸大橋を望む
高台で」
- 淀川区 川浪瑛二
テキスト「死亡診断書を書く時の留意事項」
近畿大学医学部教授 吉村昌雄
協会アラカルト(5月のこんなこと/8月の予定)
支部から、地域から「守口支部」
- 守口市 石橋弘之
各科情報 内科「在宅医療について」
- 東成区 福田治男
- こーひーぶれいく「岩魚に魅せられて思う」
旭区 吉安克彦
ほんだな『ホット・ゾーン』
- 生野区 佐藤一夫
日本医療の半世紀を問う6「団塊の半世紀」
- 辻 一省
医界雑録30「スラム街『名護町』に見る衛生事情
(上)」(青柳精一)
医師のフィランソロピー47
「『作業療法』考」(西浦信博)
あなたもできる健康料理6「ガスパチョとラタトゥ
イユ」(高橋恭子)
わたしの文化評「マイセン幻影」(大形順子)
なにわの郷土史176 なにわの伝説30
「西福寺の雷井戸」(三善貞司)
勝敗をさぐる222
「無条件トリがコウになって……」(吉野俊宏)
詰碁(本田邦久・詰将棋(有吉道夫))
文芸・旅靴87「短夜」(岩垣子鹿)
読者ファックス直送便
8・9月合併号予告/編集後記
- 1995年8・9月(No.339)
巻頭言「ユーザーの力と地域精神医療」
精神保健福祉相談員 小出保広
なにわ医見「戦後50年に思うこと」
山本 漸
特集「50年目の戦争」
座談会「在日外国人医師から見た日本」
W.チャンドラ/G.セस्ता/孫 ヨウ権
提言「私にとっての戦後50年」
弁護士から見た戦後50年目の日本
弁護士 坂井尚美
国民医療の社会的条件づくりの時代
- 京都市 西谷宣雄
対談「“団塊の世代”から見た日本の戦後50年」
川崎美榮子vs二宮厚美
協会アラカルト(6月のこんなこと/9月の予定)
支部から、地域から「生野支部」
各科情報 皮膚科「ポーエン病の“ ”落し穴”が
増えてます」
- 城東区 笹川征雄
こーひーぶれいく「プロ棋士、わが大先生」
和泉市 堀 忠
今月の表紙「怒濤」
- 淀川区 安保立郎
テキスト「高齢者に見られる腰部・下肢の諸疾患」
大阪赤十字病院整形外科 富原光雄
ほんだな『わたしが生きた「昭和」』
小松良夫
日本医療の半世紀を問う7「社会保障制度審議会の
半世紀と95年勤告」
- 西岡幸泰
医界雑録31「スラム街『名護町』に見る衛生事情
(下)」(青柳精一)

医師のフィランソロピー 48「東海道五十七次 京街道四宿」(西浦信博)
 あなたもできる健康料理7「胡麻豆腐」(高橋恭子)
 なにわの郷土史177 なにわの伝説31「藤井寺の竜の頭」(三善貞司)
 勝敗をさぐる223
 「白を分断した積極的攻めが好結果」(吉野俊宏)
 わたしの文化評「ショーシャンクの空に」(碧川)
 詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
 投稿「唐人雁木」

阿倍野区 安岡隆一

文芸・へちま大将8「さすらい4」(野間 明)
 文芸・旅靴88「酔芙蓉」(岩垣子鹿)
 読者ファックス直送便
 10月号予告/編集後記

1995年10月(No.341)

巻頭言「編集者の旅」

編集工房ノア 澗沢純平

なにわ医見「歴史を記録する～開業医の自分史～」
 特集「わたしの書いた本2」
 『在宅で死ぬということ』

大正区 山下 健

『新説 解體新書』

東住吉区 大城 孟

『開業医の文笥』

住吉区 守田由雄

『働き盛りのあなたが危ない! 突然死』

北区 佐藤邦友

『うつと自殺～病める魂のために』

八尾市 萩原 隆

『心臓を守り脳卒中を防ぐ』

北区 鳥居 宏

『野村医院二十年史』

交野市 野村 望

『ナル先生の診療いろはカルテ』

寝屋川市 鳴沢淳英

子どもの健康を追いかけて

西淀川区 藤森 弘

『OSAKA Journal of Medical Science』

豊中市 西澤芳男

出版科医のパーチャル・クリニック

イッシュー・パラノイア

今月の表紙「大和の秋」

辻田百典

テキスト「うつ病、うつ状態の早期発見」

大阪医科大学神経精神医学教室 米田 博

テキスト「頸部と上肢の痛み」

田附興風会北野病院整形外科 梁瀬義章

協会アラカルト(8月のこんなこと/11月の予定)

支部から、地域から「高槻支部」

各科情報 「眼科」

大正区 阿部圭助

こーひーぶれいく「漫画に魅せられて」

森下清文

ほんだな『大学病院で母はなぜ死んだか』

住之江区 二宮聖耳

わたしの文化評「赤ひげ」(富田和巳)

勝敗をさぐる224「どでかいコウ」(吉野俊宏)

なにわの郷土史178 なにわの伝説32「和泉式部の遺跡散歩1」(三善貞司)

あなたもできる健康料理8
 「しめ鯖・鯖のトマト煮」(高橋恭子)

医師のフィランソロピー 49

「『朱の伝説』考」(西浦信博)

医界雑誌録32

「明治期のコレラ予防対策(上)」(青柳精一)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

文芸「処刑」1

渡辺 恋

文芸・へちま大将9「さすらい5」(野間 明)

読者ファックス直送便

新年号原稿募集

11月号予告/編集後記

1995年11月(No.342)

巻頭言「地域に根ざす『かぼちゃ畑』」

保健婦 亀井和代

なにわ医見「老人介護の開業医医療」

特集「老人介護 その現状と新たな試み」

自治に根ざした社会的介護システムを

介護保険構想を問う

シニアライフ研究所代表 佐藤義夫

現場から見た老人介護問題

在宅医療にとって重要な介護システム

なかじま診療所 中島啓子

医療も介護も必要な高齢者

西淀病院MSW 吉田麻希

老人保険施設から見た老人介護問題

老人保険施設「平野新生苑」 村田泰治

理学療法から見た老人介護問題

全国病院理学療法協会大阪府支部支部長 木村喜三郎

訪問看護婦として介護にかかわって

訪問看護ステーション「コスモス」 岩下孝子

「21世紀型介護」をめざして

開業医の役割を再認識

泉大津市 紀野 正

24時間ホームヘルプサービスへの挑戦

枚方市立デイサービスセンター

小規模多機能型グループホームの草分け

島根・ことぶき園

手厚い介護で尊厳ある生活をめざす

奈良・エスティームライフ学園前

全国初の特養グループホーム

神戸・神港園「しあわせの家」

(以上、本誌編集部 田村清)

老人介護の究極的課題

東成区 植田 彪

今月の表紙「バリ郊外の秋」

井村昭三

テキスト「薬剤投与の注意点～妊婦を中心～」
大阪市立大学医学部助教授 石河 修
 協会アラカルト(9月のこんなこと/12月の予定)
 支部から、地域から「枚方・交野支部」
 各科情報 泌尿器科「泌尿器科の手術の現状」
生野区 前田義雄
 こーひーぶれいく「開業の動機」
三島郡 西本 孝
 ほんだな『オウム真理教 追跡2200日』
中央区 羽田 同
 わたしの文化評「コルチャック先生」(大形順子)
 勝敗をさぐる225
 「厳しい打ち込みにツケかボウシか」(吉野俊宏)
 なにわの郷土史179 なにわの伝説(33)
 「和泉式部の遺跡散歩2」(三善貞司)
 医師のフィランソロピー 50
 「『韓国語と日本語』考」(西浦信博)
 医界雑誌録33
 「明治期のコレラ予防対策(下)」(青柳精一)
 あなたもできる健康料理9
 「新しい大根料理で低カロリー」(高橋恭子)
 詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
 文芸「処刑」2(渡辺 恋)
 文芸・旅靴89「時雨」(岩垣子鹿)
 わたしの誌面批評
 読者ファックス直送便
 12月号予告/編集後記

1995年12月(No.343)

巻頭言「変わらなきゃ」～被災地のこれから
渡邊 仁
 なにわ医見「保健所法から地域保健法へ 対人サービスの低下を許さず、応分の財政援助を」
 特集「保健所とのつきあい方」
 保健所の変遷と開業医
国民医療研究所所長 野村 拓
 地域医療に保健所をどう活かすか
花園大学社会福祉学部 達坂隆子
 連携は地域に出掛け、生活全般をとらえて
八尾保健所・保健福祉推進室員 大園篤子
 保健婦の仕事から見た開業医との連携
寝屋川保健所・保健婦 速水敏子
 医師会長から見た保健所 保健所運営協議会委員の15年
摂津市 竹内治一
 地域を駆けめぐる保健婦さん
堺市 赤星伸一
 保健所と開業医の両者を経験して
阿倍野区 柚木達男
 公衆衛生の抹殺をはかる地域保健法と大阪の保健所の行方
うえに健康センター所長 丸山 創
 今月の表紙「釜山港の夕暮」
神野健栄
 テキスト「消化器疾患におけるヘリコバクター・ピロリの最近の知見」
大阪市立大学第三内科 荒川哲男

テキスト「角膜疾患の新しい治療法」
大阪大学講師 下村嘉一
 協会アラカルト(10月のこんなこと/1月の予定)
 支部から、地域から「岸和田支部」
岸和田市 高松邦三郎
 各科情報 産婦人科「更年期とは何か」
都島区 辻 一省
 こーひーぶれいく「ミュージック・シャワー」
都島区 杉村良平
 ほんだな『ケルトの残照』
住之江区 二宮聖耳
 日本医療の半世紀を問う8(最終回)
 「日本の薬害の半世紀」
東京医科歯科大学助教授 片平冽彦
 医師のフィランソロピー 51
 「『風の王国』考」(西浦信博)
 勝敗をさぐる226
 「ツケにハネルかノビるか」(吉野俊宏)
 わたしの文化評
 「多桑/父さん」「恋人たちの食卓」(碧 川)
 なにわの郷土史180 なにわの伝説34
 「和泉式部の遺跡散歩3」(三善貞司)
 医界雑誌録34「医師開業試験と幻の『医師規則』案(上)」(青柳精一)
 あなたもできる健康料理10「酒宴の季節にふさわしい牡蠣(オイスター)」(高橋恭子)
 詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
 文芸・へちま大将10「さすらい6」(野間 明)
 文芸「処刑」(最終回)(渡辺 恋)
 読者ファックス直送便
 1995年総索引(1995年1月号～12月号)
 1月号予告/編集後記

1996年1月(No.344)

ぴーぶる「宝塚と狂言」
宝塚歌劇団 鈴鹿 照
 なにわ医見「みやび・考現学」
 特集「雅～開業医の遊び心」
 新春エッセイ「今こそ雅びの心を」
エッセイスト・元京都府立大学教授 寿岳章子
 会員投稿「みやび」の発見
 和菓子に味わうMIYABI
守口市 森口久子
 四季を味わい暮を楽しむ
東大阪市 内本栄光
 折り紙の魅力
城東区 木下栄作
 親子の情愛に見たみやび
中央区 甲田博和
 能
泉大津市 三瀬 徹
 越天楽に感じた雅 美しい情動への憧れ
住吉区 守田由雄
 わたしの「みやび」考
 庶民から隔絶した「雅」

豊中市 西澤芳男
 京ことばのみやびやかさ
 住之江区 二宮聖耳
 雅～この失われたるもの
 堺市 児玉貞介
 波沙羅考
 八尾市 堀辺四郎
 新春放談「酔人みやび問答」
 守田由雄 / 裕野比呂江 / 辻一省
 協会だより
 2月の予定
 新連載 / なにわ友あれ「彫塑教室」
 東浦三郎
 11月のこんなこと
 支部から、地域から「泉佐野・泉南支部」
 熊取町 鈴木進吾
 各科情報 小児科
 西区 富田和巳
 こーひーぶれいく「ビールでブレイク？」
 東成区 金 文秀
 あなたもできる健康料理11「心まで熱くして厳冬の
 のりきりましょう～ビーフシチュー」
 大阪の食文化研究会代表 高橋恭子
 ほんだな『少年時代』
 都島区 杉村良平
 勝敗をさぐる227「新春対局」(吉野俊宏)
 医界雑録35「医術開業試験と幻の『医師規則案』
 (下)」(青柳精一)
 なにわの郷土史181 なにわの伝説35
 「赤ひげ東庵」(三善貞司)
 医師のフィランソロピー 52
 「『アーサー王物語』考」(西浦信博)
 わたしの文化評「くたばれ! ヤンキース」
 西区 富田和巳
 文芸・旅報90「初日」(岩垣子鹿)
 詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
 読者ファックス直送便
 2月号予告 / 編集後記
 表紙写真「鳳凰の凧」
 泉佐野市 新山昭次
 テキスト「医薬品の副作用」
 新香里病院薬局長 水垣一郎
 1996年2月(No.345)
 ぴーぶる「『こころ』を支えて『いのち』を生かす」
 音楽教育研究者 小林田鶴子
 なにわ医見「不安の時代の到来」
 特集「金融不安と保険医年金」
 “護送船団方式”の崩壊と「大競争時代」の幕開け
 日本の不良債権と国際金融不安
 阪南大学教授 神沢正典
 どうなる保険医年金
 その来し方行く末
 前保連共済部長 成原忠彦
 金融商品のリターンとリスクの検証

三井生命保険総合能力開発部 新井雅人
 節税を考えた上手な生命保険の入り方
 税理士 中嶋 章
 わたしの誌面批評
 「介護を選ぶ時代の到来」(1995年11月号)
 八尾市 松尾美由紀
 「大変タイムリーな保健所特集」(1995年12月号)
 大阪府職労 小林孝三
 協会だより
 なにわ友あれ「初段をめざす囲碁クラブ」
 都島区 原 豊人
 3月の予定
 12月のこんなこと
 支部から、地域から「北支部」
 北区 大國 剛
 各科情報 精神科
 都島区 古屋頼兒
 医界雑録36「明治初期の腸チフスの療法」(青柳精
 一)
 あなたもできる健康料理12「寒さを乗りきる粕汁と
 甘酒～酒粕汁・甘酒」(高橋恭子)
 ほんだな『日本の医療費国際比較の視角から』
 泉大津市 紀野 正
 勝敗をさぐる228「ハネかキリか 黒、チャンス
 をのがす」(吉野俊宏)
 なにわの郷土史182 なにわの伝説36
 「名力士 猪名川」(三善貞司)
 わたしの文化評「かぼちゃ大王」(大形順子)
 医師のフィランソロピー 53
 「『阿部一族』考」(西浦信博)
 文芸・へちま大将11「さすらい7」(野間 明)
 詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
 読者ファックス直送便
 2月号予告 / 編集後記
 表紙写真「ルクサンポール公園の本屋」
 北区 井村昭三
 テキスト「排尿障害～特に高齢者において」
 耳原総合病院泌尿器科部長 永井信夫

1996年3月(No.346)

ぴーぶる「ニオイの失われゆく街」
 香りのプロデューサー 成瀬守弘
 なにわ医見「心の『活断層』～子どもたちに無限の
 期待と声援を」
 特集「心の活断層」
 現代日本の社会構造がもたらす精神的危機
 富山大学教育学部教授 石原 務
 臨床医から見た現代社会
 いじめ考
 大阪中央子ども家庭センター 頼藤和寛
 最近の男女世相の変化への私感
 住之江区 成田一郎
 現代生活に潜む活断層～人工環境の行方
 堺市 亀田英明
 職場のストレスとメンタルヘルスケア

- 大阪府立こころの健康総合センター主幹 夏目 誠
医療と行動科学
- 関西医科大学非常勤講師 中川 晶
求められる巨悪との戦い～自ら判断し行動する力
を取り戻そう
- 豊中市 西澤芳男
鼎談「こころ医者」の見た現代日本」
田中迪生 / 富田和巳 / 西浦信博
協会だより
なにわ友あれ「歴史を歩く会」
- 金森 昭
- 4月の予定
1月のこんなこと
支部から、地域から「東住吉・平野支部」
平野区 村田 進
- 各科情報「外科・整形外科」
平野区 海野勝利
- こーひーぶれいく「人生を楽しむ方法」
都島区 裕野比呂江
あなたもできる健康料理13「旬のいかなごでカルシ
ウム補給を～いかなごのくぎ煮」(高橋恭子)
ほんだな『静かなる崩壊』
生野区 佐藤一夫
- 勝敗をさぐる229
「逆にハネれば攻め合い勝ちに」(吉野俊宏)
なにわの郷土史183 なにわの伝説37
「大蛇まつり」(三善貞司)
わたしの文化評
「幻の光」「Shall we ダンス?」(碧 川)
医師のフィランソロピー 53
「『塩の道を探る』考」(西浦信博)
医界雑録37「医籍の編製と著名な医師の医籍番号
(上)」(青柳精一)
文芸・旅靴91「亀鳴く」(岩垣子鹿)
詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
読者ファックス直送便余話
読者ファックス直送便
4月号予告 / 編集後記
表紙写真「熱帯スイレン」
平野区 神野健栄
- テキスト「高血圧の病態と最近の治療動向」
国立大阪病院総合内科 今泉昌利
- テキスト「胸部レントゲンで何がわかるか」
大阪赤十字病院呼吸器科 岡本記代士
- 1996年4月(No.347)
ぴーぶる「上方摂河泉」
西篠合資会社蔵主 西條裕三
- なにわ医見「公害裁判の役割」
特集「公害の街の再生と開業医」
公害・環境問題と現代日本の課題
京都大学経済学部教授 植田和弘
アジアの公害と日本の役割 公害経験プロジェクト海
外ワークショップの報告
西淀川区 穂久英明
- 公害闘争各地レポート
国の罪 熊本・水俣病解決策とその問題点
熊本大学医学部助教授 原田正純
「川崎市大気汚染公害」と私の関わり
川崎市 河野和夫
- 公害vs尼崎の市民パワー
尼崎市 野村和夫
- 低周波公害 民を救わぬ「民主」国家
和歌山市 汐見文隆
- 公害裁判「証言学」
現場のリアルな証言で画期的判断を引き出す
西淀川公害裁判原告弁護団 谷智恵子
患者さんのいたみ、現場の事実が公害裁判の原点
中央区 金谷邦夫
自分の五感と診療の体験を証言
西淀川区 那須 力
- 座談会「公害の街からの再生をめざして 西淀川公
害裁判が示したもの」
藤森弘 / 中山徹 / 森脇君雄
村松昭夫 / 川崎美榮子
- 協会だより
なにわ友あれ「深雪アートフラワー教室」
原 純子
- 5月の予定
2月のこんなこと
支部から、地域から「泉大津支部」
泉大津市 紀野 正
- 各科情報 耳鼻咽喉科
平野区 津川善彦
- こーひーぶれいく「桜花の下に弓を射る」
高槻市 中村知子
- ほんだな『教職員のための労働安全衛生入門』
西谷宣雄
- 医界雑録38「医籍の編製と著名な医師の医籍番号
(下)」(青柳精一)
勝敗をさぐる230
「ドラマ生じやすい『30秒の秒読み』」(吉野俊宏)
なにわの郷土史184 なにわの伝説38
「石にされた鬼」(三善貞司)
わたしの文化評「男はつらいよ」(富田和巳)
医師のフィランソロピー 55
「『ハーメルンの笛吹き男』考」(西浦信博)
あなたもできる健康料理14「パワフルな野菜のにん
にくで疲労回復を」(高橋恭子)
文芸・へちま大将12「三助修業1」(野間 明)
詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
読者ファックス直送便
Talk to Talk
5月号予告 / 編集後記
表紙写真「山田池の花菖蒲」
枚方市 三田雄司
- テキスト「大気汚染とスギ花粉症」
京都府立医科大学耳鼻咽喉科学教授 竹中 洋
- 1996年5月(No.348)

ぴーぶる「予定の時代から選択の時代へ」
心理カウンセラー・作家 宇賀神真子
 なにわ医見「薬剤情報提供加算の意味」
 特集「医療コミュニケーション論」
 インタビュー「アメリカから見た日本の医療」
オレゴン州ポートランド病院 キース・ディッポイ
 (編集部)

市民から見た「医療のコミュニケーション度」
ささえあい医療人権センター COML代表 辻本好子
 医療記録の開示とインフォームド・コンセント
奈良県立医科大学衛生学教室 藤崎和彦
 小特集「『医療記録の開示』を考える」
 診療録管理の視点から診療録開示問題を考える
日本診療録管理学会理事長 木村 明
 患者の求める医療記録の開示
医療情報の公開・開示を求める市民の会 勝村久司
 弁護士から見た「カルテの開示」
弁護士 加藤良夫

私の「カルテ開示」
 カルテ返却の捨て難い楽しみ
日向市 井ノ口裕
 「わたしの体ノート」を作ってみて
大和郡山市 坪井裕志
 「私の健康ノート」
淀川区 茶ノ木頼彦
 座談会「コミュニケーション高める私の診療工夫」
 赤星伸一 / 橋本忠雄 / 中嶋啓子
 笹川征雄 / 紀野正

協会だより
 なにわ友あれ「山歩きの会」
西居俊弥

6月の予定
 3月のこんなこと
 支部から、地域から「阿部野支部」
阿部野区 柚木達男
 他科に役立つ各科情報 **精神科**
天王寺区 井上 修
 ほんだな『魅せられたる魂』

八尾市 山田真理子
 こーひーぶれいく「成熟した市民社会は情報開示から」
天王寺区 鄭 龍寿
 医界雑録39「明治10年代から20年代の医会設立の動き(上)」(青柳精一)

勝敗をさぐる231「白石の少ないうちに分断して攻める」(吉野俊宏)
 なにわの郷土史185 なにわの伝説39
 「一休禅師の生母」(三善貞司)
 わたしの文化評「眠る男」(大形順子)
 医師のフィランソロピー56「『唱歌と十字架』考」
 (西浦信博)

あなたもできる健康料理15「高タンパク質、低カロリーの食品」(高橋恭子)
 文芸・旅靴92「青嵐」(岩垣子鹿)
 詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
 Talk to Talk

読者ファックス直送便
 6月号予告 / 編集後記
 表紙写真「死海の浮遊体験記」
東大阪市 武田貞彦
 テキスト「高脂血症の治療効果」
和歌山県立医科大学第三内科教授 湯川 進
 テキスト「地域医療と病診連携における府立病院耳鼻科の現状」
大阪府立病院耳鼻咽喉科部長 石田 稔

1996年6月(No.349)
 ぴーぶる「映画『眠る男』に夢を重ねて」
杉崎信子
 なにわ医見「医業と人生を左右する“自己表現”」
 特集「わたしの逸品」
 仏法浄土双六

平野区 山本正勝
 心の魔よけに会って
平野区 平井初美
 梟 ふくろう
生野区 大形順子
 周助コケシに魅せられて
生野区 紀田益二
 はな・たちばな

生野区 西川雄之助
 アンチーク・カメラ ジュメイユ・シグリスト
枚方市 浅田莞爾
 トルファールバン 石祖

東大阪市 内本栄光
 世界にただ一つの石・石・石
住之江区 二宮聖耳
 狛犬の写真
生野区 佐藤一夫
 わが愛しの腕時計たち
住吉区 守田由雄
 ウートーンの仏像
八尾市 堀辺四郎

協会だより
 なにわ友あれ「レントゲン勉強会」
橋本忠雄

7月の予定
 4月のこんなこと
 他科に役立つ各科情報 産婦人科
池田市 水澤富一
 ほんだな『日本経済の本当の話』
堺市 川崎美榮子
 こーひーぶれいく「アトピー性皮膚炎と入浴」
淀川区 渋谷信治

なにわの郷土史186 なにわの伝説40
 「一休と地極太夫」(三善貞司)
 勝敗をさぐる232「生きをめぐる認識の差」(吉野俊宏)
 わたしの文化評「ピフォア・ザ・レイン」「ユリシーズの瞳」(碧川)
 医師のフィランソロピー57
 「『唱歌誕生』考」(西浦信博)

あなたもできる健康料理16「夏バテ予防にビタミンC、カロチンの豊富なピーマン」(高橋恭子)
 医界雑録40「明治10年代から20年代の医会設立の動き(中)」(青柳精一)
 文芸・へちま大将「三助修業2」(野間 明)
 詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
 読者ファックス直送便
 7月号予告/編集後記
 表紙写真「花のグラン・プラス」

淀川区 安立郎
 テキスト「実践的血液学2 白血球像と骨髄像の読み方のコツ」
 大阪市立大学総合診療科・血液内科 巽 典之 ほか

1996年7月(No.350)

ぴーぶる「大阪弁.....余所見あるき」 中井正明
 なにわ医見「なし崩しの消費税問題処理に歯止めを」
 特集「改めて消費税を問う」
 インタビュー「危機に瀕する日本財政と消費税の増税 鶴田廣巳・関西大学教授に聞く」

インタビュー 植田 彪
 ヨーロッパの消費税率はなぜ高いのか
 消費税率の引き上げ阻止のために

静岡大学人文学部教授 湖東京至
 公的介護保障と消費税問題
 公費負担方式の財政政策

大阪府立大学社会福祉学部教授 里見賢治
 諸費増税でどうなる開業医

税理士 清家 裕
 少子・高齢化時代の税制あり方
 税理士 鳥居義昭

協会だより
 なにわ友あれ「土喜会」

入江えみ子

8月の予定
 5月のこんなこと
 支部から、地域から「城東・鶴見支部」

城東区 本田寅二郎
 他科に役立つ各科情報 泌尿器科

泉大津市 三瀬 徹
 ほんだな『夜を賭けて』

天王寺区 鄭 龍寿
 こーひーぶれいく「私が医者になったわけ」

守口市 鶴田一郎
 医界雑録41「明治10年代から20年代の医会設立の動き(下)」(青柳精一)

なにわの郷土史187 なにわの伝説41
 「幽霊の飴買い」(三善貞司)

勝敗をさぐる232「よすぎる形勢が大敵」(吉野俊宏)
 わたしの文化評

「ミュージカル回転木馬」(富田和巳)
 医師のフィランソロピー 58「上田晃氏の『デイリーメッセージ』考」(西浦信博)

あなたもできる健康料理17「夏バテ予防、疲労回復

に梅干しを使った料理を」(高橋恭子)
 文芸・旅靴93「墓(ひきがえる)」(岩垣子鹿)
 詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
 読者ファックス直送便/Talk toTalk
 8月号予告/編集後記
 表紙写真「和歌山県由良町の白崎海岸」

堺市 近藤宏和
 テキスト「内科医に必要な形成外科的知識と実践」
 大阪赤十字病院形成外科部長 月江富男
 テキスト「更年期婦人の内分泌・代謝とホルモン補充療法(HRT)」
 奈良県立医科大学産科婦人科学教室 森川 肇

1996年8月(No.351)

ぴーぶる「若者に暮を!」 『囲碁梁山泊』創刊 齋藤謙明

なにわ医見「沖縄について憶う 事大主義」
 特集「開業医と沖縄」

巻頭メッセージ「平和と『沖縄のこころ』」
 沖縄県知事 大田昌秀

沖縄の基地問題と日本
 沖縄県保険医協会理事 武居 洋

基地と人権沖縄県
 嘉手納町 山本達人

長寿世界一の沖縄を考える
 琉球大学教授 平良一彦

沖縄県の長寿の分析
 沖縄協同病院 仲田精神

沖縄戦に思う
 西成区 安慶名玄一

協会だより
 なにわ友あれ

守口市 吉田匡司

9月の予定
 6月のこんなこと

支部から、地域から 淀川・東淀川支部
 東淀川区 山本 漸

他科に役立つ各科情報「保養・養生学」
 西淀川区 藤森 弘

ほんだな『戦後沖縄の医療』
 寝屋川市 小松良夫

ほんだな『韓国併合と独立運動』
 左京区 西谷宣雄

医界雑録42「2つの東大の別課卒業生」(青柳精一)
 なにわの郷土史188 なにわの伝説42

「寿命寺の雨乞竜」(三善貞司)
 勝敗をさぐる234

「2度の勝機を逃した黒」(吉野俊宏)
 わたしの文化評「イル・ポステイーノ」(大形順子)

医師のフィランソロピー 59
 「『天誅組』考」(西浦信博)

あなたもできる健康料理18「牛乳グラタンとシーフードマリネ」(高橋恭子)

文芸・へちま大将14「三助修業3」(野間 明)
 詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

読者ファックス直送便
9月号予告/編集後記
表紙の写真「平和の礎」

沖縄県庁提供

テキスト「にきびの治療およびそれに伴う検査」
関西医科大学付属香里病院皮膚科 西嶋攝子

1996年9月(No.353)

ぴーぶる「身障者スポーツのノーマライゼーション」
ライター 高橋幸春

なにわ医見「難病と開業医」
特集「難病と開業医」

『難病相談室』の13年をふり返って

前「難病相談室」保健婦 乾死乃生

開業医への期待

ホームドクターを切望するパーキンソン病患者

全国パーキンソン病友の会大阪府支部 松尾俊郎

「心のケア」で救われる患者

日本ALS協会近畿ブロック副会長 豊浦保子
ペーチェット病患者の悩みと願い

ペーチェット病友の会大阪府支部 米山たける

難病患者さんとの出会い

神経内科医として難病にとりくんで

守口市 橋本忠雄

ALS患者さんの往診回顧

島本町 尼子明久

患者さん1人ひとりの生活に関われる開業医に

淀川区 阪口忠彦

難病患者を大きくつつみこむ社会を

堺市 赤星伸一

私が在宅医療に取り組んだ理由(わけ)

高槻市 中嶋啓子

「難病患者を支えるまちづくり」への挑戦

難病患者に「主治医制」

京都府・向陽保健所/乙訓医師会
保健・医療・福祉の総合機能が在宅支援

公立八鹿病院神経内科
市民が運営する24時間体制の在宅ケア拠点

日野市地域ケア研究所

協会だより

10月の予定

7月のこんなこと

支部から、地域から「守口支部」

守口市 鶴田一郎

他科に役立つ各科情報 眼科

松原市 岡田安司

こーひーぶれいく「オリンピック考」

住之江区 芳野裕明

ほんだな『ぼくはこんな本を読んできた』

堺市 池田信明

ほんだな『生命のコミュニケーション』

ALS協会近畿ブロック事務局 水町真知子

なにわの郷土史189 なにわの伝説43

「家康、堺で死す」(三善貞司)

勝敗をさぐる235

「キリの強手で見事に反撃」(吉野俊宏)
わたしの文化評「女人、四十。」(大形順子)
医師のフィランソロピー 60

「『かくれ里』考」(西浦信博)

医界雑録43

「『東京医会』と『京都医会』(上)」(青柳精一)

あなたもできる健康料理19「もっと根菜を食べましよう」(高橋恭子)

文芸・旅靴94「桐一葉」(岩垣子鹿)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

読者ファックス直送便

10月号予告/編集後記

Talk to Talk

表紙写真「グランド・キャニオン」

泉佐野市 三好宏和

テキスト「脾臓腫瘍性病変の診断」

大阪赤十字病院健康部長 蜂谷 勉

テキスト「病原ウイルスとの闘い エイズを中心に」

大阪大学医学部微生物病研究所教授 栗村 敬

1996年10月(No.354)

ぴーぶる「日本酒、万歳！」

居酒屋「麦太郎」経営 下平嘉信

なにわ医見「開業医の見たキューバの印象」

特集「開業医の見たキューバ」

キューバ・レポート

本当のキューバに触れてみよう

キューバ視察コーディネーター 八木啓代

あの純朴さと優しさをいつまでも

ビデオカメラマン 中村友香

21世紀への“実験国家”キューバ

キューバ視察団団長 平井正也

医師の見たキューバの医療と福祉

キューバ視察団副団長 池田信明

64ヶ国からヘルスツアーが訪れるキューバ

キューバ共和国大使 Ernesto Melendez

キューバ私感

何度も行ってみたい国

キューバ視察団副団長 谷掛駿介

人的資源の豊かなキューバ

西成区 原田慶子

できるなら、キューバで住みたい

河内長野市 筒井喜美代

情勢きびしくとも医療、福祉、教育を優先

川崎市 竹内真弓

うれしかった気さくな往診

大阪商工団体連合会 天野松子

混血

五所川原市 松阪 正

キューバとアメリカ

大阪府保険医協会事務局長 原 文夫

協会だより

10月の予定

8月のこんなこと

支部から地域から「東成支部」

他科に役立つ各科情報	耳鼻科	東成区 植田 彪	9月のこんなこと / 12月の予定 支部から地域から「八尾支部」
こーひーぶれいく「あなたにはスキがある！」		箕面市 涌井慎哉	八尾市 山田真理子
ほんだな『薬害を追う記者たち』		北区 鈴鹿有子	淀川区 和田健太郎
		住之江区 二宮聖耳	東成区 中村正廣
医界雑録44			ほんだな『《マンガ》ナニワ金融道』
「『東京医会』と『京都医会』(下)」(青柳精一)			西淀川区 大野啓文
なにわの郷土史190 なにわの伝説44			医界雑録45「医薬分業抗争の引き金となった薬律の 制定(上)」(青柳精一)
「蓮如と竜美女」(三善貞司)			なにわの郷土史191 なにわの伝説45
勝敗をさぐる236「トリ急ぎが命とりに」(吉野俊宏)			「鶴の子別れ」(三善貞司)
わたしの文化評「絵の中のぼくの村」「キッズリタ ーン」(碧 川)			勝敗をさぐる237
医師のフィランソロピー 61			「一路の違いで形勢損なう」(吉野俊宏)
「『社会科学の方法』考」(西浦信博)			わたしの文化評「あなただけ今晚は」(富田和巳)
あなたもできる健康料理20「低カロリー、食物繊維 が豊富なきのこ料理」(高橋恭子)			医師のフィランソロピー 62
文芸・へちま大将15「三助修行4」(野間 明)			「『神仏習合』考」(西浦信博)
詰碁(本田邦久・詰将棋(有吉道夫))			あなたもできる健康料理21「寒さへの体力づくりは たんぱく質、脂肪が豊富な鮭“Salmon”」(高橋恭子)
読者ファックス直送便			文芸・旅鞆95「綿虫」(岩垣子鹿)
11月号予告 / 編集後記			詰碁(本田邦久・詰将棋(有吉道夫))
表紙の写真「バルデー口海岸」			読者ファックス直送便
		奈良市 谷掛駿介	12月号予告 / 編集後記
テキスト「結核症の『活動性分類』の変更と医療の 『基準』の一部改正について」			表紙の写真「北米の晩秋」
結核予防会大阪府支部結核研究所顧問	亀田和彦		
テキスト「耳鼻科疾患における漢方製剤」			平野区 神野健栄
大阪漢方医学振興財団附属漢方医薬研究所	谿 忠人		済生会中津病院内科 奥田譲治
			高津病院副院長 柿木英佑
1996年11月(No.355)			
ぴーぶる「チェーホフの女性観」			
ワーキング・ウィメンズネットワーク	北川清子		1996年12月(No.356)
なにわ医見「今次改定の特徴と新指導大綱」			ぴーぶる「新薬審査システム見直しを」
特集「情報化時代の診療報酬」			フリーライター 中野温子
情報社会の医療と診療報酬			なにわ医見「21世紀の都市型医療の課題」
		都島区 辻 一省	特集「自治体病院と開業医」
今次改定と医業経営を考える			自治体病院の再確認
96年改定とこれからの病院医療			本誌編集部 野村 拓
望みたい「診療報酬の簡素化」	堺市 川崎美榮子		診療所の求める公民連携
			連携は地域との情報交流から
医者泣かせの診療報酬改定	堺市 赤星伸一		開放型による資源の共同利用を
			泉大津市 三瀬 徹
今次改定～これからの開業医療	北区 八杉 誠		八尾市 松尾美由起
			民間病院の求める病病連携
寝屋川市 川合日出雄			公民連携は可能か
審査委員から見た減点問題			枚方市・佐藤病院院長 佐藤真杉
審査委員から見た減点問題	特に検査に関して		赤字自治体病院は民営化せよ
	泉大津市 紀野 正		八尾市・東朋八尾病院院長 石田文之佑
行政手続き法から見た『新指導大綱』			民間病院の求める医療行政
行政手続き法から見た『新指導大綱』			寝屋川市・小松病院院長 谷 荘吉
	弁護士 河村武信		自治体病院からのメッセージ
協会だより			箕面市における病診連携
なにわ友あれ			箕面市立病院院長 下辻常介
	生野区 大形順子		市立吹田市民病院と病診連携
			吹田市立吹田市民病院院長 那須輝史

インタビュー「地域医療連絡室の10年をふり返って 大阪府立病院副院長・坂口一之先生に聞く」(編集部)
 提言「自治体病院あり方調査から」
 市民参加型の自治体病院を考える 「吹田市民病院のあり方を考える対策委員会」の調査をふまえて

東京都立大学大学院社会科学研究所 川口啓子

協会だより
 なにわ友あれ

枚方市 川島正好

10月のこんなこと / 1月の予定

他科に役立つ各科情報 整形外科

淀川区 田辺暁人

ほんだな『アマニタ・パンセリナ』

東成区 金 文秀

こーひーぶれいく「コオロギの死」

堺市 西川正治

あなたもできる健康料理22(最終回)「老化の進行を

遅らせ、解毒にも効果ありのアワビ」(高橋恭子)

医界雑録(46)「医薬分業抗争の引き金となった薬

律の制定(下)」(青柳精一)

なにわの郷土史192 なにわの伝説46「火の玉 二

魂坊」(三善貞司)

勝敗をさぐる238「黒に生きられ、白追いオトシに」

(吉野俊宏)

わたしの文化評「Dear フレンズ」(大形順子)

医師のフィランソロピー 63「『信長』考」(西浦信博)

文芸・へちま大将16「三助修業5」(野間 明)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

読者ファックス直送便

1月号予告 / 編集後記

表紙の写真「ドームニル湖」

北区 井村昭三

テキスト「うつ病に関する診断と治療管理 生活

療法を中心に」

堺市 亀田英明

テキスト「外来を中心とした感染症と抗菌剤の選び

方 クラミジア感染症」

旭区 中浜 力

1997年1月(No.357)

ぴーぶる「同じ舞台上、同じ瞬間、同じ感動を味わいたい」

アトランタ、バルセロナ・パラリンピック日本代表選手 畑中 和

なにわ医見「現在の医療政策は何色か？」

特集「色」

赤と青と緑とヒトの話

神戸大学医学部教授 中井久夫

エッセイ「色の考察・色への想い」

色を治療する

西区 葛西健一郎

アトピーの肌の色と健康

淀川区 渋谷信治

色の世界 色覚異常者の場合

東淀川区 楠 研二

色眼鏡で色盲を見るな

生野区 原田 清
 色彩

中央区 羽田 同

色・色名帳・色盲表

住之江区 二宮聖耳

パソコンのカラー そのすばらしき世界

松原市 岡田安司

親父とお袋のお色気

堺市 亀田英明

色彩心理学への信頼度

天王寺区 鄭 龍寿

女尊男卑の世界

住之江区 成田一郎

白 心の色

守口市 森口久子

色の雑学

港区 野間 明

千変万化の色

中央区 甲田博和

大阪の花と色

八尾市 堀辺四郎

新春座談会「伝統色とデジタル色の共存時代を生きる」

難波利三 / 河崎晃一 / 近 彩 / 野村 拓

協会だより

なにわ友あれ

東住吉区 中西 弘

11月のこんなこと / 2月の予定

連載こーひーぶれいく「老化への挑戦」

天王寺区 井上 修

勝敗をさぐる239「新春対局」(吉野俊宏)

ほんだな『クルマが優しくなるために』

東成区 植田 彪

なにわの郷土史193なにわの伝説47

「酒乱かしくの誓い」(三善貞司)

わたしの文化評「ラスト・ダンス」「宣告」「デッド

マン・ウォーキング」(碧 川)

医師のフィランソロピー 64

「『ドレフェス事件』を読んで」(西浦信博)

医界雑録47

「新潟県のジフテリア予防心得」(青柳精一)

文芸・旅靴96「雪吊り」(岩垣子鹿)

詰碁(本田邦久)・詰将(有吉道夫)

読者ファックス直送便

2月号予告 / 編集後記

表紙の写真「紅富士」

旭区 加藤甫明

テキスト「眼科からみた脳血管障害」

近畿大学医学部眼科学教室 中尾雄三

1997年2月(No.358)

ぴーぶる「タイトルの難しさ？」

アナウンサー 吉本真樹

なにわ医見「開業医とインターネット」

特集「インターネット時代の開業医」

座談会「もうパソコンとは闘わない」 挫折原因の徹

底解明とアドバイス」

泉 清剛 / 田野忠一 / 森田重治 / 笹川征雄
よくでてるパソコン用語20・よくでてるインターネット用語20

Dr.サッカー

インターネット接続・悪戦苦闘記

岸和田市 中野朝益

私がパソコンにたどりつくまで

生野区 原田 清

私のMACLIFEの変貌 得るべきは身近な相談相手

此花区 口分田真

パソコン回顧歴

浪速区 向井貞三

サッカー先生のやさしいスライド作成

城東区 Dr.サッカー

驚愕したAppleの世界

堺市 岸本知己

パソコンへの「夢 = 望 = 欲」はいっぱい

住吉区 匿名子

使い方次第では優秀な秘書に

貝塚市 高橋 宏

交友関係が一挙に拡大 ネットドクター・どっくの誕生

豊中市 中塚比呂志

ドクターズネットでインターネットに論文発表

城東区 笹川征雄

プラグイン / 正しいフリーズのホームページ

豊中市 森田重治

パソコン使用状況アンケート調査結果 (編集部)

協会だより

なにわ友あれ「阪奈眼科会」

松原市 岡田安司

3月の予定 / 12月のこんなこと

他科に役立つ各科情報 精神科

都島区 古屋顕児

こーひーぶれいく「英語教師から耳鼻科医へ」

箕面市 涌井慎哉

ほんだな『人間を幸福にしない日本というシステム』

天王寺区 鄭 龍寿

医界雑録48

「徴兵令と陸軍医官徴兵検査規則」(青柳精一)

新企画 / 大阪の地酒「上方撰河泉」十一蔵めぐり1

「秋鹿」「清鶴」「國之長」

特派員 箕面市 矢野健一

特派員 豊中市 中村 厚

特派員 高槻市 中村知子

なにわの郷土史194 なにわの伝説48

「道明寺と菅原道真」(三善貞司)

勝敗をさぐる240「攻める時にツケは禁物」(吉野俊宏)

わたしの文化評

「邦画全盛期の巨星墜ちた1996年」(富田和巳)

医師のフィランソロピー 65

「『人形の家』を読んで」(西浦信博)

文芸・へちま大将17「三助修業6」(野間 明)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

読者ファックス直送便 / 地酒プレゼント応募欄

3月号予告 / 編集後記

テキスト「神経難病 パーキンソン病を中心に」

市立堺病院 神経内科部長 土山雅人

1997年3月 (No.359)

ぴーぷる「私の、歌わねばならぬ歌は」

大阪民衆史研究会事務局長 松浦由美子

なにわ医見「小児科凋落? とんでもない」

特集「少年時代の開業医」

少年高齢社会の課題

少年高齢社会と女性

静岡大学人文学部教授 藤岡光夫

少年社会の開業医の役割

少年社会に開業医は何ができるか

枚方市 大林一彦

少年社会への私の実践

父母や保育園、保健所とともに地域の子育てを応援

堺市 山上佳代子

少年時代の乳幼児健診の問題点

吹田市 小谷 泰

診療の場で感じていること

吹田市 木村弘子

後期健診とかかりつけ医の役割

門真市 馬場宏一

保育園囁託医から見た子育て支援の課題

箕面市 久原良躬

病院の子育て支援

市立枚方市民病院 小國龍也

なにわ友あれ「京阪沿線臨床懇談会」

交野市 住江憲勇

他科に役立つ各科情報 小児科「新生児重症水痘に対する静注用免疫グロブリンとアシクロピルの併用療法」

門真市 馬場宏一

ほんだな『近視を治す』

松原市 岡田安司

ほんだな『医者もつらいよ Part1』

生野区 佐藤一夫

こーひーぶれいく「どもる子は、百舌の踏む枝で打つ」

大東市 矢野健一

医界雑録49「明治前期の医学校の推移」(青柳精一)

大阪の地酒「上方撰河泉」十一蔵めぐり2

「利休梅」「片野桜」

特派員 枚方市 米良博量

特派員 交野市 西井 正

なにわの郷土史195なにわの伝説49

「道真の愛娘 苅谷姫」(三善貞司)

勝敗をさぐる241

「自らの断点守って分断狙う」(吉野俊宏)

わたしの文化評「マイルーム」(大形順子)

医師のフィランソロピー (66)「『福翁自伝』を読んで」(西浦信博)

文芸・旅靴97「初蝶」(岩垣子鹿)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

協会だより / Talk to Talk

読者ファックス直送便/地酒プレゼント応募欄

4月の予定/1月のこんなこと

4月号予告/編集後記

表紙の写真「残照の昆陽池」

豊中市 森田重治

テキスト「気管支喘息の治療」

大阪市立大学第一内科講師 平田一人

テキスト「神経難病 パーキンソン病を中心に」

市立堺病院神経内科部長 土山雅人

1997年4月(No.360)

ぴーぶる「テレビ時代のアナウンサー」

アナウンサー 加藤康裕

なにわ医見「在宅療養の条件」

特集「在宅療養の条件を探る」

「在宅訪問患者実態調査」結果が示すもの

堺市 赤星伸一

在宅寝たきり患者半年後の転帰に及ぼす要因

港区 倉澤高志

在宅患者の現状と私の提言

酸素療法で著しく改善された日常生活

羽曳野市 江藤琢磨

在宅医療開始10ヵ月

岸和田市 出水 明

ネットワーク機能をもつ病院づくり

高石市 上野 浩

もっと在宅医療の積極面のPRを

住吉区 河野照隆

自己完結型システムから

ネットワーク作りへの提言

八尾市 阪本 登

連携で支える在宅ケア

千早赤阪村 植田 豊

在宅ガン患者と私の提言

和泉市 梅田信一郎

座談会「連携でつくる在宅療養の条件」

寺下久代/小藤田浩美/

中村恵子/久保田宣代/倉澤高志

「ケア付き仮設」が示した在宅療養の条件

芦屋市における「グループホーム型住宅」の実験

本誌編集部 田村 清

なにわ友あれ「カメラ同好会」

泉佐野市 新山昭次

他科に役立つ各科情報 泌尿器科 「乏尿、瀕尿」

淀川区 河西宏信

こーひーぶれいく「水草水槽」

豊中市 岡部 弘

ほんだな『医療から見た阪神大震災』

住之江区 二宮聖耳

ほんだな『最後まで家にいられる在宅ケア』

八尾市 山田真理子

なにわの郷土史196 なにわの伝説50

「箕面と役行者1」(三善貞司)

勝敗をさぐる242

「『利き』が利かずに大石トン死」(吉野俊宏)

医界雑録50「ある公立医学校の興廃」(青柳精一)

わたしの文化評

「マイケル・コリンズ」「大地と自由」(碧 川)

医師のフィランソロピー 67

「『蓮如』を読んで」(西浦信博)

大阪の地酒「上方摂河泉」十一蔵めぐり3

「長龍」「近つ飛鳥」「天野酒」

特派員 八尾市 堀辺四郎

特派員 松原市 岡田安司

特派員 大阪市大病院 青野勝成

文芸・へちま大将18「三助修業7」(野間 明)

詰碁(本田邦久)・詰将(有吉道夫)

協会だより

読者ファックス直送便/地酒プレゼント応募欄

4~5月の予定/2月のこんなこと

Talk to Talk

5月号予告/編集後記

表紙の写真「姫路城」

泉佐野市 新山昭次

テキスト「老年病~老年者の医原性疾患」

大阪大学医学部老年病医学教室 森本茂人

テキスト「熱傷の局所療法について」

大阪市立総合医療センター皮膚科部長 鈴木伸典

1997年5月(No.361)

ぴーぶる「紹介したい韓国のエネルギー」

大阪自治体問題研究所事務局長 織原 泰

なにわ医見「院内情報共有化の時代」

特集「院内情報共有化の時代」

院内情報の共有 所長の覚え書

東城区いまざと診療所 植田 彪

「評価票」で“共有”内容を検証

守口市京阪病院 西浦信博

院内LANと人 人関係の両立をめざして

八尾市医真会八尾総合病院 森 功

基本方針の確立と目的意識の共有 ツールとしての

院内ネットワークの構築

羽曳野市 島田永和

在宅診療における情報共有の必要性

八尾市 木野田茂

診療・経営情報を含めた情報共有

堺市 田崎貞雄

医療情勢の院内共有化

交野市 住江憲勇

国民のための医療情報の共有化を考える

堺市 後藤 弘

投稿「臓器移植法成立により医療保険政策はどう変わるか」

生野区菜の花診療所 山口研一郎

なにわ友あれ「無名シャンソエの集い」

豊中市 森田重治

他科に役立つ各科情報 耳鼻科「聴性脳幹反応」

大東市 上川敏晴

ほんだな『少年H』

住之江区 二宮聖耳

ほんだな『漢方診療のレッスン』

箕面市 涌井慎哉
こーひーぶれいく「今夜の肴は？」

豊中市 中村 厚
大阪の地酒「上方摂河泉」十一蔵めぐり4（最終回）
「三輪福」「都 娘」「浪花正宗」

特派員 泉大津市 紀野正
特派員 高槻市 東原康雄

特派員 吟譲酒蔵みゅーじあむ館長 成岡貞翁
特派員 阪南市 松若栄三

医界雑録51「長谷川泰と済生学舎（上）」（青柳精一）
なにわの郷土史197

なにわの伝説51「箕面と役行者2」（三善貞司）
勝敗をさぐる243「攻めすぎて形勢を損なう」（吉野俊宏）

わたしの文化評「映画とタマゴッチ」（富田和巳）
医師のフィランソロピー 68

「『敗者の条件』を読んで」（西浦信博）

文芸・旅鞆98「桐の花」（岩垣子鹿）

詰碁（本田邦久）・詰将（有吉道夫）

協会だより / Talk to Talk

5～6月の予定 / 3月のこんなこと

読者ファックス直送便 / 地酒プレゼント応募欄

6月号予告 / 編集後記

表紙の写真「花菖蒲」

平野区 神野健栄
テキスト「主婦湿疹 手あれなどを中心に」

近畿大学皮膚科学教室教授 手塚 正
テキスト「臨床家のためのフリーラジカルの知識」
京都府立医科大学第一内科教授 近藤元治

1997年6月（No.362）

ぴーぶる「ブナの森を撮る」

写真家 岡田 満
なにわ医見「医薬品・薬価問題と開業医の取り組み」
特集「医薬品・薬価問題の中期展望」
「薬価・医薬品問題と開業医」

大阪府保険医協会副理事長 細川一眞
薬害監視機構の設立と医薬品適正使用の課題

医薬ビジネスセンター（JIP）所長 浜 六郎
コクラン協同計画について『日本におけるコクラン協同計画導入の意義』

大阪府立成人病センター薬剤部 丁 元鎮
Japanese Drugs and the Unholy Triumvirate
（抄訳 / 日本の薬 官・業・学の構造癒着に解決策はあるか？）

カリフォルニア大学 Brian Woodall and Aki Yoshikawa
翻訳（丁 元鎮）

薬価の“二重構造”とその改革 後発品団体からの提言
日本医薬品販社協会副会長 山本雅庸

記者から見た新薬治験の問題点
毎日新聞科学環境部・記者 鯨岡秀紀

なにわ友あれ「大阪市南西地区『寄り合い会』」
西成区 保川 淳

他科に役立つ各科情報 皮膚科「薬物中心から全人的医療へ～アトピー性皮膚炎」

淀川区 渋谷信治
ほんだな『不登校克服マニュアル』

吹田市 木村弘子
ほんだな『追いつめられたブナ原生林の輝き』

城東区 木之下美佐子
こーひーぶれいく「延々と続く青春」

淀川区 和田健太郎
医界雑録52「長谷川泰と済生学舎（下）」（青柳精一）

なにわの郷土史198 なにわの伝説52
「久米田池と乙御前」（三善貞司）

勝敗をさぐる244
「無用のがんばりで勝機を逸す」（吉野俊宏）

わたしの文化評「秘密と嘘」（大形順子）
医師のフィランソロピー 69「『ふぉん・しいほととの娘』を読んで」（西浦信博）

文芸・へちま大将19「三助修業8」（野間 明）

詰碁（本田邦久）・詰将棋（有吉道夫）

投稿「4月のオーガスタ」

吹田市 菊井知子
協会だより

7月の予定 / 4月のこんなこと

Talk to Talk

読者ファックス直送便

7月号予告 / 編集後記

表紙の写真「都市空間」

東大阪市 武田貞彦
テキスト「めまいの鑑別と治療」

北野病院神経内科部長 今井輝國

1997年7月（No.363）

ぴーぶる「デジタルとアナログ」
グラフィック・デザイナー 村上愛子

なにわ医見「『O157』と開業医の課題」
特集「O157 1年目の検証」

インタビュー「改めてO157を問う 大阪市立大学細菌学教室・矢野郁也教授に聞く」

聞き手・本誌編集委員 中村 厚
O157の診断と治療

腸管出血性大腸菌O157：H7感染症の診断・治療
大阪市立総合医療センター小児救急科 塩見正司

救急医療情報センターから見た問題点と課題
大阪府救急医療情報センター所長 鶴原常雄

医療システムは整備されたか
大阪市立大学医学部附属病院人工腎部 山上征二

O157 私の経験
望まれる情報伝達・交換方法の改善

堺市 西垣正憲
腹痛、下痢はすべてO157か？

堺市 藤森次勝
安全性を優先する学校給食に

耳原鳳こども診療所 岡本裕宏
暑さとともに思い出す

耳原南花診療所 山上佳代子
2次救急体制の整備を
ベルランド総合病院小児科 大島利夫

O157の「出生の秘密」を探る

中央区 羽田 回

小特集「環境と人体」
はじめに

西淀川区 藤森 弘

電磁波と人体

京都大学工学部 荻野晃也

今後、臨床の場で問題になるシックハウス

シックハウスを考える会代表 上原裕之

なにわ友あれ「水墨画教室」

平野区 鈴川精一

他科に役立つ各科情報 産婦人科「妊娠初期の投
薬、X線撮影のポイント」

阿倍野区 都倉康正

ほんだな『細菌の逆襲』

生野区 佐藤一夫

ほんだな『ユング心理学と仏教』

池田市 水沢富一

こーひーぶれいく「ただいま、夢中です」

守口市 森口久子

医界雑録53「生涯に23万人もの種痘をした大野松
斎」(青柳精一)

なにわの郷土史199 なにわの伝説53

「俊徳丸の故郷」(三善貞司)

勝敗をさぐる245

「分断して三方攻めの態勢に」(吉野俊宏)

わたしの文化評

「ミルドレッド」「秘密と嘘」(碧 川)

医師のフィランソロピー 70

「『中世の刻印』を読んで」(西浦信博)

文芸・旅靴99「水馬」(岩垣子鹿)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

視点・論点「作文から現実へ」

本誌顧問 野村 拓

協会だより

9月号原稿募集

8月の予定

5月のこんなこと

読者ファックス直送便

8月号予告/編集後記

表紙の写真「紅舞妃蓮」

泉佐野市 三次宏和

テキスト「食中毒の診断と治療」

近畿大学医学部小児科 森口直彦

1997年8月(No.364)

ぴーぶる「民族性が歴史的か」

留学生 董 宛蓉

なにわ医見「厚生省の生い立ちと、いま」

特集「遺暦を迎えた厚生省」

談話「地方分権時代の厚生行政を問う」

立命館大学政策科学部教授 宮本憲一

日本の社会保障と厚生省～厚生省は何を“保障”し
てきたのか

専修大学教授 西岡幸泰

遺暦厚生省と日医の浮き沈み

本誌編集部 野村 拓

厚生省と「官益」法人～利権に群がる厚生族

毎日新聞東京本社社会部記者 尾崎 敦

労働者から見た厚生省

全日本国立医療労働組合委員長 遠山 亨

平和特集・特別寄稿

日本の極秘舞台とGHQの交錯点・帝銀事件

現代センター代表 吉永春子

なにわ友あれ「堺市医師会/パソコン研究会」

堺市 入江正治

他科に役立つ各科情報・眼科「眼底検査のススメ」

八尾市 釜平数男

こーひーぶれいく「子供の教育」

門真市 古川浩三

医界雑録54「呉軍港の開設と明廿会(上)」(青柳精一)
なにわの郷土史200 なにわの伝説54

「業平の一節切笛」(三善貞司)

勝敗をさぐる246

「オサエに手抜きしたのが敗着に」(吉野俊宏)

わたしの文化評「映画音楽と黛敏郎」(富田和巳)

ほんだな『医療と福祉の経済システム』

守口市 二村省三

医師のフィランソロピー 71

「『竹取物語』を読んで」(西浦信博)

文芸・へちま大将20「小間物屋万吉1」(野間 明)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

読者ファックス直送便

9月の予定

6月のこんなこと

Talk to Talk

9月号予告/編集後記

表紙の写真「大阪国際帆船レース1997」

平野区 神野健栄

テキスト「足の捻挫～診断と治療の落とし穴」

大阪医科大学整形外科助教授 木下光雄

1997年9月(No.366)

ぴーぶる「父親のお話」

「南河内万歳一座」座長 内藤裕敬

なにわ医見「医者のお店じまい」

特集「医者のお店じまい」

インタビュー「“保険医定年制”と開業医のリタイ

ア 奈良県立医科大学・藤崎和彦先生に聞く」

聞き手/本誌編集部 田村 清

セルフ・レポート

自分で決めた70歳定年の退業

生野区 佐藤一夫

医者のお店ジマイ顛末記

奈良市 糸井壮三

“きっかけ”のほしい店仕舞い

寝屋川市 堤 俊郎

医者とは男子一生の仕事か?

泉大津市 河合秀郎

ジパングへの旅を求めて

わが第3の人生への願望

と変遷

住吉区 守田由雄
鼎談「開業医のリタイアを考える」
田坂 茂 / 高尾良昭 / 中村 厚

アドバイス
閉院、その税務

税理士 古田啓祐
閉院に伴う医療機器の処遇について
グリーンホスピタルサプライ(株) 小林宏行
なにわ友あれ「第19回保険医囲碁大会のご案内」
他科に役立つ各科情報 内科「在宅酸素療法の仕
組み」

守口市 森口久子
こーひーぶれいく「お酒の楽しみ」

吹田市 原 泰志
医界雑録55「呉軍港の開設と明廿会(下)」(青柳精一)
なにわの郷土史201 なにわの伝説55

「お初・徳兵衛」(三善貞司)
勝敗をさぐる247
「白石の少ないうちに主導権をとる」(吉野俊宏)
わたしの文化評「ペダルドゥース」(大形順子)
医師のフィランソロピー 73『『大阪の原形』を読んで』(西浦信博)
ほんだな『差出名のない手紙』

住吉区 守田由雄
文芸・旅靴(100・終章)「秋」(岩垣子鹿)
詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
協会だより
10月の予定 / 7月のこんなこと
読者ファックス直送便
10月号予告 / 編集後記
表紙の写真「奈良公園にて」

堺市 近藤宏和
テキスト「臨床医のための活性酸素の知識」
群馬大学医学部皮膚科 宮地良樹

1997年10月(No.367)

ぴーぶる「ばあちゃんのこと」
パフォーマー 上条あかね
なにわ医見「これからの老人医療と病院・開業医」
特集「これからの老人医療」
高齢者医療を考える

日本経済新聞編集委員 佐野正人
第7回在宅ケア交流会から
「連携の時代」の到来～第7回在宅ケア交流会のまとめ
地域医療対策部部长 倉澤高志
独居の痴呆性老人を支える連携の試み

港区 杉本知恵子
訪問看護と地域サービスの“集中実施”で治癒した疥癬

堺市 飯坂和子
住宅改造とチームケアで支えた困難事例

生野区 中西弘子
コンプライアンスを高める訪問服薬指導

高槻市 成田妙子
在宅移行に際して求められるフィードバックシステム

八尾徳洲会病院 野木由紀恵
退院後に運動機能を著しく改善した2症例

堺市 赤星伸一
33回のポケベルコールの分析

和泉市 梅田信一郎
老人の嚥下障害を考える

浪速区 向井貞三
なにわ友あれ「東住吉・平野支部臨床研究懇談会」

平野区 村田 進
他科に役立つ各科情報 耳鼻科「補聴器の有用性」

大阪狭山市 林 治博
こーひーぶれいく「ちょっと待てよ」

枚方市 関根康弘
医界雑録56「大日本私立衛生会」(青柳精一)

なにわの郷土史202 なにわの伝説56
「小春・治兵衛」(三善貞司)

勝敗をさぐる248
「打ち込みのチャンスを逃さない」(吉野俊宏)

わたしの文化評「ものけ姫」「ヘラクレス」「ジャ
ングル大帝」(碧 川)
ほんだな『活性酸素物語』

守口市 森口久子
医師のフィランソロピー 73『『人生後半のための知
的紳士学』を読んで』(西浦信博)

文芸・へちま大将21「小間物屋万吉2」(野間 明)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
Talk to Talk

11月の予定 / 8月のこんなこと
読者ファックス直送便

11月号予告 / 編集後記
表紙の写真

「晩秋」
加藤甫明

テキスト「C型肝炎ウイルスによる慢性肝疾患の現
況と診療について」

大阪医科大学第一内科 福田 彰

1997年11月(No.368)

ぴーぶる「日本囲碁界の未来づくり」
関西棋院七段 滝口政季

なにわ医見「医薬分業と人生のフォーマット」
特集「医薬の分業と協業」

医薬分業と医学・薬学教育
府立成人病センター 丁 元鎮

インタビュー「医薬分業の課題とノウハウ 原豊
人先生(都島区)・中村陽一先生(旭区)に聞く」

インタビュー・本誌編集委員 笹川征雄
鼎談「患者・薬剤師・医師から見た医薬の分業と協業」

辻本好子 / 児玉孝 / 紀野正
各科別に見た医薬分業

内科医の独り言
東大阪市 岡本雅之

医薬分業指向への疑問
平野区 海野勝利

院内薬剤師と調剤薬局の技術料格差

堺市 片桐真二
 破産宣告被害者
 東大阪市 綾仁信夫
 二重チェックで処方ミスを防ぐ
 阪南市 天野雅弘
 合同勉強会で理解を深める
 枚方市 山田 薫
 “情報アンテナショップ”としての調剤薬局
 守口市 大月博視
 私が分業をしない理由
 都島区 古屋穎児
 インタビュー “面分業”に乗り出す枚方市の課題
 川島正好(枚方市医師会副会長)・中西光景(枚方市薬剤師会会長)両氏に聞く
 インタビュアー 紀野 正
 質問状への回答 「医薬分業」への疑問に答える
 大阪府薬剤師会副会長 児玉 孝
 なにわ友あれ「男の料理教室」
 守口市 金森 昭
 他科に役立つ各科情報 内科「定量噴霧式吸入器
 にはスパーサーの使用を」
 西成区 保川 淳
 こーひーぶれいく「発作」
 守口市 二村省三
 医界雑録57
 「北里柴三郎と福沢諭吉(上)」(青柳精一)
 なにわの郷土史203 なにわの伝説57「お夏・清十郎」(三善貞司)
 勝敗をさぐる249
 「どちらにカケツグか？」(吉野俊宏)
 わたしの文化評「本物の映画づくりに徹したジンネンマン」(富田和巳)
 医師のフィランソロピー 75
 「『枯葉』を読んで」(西浦信博)
 ほんだな『もっとええまち・堺へ』
 住之江区 二宮聖耳
 詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
 12月の予定/9月のこんなこと
 読者ファックス直送便
 12月号予告/編集後記
 表紙の写真「尾瀬ガ原」
 淀川区 安保立郎
 テキスト「骨粗鬆症の最近の診断と治療」
 近畿大学医学部整形外科 宗圓 聡
 1997年12月(No.369)
 ぴーぶる「再会」
 「劇団青い森」制作部部长 乾奈津子
 なにわ医見「ブルースとワルツ」
 特集「伝染病予防法100年」
 明治政府のShall We Dance～伝染病予防法前史～
 本誌編集部 野村 拓
 隔離の思想
 愛知県・瀬戸市 神谷昭典
 もうひとつの隔離～精神病患者監護法など

都島区 古屋穎児
 花柳病および虎眼の運命
 豊中市 長門谷洋治
 寄生虫病予防の今昔
 大阪大学名誉教授 中林敏夫
 医師の届け出義務と伝染病予防法
 大阪市立総合医療センター感染症センター 阪上賀洋
 日本の国際化と新興・再興感染症
 東京都立駒込病院感染症科・部長 増田剛太
 国際化時代の「検疫」と日本の安全
 静岡県環境衛生化学研究所所長 中村信也
 結核はなぜ別か
 寝屋川市 小松良夫
 「エイズ予防法」批判 過去の反省から、患者の人権保障へ
 岩波書店 前田丈志
 なにわ友あれ「わたしの山友達」
 平野区 平井初美
 他科に役立つ各科情報 小児科「『いいじゃん』時代のマスコミと医師」
 西区 富田和巳
 こーひーぶれいく「売れない聴診器」
 東住吉区 西谷昌也
 医界雑録58
 「北里柴三郎と福沢諭吉(下)」(青柳精一)
 なにわの郷土史204 なにわの伝説58
 「太融寺の淀君墓」(三善貞司)
 勝敗をさぐる250「どちらからアテるか」(吉野俊宏)
 わたしの文化評「百合の伝説」「プエノスアイレス」
 「ペント」(碧川)
 ほんだな『親と教師のための覚醒剤問題入門』
 西谷宣雄
 ほんだな『歴史は病気でつくられる』
 編集部 野村 拓
 医師のフィランソロピー 75「『日本語相談』を読んで」(西浦信博)
 文芸・へちま大将22「小間物屋万吉3」(野間 明)
 詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
 1997年総索引
 1月の予定/10月のこんなこと
 読者ファックス直送便
 1月号予告/編集後記
 表紙の写真「バリ風景」
 北区 井村昭三
 テキスト「大腸癌の疫学・検診と早期癌の診断」
 健奈良大腸肛門病センター 稲次直樹ほか
 1998年1月号(No.370)
 ぴーぶる「『図書と情報の館』への誘い」
 大阪市立大学学術情報総合センター
 1993年職員 川嶋義治
 なにわ医見「旬～煮ても焼いても」
 特集「旬」
 巻頭エッセイ「『旬』を楽しむ」
 天王寺区 藤岡義孝

- 22歳の独言
大阪大学医学部 飯島祐紀
- 6進法の旬
八尾市 堀辺四郎
- 旬の社会学
名張市 野村 拓
- しゅん? じゅん?
住之江区 二宮聖耳
- 美しき旬に死す
阪南市 上野山謙四郎
- 旬と感性
住吉区 守田由雄
- 同窓の旬
泉大津市 紀野 正
- 転換の時代
豊中区 西澤芳男
- 新春座談会「旬のある暮らしと街の再生」
野島五兵衛/稲浦 昂/吉田 薫/野村 拓
なにわ友あれ「うたごえ祭典」
大阪府歯科保険医協会 松本千里
- 他科に役立つ各科情報 皮膚科「上手に使う皮膚科コンサルタント」
守口市 二村省三
- こーひーぶれいく「ホームページを開いて」
枚方市 鶴原秀晃
- 医界雑録59「世に言う『漢洋脚気相撲』」(青柳精一)
勝敗をさぐる251「新春対局」(吉野俊宏)
なにわの郷土史205 なにわの伝説59
「御利益あれこれ1」(三善貞司)
わたしの文化評「NY検事局」「張込み」(大形順子)
医師のフィランソロビー76
「『蘆火野』を読んで」(西浦信博)
ほんだな『インデペンデンス・デイ』
豊中市 岡部 弘
- 詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
読者ファックス直送便
2月の予定/11月のこんなこと
Talk to Talk
2月号予告/編集後記
表紙の写真「釧路湿原の鶴」
泉佐野市 新山昭次
大阪赤十字HP副院長 神原啓文
- 1998年2月号(No.371)
ぴーぶる「しろとと集団 夢の家づくり」
淡路島つどいの家AIオーナー 柿崎浩子
なにわ医見「国際化時代と外国人医療」
特集「外国人医療が問うているもの」
座談会「『外国人医療』問題が問う“日本医療の問題点”」
石村孝夫/高橋研一/植田恭子/横山雅子/金谷邦夫
外国人の医療福祉制度の現状と問題点
AMDA国際医療情報センター関西代表 宮地尚子
医療ソーシャルワーカーから見た外国人医療の問題点
- 生野区 洪 東基
「オリンピック」前にまず大阪がなすべきこと
多文化共生センター代表 田村太郎
インタビュー「『AMDA国際医療情報センター関西』に関わって 東成区・福川隆先生に聞く」
聞き手/本誌編集委員 岡部 弘
国際化で求められるインフォームド・コンセント
枚方市 岩浅義彦
- Kさんのこと
枚方市 窪田 豊
- 異文化圏の心の治療から学んだもの
中央区 前久保邦明
- 言語、風習、信頼関係からみた外国人医療
北区 石井 豊
- 浮き彫りになった日本の医療制度の問題
北区 八杉 誠
- 何人に限らず丁寧に診察しよく説明する
堺市 澤田 出
- 呼びかけ「英語の話せる専門医のネットワーク化」
天王寺区 河本俊樹
- なにわ友あれ「こころに優しく寄り添って」
八尾市 渡辺奈津
- 他科に役立つ各科情報 小児科「川崎病既往者のキャリアオーバー」
東大阪市 小川 實
- こーひーぶれいく「業務マニュアルに思うこと」
東住吉区 馬野隆信
- 医界雑録60「脚気をめぐる兵食論争1」(青柳精一)
勝敗をさぐる252
「タネ石を大切にしてお断する」(吉野俊宏)
なにわの郷土史206 なにわの伝説60
「御利益あれこれ2」(三善貞司)
わたしの文化評「昨年を振り返って～亡くなった人々と映像の怖さ」(富田和巳)
医師のフィランソロビー77「『日本語根ほり葉ほり』を読んで」(西浦信博)
ほんだな『平気で嘘をつく人たち』
中央区 羽田 同
- ほんだな『ひとときあかし』
豊中市 森田重治
- 文芸・へちま大将23「小間物屋万吉4」(野間 明)
詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
3月の予定/12月のこんなこと
Talk to Talk/読者ファックス直送便
3月号予告/編集後記
テキスト「糖尿病薬物治療の新たな展開」
大阪医科大学第一内科 北岡治子
- 表紙の写真「春を待つ」
旭区 加藤甫明
- 1998年3月号(No.372)
ピープル「迎え酒」
金蘭短期大学助教授 貴志雅之
なにわ医見「老人デイケアをめぐる問題点」
特集「老人デイケア」

小規模デイケアの到達点と今後の課題

在宅医療と老人デイケア
堺市 赤星伸一

福祉デイサービスとの連携と協業
栃木県小山市 太田秀樹

沖縄レポート「沖縄老人デイケア問題を考える」
鳥取県東伯郡 森本益雄

沖縄県・沖縄協同病院 佐久川明美
「老人デイケア実践交流会」レポート

在宅ケアにおけるデイケアの位置と課題
高槻市 中嶋啓子

運動・作業レクに力を入れて
泉大津市 谷川浩二

手話を取り入れたデイケア
守口市 藤立美紀

“遊びりテーション”の威力
城東区 中川智恵美

連携で広げる生活の場
高槻市 川田真由美

「浜松方式」で効果をチェック
寝屋川市 山本サト子

重介護を支えるデイケア
西淀川区 水野結子

自立をめざしたマネジメント
八尾市 岡橋まさえ

投稿我々老人のなすべき課題
寝屋川市 堤 俊郎

なにわ友あれ「我が町の24時間連携の歩み」
箕面市 武田勝文

他科に役立つ各科情報 眼科「糖尿病網膜症」
枚方市 米良博量

こーひーぶれいく「古いカセットテープ」
大阪狭山市 林 治博

医界雑録61「脚気をめぐる兵食論争2」(青柳精一)
勝敗をさぐる253

「ツケコシー発で勝負は決まり」(吉野俊宏)
なにわの郷土史207 なにわの伝説61「御利益あれ

これ3」(三善貞司)
わたしの文化評「プラス！」(大形順子)

ほんだな『奪われし未来』
京都市 西谷宣雄

ほんだな『働きながらの介護術』
港区 倉澤高志

医師のフィランソロピー78「『最後の葉』を読んで」(西浦信博)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
4月の予定/1月のこんなこと

4月号予告/編集後記
テキスト「炎症性腸疾患の成因と治療」

彦板中央病院内科 内藤裕二
表紙写真「南九州・指宿」

淀川区 川浪暎二

1998年4月号(No.373)
ピープル「青空住職として」

出雲大社教布教師・京都仏教会会議員 影山薫
なにわ医見「医師会にはない協会の魅力」

特集「わたしの協会ガイド 21世紀の協会像を探る」
イラスト「協会パノラマ図鑑」

漫画家 高宮信一
協会の魅力一挙公開 21世紀担う若手メッセージ

『大阪保険医雑誌』21世紀への誘い
豊中市 中村 厚

診療所の舵取りのヒントになる内科部会
東大阪市 岡本雅之

私と共済部 共済部ってどんなところ?
西成区 保川 淳

開業医のトータルサポート組織めざして
生野区 小林将秀

問題点と対策がいちはやくわかる魅力
富田林市 小川雅昭

患者の利益と合致する新しい運動を
箕面市 武田勝文

私が協会に関わっているわけ
北区 八杉 誠

悪夢と夢と
都島区 原 豊人

女性も参加した教室に
枚方市 山中元滋

女であることを楽しみたい
八尾市 渡辺奈津

“ウォッチャー”から見た協会像
「情報秘匿」だらけの医療界改革を ジャーナリ

ズムの立場から
朝日新聞・編集部員 田辺 功

3巨人の欠点を乗り越える協会 研究者の立場から

神戸大学 二宮厚美
ベテランからの「21世紀提言」

私の協会小史 保険医協会の存在理由を考える
都島区 辻 一省

経済学・社会学の専門家も引き入れて
寝屋川市 堤 俊郎

「保険で良い医療を」を要に
八尾市 貴島和彦

なにわ友あれ「ホームメイド写真入り名刺」
平野区 細野 孟

他科に役立つ各科情報 耳鼻科「よくある耳鼻科
疾患との遭遇」

豊中市 赤植孝慶
こーひーぶれいく「『新人開業医』のボヤキ」

東大阪市 酒井宏純
医界雑録62「脚気をめぐる兵食論争3」(青柳精一)

勝敗をさぐる254
「カラミ攻めのチャンス失う」(吉野俊宏)

なにわの郷土史208 なにわの伝説62
「御利益あれこれ4」(三善貞司)

わたしの文化評「アミスタッド」ほか(碧 川)
ほんだな『あきらめないで脳卒中』

平野区 神野健栄

医師のフィランソロピー 79

「『木』を読んで」(西浦信博)
創作「ドングリ村の悔悟保険」

福島区 菊井知子

文芸・へちま大将24「小間物屋万吉5」(野間 明)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

読者ファクス直送便

5月の予定/2月のこんなこと

5月号予告/編集後記

テキスト「チームで取り組む在宅酸素療法」

耳原総合病院副院長 川崎美榮子

表紙の写真「粉河寺の落ち椿」

東大阪市 武田貞彦

1998年5月号(No.374)

ピープル「坂道の被災マンション」

元・毎日新聞編集委員 津田 康

なにわ医見「臨床の質と専門医・認定医制度」

特集「専門医・認定医制度と開業医」

インタビュー「開業医の『専門性』と専門医・認定医 藤崎和彦先生(奈良県立医科大・衛生学)に聞く」

インタビュアー・本誌編集部 田村 清

「専門医・認定医制度と日本の医療改革 石村孝夫先生(日本内科学会認定内科専門医会顧問)に聞く」

インタビュアー・本誌編集部 中村 厚

「アメリカの専門医制度と医療 村田雄二先生(大阪大学産婦人科教授)に聞く」

インタビュアー・本誌編集部 菊井知子

私が専門医を取ったわけ

産業医からみた専門医・認定医

三田工業(株) 中嶋千晶

資料「各学会における専門医・認定医制度」

資料「加盟学会の認定医・専門医等の現在数一覧表」

資料「学会認定(専門)医制概要一覧」

シリーズ「現代を考える」

「おかしいぞ? 日本の公共事業(上)」

中山 徹先生(奈良女子大学助教授)に聞く

インタビュアー・本誌編集部 田村 清

なにわ友あれ「本場中国の医師も交えて研鑽」

箕面市 池尻研治

他科に役立つ各科情報 内科「血糖、尿糖のチェックのすすめ」

東大阪市 岡本雅之

こーひーぶれいく「AT互換機パソコンの組み立て」

東大阪市 箕輪恵次

医界雑録63「脚気をめぐる兵食論争4」(青柳精一)

勝敗をさぐる255

「『絶対の先手』には悪手が多い」(吉野俊宏)

なにわの郷土史209なにわの伝説63

「御利益あれこれ5」(三善貞司)

わたしの文化評「先住民とインディアン」(富田和巳)

ほんだな『あんちとえんぴちゅとだい』

都島区 辻 一省

ほんだな『うつ病患者と家族の支援ガイド』

都島区 古屋頼兒

医師のフィランソロピー 80

「『納棺夫日記』を読んで」(西浦信博)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

6月の予定/3月のこんなこと

読者ファクス直送便

Talk to Talk

7月号予告/編集後記

テキスト「虚血性心臓病の治療」

大阪警察病院心臓センター

児玉和久

表紙の写真「旧古河庭園」

淀川区 安保立郎

1998年6月号(No.375)

ピープル「文化(?)について」

大阪音楽大学作曲科教授 植野正敏

なにわ医見「騒音と虚構の世代」

特集「音楽・音環境と医療」

医療と音環境

医療における音環境

大阪工業大学助教授 中嶋鴻毅

医者から見た音楽・音環境

北区 正岡 昭

音楽療法の動向を中心に

医療における音楽の有効性

国立音楽大学教授 村井靖児

福祉施策としての音楽療法

奈良市音楽療法推進室 荒井敦子

音楽療法のすそ野を広げる 岐阜県音楽療法研究所・

門間陽子さんに聞く

インタビュアー 中嶋鴻毅

期待される音楽運動療法

東大阪市 前田行雄

音楽アラカルト

クラシック音楽家たちの死因

高槻市 高橋信之

流行らずじまいの「衛生唱歌」

豊中市 長戸谷洋治

コンピュータの音楽

Dr.サッカー

シリーズ「現代を考える」

「おかしいぞ? 日本の公共事業(下)」

中山徹先生(奈良女子大学助教授)に聞く

インタビュアー・本誌編集部 田村 清

なにわ友あれ「医事判例を学ぶ」

北区 田邊 昇

他科に役立つ各科情報 整形外科「テーピングの適応と限界」

淀川区 田辺暁人

こーひーぶれいく「海へのいざない スキューバ・

ダイビング」

東大阪市 岡本雅之

医界雑録64「脚気をめぐる兵食論争5」(青柳精一)

勝敗をさぐる256「トっていた黒の大石」(吉野俊宏)

なにわの郷土史210 なにわの伝説64

「ご利益あれこれ6」(三善貞司)

わたしの文化評「ユキエ」(大形順子)
ほんだな『操られる生と死』

豊中市 岡部 弘

ほんだな『切支丹時代』

京都市 西谷宣雄

医師のフィランソロピー 81 「『高齢者ボランティアの挑戦』を読んで」(西浦信博)

文芸・へちま大将25 「小間物屋万吉6」(野間 明)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

うえさんの審査一口メモ

7月の予定/4月のこんなこと

7月号予告/編集後記

テキスト「外来診療で注意を要する手の外傷と治療法」

関西医科大学整形外科講師 南川義隆

表紙の写真「霧のタージ・マハル」

平野区 吉田一雄

「ご利益あれこれ7」(三善貞司)

わたしの文化評「絆」「ピヨン・サイレンス」「世界の始まりへの旅」(碧川)

ほんだな『くまもと水防人物誌』

熊本協会 橋口英夫

ほんだな『おっと どっこい』

住吉区 守田由雄

医師のフィランソロピー 82

「『健康寿命』を読んで」(西浦信博)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

8月の予定/5月のこんなこと

8・9月合併号予告/編集後記

テキスト「プラスチック時代の職業性中毒」

労働福祉事業団大阪産業保健推進センター 原 一郎

表紙の写真「夜の輝き」

平野区 神野健栄

1998年7月号(No.376)

ピープル「日本がフィリピンに追いつく日」

プライスウォーターハウス 坂本直彰

なにわ医見「『カルテ開示法制化』の議論に望む」

特集「情報開示の工夫」

インタビュー「患者が“対等なパートナー”となる

医療をめざして 橋本忠雄先生(守口市)に聞く」

聞き手 守口市 北川直樹

調査報告「患者さんとの情報共有に関する調査」

地域医療対策部部长 倉澤高志

シンポジウム・レポート「プライマリー・ケアにおける情報提供とカルテ開示」

やればできる医療記録の開示

尼崎市 桜井 隆(医師)

セルフケアに不可欠な情報開示

淀川区 北川弘美(看護婦)

『リハビリ交換カルテ』で豊かな情報交流

尼崎市 鍵井一浩(理学療法士)

独自の「葉のしおり」で情報開示

東大阪市 稲月淑隆(薬剤師)

「わたしのカルテ」は「医者と患者の交換日記」

守口市 大木貴弘(患者)

憲法違反の「カルテ開示法制化」

北区 田邊 昇

投稿「ある医師の想いと21世紀への希み」

交野市 高田弘昭

なにわ友あれ「市民の目を楽しませて」

茨木市 辰見宣夫

他科に役立つ各科情報 産婦人科「HRTにさらなるご理解を」

平野区 小川真琴

こーひーぶれいく「子ども時代」

箕面市 池尻研治

医界雑録65

「明治10年代までであった斬首刑」(青柳精一)

勝敗をさぐる257

「たった一手の緩着が敗局に」(吉野俊宏)

なにわの郷土史211 なにわの伝説65

1998年8・9月号(No.378)

ピープル「初心者の香港電影指南」

Hong Kong Movie&Star Fans World Mei2代表 小宅かをり

なにわ医見「Remember Tuberculosis」

特集「大阪の結核」

「大阪府の結核の現状と問題点」

結核予防会大阪府支部結核研究所顧問 亀田和彦

座談会「大阪の結核を考える」

矢野郁也/小倉剛/大塚順子/中村厚

結核の診断と治療はどこまできたか

大阪府立羽曳野病院医務局長 露口泉夫

一般病院・診療所における結核患者への対応

国立療養所刀根山病院循環器科医長 前倉亮治

院内感染をどう防ぐか

大阪府立羽曳野病院第5内科 韓 由紀

一般中小病院で起きた院内感染の教訓

沖繩市・中部協同病院副院長 喜久本朝善

BCG

大阪府立羽曳野病院小児科 高松 勇

BCG接種の有用性・必要性

京都大学医学研究科呼吸器病態学 泉 孝英

めざすべき大阪の結核対策

結核予防会結核研究所・国際協力部副部長 下内 昭

非定型抗酸菌症と結核

国立療養所近畿中央病院副院長 坂谷光則

佐多愛彦について

結核予防会大阪府支部大阪病院院長 螺良英郎

結核の今昔、この頃感じる二、三のこと

岸和田市 宇野久弥太

結核と私

西区 山梨政行

他科に役立つ各科情報 精神科「『神経症』は死語となるか？」

都島区 古屋頴兒

こーひーぶれいく「当世鶴橋焼肉事情」

東成区 石川泰章

医界雑録66「明治26年創立の解剖学会」(青柳精一)

勝敗をさぐる258「要石か軽い石か」(吉野俊宏)

なにわの郷土史212 なにわの伝説66

「ご利益あれこれ8」(三善貞司)

わたしの文化評「翻案は原作を超える!？」(富田和巳)

ほんだな『朝鮮通信使の足跡を訪ねて』

摂津市 竹内治一

ほんだな『遺伝子の地図帳』

中央区 羽田 同

医師のフィランソロピー 83『『笑い』と治療力

Anatomy of an illness』を読んで」(西浦信博)

新連載/女の意外史1「サイモンさん」

福島区 菊井知子

文芸・へちま大将26「小間物屋万吉7」(野間 明)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

10月の予定/7月のこんなこと

読者ファクス直送便

10月号予告/編集後記

テキスト「頭痛」

大阪赤十字病院神経内科 鈴木 聡

テキスト「乳癌診療の実際と最近の治療法」

関西労災病院外科部長 高塚雄一

表紙の写真「夏の思い出」

豊中市 森田重治

1998年10月号(No.379)

ピープル「絵筆としてのテクノロジー」

ビジュアル・ディレクター 水谷しゅん

なにわ医見「介護保険と開業医」

特集「介護保険と開業医」

インタビュー「介護保険の来し方、行く末 里見

賢治 大阪府立大学教授に聞く」

インタビュアー・本誌編集部 紀野 正

インタビュー「医療に変革迫る介護保険 風間 浩

『日経ヘルスケア』副編集長に聞く」

インタビュアー・本誌編集部 植田 彪

介護保険が医療に及ぼす影響

本誌編集部 野村 拓

高齢者の人権と介護保険

弁護士 青木佳史

提言

「在宅サービスへの精通」が必須条件に

八尾市 松尾美由起

開業医にとつての介護保険

摂津市 下野英世

投稿「私がケアマネジャー試験を受けたわけ」

保健医療、福祉の再構築の必要を痛感

守口市 N 生

軟弱(?)な動機で受験

東成区 H.H

幅広い視野をもつために

泉大津市 T.K

営利や形式主義に支配されないために

八尾市 山田真理子

かかりつけ医として介護相談も受けられるよう

阪南市 T.M

介護保険を詳しく知りたい

枚方市 S.C

往診患者さんのケアプラン作成に関わりたい

富田林市 T.S

なにわ友あれ「私の囲碁仲間『名月会』」

西成区 馬場谷勝廣

他科に役立つ各科情報 眼科「RK手術」

八尾市 釜平数男

こーひーぶれいく「ボキャビル本から学ぶこと」

北区 田邊 昇

医界雑録67「陳情で『河豚禁止令』を出した大分

県」(青柳精一)

勝敗をさぐる259

「中盤戦の鮮やかな手筋」(吉野俊宏)

なにわの郷土史213 なにわの伝説67

「若沖のにわとり絵」(三善貞司)

わたしの文化評「地球は女で回ってる」(大形順子)

ほんだな『山本茂実全集』

寝屋川市 小松良夫

新連載「70歳からのインターネット」

豊中市 岡部 弘

女の意外史2「祇園戯れうた」(菊井知子)

医師のフィランソロピー 84『『大河の一滴』を読んで」(西浦信博)

文芸・へちま大将27「小間物屋万吉8」(野間 明)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

11月の予定

8月のこんなこと

Talk to Talk

読者ファクス直送便

11月号予告/編集後記

テキスト「消化器癌の術後」

大阪赤十字病院外科 鍛 利幸

表紙の写真「サクレクール寺院」

泉佐野市 三好宏和

1998年11月号(No.380)

ピープル「『魂の教育』を書いて」

記録作家 石飛 仁

なにわ医見「逆風に抗して『病院ルネッサンス』を」

特集「岐路に立つ病院」

「4月改定10月実施とこれからの病院経営」

守口生野病院理事長 生野弘道

インタビュー「療養型病棟で地域を支える 石川

靖二神戸協同病院副院長に聞く」

インタビュアー・本誌編集部 植田 彪

提言

第一線と高度専門の“橋渡し役”として

藤井寺市 大谷静男

中小病院の役割と未来

寝屋川市 谷 荘吉

医療本来の姿を堅持して

八尾市 貴島範彦

これからの病院と勤務医部会

此花区 川崎美榮子

小特集「介護保険と開業医2」

ケアマネージメント・システムを考える
岡山県立大学保健福祉学部助教授 山本 隆
介護保険と市町村の役割

東京市町村自治調査会研究員 塩田容弘
なにわ友あれ「俺の放課後」

淀川区 和田健太郎

他科に役立つ各科情報 小児科
「口腔内発疹性疾患」

守口市 森口久子
こーひーぶれいく「パソコンノススメ」

和泉市 櫻井真也

医界雑録68「明治10年代の医薬品事情」(青柳精一)
勝敗をさぐる260

「優勢を勝ちきる難しさ」(吉野俊宏)

なにわの郷土史214 なにわの伝説68

「恋ひとすじの伊勢」(三善貞司)

医師のフィランソロピー 85

「『孤愁の岸』を読んで」(西浦信博)

女の意外史3「隣のミルズ先生」(菊井知子)

ほんだな『薬の話』

中央区 羽田 回

「70歳からのインターネット」2(岡部 弘)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

9月のこんなこと

12月号予告/編集後記

テキスト「尿異常：検診後のフォロー」

済生会中津病院腎臓内科 桑原 隆

表紙の写真「堺市大泉緑地公園で」

堺市 近藤宏和

1998年12月号(No.381)

ピープル「映画と国籍と」

東海学園大学講師 西村嘉夫

なにわ医見「大阪の救急～20年目の検証」

特集「大阪の救急医療～20年目の検証」

談話「20年前の問題提起を振り返って」

大阪大学名誉教授 朝倉新太郎

インタビュー「大阪の救急とともに歩んで」

鶴原常雄 府救急医療情報センター所長に聞く

インタビュアー・本誌編集部 中村 厚

レポート3次救急の現場から

関西医科大学高度救命救急センター 高田達良

眼科救急医療の歴史と現状

住吉区 保田正三郎

小児救急医療 3次救急の充実と「小児科関連病診連携の会」

大阪厚生年金病院 田川哲三

大阪の救命救急医療 その現状と課題

大阪府千里救命救急センター所長 太田宗夫

小さな命が残したもの 「小児医療」連載取材を通じて

産経新聞社会部記者 小島康弘

座談会「大阪の救急を考える」

大北昭/鈴木俊久/中谷茂子/高崎明/辻一省
投稿「救急昔噺」

八尾市 堀辺四郎

なにわ友あれ「イメージをつくる」

住吉区 守田由雄

他科に役立つ各科情報 皮膚科「疥癬の診断と治療」

和泉市 櫻井真也

こーひーぶれいく「『おもしろい街・大阪』で楽しく仕事したい」

中央区 小林絢子

医界雑録69

「所管や名称が頻繁に変わった2施設」(青柳精一)

勝敗をさぐる261「『手談』の妙」(吉野俊宏)

なにわの郷土史215 なにわの伝説69

「夢で恋した能因」(三善貞司)

わたしの文化評「映画評の出なかった『プライド～運命の瞬間』」(富田和巳)

医師のフィランソロピー 86「『心の革命』を読んで」(西浦信博)

ほんだな『保健・医療・福祉複合体』

此花区 川崎美榮子

「70歳からのインターネット」3(岡部 弘)

文芸・へちま大将28

「レインボー・ナイトクラブ1」(野間 明)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

1998年総索引

読者ファックス直送便

1月の予定/10月のこんなこと

1月号予告/編集後記

テキスト「腰痛診療における腰部脊柱管狭窄症」

大阪医科大学名誉教授 小野村敏信

表紙の写真「凍る摩周湖」

泉佐野市 新山昭次

1999年1月号(No.383)

ピープル「自分へのご褒美」

フジテレビディレクター 宮下佐紀子

なにわ医見「波」

特集「波」

自然界の波

静岡理科大学教授 志村史夫

地球の歴史上最大の津波とは?

東京大学大学院理学系研究科助教授 松井孝典

技術における波

技術ジャーナリスト 西村吉雄

医療をとりまく時代のうねり

本誌編集部 野村 拓

アートにみる「新しい波」 徒勞の行為の蓄積のなかで

名古屋造形芸術大学学長 石黒鏘二

世紀末無常

テレビ東京取締役 西谷 晋

新春座談会「新しい波をつかむ」

志村史夫/岸野令子/山口耕道

守田由雄/辻一省

投稿

「精神医学の波」と「物理学の波」

豊中市 今井安男

荒波の間に間に一時の凧を求めたい

- 津波
セピア色の写真が語る運命の波動
天上の音楽を聞いた男たち
なみさまさま
なにわ友あれ「華やかなり パソコン教室」
他科に役立つ各科情報 保養・養生学科「子どもの“裂けめ”を埋めてやりたい」
新連載/大阪の食文化1「ゴマ料理」～高橋恭子さん提供
- 寝屋川市 堤 俊郎
八尾市 堀辺四郎
福島区 菊井知子
住吉区 守田由雄
住之江区 二宮聖耳
住之江区 二宮聖耳
西淀川区 藤森 弘
富田林市 坂口隆啓
- 特派員 中村厚/菊井知子
勝敗をさぐる262「新春対局」(吉野俊宏)
なにわの郷土史216 なにわの伝説70
「曾呂利新左衛門」(三善貞司)
わたしの文化評「愛を乞う人」「時雨の記」(碧 川)
医師のフィランソロピー 87
「『道頓堀裁判』を読んで」(西浦信博)
ほんだな『ケアマネジャー試験』
- 鶴田一郎
70歳からのインターネット3(岡部 弘)
医界雑録70
「試験委員名が載っている試験及第証」(青柳精一)
女の意外史4「身延の赤膏」(菊井知子)
詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
読者ファックス直送便
11月のこんなこと
2月の予定
2月号予告/編集後記
テキスト「たばこの気道系に及ぼす影響」
大阪市立大学保健体育科研究室 藤本繁夫
テキスト「肝硬変～外来管理の限界」
大阪赤十字病院内科副部長 高松正剛
表紙の写真「黎明」
- 旭区 加藤甫明
- インタビュー・府民の政治意識と選択
大阪府保険医協会理事長 平井正也
なにわ友あれ「大阪皮膚科美術同年会」
城東区 笹川征雄
他科に役立つ各科情報 耳鼻咽喉科「咽喉頭神経症、耳鳴、鼻出血」
北区 馬場昭夫
北区 李 雲柱
- インタビュー・西成区 原田慶子
介護保険下の市町村の動向と課題 岡山県下全市町村調査結果から
岡山県立大学保健福祉学部助教授 山本 隆
求められる「平成の大塩」
大阪府保険医協会理事長 平井正也
なにわ友あれ「大阪皮膚科美術同年会」
城東区 笹川征雄
他科に役立つ各科情報 耳鼻咽喉科「咽喉頭神経症、耳鳴、鼻出血」
北区 馬場昭夫
北区 李 雲柱
- 医界雑録71
「国家医学会と国家医学科(上)」(青柳精一)
勝敗をさぐる263
「ツキヌカせてから攻めを見る」(吉野俊宏)
ほんだな『私がカルテをわたす理由』
中央区 小林絢子
ほんだな『肺の話』
寝屋川市 小松良夫
なにわの郷土史217 なにわの伝説71
「隆達節は今いずこ」(三善貞司)
わたしの文化評「パッチ・アダムス」(大形順子)
医師のフィランソロピー 88
「『時の娘』を読んで」(西浦信博)
文芸・へちま大将29
「レインボー・ナイトクラブ2」(野間 明)
詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)
3月の予定
12月のこんなこと
Talk to Talk
読者ファックス直送便
3月号予告/編集後記
テキスト「脳循環の病態 診断・治療の現状と将来」
大阪大学医学部第一内科 松本昌泰
表紙の写真「波紋様」
豊中市 森田重治
- 1999年2月号(No.385)
ピープル「幅広く、豊かな香りのする『共生』へ」
バリアフリーライター 玉木文恵
なにわ医見「『大阪の道』を探る」
特集「大阪を考える～開業医によるインタビュー1」
府財政危機の原因と再建への道
関西大学商学部教授 鶴田廣巳
インタビュー・大阪経済建て直しの道
大阪市立大学経済研究所助教授 植田浩史
インタビュアー 本誌編集部 紀野 正
インタビュー・これからの大阪のまちづくり
大阪市立大学生活科学部教授 梶浦恒男
- 1999年3月号(No.386)
ピープル「趣味ライフのすすめ」
余暇生活開発士 川井真理
なにわ医見「大阪を考える」
特集「大阪を考える2」
インタビュー「文化発信の地・大阪へ」
かみがた活性化研究会会長・井澤壽治に聞く
インタビュアー 本誌編集部 菊井知子
インタビュー「これからの福祉」
佛教大学社会学部教授・浜岡政好先生に聞く
インタビュアー 本誌編集部 田川 研
なにわ友あれ「イマコンの集い」

豊中市 森田重治
他科に役立つ各科情報 泌尿器科「難治性膀胱炎」

泉大津市 三瀬 徹
こーひーぶれいく「メディカルフィットネスの効用」
泉佐野市 古妻嘉一
医界雑録72

「国家医学会と国家医学科(下)」(青柳精一)
勝敗をさぐる264「大場より急場 彼我の力関係
を見る」(吉野俊宏)
ほんだな『歴史は患者でつくられる』

本誌編集部 野村 拓
ほんだな『戦後日本医療史の証言』

中央区 羽田 回
なにわの郷土史218 なにわの伝説72

「方面委員のさきがけ」(三善貞司)
わたしの文化評「涙に隠された厳しさ 木下恵介監
督を偲ぶ」(富田和巳)
大阪の食文化2「泉州の郷土料理」 船富育子さん提
供

特派員 紀野 正 / 菊井知子
女の意外史5「やがみちゃん」(菊井知子)

70歳からのインターネット4 (岡部 弘)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

4月の予定

1月のこんなこと

「ちょっと一言」

4月号予告/編集後記

テキスト「眼科領域における遺伝子治療～遺伝子診
療の理解を助けるために」

大阪大学医学部眼科学教室 山本修士
テキスト「膠原病の診断と治療」

京都府立医科大学第一内科講師 佐野 統
表紙の写真「オーストリアの湖水地方」

北区 井村昭三

1999年4月号(No.387)

ピープル「福祉のまちづくり拠点」

映画館支配人 松井寛子

なにわ医見「患者さんの願い・医師の思い」

特集「これからの医院づくり～21世紀への課題」

まちづくりのなかの医院づくり

豊中市 岡崎邦夫
特化できる“QUALITY”を持つ

城東区 笹川征雄
調査アンケートから見た新規開業医の姿

税務経営部長 八杉 誠
「第12回内科若手医師会員懇談会から」

患者の視点、地域とのつながり

平野区 細川一眞
仕入れ上手は経営上手

豊中市 森田重治
インタビュー「24時間連携でつくる地域医療」

箕面市 池尻研治先生に聞く

インタビュー 本誌編集委員 中村 厚
「幅広いネットワークづくりこそ連携の基礎」

淀川区・河西宏信先生に聞く

インタビュー 本誌編集委員 二宮聖耳
なにわ友あれ「市大会」

豊中市 岡部 弘
他科に役立つ各科情報 外科・整形外科「下肢の整
脈瘤」

平野区 海野勝利
こーひーぶれいく「私の電脳的生活」

東住吉区 寺川文彦
医界雑録73

「司馬凌海と日本初の独和辞書(上)」(青柳精一)
勝敗をさぐる265

「上手の一瞬のスキを突く」(吉野俊宏)

ほんだな『五体不満足』

和泉市 土山牧男
ほんだな『史実で語る 朝鮮戦争協力の全容』

京都市 西谷宣雄
ほんだな『いい歯健康法 春夏秋冬』

堺市 山上紘志
70歳からのインターネット5 (岡部 弘)

なにわの郷土史219 なにわの伝説73

「真田の抜け穴」(三善貞司)

わたしの文化評「二ノ空」「セントラル・ステーシ
ョン」(碧 川)

文芸・へちま大将30

「レインボー・ナイトクラブ3」(野間 明)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

こまんど・あい

「ちょっと一言」

5月の予定/2月のこんなこと

読者ファクス直送便

5月号予告/編集後記

テキスト「気管支喘息～病態に応じた治療」

近畿大学医学部第4内科 長坂行雄
表紙の写真「ほうらく割」

泉佐野市 三好宏和

1999年5月号(No.388)

ピープル「お洒落な国のオシャレの演出法」

インテリアデザイナー 宮久保忠広
なにわ医見「期待される学校保健委員会の確立」

特集「学校保健と学校医」

学校保健の再構築

本誌編集委員 野村 拓
学校における労働安全衛生体制と学校医

滋賀医科大学助教授 埴田和史
中学養護教諭から見た学校保健の課題

尼崎市立小園中学校養護教諭 田中元美
対談「連携による学校保健の確立」

五十嵐則子/紀野 正
提言

医師過剰・小子時代の校医と人事

箕面市 武田勝文
学校保健における生活習慣病

吹田市 小谷 泰

学校間・科目間格差の是正を

北区 馬場昭夫

学校・子どもにとって何が危機なのか

西区 富田和巳

なにわ友あれ「コーラスと私」

天王寺区 河本俊樹

他科に役立つ各科情報 内科「肝を冷した休日急病の一日」

東住吉区 島田瑞夫

こーひーぶれいく「父性のすすめ」

高槻市 高島正樹

ほんだな『疫病の時代』

住吉区 守田由雄

医界雑録74

「司馬凌海と日本初の独和辞書(下)」(青柳精一)

勝敗をさぐる266

「どちらが急所を打つか」(吉野俊宏)

なにわの郷土史220 なにわの伝説74

「猿飛佐助は実在する?」(三善貞司)

新企画/岸野令子のあまのじゃく映画時評1

「アカデミー賞も“村おこし”!」

映画バプリシスト 岸野令子

大阪の食文化3「摘み菜料理」 平谷けいこさん提供

特派員 二宮聖耳/笹川征雄

女の意外史6「友あり、ペルーで人質となる」(菊井知子)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

6月の予定/3月のこんなこと

Talk to Talk/読者ファクス直送便

6月号予告/編集後記

テキスト「高脂血症～治療によるメリット」

箕面市立老人保健施設 山本 章

表紙の写真「北国の白花」

平野区 神野健栄

1999年6月号(No.389)

ピープル「北朝鮮の飢餓に人権の眼差しを」

大阪経済大学経営学部助教授 山田文明

なにわ医見「シックハウスと開業医」

特集「シックハウス症候群」

問題提起「シックハウス症候群と現代」

「シックハウスを考える会」代表 上原裕之

化学物質過敏症患者の特性

北里大学医学部眼科学教室教授 宮田幹夫

環境基準～労働現場と住宅

関西医科大学公衆衛生学教室講師 圓藤陽子

“健康住宅”とHealthy Housing

国立公衆衛生院住宅衛生室長 松本恭治

症例「アトピー性皮膚炎とシックハウス症候群」

城東区 笹川征雄

実践「医師会・保健所共同の化学物質過敏症調査」

交野市 寺嶋秀幸

被害者の立場から「家とアパートの二重生活に」

世田谷区 高宮佳津

被害者の立場から「妻は一泊もできず、夫も発病」

埼玉県 横田郁宏・知香江

メーカーの立場から「脱シックハウスの住宅づくり」

マイプラン取締役 水川伸行

「私流文献紹介 化学物質過敏症・住宅・環境」

豊中市 岡崎邦夫

座談会「シックハウスの来し方・行く末」

久留飛克明/表木五郎/長川 伸

上原裕之/岡崎邦夫/笹川征雄

ほんだな『薬の常識・非常識』

平野区 細川一真

なにわ友あれ「入棺体験とターミナルケア」

枚方市 南 吉一

他科に役立つ各科情報 産婦人科「リプロダクティブ・ヘルスとSTD」

池田市 水澤富一

こーひーぶれいく「クリニックの訪問者」

東淀川区 清水聖保

医界雑録75「蘭語に替わる英仏露語辞書の出版

(上)」(青柳精一)

わたしの文化評「BARに灯ともる頃」(大形順子)

勝敗をさぐる267「最大の悪手は『相手を助けるお

手伝い』」(吉野俊宏)

なにわの郷土史221 なにわの伝説75

「真田十勇士のモデル」(三善貞司)

ほんだな『せいかつしゅうかん イエローカード』

平野区 村田 進

文芸・へちま大将31

「レインボ-・ナイトクラブ4」(野間 明)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

Talk to Talk

読者ファクス直送便

7月の予定/4月のこんなこと

7月号予告/編集後記

テキスト「新鮮外傷の取り扱い方と傷痕のケア」

近畿大学形成外科講師 小坂正明

テキスト「陥入爪の手術療法」

近畿大学形成外科講師 小坂正明

表紙の写真「ヤンゴンのパゴタ」

東大阪市 武田貞彦

1999年7月号(No.390)

ピープル「キノコとなかよし 日本キノコ協会の基本

戦略」

日本キノコ協会事務局長 扇進次郎

なにわ医見「期待される『多角化』と『連携型』」

特集「介護保険下の選択肢」

在宅と病棟の介護力を同時強化

摂津市 今村育男

有床化ですべてをまかなえる医療へ

守口市 橋本忠雄

「療養型病床」を導入

東成区 福田治男

「看取りの医療」の実現へ

生野区 呉 海龍

医療・福祉のミニ複合施設を建設

高槻市 中嶋啓子

非営利型ホームヘルプ事業を模索

都島区 国領 徹

鍵をにぎるデイケア

千早赤阪村 植田 豊

医療に比重を移した都市型連携

堺市 赤星伸一

小地域ネットワークによる「自立」「要支援」の
“受け皿”づくり

富田林市 坂口隆啓

「意見書」記載こそ大切な役割

熊取町 音田 篤

座談会「介護保険下の選択肢」

松尾美由起 / 下野英世 / 谷 莊吉 / 倉澤高志

なにわ友あれ「私のオーケストラ仲間」

東大阪市 内田博重

他科に役立つ各科情報 皮膚科『おしめかぶれ』
をなめるな」

住之江区 二宮聖耳

こーひーぶれいく「服薬指導事始め」

東淀川区 岡部登志男

医界雑録76「蘭語に替わる英仏露語辞書の出版

(下)」(青柳精一)

わたしの文化評

「映画タイトルに見る文化度」(富田和巳)

ほんだな「脳ドックは安全か」

中央区 羽田 回

勝敗をさぐる268

「ノビとアテの一路の違い」(吉野俊宏)

なにわの郷土史222 なにわの伝説76

「織姫の町 池田」(三善貞司)

女の意外史7

「されど、わが冏々・セクスアリス」(菊井知子)

大阪の食文化4「見山のふるさと郷土料理」

特派員 辻 一省 / 小林絢子

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

8・9月の予定 / 5月のこんなこと

Talk to Talk / 読者ファックス直送便

8・9月合併号予告 / 編集後記

テキスト「皮膚科領域における直線偏光近赤外線照
射療法～皮膚潰瘍」

京都大学医学研究科皮膚病態学教室 戸田憲一

テキスト「新興感染症・再興感染症、耐性菌につい
ての話題」

京都府立医科大学臨床検査医学教室 藤田直久

表紙の写真「ひまわり」

平野区 吉田一雄

1999年8・9月号(No.392)

ピープル「『ハーグ市民平和会議』に参加して」

夕陽丘女性史グループ 澤田和子

なにわ医見「浮き沈み調査」

特集「フォローアップ大阪～21世紀への助走路」

フォローアップ概論

本誌編集部 野村 拓

大阪の中老年死亡

花園大学教授 逢坂隆子

森永ヒ素ミルク中毒事件

平野区 細川一真

学齢期シンドローム

西淀川区 藤森 弘

西淀川公害反対運動と環境再生

西淀川区 穂久英明

医療運動の転換をもたらした成人アトピー性皮膚炎

城東区 笹川征雄

ビタミン再考

中央区 羽田 回

薬価の国際比較

医薬ビジランスセンター JIP代表 浜 六郎

0157再考

堺市 橋爪孝雄

なにわ友あれ「枚方市医師会マイコンクラブ」

枚方市 関根康弘

他科に役立つ各科情報 精神科「潮が引くように

消えた『夢の抗うつ薬』情報」

都島区 古屋頼兒

こーひーぶれいく「私と大阪」

八尾市 菊池 博

医界雑録77「『お雇い外国人』とエルウィン・ベル

ツ(上)」(青柳精一)

わたしの文化評「イラン映画に想う」(碧 川)

勝敗をさぐる269「女性同士の熱戦」(吉野俊宏)

なにわの郷土史223 なにわの伝説77

「熊塚と歯型石」(三善貞司)

女の意外史8「母の死に装束」(菊井知子)

ほんだな『清張ミステリーと昭和30年代』

寝屋川市 小松良夫

大阪の食文化5「岸和田のだんじり・地酒と郷土料理」

藤村さん提供

特派員 紀野 正 / 中村 厚 / 菊井知子

文芸・へちま大將32「レインボ - ナイトクラブ

5」(野間 明)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

10月の予定 / 7月のこんなこと

Talk to Talk

読者ファックス直送便

10月号予告 / 編集後記

テキスト「糖尿病の管理」

関西労災病院第4内科部長 龍門敬二

テキスト「排尿障害の診断・治療とウロダイナミクス」

近畿大学医学部泌尿器科 朴 英哲

表紙の写真「ミシガン湖」

平野区 神野健栄

1999年10月号(No.393)

ピープル「動物たちへのレクイエム」

カメラマン 児玉小枝

なにわ医見「打つべきか、打たざるべきか」

特集「インフルエンザにどう対応するか」

インタビュー「インフルエンザとは何か」

府立公衆衛生研究所・奥野良信先生に聞く

インタビュー・本誌編集委員 中村 厚
インフルエンザ脳症

大阪市立総合医療センター 塩見正司
インフルエンザワクチンを復活させる根拠はあるか？

大阪赤十字病院 山本英彦
抗インフルエンザ薬の評価

兵庫医科大学助教授 谷田憲俊
アマンタジンの使用経験

箕面市立病院 山本威久
ワクチンの使い方と感染防止法

川崎市立川崎病院 武内可尚
インフルエンザワクチン製造の動向と課題

阪大微生物病研究会観音寺研究所 組橋英明
初感染インフルエンザとワクチンによる予防

門真市 馬場宏一
診療所における経験

守口市 森口久子
老人病棟における経験

熊本県・城南病院 岡嶋 透
老健施設における経験

寝屋川市 高尾文介
ほんだな『二重言語国家・日本』

福島区 菊井知子
なにわ友あれ「外国人医療相談会」

多文化共生センター 濱畑啓悟
他科に役立つ各科情報 眼科「緑内障検診を受け

ましょう」
枚方市 米良博量

こーひーぶれいく「Defence Mechanism」
ニューヨーク在住 丹司 紅

医界雑録78『お雇い外国人』とエルウィン・ベル
ツ(中) (青柳精一)

勝敗をさぐる270
「打ち過ぎを咎め損なう」(吉野俊宏)

なにわの郷土史224 なにわの伝説78
「チョンベイの墓」(三善貞司)

あまのじゃく映画評2「ハリウッド 史上最大の映像
帝国」(岸野令子)

文芸・へちま大将33「大地に生きる1」(野間 明)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

11月の予定/8月のこんなこと
11月号予告/編集後記

テキスト「最近のインフルエンザの問題点と今後の
課題」
大阪府立公衆衛生研究所ウイルス課長 奥野良信

表紙の写真「蔵王のお釜」
東淀川区 楠 研二

1999年11月号(No.394)
ピープル「決心した瞬間」

タレント 浦川ともみ
なにわ医見「女医と男医」

特集「女性から見た日本医療」
21世紀における女と男

東京都立大学助教授 江原由美子

学校教育のジェンダ - バイアスと女性の理系能力
東京学芸大学教授 村松泰子

生命論理からみた「性と生殖の健康/権利」
明治大学兼任講師 斎藤有紀子

いま女性が医療に望むこと
阪南中央病院 北田衣代

座談会「女医の本音 - 仕事、家族、そして人生」
仙波恵美子/野崎京子/

大形順子/小川智子/菊井知子
投稿

生殖器にみる医療の質の男女差
渋谷区 武田玲子

孤軍奮闘で飛び回った日々
中央区 虎谷圭似子

甘えずやったつもりだが
住之江区 安本京子

患者と医師の良好な関係をつくる改革を
豊中市 赤枝民世

日常生活に密着した診療
堺市 流田妙子

柳眉を逆立てて
東住吉区 清水公子

夫の意識改革こそ最優先課題
生野区 吉田洋子

男の3倍働く覚悟で
北区 小林知加子

女性が輝くとき
高槻市 古賀暢子

患者さんのために英知を持ちより
岸和田市 宮本治子

ウランバトル・釜山そして大阪
平野区 池田美也

安定して働き続けるために
八尾市 山田真理子

「女性医師の会」へのお誘い
平野区 平井初美

大阪の食文化6「おもてなしとテーブルコーディネ
ート」 西根由紀子さん提供

特派員 野村 拓/佐藤一夫/笹川和信
なにわ友あれ「私のパソコン仲間」

中央区 小林絢子
他科に役立つ各科情報 耳鼻科「味覚・嗅覚のケア」

東住吉区 榊 徳子
こーひーぶれいく「老いへの自覚」

平野区 斧山治子
医界雑録79『お雇い外国人』とエルウィン・ベル

ツ(下) (青柳精一)

勝敗をさぐる271「勝負手のチャンスを逃さない」
(吉野俊宏)

なにわの郷土史225 なにわの伝説79
「荻の寺・あごなし地蔵」(三善貞司)

わたしの文化評「逢いたくてヴェニス」
福島区 美 湖

女の意外史9「夫婦エレジー」(菊井知子)
ほんだな『寄りかからず』

堺市 山上佳代子

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

12月の予定/9月のこんなこと

読者ファックス直送便

12月号予告/編集後記

テキスト「ペインクリニック」

大阪労災病院麻酔科部長 柴 紘次

テキスト「がん予防の今後の方向」

大阪府立成人病センター調査部 大島 明

テキスト「大阪におけるがんの特徴」

大阪府立成人病センター調査部 津熊秀明

表紙の写真「暮秋」

旭区 加藤甫明

1999年12月号(No.395)

ピープル「心と建築」

愛知産業大学助教授 武田雄二

なにわ医見「あなたのスキンケアは間違っていますか」

特集「スキンケア最前線～美容から床ずれまで」

在宅医療におけるスキンケア

群馬大学医学部皮膚科学教室教授 石川 治

保湿化粧品の有効性

国立大阪病院皮膚科アレルギー-科医長 小塚雄民

スキンケアでやってはいけないこと

大阪労災病院皮膚科部長 谷垣武彦

間違っていますか? 床ずれ処置

関西医科大学形成外科教授 小川 豊

回復力を高めることによるスキンケア

資生堂ライフサイエンス研究センター 伝田光洋

いつまでも美しく年を重ねるために

資生堂お客様センター 猪飼良子

痴呆症患者さんの化粧効果

鳴門山上病院看護部長 辻喜美子

高齢者のスキンケアと化粧についての意識調査

本誌編集部 笹川和信

投稿「ある中国留学生医師の日本における生涯」

淀川区 林 義春

なにわ友あれ「かみがた活性化研究会」

豊中市 中村 厚

他料に役立つ各科情報 形成外科「最近の形成外科のトピックス」

関西医科大学形成外科 楠本健司

こーひーぶれいく「ある一日」

羽曳野市 下戸文夫

医界雑録80「ユリウス・カルル・スクリパの功績」

(青柳精一)

勝敗をさぐる272

「シチョウの見落としかからの反撃」(吉野俊宏)

なにわの郷史士226 なにわの伝説80

「岸和田の蛸地蔵」(三善貞司)

わたしの文化評「ザ・中学教師」(富田和巳)

ほんだな『化学物質だらけの家を買っていませんか?』

豊中市 岡崎邦夫

文芸・へちま大将(最終回)

「大地に生きる2」(野間 明)

詰碁(本田邦久)・詰将棋(有吉道夫)

1月の予定

10月のこんなこと

読者ファックス直送便

1999年本誌総索引

1月号予告/編集後記

テキスト「胸腔鏡下の手術 肺癌の根治手術を中心に」

大阪鉄道病院胸部外科 松井 英

テキスト「甲状腺疾患の臨床」

大阪医科大学第1内科助教授 高松順太

テキスト「外来で診る化学物質過敏症 科学物質過

敏症患者の特性」

北里大学眼科学教室教授 宮田幹夫

表紙の写真「余呉湖」

堺市 近藤宏和

2000年1月号(No.396)	表紙の写真「夜明け」	旭区 加藤甫明
ピープル「2000年初めに思うこと」	2000年2・3月合併号(No.397)	
ロシア演劇 桜井郁子	ピープル「マンションの明日を支える」	集合住宅維持管理機構事務局長 岩田岳士
なにわ医見「秒キザミと惚けた時」	なにわ医見「移り変わる精神科患者」	なにわ医見「移り変わる精神科患者」
特集「時」	特集「精神神経科・心療内科から見た現代日本」	心療内科から見た現代日本社会のストレス
生物学から見た時	心療内科から見た現代日本社会のストレス	関西医科大学心療内科教授 中井吉英
大阪大学蛋白質研究所教授 永井克也	中高年の自殺はなぜ多いか	甲子園大学人間文化学部教授 西村 健
文化比較から見た時の社会史	心療内科ってどんな科?	関西医科大学心療内科講師 福永幹彦
学習院大学文学部教授 福井憲彦	精神科病院の新たな動きと課題	豊中市 澤 温
飛鳥時代における時		「大阪精神病院事情ありのまま」を特集して
大阪市立大名誉教授 林 直道		大阪精神医療人権センター事務局長 山本深雪
時 「12進法」世界の貴婦人		医者メンタルヘルス
住吉区 守田由雄		西淀川区 田中迪生
今		しんどさを共感しあう街角医
堺市 児玉貞介		他科の先生にどう理解していただけるか?
住之江区 二宮聖耳		岸和田市 稲垣俊雄
八尾市 堀辺四郎		カウンセリングを志して
淀川区 金 英男		浪速区 向井貞三
新春座談会「自然から恵まれし時」		心の危機はとらえにくい
明石市立天文科学館 西海洋一		住之江区 二宮聖耳
浄土宗専修院住職 藤田和海		座談会「現代の心の危機をどう見るか」
農業(福井県) 伊藤弘文		桃山学院大学教授 郭 麗月
司会/本誌編集部 二宮聖耳・辻一省		大阪医科大学助教授 田中英高
なにわ友あれ「マラソンと私」		関西医科大学講師 福永幹彦
東住吉区 山本嘉治		司会・本誌編集部 野村 拓
他科に役立つ各科情報(皮膚科)		なにわ友あれ「パソコンと私」
「『現代的医療形態』が要求される時代」		吹田市 坂口道倫
北区 田邊 昇		こーひーぶれいく「『自動車』とは何か」
こーひーぶれいく「初辰さんと5円玉」		豊中市 岡崎邦夫
西区 野々村安啓		他科に役立つ各科情報(小児科)
医界雑録81		「致命的なインフルエンザとその予防」
「留学生制度と邦人教官の誕生(上)」(青柳精一)		門真市 馬場宏一
勝敗をさぐる273「新春対局」(吉野俊宏)		医界雑録82
なにわの郷土史227 なにわの伝説81		「留学生制度と邦人教官の誕生(下)」(青柳精一)
「光秀は死なず」(三善貞司)		勝敗をさぐる274
わたしの文化評「鉄道員」「秘密」		「アマチュア2段のチェコ少年奮戦記」(吉野俊宏)
北区 碧 川		なにわの郷土史228 なにわの伝説82
ほんだな『生きててもええやん 「脳死」を拒んだ若者たち』		「和泉府中の鳥の不倫」(三善貞司)
中央区 羽田 回		ニューヨークレポート1「アメリカの医療事情」
ほんだな『福祉カタカナ・ガイド』		ニューヨーク市在住 丹司 紅
生野区 佐藤一夫		岸野令子のあまのじゃく映画時評3
女の意外史10「受験宿の“取り替え部屋”」(菊井知子)		「創造的精神が完成させる未完成のシネマ」
詰碁(本田邦久)/詰将棋(有吉道夫)		女の意外史11「ビデオ君と肩車」(菊井知子)
2月の予定		ほんだな『そして、干潟は残った』
11月のこんなこと		泉大津市 紀野 正
Talk to Talk		ほんだな『日本の川を甦らせた技師デ・レイケ』
読者ファックス直送便		生野区 佐藤一夫
2・3月合併号予告・編集後記		
テキスト「高齢者診療の留意点」		
大阪大学加齢医学 森本茂人		
テキスト「一般外来における直線偏光近赤外線治療器の応用」		
要町病院副院長 吉澤明考		

ほんだな『ユダヤ人の歴史』上・下
 平野区 吉田 勤
 詰碁(本田邦久)/詰将棋(有吉道夫)
 4月の予定
 1月のこんなこと
 Talk to Talk
 読者ファックス直送便
 4月号予告/編集後記
 テキスト「内科で遭遇する見落としやすい救急疾患 急性腹痛」
 近畿大学医学部奈良病院外科教授 梅村博也
 テキスト「勃起障害の診断と最新の治療」
 大阪府立十三市民病院泌尿器科部長 安本亮二
 表紙の写真「大阪城梅林」
 泉佐野市 三好宏和

2000年4月号(No.398)
 ピーブル「亭主と医者と妙な夫婦」
 大阪府立高校30人学級をすすめる会 富樫南湖
 なにわ医見「伝統医療としての漢方」
 特集「保険診療から見た漢方薬」
 漢方薬の現代的意義
 近畿大学東洋医学研究所教授 遠田裕政
 EBMからみた漢方
 堺市 大石光雄
 漢方薬の処方を考える
 『TIP』誌代表 別府宏園
 漢方製剤の現状と課題
 近畿大学東洋医学研究所 森山健三
 審査委員からみた漢方薬
 大東市 高橋邦明
 漢方治療のむずかしさ
 西淀川区 藤森 弘
 不育症、不妊症への漢方療法の効果
 中央区 假野隆司
 生命する病人への生き生きした薬方
 住之江区 三谷和男
 漢方薬のすすめ
 貝塚市 黒瀬喜久雄
 漢方薬と薬疹
 北区 田邊 昇
 保険薬価収載の歴史とその課題
 横浜市 菊谷豊彦
 ほんだな『近代漢方総論』
 生野区 佐藤一夫
 なにわ友あれ「酒と汗と仲間とラグビー」
 中央区 浦野 透
 こーひーぶれいく「新米開業医の独り言」
 都島区 酒谷省子
 他科に役立つ各科情報(産婦人科)
 「名言『女性を診たら妊娠と思え』」
 高槻市 高島正樹
 医界雑録83「今年の干支は『庚辰』」(青柳精一)
 ニューヨークレポート2
 「ある邂逅 科学と美術」(丹司 紅)
 なにわの郷土史229 なにわの伝説83

「四条畷の雁塔」(三善貞司)
 岸野令子のあまのじゃく映画時評4
 「アメリカ的価値観を見直す時代へ」
 勝敗をさぐる275「お互いに勘違い?」(吉野俊弘)
 ほんだな『青春』
 住吉区 守田由雄
 ほんだな『ピルの危険な話』
 都島区 辻 一省
 文芸「赤い夕陽と黒い大地」1
 「“知謀の人”石原莞爾」
 摂津市 竹内治一
 詰碁(本田邦久)/詰将棋(有吉道夫)
 Talk to Talk
 5月の予定
 2月のこんなこと
 募集「従軍医師たちの家族への手紙」
 読者ファックス直送便
 5月号予告/編集後記
 テキスト「眼科領域における遺伝子治療」
 大阪大学医学部眼科学教室 山本修士
 テキスト「整形外科領域における最小侵襲手術」
 済生会吹田病院整形外科 黒川正夫
 表紙の写真「花が咲いた」
 豊中市 森田重治

2000年5月号(No.399)
 ピーブル「モスクワであった本当の話」
 在ロシア日本大使館 島 桂一
 なにわ医見「高コスト医療のすすめ」
 特集「医療における安全と安心」
 医療における安全とその現代的意義
 国際基督教大学オスマー教授 村上陽一郎
 安全学から学ぶもの
 豊中市 岡崎邦夫
 求められる他産業のノウハウ活用
 武蔵野赤十字病院副院長 三宅祥三
 「医療の質の評価委員会」をつくって
 大阪厚生年金病院病理科部長 小林 晏
 “新設医大病院”の条件を活かして
 北里大学病院病院長 柿田 章
 医療における安全と薬剤師の役割
 九州大学大学院薬学研究所教授 澤田康文
 住まいの安全どうはかる
 和歌山大学システム工学部教授 足立 啓
 なにわ友あれ「人生変えた空手『道』」
 北区 八杉 誠
 こーひーぶれいく「まずは細やかな危機感より」
 八尾市 江尻新太郎
 他科に役立つ各科情報(精神神経科)「自殺者急増」
 茨木市 渡辺洋一郎
 医界雑録84
 「ユニークな医療史『消印は知っていた』」(青柳精一)
 ニューヨークレポート3
 「移民の国の医師卒後教育」(丹司 紅)
 なにわの郷土史230 なにわの伝説84

「法明寺の雁塚」(三善貞司)
わたしの文化評「佐藤勝を偲ぶ」
西区 富田和巳
勝敗をさぐる276
「キレないのにキレると思ひ込んで」(吉野俊弘)
女の意外史12「泥棒あり 遠方より来る」(菊井知子)
ほんだな『薬の支配者』
北区 田邊 昇
ほんだな『脳死・臓器移植拒否宣言』
中央区 羽田 同
文芸「赤い夕陽と黒い大地」2
「運命の『九・一八』」(竹内治一)
詰碁(本田邦久) / 詰将棋(有吉道夫)
「集住博2000」のご案内
6月の予定
4月のこんなこと
読者ファックス直送便
6月号予告 / 編集後記
テキスト「C型肝炎の診断と治療」
大阪医科大学第一内科 福田 彰
表紙写真「ベンガラの町」
堺市 近藤宏和

2000年6月号(No.400)
ピープル「自然にふれて学びませんか」
広葉樹文化協会会員 田村正一
なにわ医見「身近なエコロジーパーク・里山」
特集「なにわエコロジー」
人間と環境
国立民族学博物館教授 秋道智彌
花をめぐる環境民俗学
筑波大学社会科学系教授 鳥越皓之
江戸農書から見立てる
大阪経済大学日本経済史研究所長 徳永光俊
石見銀山から見た暮らしと環境
石見銀山資料館学芸員 仲野義文
森の景観と暮らし
佐賀大学農学部講師 藤村美穂
大阪の水を考える
大阪信愛女学院短期大学教授 高井明德
協会が水問題に取り組んだわけ
熊本県保険医協会常任理事 橋口英夫
環境破壊的な河川事業をたたく
徳島大学総合科学部教授 中嶋 信
「環境先進国」オランダから学ぶ
都市計画家 角橋徹也
環境改善のための私の試み
豊中市 今井安男
座談会「都市の暮らしと環境」
滋賀県環境生活協同組合理事長 藤井絢子
和歌山大学システム工学部講師 神吉紀世子
大阪信愛女学院短期大学専任講師 足高壱夫
司会 / 本誌編集部 岡崎邦夫
大阪の文化シリーズ第3弾「大阪の食と環境」1
「大阪湾の魚と泉州の郷土料理」

話題提供「大阪湾と大阪の食」
大阪府立水産試験場 日下部敬之
レポート「郷土料理に泉州の春を訪ねて」
本誌編集部 守田由雄
レポート「すっきりまるやかで渾然とした旨酒」
本誌編集部 佐藤一夫
なにわ友あれ「おじさんが友達増やすチャンス」
和泉市 堀 忠
こーひーぶれいく「海へのあこがれ」
和泉市 岡本頼治
他科に役立つ各科情報(眼科)
「他科でのステロイド点眼液処方方は慎重に」
堺市 A 生
医界雑録85「女医の要不要論争」(青柳精一)
ニューヨークレポート4「現代時差ボケ考」(丹司 紅)
なにわの郷土史231 なにわの伝説85
「楠葉の親乞薬師」(三善貞司)
私の文化評「風がふくまま」「グリーンマイル」
北区 碧 川

勝敗をさぐる277
「競り合いには絶対に負けない」(吉野俊弘)
ほんだな『医者もつらいよPart4』
泉大津市 紀野 正
ほんだな『コンピュータが子どもの心を変える』
守口市 森口久子
Talk to Talk「本誌4月号『漢方特集』にも申す」
堺市 蔭山 充
ほんだな『かけがえのない生命よ』
京都市 西谷宣雄
文芸「赤い夕陽と黒い大地」3
「高橋是清暗殺のウラ」(竹内治一)
詰碁(本田邦久) / 詰将棋(有吉道夫)
7月の予定
5月のこんなこと
読者ファックス直送便
7月号予告 / 編集後記
テキスト「痴呆性高齢者診療における留意点」
関西福祉大学教授・近大精神神経科講師 橋本篤考
表紙の写真「尾瀬の水芭蕉」
泉佐野市 新山昭次

2000年7月号(No.401)
ピープル「滝沢修先生のこと」
蕎麦店「多め勢」店主 田口俊英
なにわ医見「締め出しが放棄か」
特集「動き始めた介護保険」
検証「介護保険」 実現したこと、しないこと
介護・医療に関わる機関の連携強化へ
堺市 赤星伸一
認定審査会の一員として感じたこと
熊取町 音田 篤
患者さんのQOLは改善
摂津市 今村育男
計画通りだが、経営は“火の車”
高槻市 中嶋啓子

QOLがいくらかでも改善
 東成区 福田治男
 切に求められる利用料減免制度
 生野区 呉 海龍
 「人の育成」が最大の課題
 都島区 国領 徹
 介護保険時代が始まった
 千早赤阪村 植田 豊
 「高辺プラザ」「高辺サロン」と介護保険
 富田林市 坂口隆啓
 歯科から見た介護保険
 生野区 金村福寿
 ケアマネジャーから見た介護保険
 泉大津市 高井孝子
 インタビュー「NPOから見た介護保険」
 「ネットワークゆう」代表・永野美恵子さんに聞く
 聞き手・本誌編集部 紀野 正
 インタビュー「自治体から見た介護保険」
 吹田市役所高齢福祉推進室に聞く
 聞き手・本誌編集部 中村 厚
 資料「役に立つ介護保険関連ホームページ」
 なにわ友あれ「私の囲碁仲間」
 門真市 中塚一郎
 こーひーぶれいく「ピアノの溜め息」
 豊中市 森田重治
 他科に役立つ各科情報（皮膚科）
 「いんぎん この難儀なもの」
 住之江区 二宮聖耳
 医界雑録86「和服と洋服の比較論考」（青柳精一）
 てつやとさちこの「オランダ熟年日記」1
 「まだ何かやれる」
 吹田市在住 角橋徹也・佐智子
 ニューヨークレポート5
 「暮らしのなかの『NYタイムズ』」（丹司 紅）
 なにわの郷土史232 なにわの伝説86
 「亀の恩返し」（三善貞司）
 岸野令子の「あまのじゃく」映画時評5
 「官能的でありながら清らかな映像」
 勝敗を探る278
 「相手の強い場所では捨てて打つ」（吉野俊弘）
 女の意外史13「老母哀感」（菊井知子）
 ほんだな『重度痴呆性老人のケア』
 摂津市 竹内治一
 ほんだな『ケアマネジャー・ハンドブック』
 富田林市 坂口隆啓
 文芸「赤い夕陽と黒い大地」4「薄儀のかつぎだし」
 摂津市 竹内治一
 詰碁（本田邦久）／詰将棋（有吉道夫）
 8月の予定
 6月のこんなこと
 読者ファックス直送便
 8・9月号予告／編集後記
 テキスト「内科で知っておきたい眼科の知識」
 奈良県立医科大学眼科 名和良晃
 表紙写真「森になったエキスポ'70」